

第12回

教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

# 報告書

令和2年6月



一般社団法人日本教育情報化振興会

URL: <https://www.japet.or.jp/>

This page is intentionally left blank

## はじめに

一般社団法人日本教育情報化振興会会長

赤堀 侃司（あかほりかんじ）

日本教育情報化振興会では、2年毎に教育の情報化に関する調査を実施しておりますが、その報告書を出す時期になりました。調査内容の詳細については、本冊子をご覧くださいとして、今回の報告では、どうしても激動する社会の変化に触れなければなりません。その1つは、この調査が実施された後に閣議決定されたGIGAスクール構想であり、他方は新型コロナウイルスへの対応です。

この調査でも分かるように、地方自治体におけるハードウェア・ソフトウェアの整備は十分ではなく、文部科学省は、すべての学校で3クラスに1クラス分の端末を整備する目標を掲げていました。しかし、すべての子供たちに1人1台端末を実現するというGIGAスクール構想を、政府は閣議決定しました。ICT環境整備では、いきなり世界でトップの座を占めることになったのです。これだけでも、青天のへきれきと言っても良いのですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまで令和2年度から4カ年計画で実施する計画であった、小中学校すべての学年の整備計画を、令和2年度補正予算で実現することが決まりました。つまり令和2年度、今年中に1人1台端末の整備予算が計上されたのです。

それだけではありません。緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備として、通信機器の整備支援も補正予算の中に組み込まれています。つまり、家庭における学習を保証するために、ICT環境整備計画を学校だけから家庭にまで拡張したのです。これは、教育の情報化だけではなく、教育のパラダイムを変革するほどの大きなスキームなのです。

これまでの整備は、当然ながら学校が中心です。学校には、免許を持った教員がいて、時間割があって、学級があって、校則があって、給食があって、など多くの制度や施設や仕組みが確立された上で、運営されています。しかし家庭には、このような仕組みはほとんどありません。新型コロナウイルスパンデミックによって、世界中の子供たちは学校に通えなくなり、家庭で学習することを余儀なくされてしまいました。いきなり学校の外に放り出されたのです。学習を継続する方法は、オンラインしかありません。オンラインは、文字通り家庭と学校を結ぶ線、家庭が学習場所になるための窓、頼りになる命綱なのです。オンラインは、教員のように親切でもなく、気を遣ってくれるわけでもなく、さぼっていても注意してくれるわけでもありません。この休校措置は、夏休みや冬休みとは本質的に趣旨が違うことは、誰でも納得するはずですが、この緊急事態は、果たしていつまで続くのでしょうか。世界中の膨大な数の子供たちが、学校に通えなくなっています。どうすべきでしょうか。

この原稿を書いている今は4月中旬ですので、いつまで続くか予想できませんが、この事態はある意味で未来の教育の在り方を示唆しているとも言えます。学校という恵まれた環境ではなく、誰も手を貸してくれず、オンラインで教材があっても、どう取り組んだらいいのか知らなければ宝の持ちぐされになり、嫌になって遊んでいても放任され、という世界では、子供たち自身が主体的に生きないと、落ちこぼれてしまうことになります。ということは、学校中心のカリキュラムだけでなく、オンライン中心のカリキュラムが必要になってきます。オンラインの時間割が必要です。それは、とりもなおさず、未来の教育の姿とも言えるのです。いつでも、どこでも、誰でも、学習できる環境を提供して、主体的にこの世界を生きたい人材が、これからの時代に求められているからです。

もう一度申し上げますが、これからは学校中心の教育とオンライン中心の教育が共存する時代が来ると思います。その意味では、この調査報告書は貴重なデータとなるでしょう。是非、お読みください。

令和2年5月

# 目次

第Ⅰ部 調査概要編	1
調査の概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査計画	3
3. 回答状況	5
4. 調査内容	7
5. 調査結果の分析および課題	7
第Ⅱ部 教育委員会編	11
1 全国の自治体教育委員会の調査結果	12
1-0 プロフィール	12
1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	13
1-2 ハードウェアに関する項目	30
1-3 ソフトウェアに関する項目	50
1-4 保守サポートに関する項目	66
1-5 予算に関する項目	70
1-6 情報セキュリティに関する項目	76
1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目	84
第Ⅲ部 学校編	90
2 全体的傾向（小中学校別の集計）	91
2-0 回答者プロフィール	91
2-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	93
2-2 ハードウェアに関する項目	101
2-3 ソフトウェアに関する項目	110
2-4 保守サポートに関する項目	122
2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目	124
3 先進地域／一般地域別の集計比較	133
3-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	133
3-2 ハードウェアに関する項目	139
3-3 ソフトウェアに関する項目	145
3-4 保守サポートに関する項目	156
3-5 教育の情報化に対する意識に関する項目	158
あとがき	162

# 第 I 部 調査概要編

調査概要編は、今回の調査の概要について整理しまとめた要約編である。本編は、次の5つの項目で構成している。

- 1 調査目的
- 2 調査計画
- 3 回答状況
- 4 調査内容
- 5 調査結果の分析および課題

## 調査の概要

日本教育情報化振興会では、これまで20年以上にわたり、全国自治体の教育委員会および公立小中学校に対して、定期的なアンケート調査を実施してきた。主な調査内容は、ICT環境整備状況、ICT活用状況、ICT推進体制・サポート体制、ICT機器・ソフトウェアの購入予算の実態、ICT利活用に関する意識についてなど、多岐にわたっている。近年は、セキュリティに関する文部科学省からの緊急提言や、ICTの整備を必須のものとする学習指導要領の改訂など、多くの変動要因が発生しており、本調査の重要性が増している。本調査は文部科学省からのGIGAスクール構想発表前であったが、GIGAスクール構想実施後の状況と比較するには貴重な資料になるものとする。

本調査に近いものとして、文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」が、国内の全学校を対象とする悉皆調査として昭和63年以来毎年実施されている。この文部科学省による調査は、統計法に基づいた政府統計の一つとして、調査体制や調査項目の規定に従っており、信頼度も高く、経年の変化を知るうえで基本的な情報が得られる貴重なものである。当会の調査は同様の調査と思われるかもしれない。しかし、当会のアンケート調査は、文部科学省の調査対象とならないような、最新の整備動向やICT環境の活用状況に加え、学習指導要領の改訂などの教育分野の動向に柔軟に対応することを目指したものであり、独自の意義を有するものである。これまでに、当調査の報告内容が、文部科学省をはじめとする各種機関や団体の資料・文献に引用されてきた実績を持っていることから、有用であることが示されている。この調査で提供するデータは、技術の変化や教育の変化に応じた観点から、学校における教育の情報化の実態と進展状況をとらえたものであり、教育委員会等の内部で具体的な整備計画や対応策を立案するために役立てる資料としても、重要なデータとなっている。

近年、学校教員の負担の大きな要因の一つとして、学校外からの様々な調査に対応する負荷が挙げられており、働き方改革が進められている。当会としても、この点については早くから意識し、学校現場には、あくまで任意でのご協力をお願いするものである点を依頼状に明記強調するとともに、実施は2年に1回とし、調査対象もできるだけ全国的な傾向がわかるように絞り込んで行っている。また、回答フォーマットや回答の受取方法についても、できるだけ学校の負担が大きくなるように、学校の実態に則して行っている。今回の調査でも、多くの教育委員会・学校からの回答をいただけたことに、深く感謝したい。

### 1. 調査目的

本調査は、以下の3つを目的としている。

- ① 教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線での教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握すること。
- ② 調査結果を国や自治体への政策提案に反映するとともに、教育の情報化の進展に向けた提言として活用すること。
- ③ ICT環境整備に関する教育委員会の施策状況等を調査することで、当会の会員企業の教育ビジネスに役立つ情報を収集し提供すること。

## 2. 調査計画

### (1) 調査対象

全国自治体の教育委員会の情報教育担当及び全国の公立小中学校の情報担当教諭

### (2) 調査地域

全国自治体の教育委員会の情報教育及び全国の公立小中学校

### (3) 標本調査

- ① 全国市区町村の1,741自治体教育委員会すべて。(全数対象調査)
- ② 全国公立小中学校のリストから、一定規模の児童・生徒数\*を有する範囲の学校を選出。

\*小学校・中学校の調査にあたっては、学校の規模(児童・生徒数)を基準にして調査対象範囲を決定している。本調査の設問は、1学年が複数の学級から構成されるような規模の学校を想定した調査となっており、複式学級となるような小規模校は調査対象から外すことにしている。また、1学年の児童・生徒数があまりにも大きい学校についても、調査対象としてはやや特殊な状況にあることが推察される点や、回収結果が平均的な学校規模から大きく変わってしまう可能性を考慮し、対象から外すこととした。今回の調査では、小学校については児童数が80以上800未満、中学校については生徒数140以上700未満を対象とし、結果としては、小学校3,337校、中学校1,913校の合計5,250校を標本として選択した(図1)。この作業には、学校の住所と児童・生徒数が記載されている市販の住所録を使用した。なお、学校の分割・統合・廃校・新設などもあるため、得られた結果のデータは、必ずしも意図された範囲の中に納まらないものも存在した。

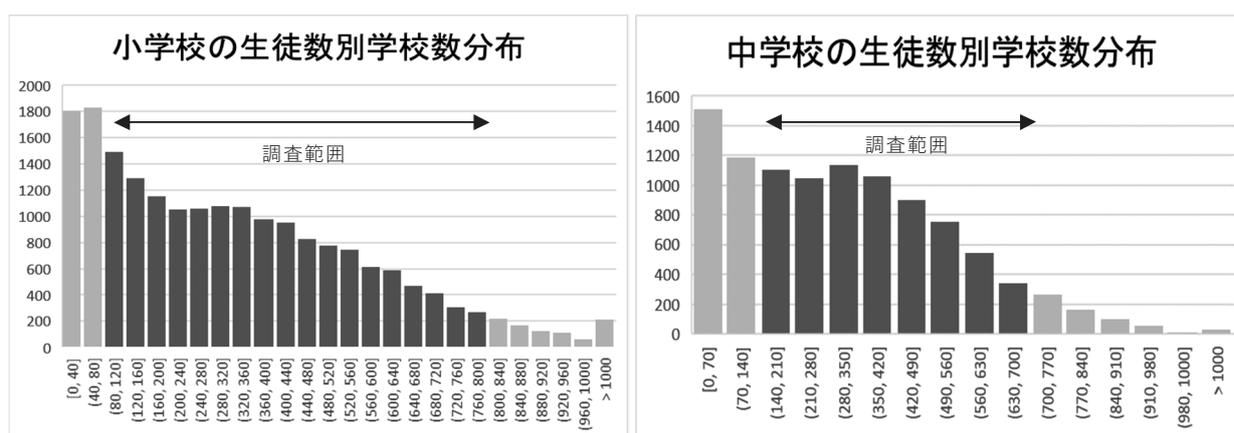


図1 全国の小学校・中学校の生徒数別の学校数分布と今回の調査範囲

### (4) 調査時期

令和1年8月～9月

## (5) 調査方法

アンケートの実施は、以下のような手順によって行った。

- ①調査対象（教育委員会・学校）への回答依頼状の送付
- ②依頼状に記載された URL からの回答用 Excel シートのダウンロード
- ③回答用 Excel シートへの回答の記入
- ④電子メールでの Excel シート返送または回答用紙の印刷と FAX 送付
- ⑤受信した回答の集計と分析

上記のうち②から④が調査対象者の作業となる。この作業は、学校および教育委員会の情報担当者を実施いただくことを想定し、極力担当される方の作業負担が大きくなるように、以下の点に留意した。

- ・質問項目を厳選し、可能な限り項目数を増やさないようにした。
- ・今回は、回答の送付方法を基本は Excel ファイルを e メールに添付し返送とした上で、前回と同様に回答を FAX で送付する方法も回答者の環境に応じて選べるようにした。このため混乱もなく回答いただけた。前回と同様に FAX で送付する回答用紙は、Excel シートから全ての回答を A 4 用紙 1 枚に集約し、印刷や送信をできるだけ簡便に完了できるよう配慮した。

アンケートに Excel シートを使用する理由は、学校や教育委員会から回答をいただくにあたっては、オフライン環境で入力や印刷、送付前・送付後の確認等ができることが望ましく、なおかつ回収後の処理を効率よく行うためである。

Excel シート上の各回答記入欄は、図 2 のように、選択肢のチェックボックスやラジオボタンをマウスで選択するだけで簡単に回答ができるようになっている。

校務データを保存するサーバの設置場所	<input type="checkbox"/> ① 学校内に設置
	<input type="checkbox"/> ② 教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置
	<input type="checkbox"/> ③ 自治体（市役所、町役場等）の情報担当部局に設置
	<input type="checkbox"/> ④ 外部のデータセンターに設置
	<input type="checkbox"/> ⑤ クラウドサービスを利用
	<input type="checkbox"/> ⑥ サーバーはない
サーバに保存される校務データは暗号化されていますか	<input type="radio"/> ① 暗号化している
	<input type="radio"/> ② 暗号化はしていない

図 2 回答入力用領域の例

これらに入力を行っていくと、あらかじめ指定された印刷領域に、入力した結果が符号化されて集約され、このページを印刷するだけで全ての入力結果の出力が完了する。アンケートの回答送信は、この 1 ページを、送付先の番号に FAX で送るだけで完了する。受信された FAX の例を図 3 に示す。

S  
送付先 F A X 番号： 03-5575-5366 2019/9/2 15:00  
日本教育情報化振興会 第12回 国内情報化調査アンケート回答

#999999 #K K K #K K K K K #K K K K K 小学校 #999-999-9999 #999-999-9999 #K K K #K K K K #600 #18 #32 #81  
#T29 #2 #T7 #1 #2 #2 #2 #2 #1 #2 #2 #1 #T2047 #T511  
#4 #3 #1 #T5 #2 #5 #2 #3 #T14 #1 #2 #1 #T256 #3 #2 #5  
#T4 #T4 #T275 #T31 #T31 #T127 #T127 #T127 #T127 #T0  
#T0 #T0 #T0 #T0 #3 #3 #3 #3 #5 #T64 #6 #T256 #T53 #3  
#T424 #T8 #T2 #T189 #1 #1 #1 #3 #3 #3 #1 #1 #1 #1 #1 #1  
#1 #2 #2 #2 #2 #2 #2

上記太枠内の欄は、ご回答をまとめたものですので、そのまま印刷してください。

T292T71222221221T2047T511431T52523T14121T256325T4T4T275T31T31T127  
T127T127T127T0T0T0T0T033335T646T256T533T424T8T2T18911133311111112  
22222

発信元 \_\_\_\_\_  
発信者 \_\_\_\_\_  
連絡先 \_\_\_\_\_

図 3 Excel から出力され FAX で受け取られたページの例

全国から FAX で受信した回答は、毎分 100 ページ以上を読み込める OCR 機能付きの高速スキャナで文字を読み取り、回答内容の復号処理を行った上で、集計を行った。

### 3. 回答状況

回答状況は、教育委員会の回答率 24.1%、学校の回答率 24.4%と、ともに回収率 24%と、良好な数値結果となった(表 1・図 4)。前回と比べ回答率が 10%程度落ちているが、時間外を使ってまでアンケート調査に協力はできないと連絡いただいた教委・学校などもあり、教員の働き方改革の影響も大きいと思われる。

表 1 過去の回答状況

		第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
		2003	2005	2007	2009	2011	2013	2015	2017	2019
教育委員会	回答数	128	246	218	176	183	146	298	614	419
	回答率	30.9%	61.5%	54.5%	44.0%	10.5%	36.5%	17.1%	35.3%	24.1%
	発信数	414	400	400	400	1,743	400	1,740	1,738	1,741
小中学校	回答数	1,535	1,375	900	860	2,988	983	780	1,815	1,281
	回答率	48.3%	34.4%	30.0%	28.7%	11.3%	23.4%	13.0%	34.6%	24.4%
	発信数	3,178	4,000	3,000	3,000	26,442	4,200	6,000	5,250	5,244

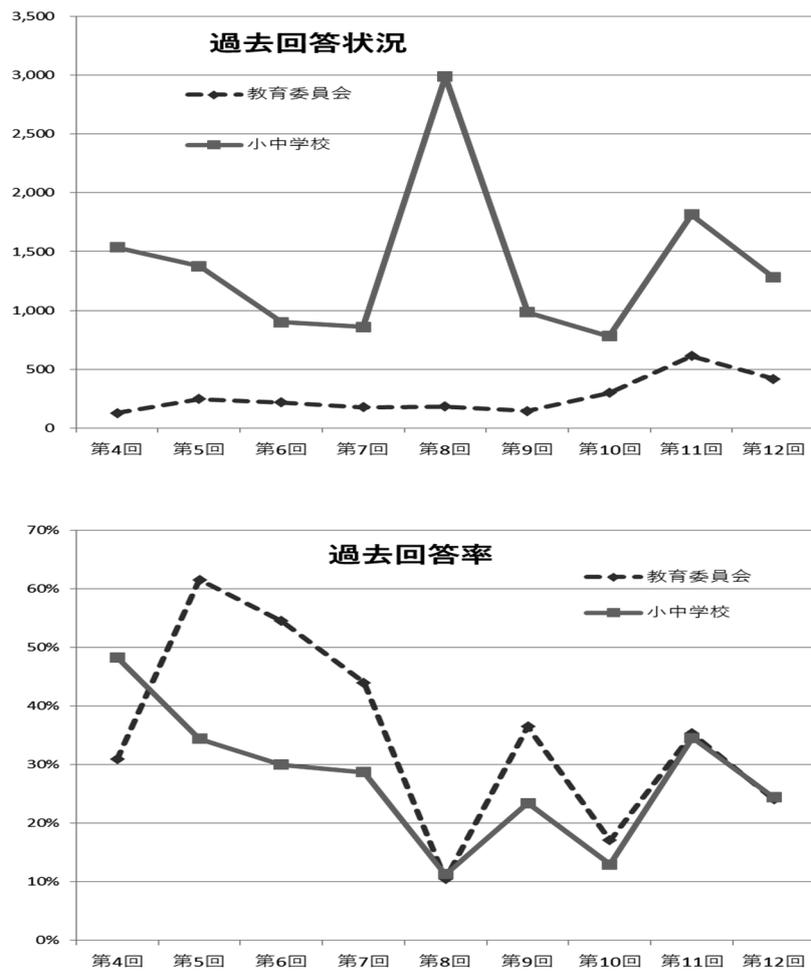


図 4 過去の回答状況・回答率

今回は「回答はeメールに添付してご送付ください。回答を用紙に印刷したものをFAXでご送付いただいても結構です。」という依頼したこともあり、eメールでの回答は88.8%でありFAXでの回答は11.2%であった。

表 2 回答の受信手段の比率

	教育委員会		学校		合計	
	受信数	比率	受信数	比率	受信数	比率
eメール	409	97.6%	1100	85.9%	1509	88.8%
FAX	10	2.4%	181	14.1%	191	11.2%
合計	419		1281		1700	

#### 4. 調査内容

今回の設問の項目数を、以下の表 3 に示す。

表 3 教育委員会および学校への調査のカテゴリ別設問項目数

(教育委員会)		(学校)	
設問カテゴリ	項目数	設問カテゴリ	項目数
回答者プロフィール	18	回答者プロフィール	12
ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	28	ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	15
ハードウェアに関する項目	30	ハードウェアに関する項目	18
ソフトウェアに関する項目	26	ソフトウェアに関する項目	24
保守サポートに関する項目	5	保守サポートに関する項目	2
予算に関する項目	6	教育の情報化に対する意識に関する項目	19
情報セキュリティに関する項目	15	合計	90
教育の情報化に対する意識に関する項目	13		
合計	141		

#### 5. 調査結果の分析および課題

##### (1) ハードウェアの整備状況

###### 【特徴】

今回の調査では、普通教室への大型提示装置の導入の進展と指導者側の ICT 環境の整備が見られた。全ての普通教室で大型提示装置を整備した教育委員会は、小学校で 50.4%、中学校で 47.5% に及んだ。教員用コンピュータの 1 人 1 台整備は小学校で 81.9%、中学校で 81.6% となったが、そのうち指導者用デジタル教科書を導入している割合は、小学校で 40.5%、中学校で 39.8% であった。一方、児童生徒用タブレット端末の整備は足踏みしている。「第 3 期教育振興基本計画」で示された、3 クラスに 1 クラス分程度以上整備が出来ている教育委員会は、小学校で 8.3%、中学校で 9.5% に留まった。GIGA スクール構想を受けての環境整備の進展が期待される。

###### 【課題】

設問から表れた課題を集約すると、

- ① コンピュータ教室の使用頻度について、1 週間に 10 時間未満の使用しかない学校は全体の回答比で 86.3% にも上ること。
- ② 7 年以上も前に導入されたコンピュータを使っているコンピュータ教室のある学校が 48.9% にも上ること。2 年前の同じ調査では 15.3% であった。
- ③ ②に関連して、コンピュータ教室のコンピュータの OS のうち、Windows 7 以前の OS が回答比で 23.5% も上ること。
- ④ 私物コンピュータの持ち込みと利用に関し、①授業で使っているが 30.8%、②校務で使っているが 18.4%、とそれぞれ少なくない数字であり、2 年前の同じ調査より増えている。

整備不足そのものに対する課題と、情報セキュリティに対する意識についての課題があると言える。

## (2) 学習用ソフトウェア・コンテンツと統合型校務支援システムの導入状況

### 【特徴】

1校当たりの学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算について、「購入できる金額はない」との回答が、特に政令市等で前回調査の16.2%から40.7%と、大幅に増加している。

統合型校務支援システムの導入について、すでに導入している自治体は全体で41.6%と、前回調査の32.7%、前々回調査の31.9%と比較して、確実に導入が進んでいる様子が伺える。

### 【課題】

ネットワークの整備とともに学習用ソフトウェア・コンテンツの充実が期待されるが、現状は十分な予算措置が取られているとは言い難い状況である。このまま整備が進まないのであれば、ICT教育の活動促進は望めない。そのためにも、必要な予算措置が望まれるところである。

政令市等での統合型校務支援システムの導入は進んでいるが、市、町・村と、自治体の規模が小さくなるにつれて導入率が低くなっている。共同調達・共同利用など、導入に向けてのさらなる取り組みが望まれる。

## (3) ネットワーク環境の整備状況

### 【特徴】

無線LANの整備状況は、全ての普通教室で使用できるとしている教育委員会は小中学校とも6割ほどであり、アクセスポイントを常設型で設置しているのは約65%である。LTEの利用はまだ全体で1割程度であるが、町・村では15%ほどの教育委員会が導入している。

学習用データを保存するサーバは全体の8割が学校内に設置されており、前回とほぼ同じ結果であったが、校務データを保存するサーバの設置場所は、自治体規模で差が出ており、政令市等では外部のデータセンターやクラウドサービスの利用が6割強となっているのに対し、町・村では1割強に留まっている。

「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則して、ネットワーク分離を既に行っている教育委員会は4割弱である。

### 【課題】

文部科学省が示した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿ったネットワーク分離はまだ進んでいない。予算が必要なことなので、計画を立てて進めることが望まれる。

校務データの保存場所に関しては、自治体規模で大きな差が出ており、町・村で65%ほどが学校内のサーバで保存している。セキュリティの観点からも外部のデータセンターやクラウドサービスの利用の検討が必要である。

無線LAN導入に関しての初期導入資料（設計資料や現地サーベイ資料、現地接続試験結果資料等のドキュメント資料）を保管している教育委員会は半数にとどいていない。ドキュメントを保存する文化や習慣が必要である。

#### (4) 保守・サポート体制

##### 【特徴】

ICT 支援員の整備に関しては、各学校に配置しているところは未だ数少なく、巡回や担当を決めて 1 人が数校を担当しているところが全体で 2 割程である。ICT 支援員を配置していない教育委員会は全体で約 6 割となっている。

ICT 支援員に期待する業務や実際に学校現場で支援を依頼している業務は、授業にかかわる技術的なサポートや活用方法のアドバイスなど授業にかかわるところが多くなっている。学校で ICT 関係についてわからないことがあった場合、大半が詳しい先生に聞くと回答しており、ICT に詳しい教員の負担になっているものと考えられる。

##### 【課題】

ネットワーク技術の高度化、セキュリティの強化、タブレット型コンピュータの普及、デジタル教材・大型提示装置の普及など学校現場をとりまく ICT 環境は年々変化しており、GIGA スクール構想でますます ICT 環境が充実することが予想される。そのような ICT 環境の保守やサポートを教員だけに求めるのは無理がある。導入業者の活用や、ICT 支援員の配備は、現場の負担軽減だけではなく、ICT 環境の活用促進につながると考えられる。導入や機器更新時の予算は確保しても、保守・サポートの予算確保は難しいようであるが、より積極的な整備が望まれる。

#### (5) 予算に関する項目

##### 【特徴】

2019 年度の教育の情報化に関する予算は全体で 5 割以上の教育委員会が「増えている」と回答している。「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」で示されたステージで、どのステージを目指しているかという設問では、Stage3 を目指している教育委員会は全体で約 4 割に留まっている。

「2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針で目標とされている水準」を現状では達成の見込みが立っていない教育委員会が全体でほぼ 9 割となっている。

##### 【課題】

ICT 環境整備に関して、国の目標を達成するのはかなり厳しい状況である。GIGA スクール構想等の国の施策に加えて、地域の事情に合わせた ICT 整備計画を立て、確実な予算化が望まれる。

#### (6) 教育委員会や学校現場の意識

##### 【特徴】

指導者用デジタル教科書の整備が必要かという設問では、教育委員会全体では「強くそう思う」「そう思う」を合わせて全体で 85%ほどとなっており、中でも政令市等では 100%に近づいている。大型提示装置の整備についても同様の結果となり、デジタル教科書・デジタル教材と大型提示装置で授業が進められることが多くなっていることが伺える。これは、学校現場も ICT 環境が整備されている学校でも同じ傾向である。校務情報や学習系情報の利活用に関してはクラウド化が全体として望まれている。また、教育委員会は首長部局の情報政策部門との連携に関して、ほとんどが必要と感じている。

学校の ICT 環境の整備で、児童・生徒が積極的に学習活動に参加するようになったかという設問に関して、9割近くが肯定的な回答であった。先進地域では、「強くそう思う」が5割近く、一般地域の2倍以上となっている。また、大型提示装置デジタル教材の導入で、より分かる授業を実施できるようになったかという設問では、先進地域の6割強が「強くそう思う」と回答しており、一般地域と顕著な差が出ている。

教育委員会では自治体規模による差、学校では小学校と中学校の温度差、先進地域と一般地域との差が明確となり興味深い結果となっている。

#### 【課題】

大型提示装置の全教室への整備や、指導者用デジタル教科書の整備、ICT 支援員の配備等、教育委員会、学校現場共に必要と考えられているが、現状の ICT 環境整備はまだそこまで進んではない。文部科学省から「平成 30 年度以降の学校における ICT 環境整備の方針について」、第 3 期教育振興基本計画に加えて GIGA スクール構想もスタートするので、より一層の ICT 環境整備とその活用が望まれる。

### (7) 学校情報セキュリティ

#### 【特徴】

文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿った調査を行った。

組織体制に関しては、情報セキュリティ委員会などを設置している自治体が全体の約半数となっている。セキュリティポリシーの中で、文部科学省のセキュリティガイドラインに準じた情報資産の分類を行うよう規定している自治体は、政令市等で約 6 割、市で約 4 割、町・村で約 2 割となっており、自治体規模によって顕著な差がある。

#### 【課題】

文部科学省のセキュリティガイドラインで示されている対策が必ずしも進んでいるとは言えない。組織体制、規定・ルール、人的・技術的対策等、いずれにおいても自治体規模によって対応状況に差があり、規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ対策を実施している傾向が見られる。特に町・村等の小規模自治体では対応が遅れており、早急な対応のための予算補助や支援が必要と思われる。

## 第Ⅱ部 教育委員会編

教育委員会編は、全国の教育委員会に対して調査を行い、得られた結果を自治体（市区町村）の規模別に集計し、掲載している。本編は、以下の7つの節からなる。

- 1-0 プロフィール
- 1-1 ネットワーク及びICT環境整備に関する項目
- 1-2 ハードウェアに関する項目
- 1-3 ソフトウェアに関する項目
- 1-4 保守・サポートに関する項目
- 1-5 予算に関する項目
- 1-6 情報セキュリティに関する項目
- 1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

## 1 全国の自治体教育委員会の調査結果

### 1-0 プロフィール

教育委員会を対象とする調査は、1,741の自治体教育委員会に依頼を発信し、419(24.1%)の教育委員会から回答が得られた。以下に、回答が得られた教育委員会の内訳を、自治体規模別に示す。また、各教育委員会の所管の小学校・中学校の平均校数も自治体規模別に示す。

	自治体数	比率	平均 小学校数	平均 中学校数
政令市	7	1.7%	135.0	66.0
中核市	18	4.3%	45.4	20.8
特別区	2	0.5%	43.0	20.0
市	197	47.0%	14.8	7.1
町	159	37.9%	3.8	1.9
村	36	8.6%	1.4	1.0
合計	419	100.0%	12.9	6.2

以下の2つの表は、回答が得られた教育委員会の所管の学校数の分布を示したものである。

小学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率								
～3校									81	50.9%	34	94.4%	115	27.4%
4校～10校							79	40.1%	77	48.4%	2	5.6%	158	37.7%
11校～20校							80	40.6%	1	0.6%			81	19.3%
21校～30校			2	11.1%	1	50.0%	29	14.7%					32	7.6%
31校～80校			16	88.9%	1	50.0%	9	4.6%					26	6.2%
81校～160校	5	71.4%											5	1.2%
161校～	2	28.6%											2	0.5%
総計	7	100.0%	18	100.0%	2	100.0%	197	100.0%	159	100.0%	36	100.0%	419	100.0%

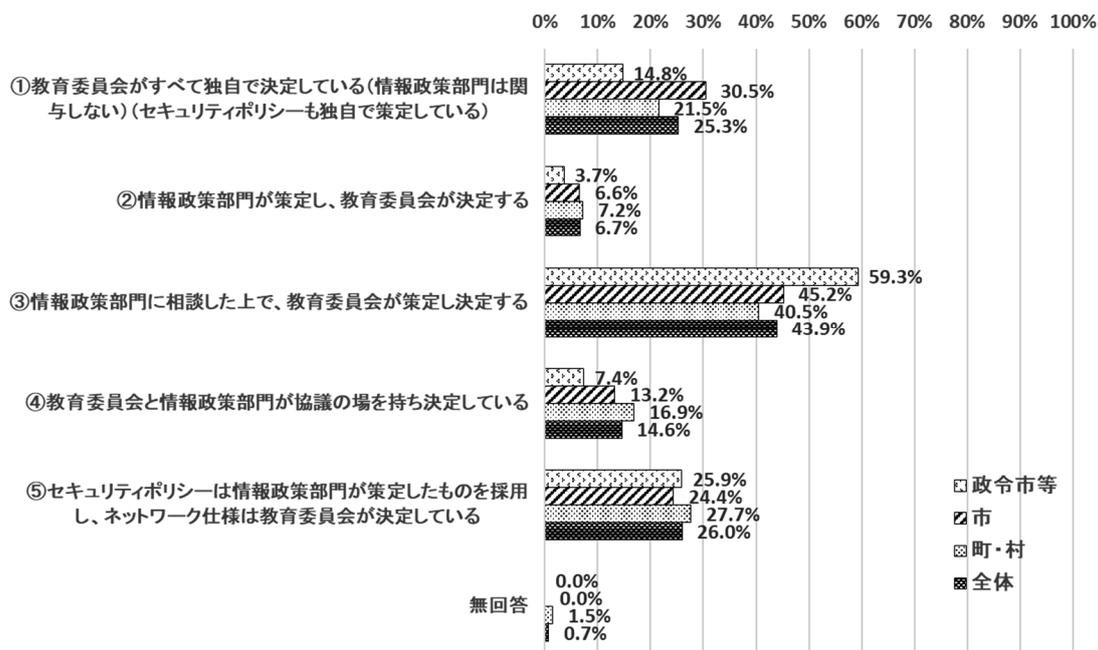
中学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率								
～3校							33	16.8%	144	90.6%	36	100.0%	213	50.8%
4校～10校					1	50.0%	129	65.5%	15	9.4%			145	34.6%
11校～20校			8	44.4%			34	17.3%					42	10.0%
21校～30校			9	50.0%	1	50.0%	1	0.5%					11	2.6%
31校～80校	5	71.4%	1	5.6%									6	1.4%
81校～160校	2	28.6%											2	0.5%
総計	7	100.0%	18	100.0%	2	100.0%	197	100.0%	159	100.0%	36	100.0%	419	100.0%

本報告書の次頁以降における集計では、上記の政令市・中核市・特別区を合わせて「政令市等」とし、また町と村を合わせて「町・村」とした。

## 1-1 ネットワーク及びICT環境整備に関する項目

## 1-1-01 学校のネットワーク仕様およびセキュリティ運用に関してどのように決定していますか。(いくつかでも)

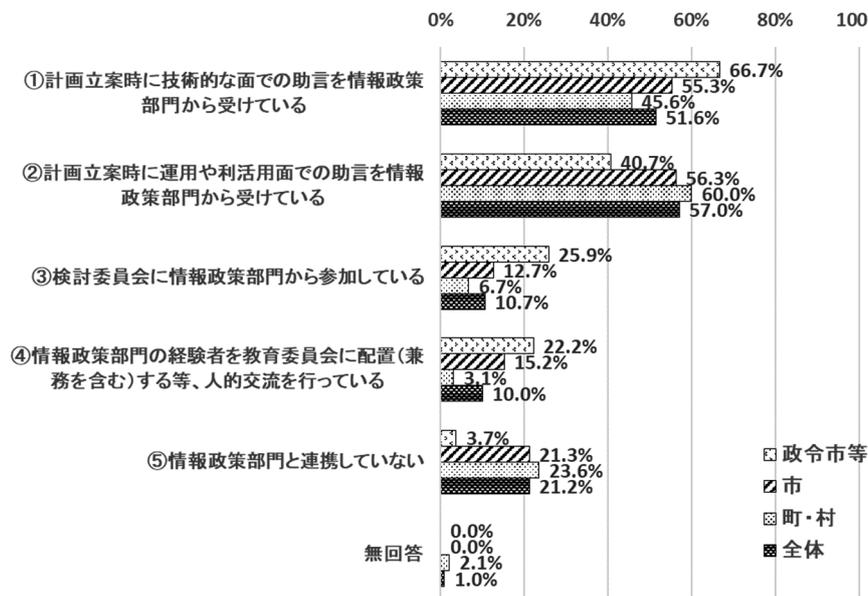
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会がすべて独自で決定している(情報政策部門は関与しない)(セキュリティポリシーも独自で策定している)	4	14.8%	60	30.5%	42	21.5%	106	25.3%
②情報政策部門が策定し、教育委員会が決定する	1	3.7%	13	6.6%	14	7.2%	28	6.7%
③情報政策部門に相談した上で、教育委員会が策定し決定する	16	59.3%	89	45.2%	79	40.5%	184	43.9%
④教育委員会と情報政策部門が協議の場を持ち決定している	2	7.4%	26	13.2%	33	16.9%	61	14.6%
⑤セキュリティポリシーは情報政策部門が策定したものを採用し、ネットワーク仕様は教育委員会が決定している	7	25.9%	48	24.4%	54	27.7%	109	26.0%
無回答					3	1.5%	3	0.7%
回答数合計	30	111.1%	236	119.8%	225	115.4%	491	117.2%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「③情報政策部門に相談した上で、教育委員会が策定し決定する」が最も多く、全体で43.9%となっている。特に政令市等では59.3%となっている。「⑤セキュリティポリシーは情報政策部門が策定したものを採用し、ネットワーク仕様は教育委員会が決定している」は、自治体規模で大きな差はなく25%前後となっている。

1-1-02(1) 情報政策部門と教育委員会はどのように連携していますか。(いくつでも)

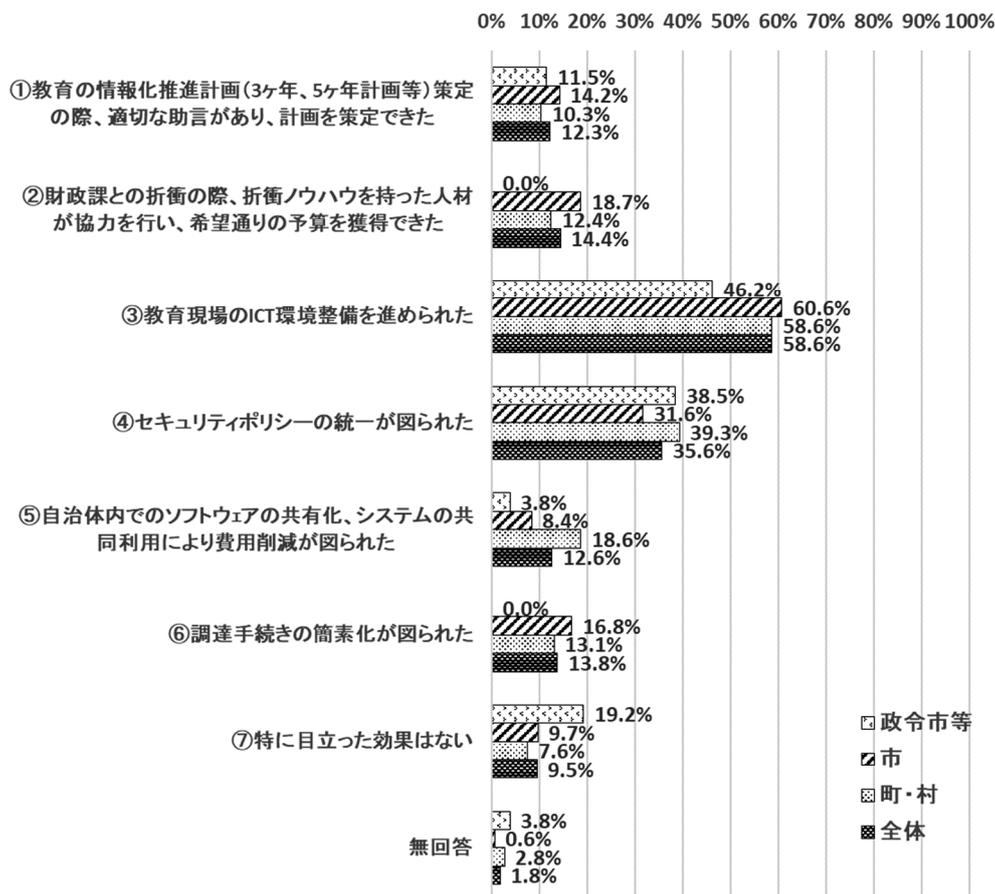
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①計画立案時に技術的な面での助言を情報政策部門から受けている	18	66.7%	109	55.3%	89	45.6%	216	51.6%
②計画立案時に運用や利活用面での助言を情報政策部門から受けている	11	40.7%	111	56.3%	117	60.0%	239	57.0%
③検討委員会に情報政策部門から参加している	7	25.9%	25	12.7%	13	6.7%	45	10.7%
④情報政策部門の経験者を教育委員会に配置(兼務を含む)する等、人的交流を行っている	6	22.2%	30	15.2%	6	3.1%	42	10.0%
⑤情報政策部門と連携していない	1	3.7%	42	21.3%	46	23.6%	89	21.2%
無回答					4	2.1%	4	1.0%
回答数合計	43	159.3%	317	160.9%	275	141.0%	635	151.6%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「①計画立案時に技術的な面での助言を情報政策部門から受けている」と「②計画立案時に運用や利活用面での助言を情報政策部門から受けている」の二つが全体で50%を超えている。「④情報政策部門の経験者を教育委員会に配置(兼務を含む)する等、人的交流を行っている」は、町・村では3.1%と、ほとんど行われておらず、政令市等でも22.2%に留まっている。「⑤情報政策部門と連携していない」が全体で21.2%もあるのは問題である。

1-1-02(2) 前問で①～④と回答された方に伺います。情報政策部門が参画したことによりどのような効果がありましたか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育の情報化推進計画(3ヶ年、5ヶ年計画等)策定の際、適切な助言があり、計画を策定できた	3	11.5%	22	14.2%	15	10.3%	40	12.3%
②財政課との折衝の際、折衝ノウハウを持った人材が協力を行い、希望通りの予算を獲得できた			29	18.7%	18	12.4%	47	14.4%
③教育現場のICT環境整備を進められた	12	46.2%	94	60.6%	85	58.6%	191	58.6%
④セキュリティポリシーの統一が図られた	10	38.5%	49	31.6%	57	39.3%	116	35.6%
⑤自治体内でのソフトウェアの共有化、システムの共同利用により費用削減が図られた	1	3.8%	13	8.4%	27	18.6%	41	12.6%
⑥調達手続きの簡素化が図られた			26	16.8%	19	13.1%	45	13.8%
⑦特に目立った効果はない	5	19.2%	15	9.7%	11	7.6%	31	9.5%
無回答	1	3.8%	1	0.6%	4	2.8%	6	1.8%
回答数合計	32	123.1%	249	160.6%	236	162.8%	517	158.6%
回答者数(母数)	26		155		145		326	

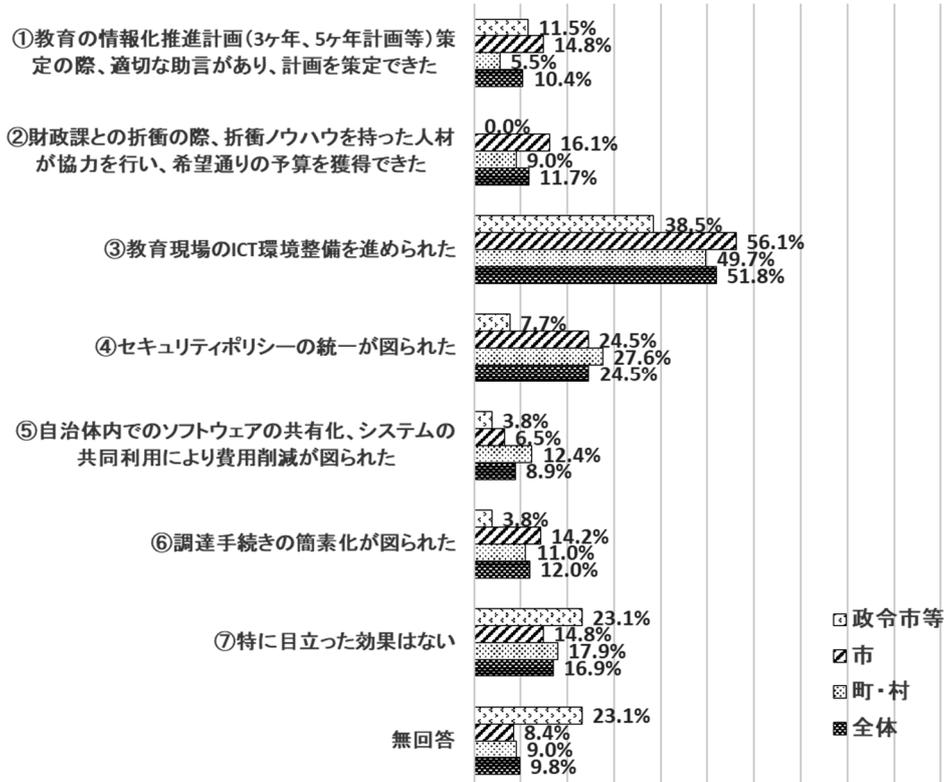


※「③教育現場のICT環境整備を進められた」が最も多く、全体で58.6%となっている。続いて「④セキュリティポリシーの統一が図られた」が全体で35.6%となっている。

1-1-02(3) 人的交流など、情報政策部門が参画したことによりどのような効果がありましたか。(いくつかでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育の情報化推進計画(3ヶ年、5ヶ年計画等)策定の際、適切な助言があり、計画を策定できた	3	11.5%	23	14.8%	8	5.5%	34	10.4%
②財政課との折衝の際、折衝ノウハウを持った人材が協力をを行い、希望通りの予算を獲得できた			25	16.1%	13	9.0%	38	11.7%
③教育現場のICT環境整備を進められた	10	38.5%	87	56.1%	72	49.7%	169	51.8%
④セキュリティポリシーの統一が図られた	2	7.7%	38	24.5%	40	27.6%	80	24.5%
⑤自治体内でのソフトウェアの共有化、システムの共同利用により費用削減が図られた	1	3.8%	10	6.5%	18	12.4%	29	8.9%
⑥調達手続きの簡素化が図られた	1	3.8%	22	14.2%	16	11.0%	39	12.0%
⑦特に目立った効果はない	6	23.1%	23	14.8%	26	17.9%	55	16.9%
無回答	6	23.1%	13	8.4%	13	9.0%	32	9.8%
回答数合計	29	111.5%	241	155.5%	206	142.1%	476	146.0%
回答者数(母数)	26		155		145		326	

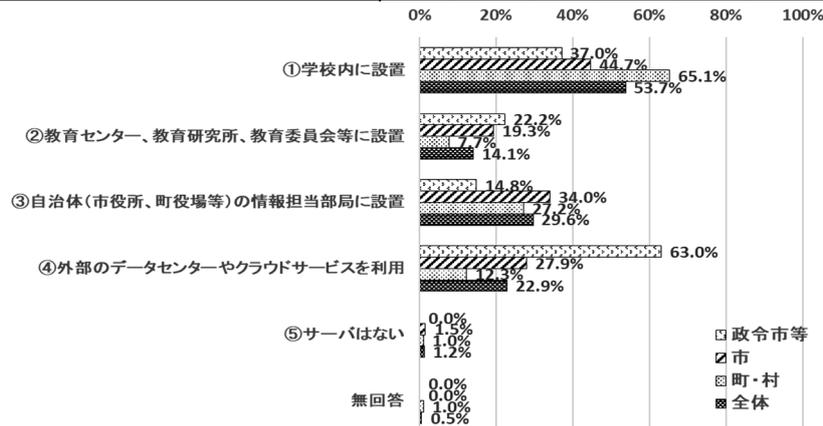
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※「③教育現場の ICT 環境整備を進められた」が自治体規模に関わらず最も多く、全体で 51.8% となっており、市では 56.1% となっている。

## 1-1-03(1) 校務データを保存するサーバの設置場所について伺います。(いくつでも)

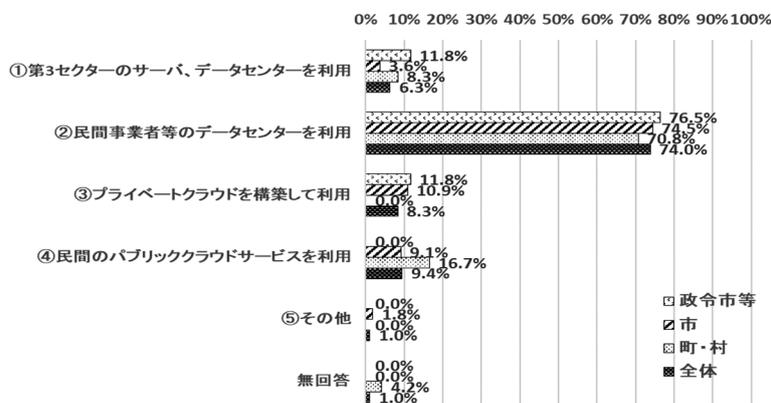
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	10	37.0%	88	44.7%	127	65.1%	225	53.7%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	6	22.2%	38	19.3%	15	7.7%	59	14.1%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置	4	14.8%	67	34.0%	53	27.2%	124	29.6%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	17	63.0%	55	27.9%	24	12.3%	96	22.9%
⑤サーバはない			3	1.5%	2	1.0%	5	1.2%
無回答					2	1.0%	2	0.5%
回答数合計	37	137.0%	251	127.4%	223	114.4%	511	122.0%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※自治体規模で大きな差が出ている。政令市等では「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」が63.0%となっている。町・村では「①学校内に設置」が65.1%と高く、セキュリティ上不安がある。

## 1-1-03(2) 前問で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

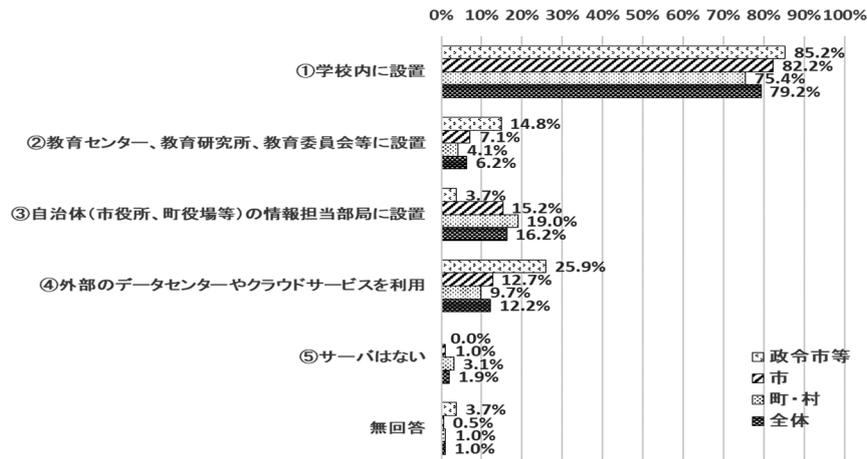
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用	2	11.8%	2	3.6%	2	8.3%	6	6.3%
②民間事業者等のデータセンターを利用	13	76.5%	41	74.5%	17	70.8%	71	74.0%
③プライベートクラウドを構築して利用	2	11.8%	6	10.9%			8	8.3%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用			5	9.1%	4	16.7%	9	9.4%
⑤その他			1	1.8%			1	1.0%
無回答					1	4.2%	1	1.0%
回答者数(母数)	17	100.0%	55	100.0%	24	100.0%	96	100.0%



※「②民間事業者等のデータセンターを利用」が全体で74.0%と高く、自治体規模での差はない。町・村では、「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」が16.7%と他より高くなっている。

1-1-03(3) 学習用データを保存するサーバはどこに設置していますか。(いくつでも)

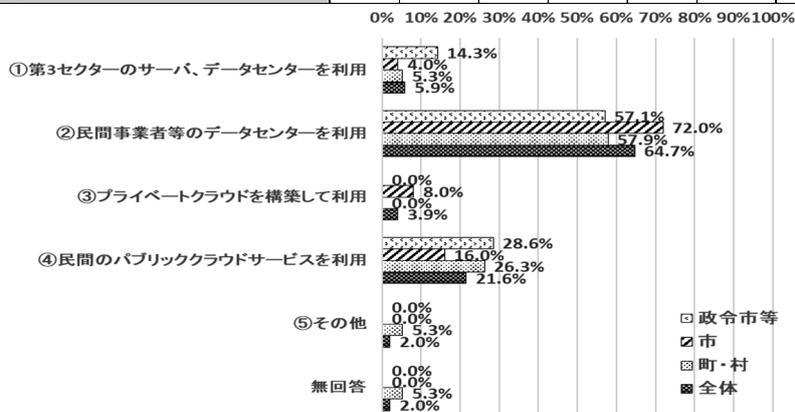
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	23	85.2%	162	82.2%	147	75.4%	332	79.2%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	4	14.8%	14	7.1%	8	4.1%	26	6.2%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置	1	3.7%	30	15.2%	37	19.0%	68	16.2%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	7	25.9%	25	12.7%	19	9.7%	51	12.2%
⑤サーバはない			2	1.0%	6	3.1%	8	1.9%
無回答	1	3.7%	1	0.5%	2	1.0%	4	1.0%
回答数合計	36	133.3%	234	118.8%	219	112.3%	489	116.7%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※自治体規模にかかわらず「①学校内に設置」が最も多く、全体で79.2%である。政令市等では「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」が25.9%となっている。

1-1-03(4) 前問で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

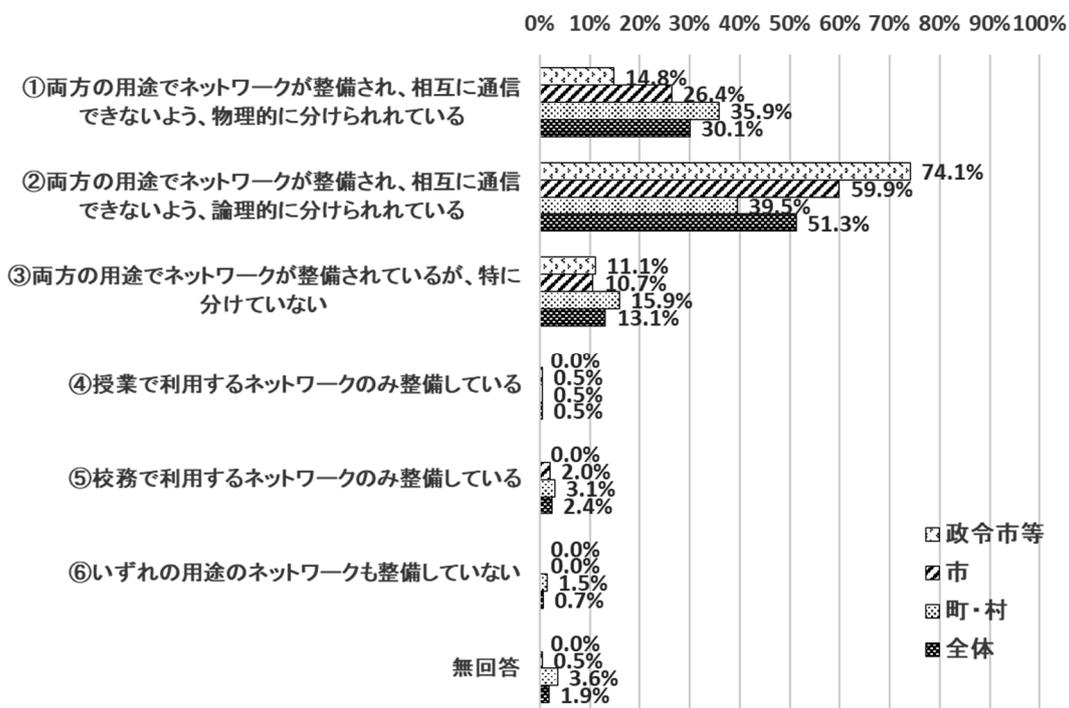
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用	1	14.3%	1	4.0%	1	5.3%	3	5.9%
②民間事業者等のデータセンターを利用	4	57.1%	18	72.0%	11	57.9%	33	64.7%
③プライベートクラウドを構築して利用			2	8.0%			2	3.9%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用	2	28.6%	4	16.0%	5	26.3%	11	21.6%
⑤その他					1	5.3%	1	2.0%
無回答					1	5.3%	1	2.0%
回答者数(母数)	7	100.0%	25	100.0%	19	100.0%	51	100.0%



※「②民間事業者等のデータセンターを利用」が最も多く全体で64.7%となっており、中でも市は72.0%に上っている。「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」は、政令市等で28.6%、町・村で26.3%となっている。

1-1-04(1) 学校で利用する用途別（授業利用と校務利用）のネットワークの整備状況についてあてはまるものを一つ選択してください。

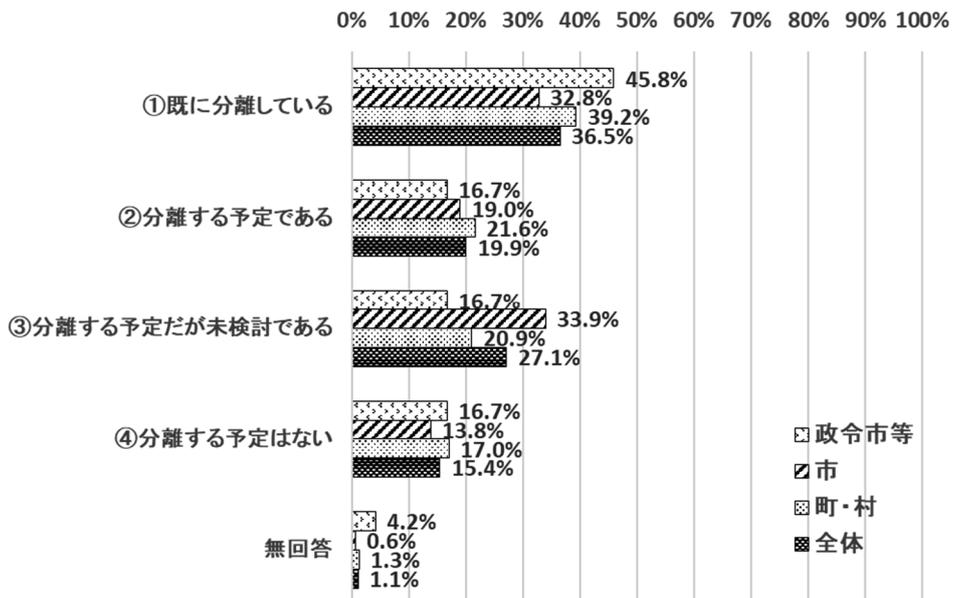
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、物理的に分けられている	4	14.8%	52	26.4%	70	35.9%	126	30.1%
②両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、論理的に分けられている	20	74.1%	118	59.9%	77	39.5%	215	51.3%
③両方の用途でネットワークが整備されているが、特に分けていない	3	11.1%	21	10.7%	31	15.9%	55	13.1%
④授業で利用するネットワークのみ整備している			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
⑤校務で利用するネットワークのみ整備している			4	2.0%	6	3.1%	10	2.4%
⑥いずれの用途のネットワークも整備していない					3	1.5%	3	0.7%
無回答			1	0.5%	7	3.6%	8	1.9%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「②両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、論理的に分けられている」が最も多く、全体で51.3%であり、政令市等は74.1%、市は59.9%となっている。「①両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、物理的に分けられている」は、町・村が35.9%と高くなっている。概ねセキュリティは確保できているが、「③両方の用途でネットワークが整備されているが、特に分けていない」が全体でまだ13.1%あり、早急な対策が望まれる。

1-1-04(2) 前問で①②⑤を選択された方に伺います。校務利用ネットワークを、機微な個人情報を取り扱う校務系ネットワークと、授業準備や外部メール等の校務外部接続系ネットワークに分離していますか。

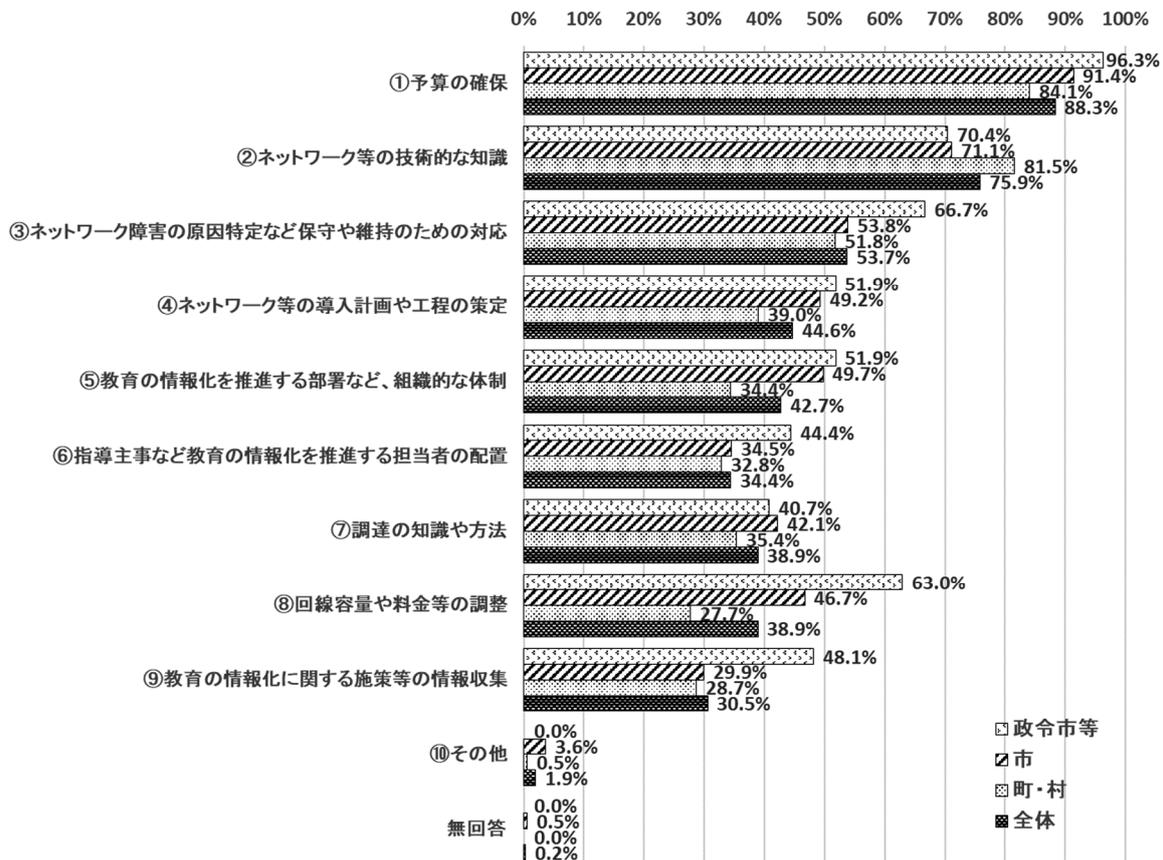
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に分離している	11	45.8%	57	32.8%	60	39.2%	128	36.5%
②分離する予定である	4	16.7%	33	19.0%	33	21.6%	70	19.9%
③分離する予定だが未検討である	4	16.7%	59	33.9%	32	20.9%	95	27.1%
④分離する予定はない	4	16.7%	24	13.8%	26	17.0%	54	15.4%
無回答	1	4.2%	1	0.6%	2	1.3%	4	1.1%
回答者数(母数)	24	100.0%	174	100.0%	153	100.0%	351	100.0%



※「①既に分離している」は、政令市等で45.8%となっているものの、全体で36.5%に留まっている。「④分離する予定はない」が全体で15.4%あり、何らかの対策が望まれる。

1-1-04(3) ネットワークの整備にあたり課題と感じた点についてあてはまるものをすべて選択してください。(いくつでも)

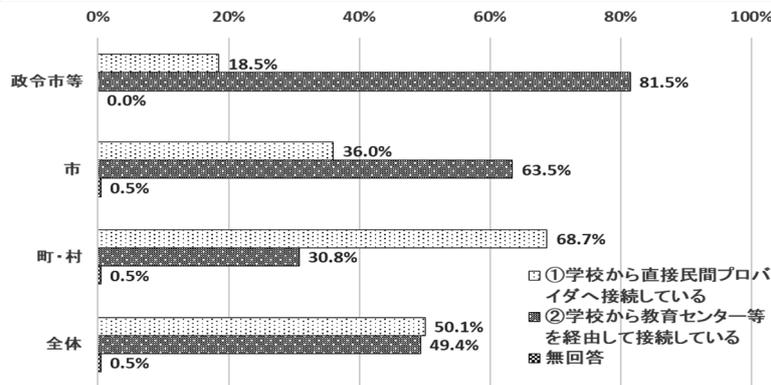
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①予算の確保	26	96.3%	180	91.4%	164	84.1%	370	88.3%
②ネットワーク等の技術的な知識	19	70.4%	140	71.1%	159	81.5%	318	75.9%
③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応	18	66.7%	106	53.8%	101	51.8%	225	53.7%
④ネットワーク等の導入計画や工程の策定	14	51.9%	97	49.2%	76	39.0%	187	44.6%
⑤教育の情報化を推進する部署など、組織的な体制	14	51.9%	98	49.7%	67	34.4%	179	42.7%
⑥指導主事など教育の情報化を推進する担当者の配置	12	44.4%	68	34.5%	64	32.8%	144	34.4%
⑦調達の知識や方法	11	40.7%	83	42.1%	69	35.4%	163	38.9%
⑧回線容量や料金等の調整	17	63.0%	92	46.7%	54	27.7%	163	38.9%
⑨教育の情報化に関する施策等の情報収集	13	48.1%	59	29.9%	56	28.7%	128	30.5%
⑩その他			7	3.6%	1	0.5%	8	1.9%
無回答			1	0.5%			1	0.2%
回答数合計	144	533.3%	931	472.6%	811	415.9%	1,886	450.1%
回答者数(母数)			197		195		419	



※「①予算の確保」が最も多く、全体で88.3%、ついで「②ネットワーク等の技術的な知識」が、全体で75.9%となっている。特長的なのは政令市等で「⑧回線容量や料金等の調整」が63.0%と高くなっている。表の回答数の合計を見ると、回答比が政令市等533.3%、市472.6%、町・村415.9%であり、課題としている点が多くなることがわかる。

1-1-05(1) 学校が授業で利用するインターネットの接続についてあてはまるものを一つ選択してください。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校から直接民間プロバイダへ接続している	5	18.5%	71	36.0%	134	68.7%	210	50.1%
②学校から教育センター等を経由して接続している	22	81.5%	125	63.5%	60	30.8%	207	49.4%
無回答			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



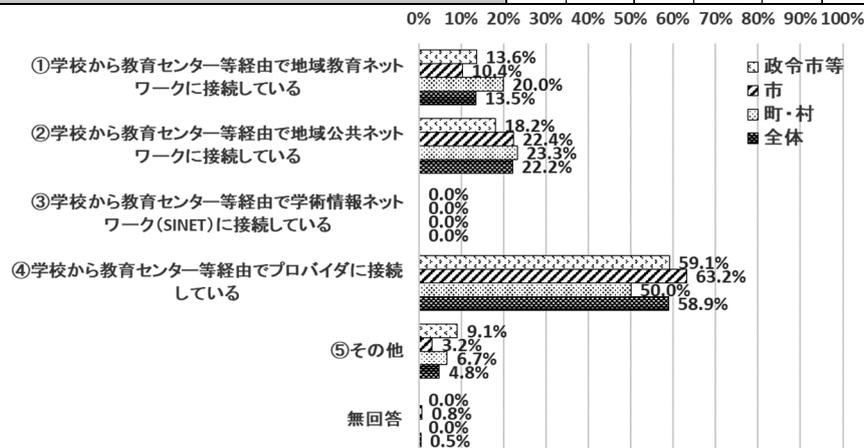
※自治体規模により大きな違いが出ている。「②学校から教育センター等を経由して接続している」は、政令市等が81.5%、市が63.5%となっているが、町・村は30.8%である。町・村は「①学校から直接民間プロバイダへ接続している」が68.7%となっている。

1-1-05(2) 前問で②を選択された方に伺います。

※学術情報ネットワーク (SINET) とは日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所 (NII) が構築運用しているネットワークのこと。

<https://www.sinet.ad.jp/>

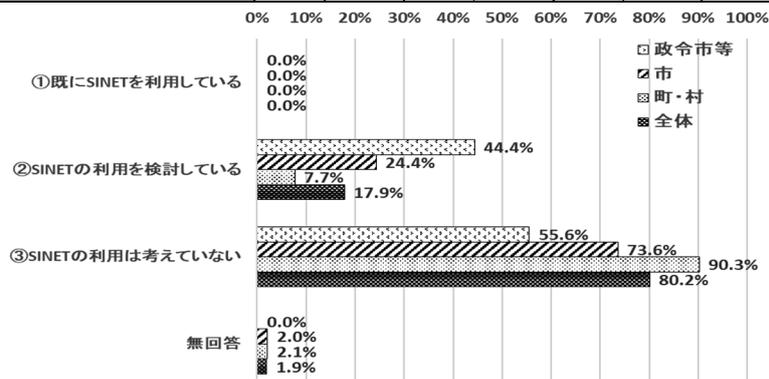
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校から教育センター等経由で地域教育ネットワークに接続している	3	13.6%	13	10.4%	12	20.0%	28	13.5%
②学校から教育センター等経由で地域公共ネットワークに接続している	4	18.2%	28	22.4%	14	23.3%	46	22.2%
③学校から教育センター等経由で学術情報ネットワーク(SINET)に接続している								
④学校から教育センター等経由でプロバイダに接続している	13	59.1%	79	63.2%	30	50.0%	122	58.9%
⑤その他	2	9.1%	4	3.2%	4	6.7%	10	4.8%
無回答			1	0.8%			1	0.5%
回答者数(母数)	22	100.0%	125	100.0%	60	100.0%	207	100.0%



※「④学校から教育センター等経由でプロバイダに接続している」が最も多く、全体で58.9%となっている。ついで「②学校から教育センター等経由で地域公共ネットワークに接続している」が全体で22.2%となっている。

1-1-05(3) 学校で利用する用途別（授業利用と校務利用）のネットワークに関して、SINET（学術情報ネットワーク）の利用に関して伺います。

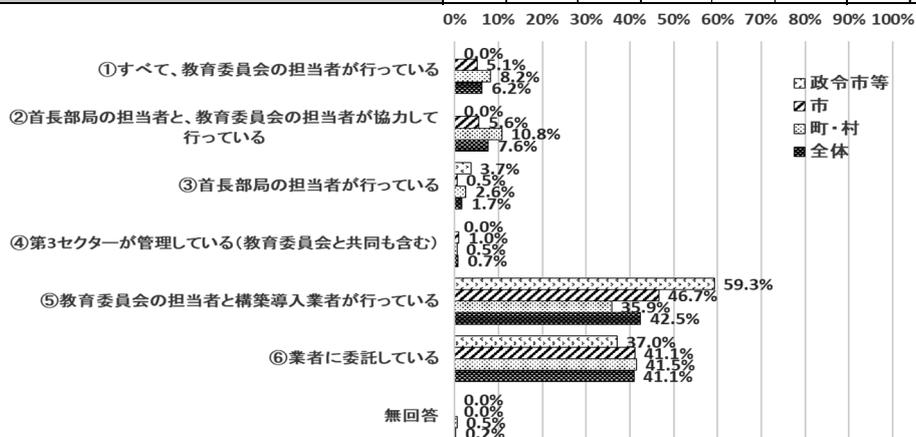
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既にSINETを利用している								
②SINETの利用を検討している	12	44.4%	48	24.4%	15	7.7%	75	17.9%
③SINETの利用は考えていない	15	55.6%	145	73.6%	176	90.3%	336	80.2%
無回答			4	2.0%	4	2.1%	8	1.9%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「③SINETの利用は考えていない」が全体で80.2%である。政令市等では「②SINETの利用を検討している」が44.4%となっている。

1-1-06(1) 校務用ネットワークの整備にあたり、サーバや機器の運用・保守は、どなたが行っていますか。

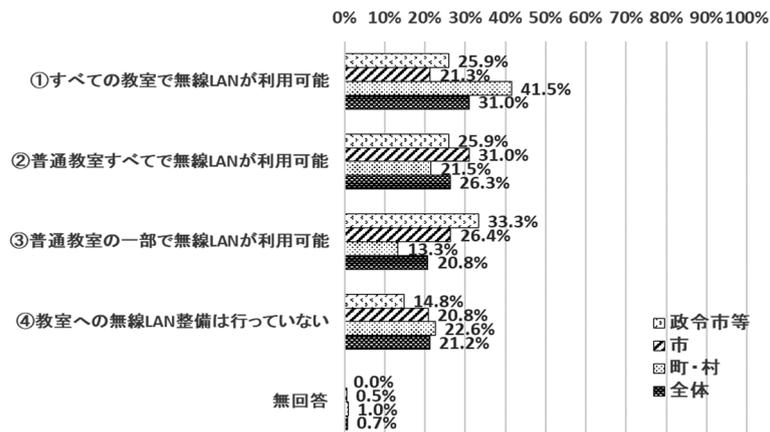
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべて、教育委員会の担当者が行っている			10	5.1%	16	8.2%	26	6.2%
②首長部局の担当者と、教育委員会の担当者が協力して行っている			11	5.6%	21	10.8%	32	7.6%
③首長部局の担当者が行っている	1	3.7%	1	0.5%	5	2.6%	7	1.7%
④第3セクターが管理している(教育委員会と共同も含む)			2	1.0%	1	0.5%	3	0.7%
⑤教育委員会の担当者と構築導入業者が行っている	16	59.3%	92	46.7%	70	35.9%	178	42.5%
⑥業者に委託している	10	37.0%	81	41.1%	81	41.5%	172	41.1%
無回答					1	0.5%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「⑤教育委員会の担当者と構築導入業者が行っている」が、全体で42.5%となっており、中でも政令市等では59.3%である。「⑥業者に委託している」は自治体規模に大きな差はなく、全体で41.1%となっている。しかしながら、「①すべて、教育委員会の担当者が行っている」は、市で5.1%、町・村で8.2%あり、早急な対策が望まれる。

1-1-07(1) 小学校の無線 LAN 整備について伺います。

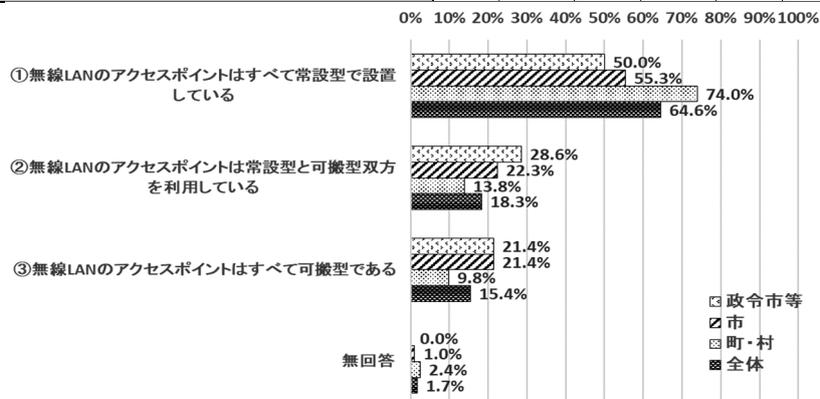
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教室で無線LANが利用可能	7	25.9%	42	21.3%	81	41.5%	130	31.0%
②普通教室すべてで無線LANが利用可能	7	25.9%	61	31.0%	42	21.5%	110	26.3%
③普通教室の一部で無線LANが利用可能	9	33.3%	52	26.4%	26	13.3%	87	20.8%
④教室への無線LAN整備は行っていない	4	14.8%	41	20.8%	44	22.6%	89	21.2%
無回答			1	0.5%	2	1.0%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」は政令市等が 25.9%、町・村が 41.5%、全体で 31.0%となっている。「②普通教室すべてで無線 LAN が利用可能」は、政令市等で 25.9%、市で 31.0%、全体で 26.3%となっている。①と②を合わせた普通教室では無線 LAN が利用可能は、全体で 57.3%となり無線 LAN の整備は進んでいる。しかしながら、「④教室への無線 LAN 整備は行っていない」が全体で 21.2%あり、自治体間で格差が広がっている。

1-1-07(2) 前問で①もしくは②を選択された方に伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①無線LANのアクセスポイントはすべて常設型で設置している	7	50.0%	57	55.3%	91	74.0%	155	64.6%
②無線LANのアクセスポイントは常設型と可搬型双方を利用している	4	28.6%	23	22.3%	17	13.8%	44	18.3%
③無線LANのアクセスポイントはすべて可搬型である	3	21.4%	22	21.4%	12	9.8%	37	15.4%
無回答			1	1.0%	3	2.4%	4	1.7%
回答者数(母数)	14	100.0%	103	100.0%	123	100.0%	240	100.0%

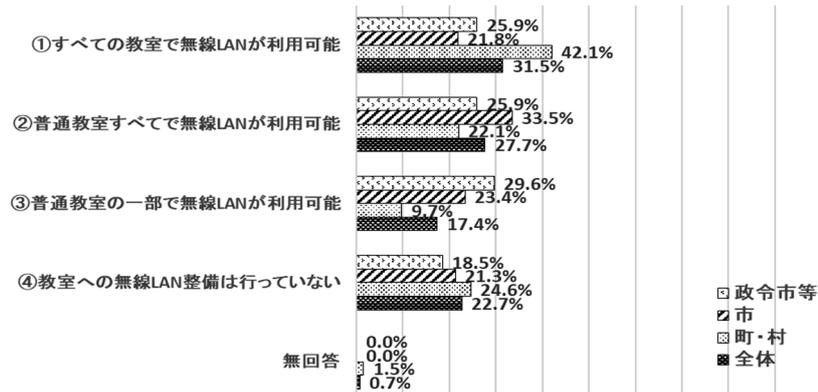


※「①無線 LAN のアクセスポイントはすべて常設型で設置している」が最も多く、全体で 64.6%、町・村は 74.0%となっている。「③無線 LAN のアクセスポイントはすべて可搬型である」は政令市等、市は 21.4%、全体で 15.4%である。アクセスポイントは常設型が望ましいので、更なる整備が望まれる。

## 1-1-07(3) 中学校の無線 LAN 整備について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教室で無線LANが利用可能	7	25.9%	43	21.8%	82	42.1%	132	31.5%
②普通教室すべてで無線LANが利用可能	7	25.9%	66	33.5%	43	22.1%	116	27.7%
③普通教室の一部で無線LANが利用可能	8	29.6%	46	23.4%	19	9.7%	73	17.4%
④教室への無線LAN整備は行っていない	5	18.5%	42	21.3%	48	24.6%	95	22.7%
無回答					3	1.5%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

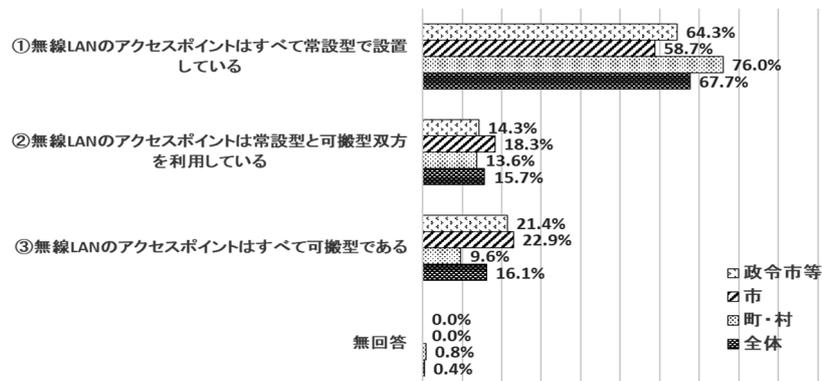


※1-1-07(1)小学校とほぼ同じ整備状況となっている。「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」は政令市等が 25.9%、町・村が 42.1%、全体で 31.5%となっている。「②普通教室すべてで無線 LAN が利用可能」は、政令市等で 25.9%、市で 33.5%、全体で 27.7%となっている。①と②を合わせた普通教室で無線 LAN が利用可能は、全体で 59.2%となり無線 LAN の整備は進んでいる。しかしながら、「④教室への無線 LAN 整備は行っていない」が全体で 22.7%あり、自治体間で格差が広がっている。

## 1-1-07(4) 前問で①もしくは②を選択された方に伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①無線LANのアクセスポイントはすべて常設型で設置している	9	64.3%	64	58.7%	95	76.0%	168	67.7%
②無線LANのアクセスポイントは常設型と可搬型双方を利用している	2	14.3%	20	18.3%	17	13.6%	39	15.7%
③無線LANのアクセスポイントはすべて可搬型である	3	21.4%	25	22.9%	12	9.6%	40	16.1%
無回答					1	0.8%	1	0.4%
回答者数(母数)	14	100.0%	109	100.0%	125	100.0%	248	100.0%

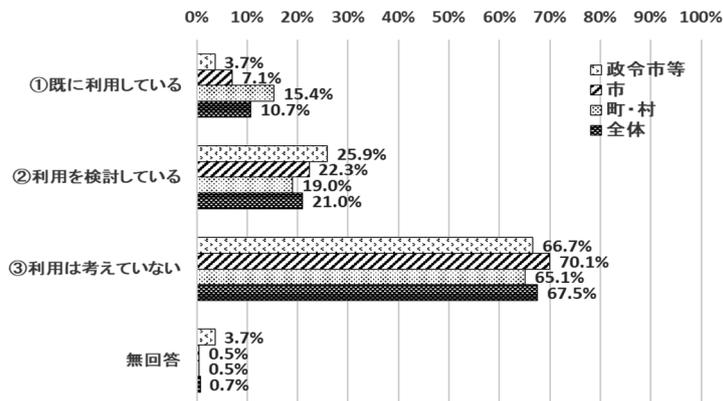
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※「①無線 LAN のアクセスポイントはすべて常設型で設置している」は全体で 67.7%、「③無線 LAN のアクセスポイントはすべて可搬型である」は全体で 16.1%となっており、1-1-07(2)小学校とほぼ同じ内容である。

1-1-08 LTE（スマートフォンやタブレット型コンピュータ等のモバイルデバイスに限定された通信回線規格）の利用に関して伺います。

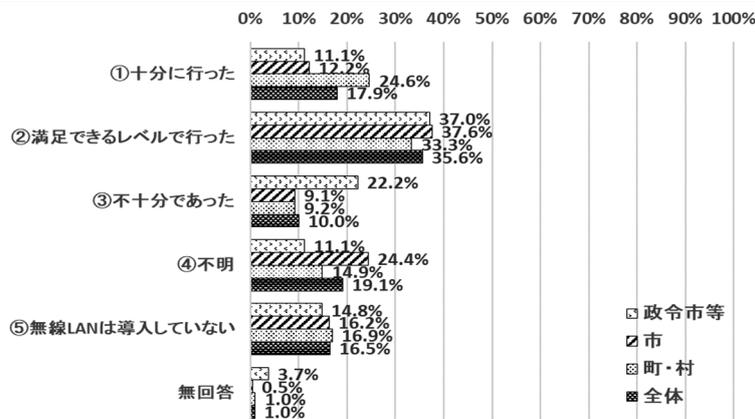
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に利用している	1	3.7%	14	7.1%	30	15.4%	45	10.7%
②利用を検討している	7	25.9%	44	22.3%	37	19.0%	88	21.0%
③利用は考えていない	18	66.7%	138	70.1%	127	65.1%	283	67.5%
無回答	1	3.7%	1	0.5%	1	0.5%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「③利用は考えていない」が自治体規模にかかわらず最も多く、全体で67.5%となっている。「①既に利用している」は全体で10.7%に留まっている。その中で、町・村は15.4%が既に利用していると回答している。

1-1-09(1) 無線LANは、十分に設計および現地調査（現地サーベイ）をしてから導入したと思いますか。あてはまるものを一つ選択してください。

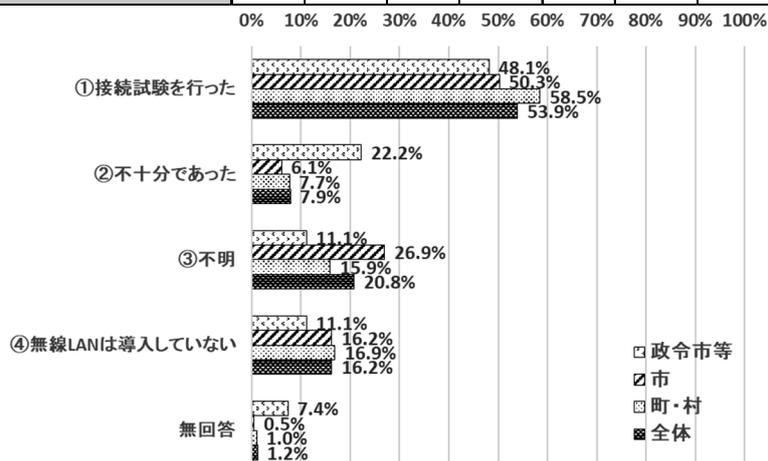
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	3	11.1%	24	12.2%	48	24.6%	75	17.9%
②満足できるレベルで行った	10	37.0%	74	37.6%	65	33.3%	149	35.6%
③不十分であった	6	22.2%	18	9.1%	18	9.2%	42	10.0%
④不明	3	11.1%	48	24.4%	29	14.9%	80	19.1%
⑤無線LANは導入していない	4	14.8%	32	16.2%	33	16.9%	69	16.5%
無回答	1	3.7%	1	0.5%	2	1.0%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「③不十分であった」が全体で10.0%、政令市等では22.2%となっている。また、「④不明」は全体で19.1%である。無線LAN導入にあたっては、十分な現地調査を行うことが望ましい。

## 1-1-09(2) 無線 LAN 導入後、十分に接続試験を実施しましたか。

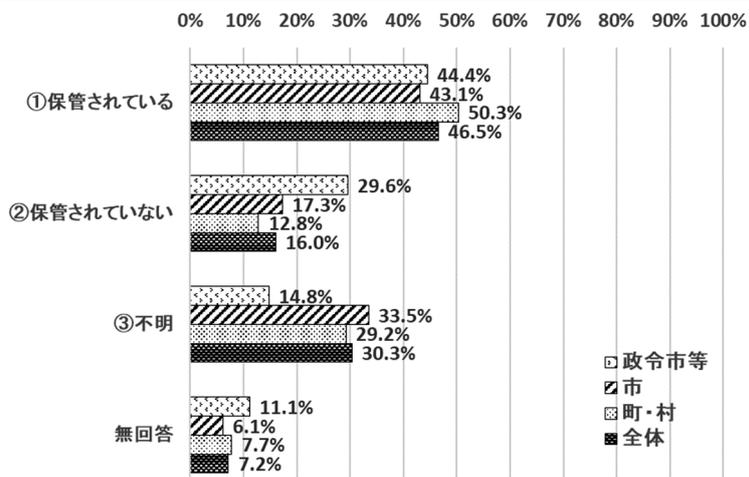
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①接続試験を行った	13	48.1%	99	50.3%	114	58.5%	226	53.9%
②不十分であった	6	22.2%	12	6.1%	15	7.7%	33	7.9%
③不明	3	11.1%	53	26.9%	31	15.9%	87	20.8%
④無線LANは導入していない	3	11.1%	32	16.2%	33	16.9%	68	16.2%
無回答	2	7.4%	1	0.5%	2	1.0%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①接続試験を行った」は、全体で 53.9%である。政令市等では「②不十分であった」が 22.2%となっている。また、「③不明」は全体で 20.8%もあり、無線 LAN 導入にあたっては、接続試験を実施することで進めていただきたい。

## 1-1-09(3) 無線 LAN 導入に関しての初期導入資料（設計資料や現地サーベイ資料、現地接続試験結果資料等のドキュメント資料）が保管されていますか。あてはまるものを一つ選択してください。

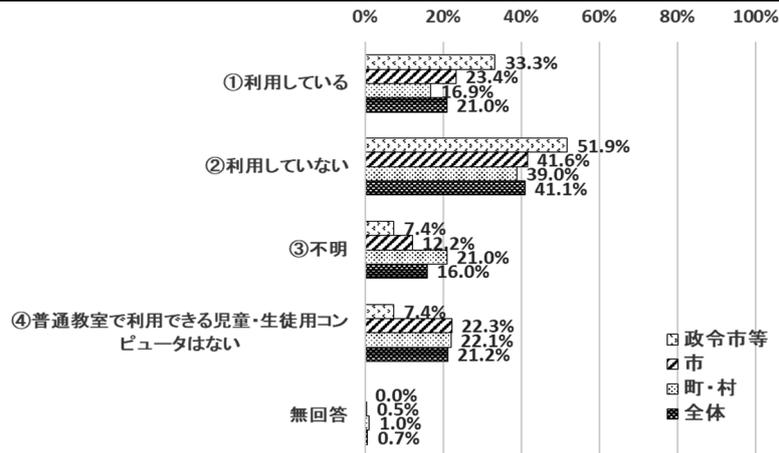
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保管されている	12	44.4%	85	43.1%	98	50.3%	195	46.5%
②保管されていない	8	29.6%	34	17.3%	25	12.8%	67	16.0%
③不明	4	14.8%	66	33.5%	57	29.2%	127	30.3%
無回答	3	11.1%	12	6.1%	15	7.7%	30	7.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①保管されている」は全体で 46.5%に留まっている。「③不明」30.3%もあり、保守や更新時に必要なものなので、是非とも保管していただきたい。

1-1-10 普通教室で利活用されている児童・生徒用コンピュータでMDM（モバイルデバイス管理ソフト）を利用していますか。

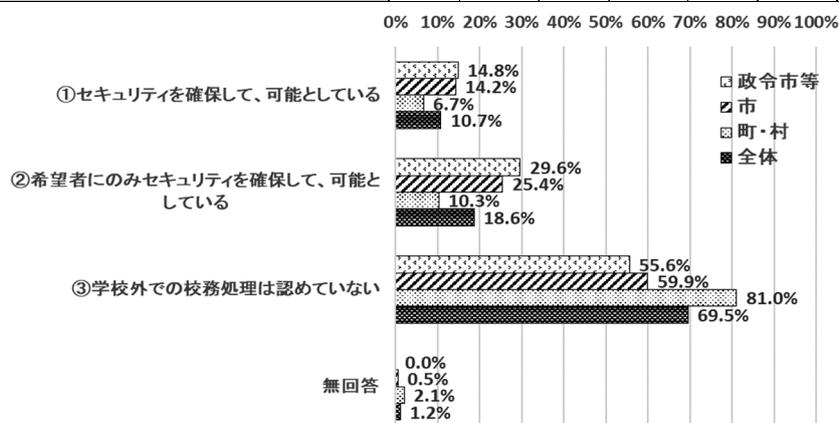
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用している	9	33.3%	46	23.4%	33	16.9%	88	21.0%
②利用していない	14	51.9%	82	41.6%	76	39.0%	172	41.1%
③不明	2	7.4%	24	12.2%	41	21.0%	67	16.0%
④普通教室で利用できる児童・生徒用コンピュータはない	2	7.4%	44	22.3%	43	22.1%	89	21.2%
無回答			1	0.5%	2	1.0%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①利用している」は全体で21.0%、「②利用していない」は全体で41.1%となっている。今後、児童・生徒用コンピュータの導入はますます増えるので、MDMのさらなる普及が望まれる。

1-1-11 学校外での校務処理についてあてはまるものを一つ選択してください。

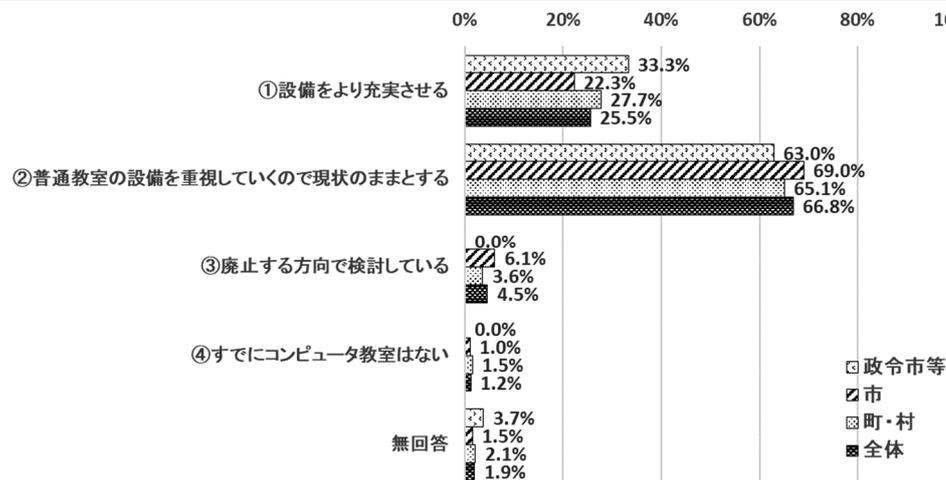
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①セキュリティを確保して、可能としている	4	14.8%	28	14.2%	13	6.7%	45	10.7%
②希望者にのみセキュリティを確保して、可能としている	8	29.6%	50	25.4%	20	10.3%	78	18.6%
③学校外での校務処理は認めていない	15	55.6%	118	59.9%	158	81.0%	291	69.5%
無回答			1	0.5%	4	2.1%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「③学校外での校務処理は認めていない」は全体で69.5%である。特に町・村では81.0%と高くなっている。「②希望者にのみセキュリティを確保して、可能としている」は政令市等では29.6%、「①セキュリティを確保して、可能としている」は政令市等で14.8%、市で14.2%となっており、自治体によって考え方が分かれている。

## 1-1-12(1) 中学校のコンピュータ教室を今後どのようにしていく予定ですか。

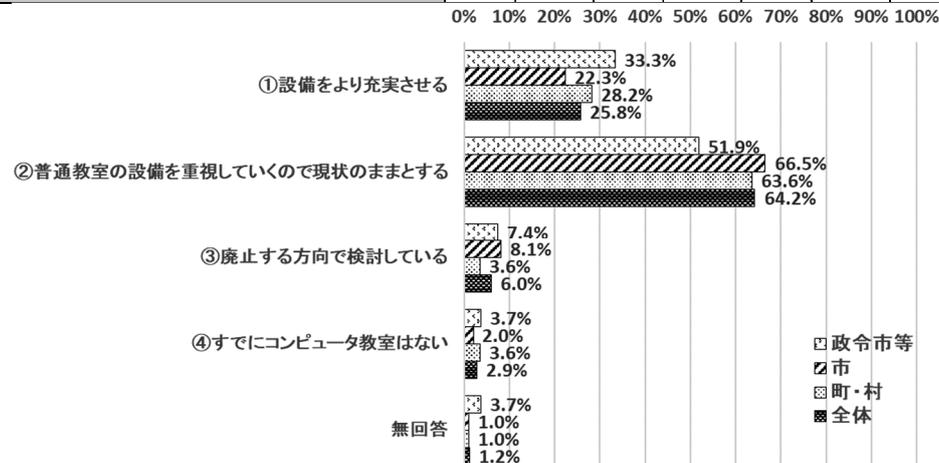
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設備をより充実させる	9	33.3%	44	22.3%	54	27.7%	107	25.5%
②普通教室の設備を重視していくので現状のままとする	17	63.0%	136	69.0%	127	65.1%	280	66.8%
③廃止する方向で検討している			12	6.1%	7	3.6%	19	4.5%
④すでにコンピュータ教室はない			2	1.0%	3	1.5%	5	1.2%
無回答	1	3.7%	3	1.5%	4	2.1%	8	1.9%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「②普通教室の設備を重視していくので現状のままとする」が、自治体規模に関わらず最も多く、全体で66.8%となっている。「④廃止する方向で検討している」は全体で4.5%に留まっている。

## 1-1-12(2) 小学校のコンピュータ教室を今後どのようにしていく予定ですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設備をより充実させる	9	33.3%	44	22.3%	55	28.2%	108	25.8%
②普通教室の設備を重視していくので現状のままとする	14	51.9%	131	66.5%	124	63.6%	269	64.2%
③廃止する方向で検討している	2	7.4%	16	8.1%	7	3.6%	25	6.0%
④すでにコンピュータ教室はない	1	3.7%	4	2.0%	7	3.6%	12	2.9%
無回答	1	3.7%	2	1.0%	2	1.0%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

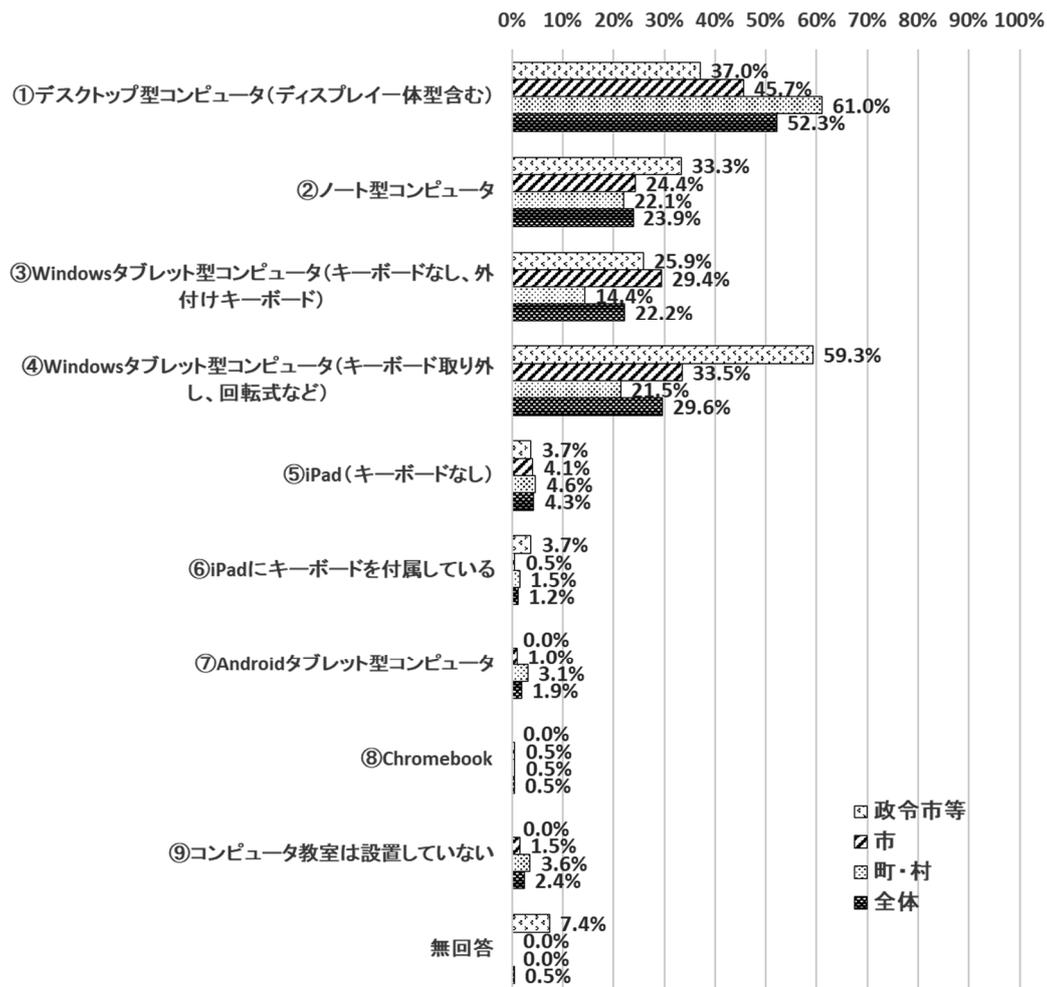


※前問の中学校と同様の傾向で、「②普通教室の設備を重視していくので現状のままとする」が、自治体規模に関わらず最も多く、全体で64.2%となっている。「④廃止する方向で検討している」は全体で6.0%に留まっている。

## 1-2 ハードウェアに関する項目

## 1-2-01 小学校のコンピュータ教室のコンピュータの種類について伺います。(いくつでも)

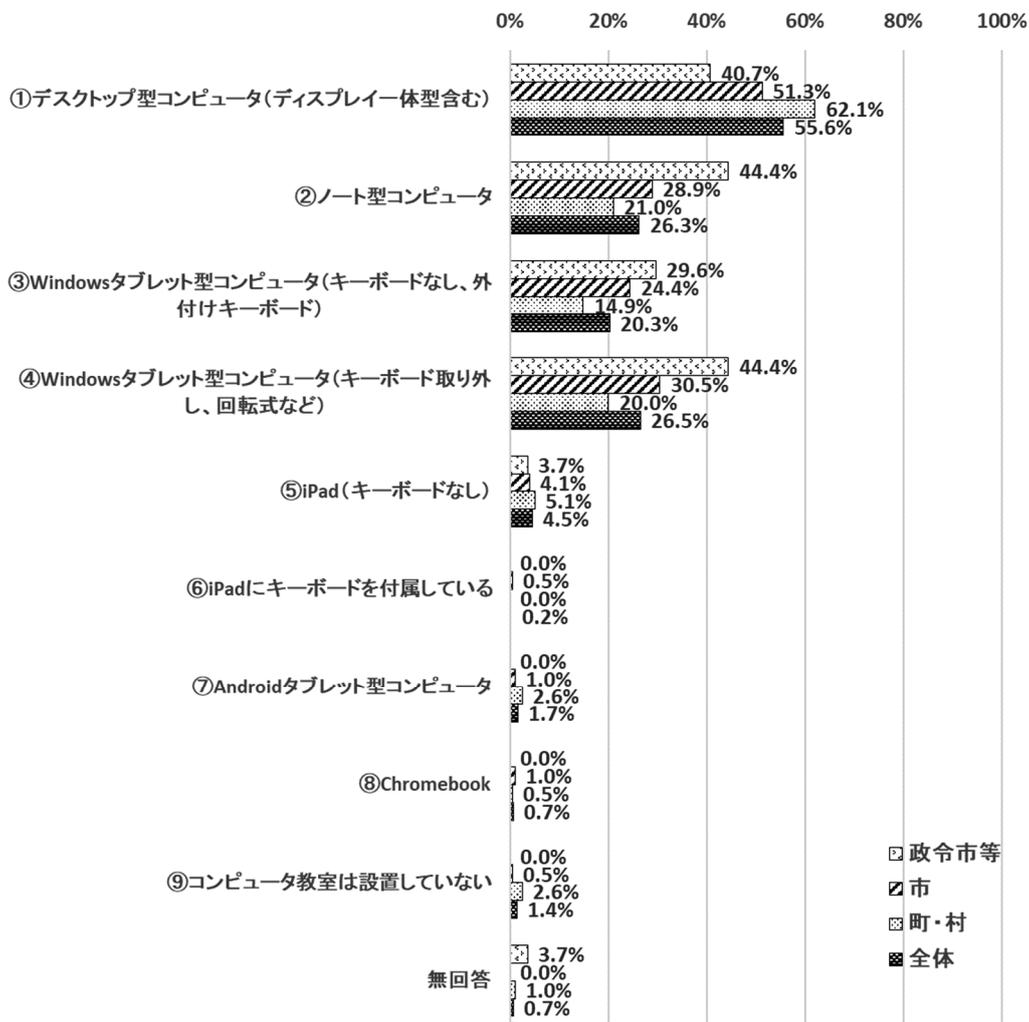
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デスクトップ型コンピュータ(ディスプレイ体型含む)	10	37.0%	90	45.7%	119	61.0%	219	52.3%
②ノート型コンピュータ	9	33.3%	48	24.4%	43	22.1%	100	23.9%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	7	25.9%	58	29.4%	28	14.4%	93	22.2%
④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	16	59.3%	66	33.5%	42	21.5%	124	29.6%
⑤iPad(キーボードなし)	1	3.7%	8	4.1%	9	4.6%	18	4.3%
⑥iPadにキーボードを付属している	1	3.7%	1	0.5%	3	1.5%	5	1.2%
⑦Androidタブレット型コンピュータ			2	1.0%	6	3.1%	8	1.9%
⑧Chromebook			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
⑨コンピュータ教室は設置していない			3	1.5%	7	3.6%	10	2.4%
無回答	2	7.4%					2	0.5%
回答数合計	46	170.4%	277	140.6%	258	132.3%	581	138.7%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「①デスクトップ型コンピュータ」が全体で 52.3%とまだまだ大きいですが、政令市では 37.0%と下がる。次いで「④Windows タブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」が 29.6%となっている。自治体規模が大きいほど、タブレット型への移行が進んでいることが見受けられる。

## 1-2-02 中学校のコンピュータ教室のコンピュータの種類について伺います。(いくつでも)

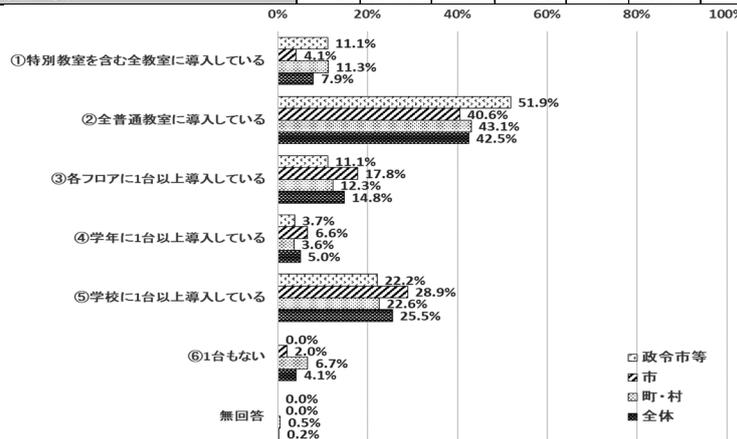
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デスクトップ型コンピュータ(ディスプレイ体型含む)	11	40.7%	101	51.3%	121	62.1%	233	55.6%
②ノート型コンピュータ	12	44.4%	57	28.9%	41	21.0%	110	26.3%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	8	29.6%	48	24.4%	29	14.9%	85	20.3%
④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	12	44.4%	60	30.5%	39	20.0%	111	26.5%
⑤iPad(キーボードなし)	1	3.7%	8	4.1%	10	5.1%	19	4.5%
⑥iPadにキーボードを付属している			1	0.5%			1	0.2%
⑦Androidタブレット型コンピュータ			2	1.0%	5	2.6%	7	1.7%
⑧Chromebook			2	1.0%	1	0.5%	3	0.7%
⑨コンピュータ教室は設置していない			1	0.5%	5	2.6%	6	1.4%
無回答	1	3.7%			2	1.0%	3	0.7%
回答数合計	45	166.7%	280	142.1%	253	129.7%	578	137.9%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※小学校と似た傾向となっており、「①デスクトップ型コンピュータ」が全体で55.6%となるが、それ以外は「②ノート型コンピュータ」「③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)」「④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」に分散している。小学校と比べると、政令市の「④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」の回答比が14.9%低い点が目立っている。

1-2-03(1) 小学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(1)大型提示装置

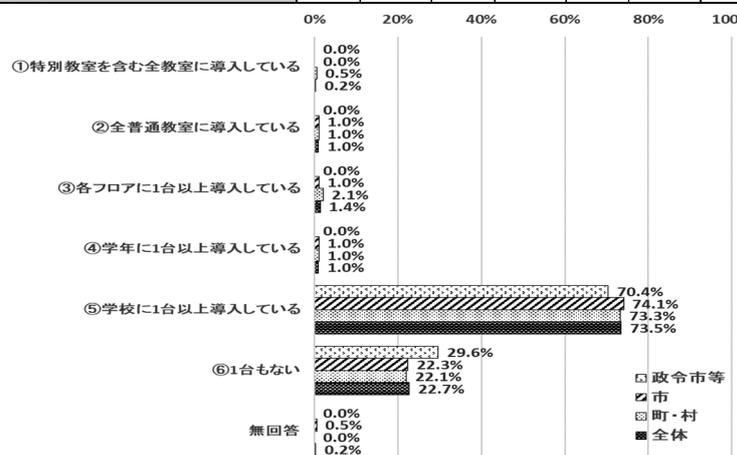
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	3	11.1%	8	4.1%	22	11.3%	33	7.9%
②全普通教室に導入している	14	51.9%	80	40.6%	84	43.1%	178	42.5%
③各フロアに1台以上導入している	3	11.1%	35	17.8%	24	12.3%	62	14.8%
④学年に1台以上導入している	1	3.7%	13	6.6%	7	3.6%	21	5.0%
⑤学校に1台以上導入している	6	22.2%	57	28.9%	44	22.6%	107	25.5%
⑥1台もない			4	2.0%	13	6.7%	17	4.1%
無回答					1	0.5%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると50.4%となり、半数以上の自治体で普通教室に大型提示装置が整備されている。一方で、「⑤学校に1台以上導入している」が25.5%もあり、更なる整備が望まれる。

1-2-03(2) 小学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(2)カラープリンタ

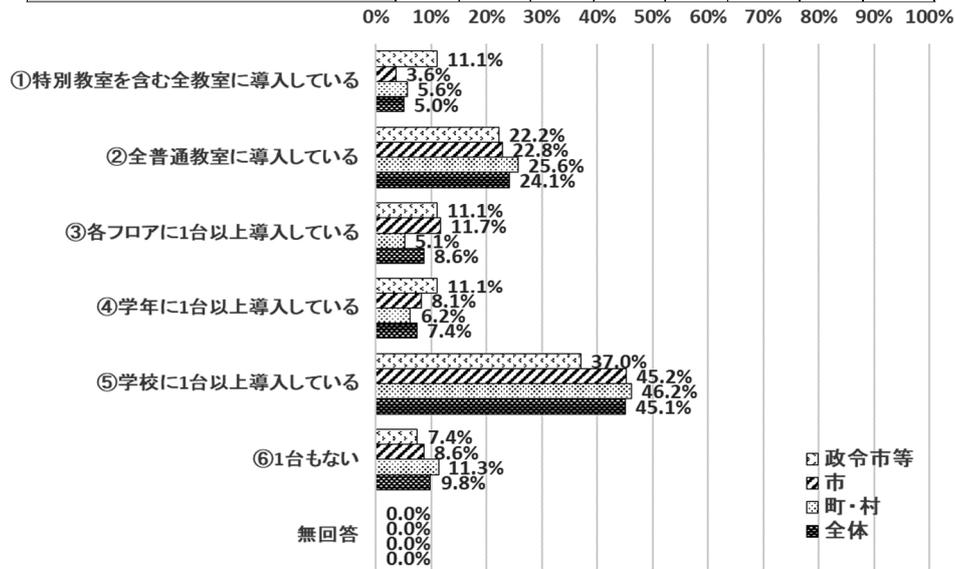
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している					1	0.5%	1	0.2%
②全普通教室に導入している			2	1.0%	2	1.0%	4	1.0%
③各フロアに1台以上導入している			2	1.0%	4	2.1%	6	1.4%
④学年に1台以上導入している			2	1.0%	2	1.0%	4	1.0%
⑤学校に1台以上導入している	19	70.4%	146	74.1%	143	73.3%	308	73.5%
⑥1台もない	8	29.6%	44	22.3%	43	22.1%	95	22.7%
無回答			1	0.5%			1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※教室へのカラープリンタの整備はほとんど進んでいない。普通教室での ICT 活用をより進めるために整備されることが望ましい。

1-2-03(3) 小学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(3)実物投影機

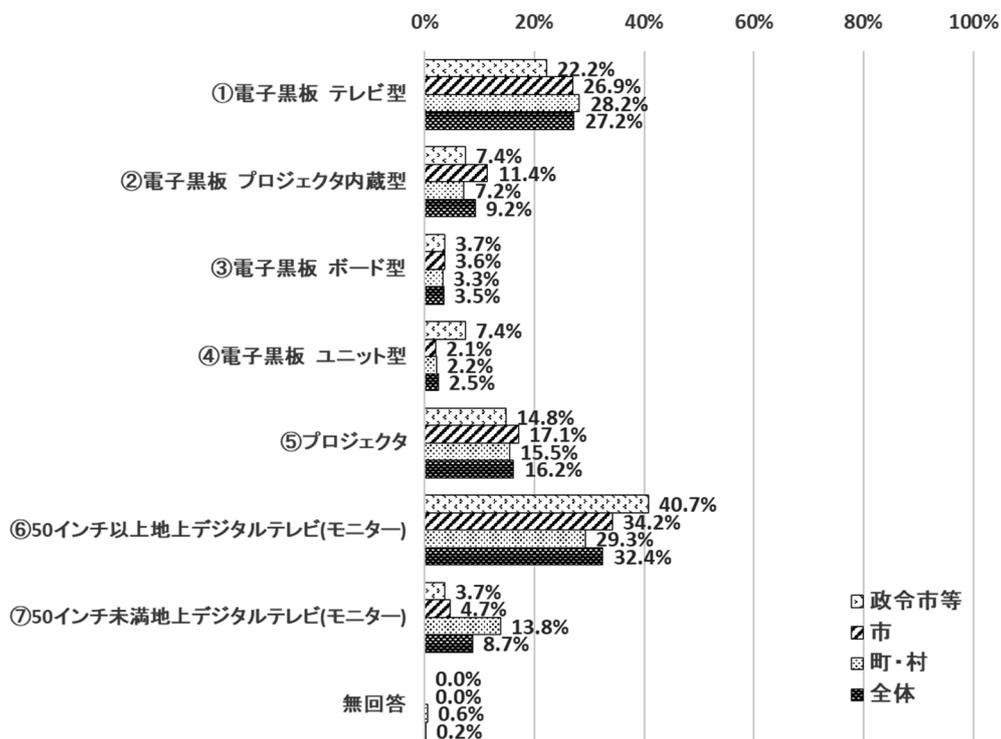
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	3	11.1%	7	3.6%	11	5.6%	21	5.0%
②全普通教室に導入している	6	22.2%	45	22.8%	50	25.6%	101	24.1%
③各フロアに1台以上導入している	3	11.1%	23	11.7%	10	5.1%	36	8.6%
④学年に1台以上導入している	3	11.1%	16	8.1%	12	6.2%	31	7.4%
⑤学校に1台以上導入している	10	37.0%	89	45.2%	90	46.2%	189	45.1%
⑥1台もない	2	7.4%	17	8.6%	22	11.3%	41	9.8%
無回答								
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「2018年度以降の学校における ICT 環境の整備方針で目標とされている水準」で普通教室 1 台、特別教室用 6 台として掲示されていることを考えると、まだまだ普及に至っていない。一層の整備が望まれる。

1-2-04 1-2-03(1)で①～⑤を選んだ方に、大型提示装置の種類について、伺います。(主な整備機器について1種類)

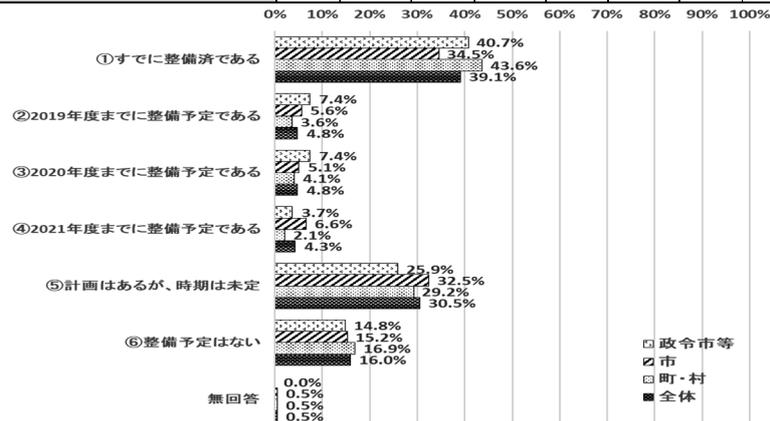
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板 テレビ型	6	22.2%	52	26.9%	51	28.2%	109	27.2%
②電子黒板 プロジェクタ内蔵型	2	7.4%	22	11.4%	13	7.2%	37	9.2%
③電子黒板 ボード型	1	3.7%	7	3.6%	6	3.3%	14	3.5%
④電子黒板 ユニット型	2	7.4%	4	2.1%	4	2.2%	10	2.5%
⑤プロジェクタ	4	14.8%	33	17.1%	28	15.5%	65	16.2%
⑥50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)	11	40.7%	66	34.2%	53	29.3%	130	32.4%
⑦50インチ未満地上デジタルテレビ(モニター)	1	3.7%	9	4.7%	25	13.8%	35	8.7%
無回答					1	0.6%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	193	100.0%	181	100.0%	401	100.0%



※「⑥50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)」が全体で32.4%と最も多く、次いで「①電子黒板 テレビ型」が27.2%となり、「⑦50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)」を含めるとテレビ型の大型提示装置が68.3%となり多いことが分かる。2009年度のスクールリニューアル事業時の機器も使われていることが想定される。

1-2-05 大型提示装置の導入・リプレイスの予定を伺います。普通教室への整備をいつまでに予定していますか。

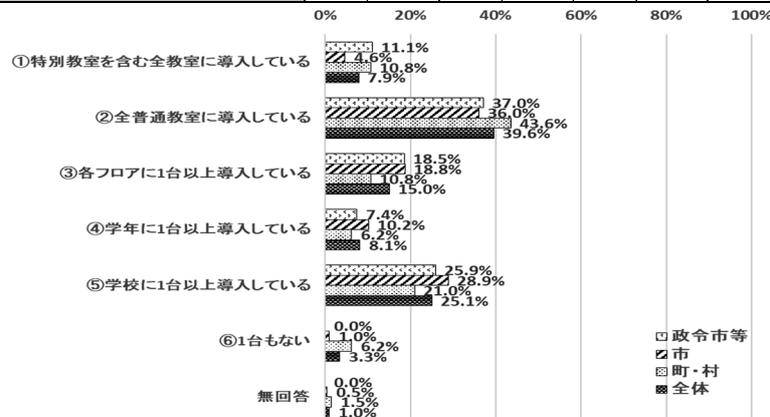
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでに整備済である	11	40.7%	68	34.5%	85	43.6%	164	39.1%
②2019年度までに整備予定である	2	7.4%	11	5.6%	7	3.6%	20	4.8%
③2020年度までに整備予定である	2	7.4%	10	5.1%	8	4.1%	20	4.8%
④2021年度までに整備予定である	1	3.7%	13	6.6%	4	2.1%	18	4.3%
⑤計画はあるが、時期は未定	7	25.9%	64	32.5%	57	29.2%	128	30.5%
⑥整備予定はない	4	14.8%	30	15.2%	33	16.9%	67	16.0%
無回答			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「⑤計画はあるが、時期は未定」が全体で30.5%もあり、「⑥整備予定はない」も16.0%ある。整備済の自治体との格差が生じており、新学習指導要領への対応が懸念される。

1-2-06(1) 中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(1)大型提示装置

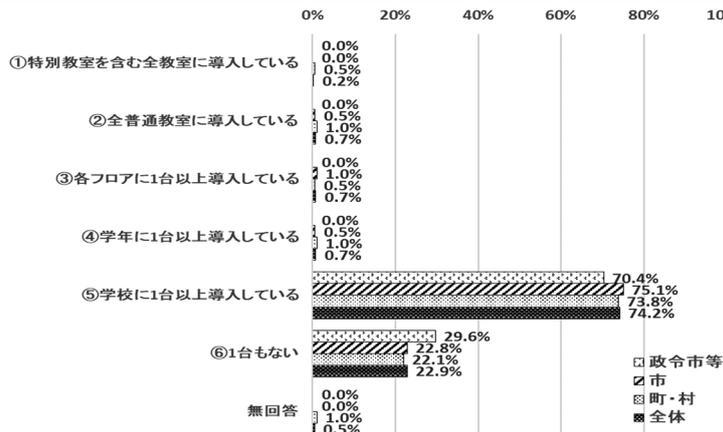
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	3	11.1%	9	4.6%	21	10.8%	33	7.9%
②全普通教室に導入している	10	37.0%	71	36.0%	85	43.6%	166	39.6%
③各フロアに1台以上導入している	5	18.5%	37	18.8%	21	10.8%	63	15.0%
④学年に1台以上導入している	2	7.4%	20	10.2%	12	6.2%	34	8.1%
⑤学校に1台以上導入している	7	25.9%	57	28.9%	41	21.0%	105	25.1%
⑥1台もない			2	1.0%	12	6.2%	14	3.3%
無回答			1	0.5%	3	1.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると全体で47.5%となり、約半数の自治体で普通教室の大型提示装置が整備されているが、「⑤学校に1台以上導入している」や「⑥1台もない」の自治体も合わせて28.4%あり、新学習指導要領に対応した授業のために早急な整備が望まれる。

1-2-06(2) 中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(2)カラープリンタ

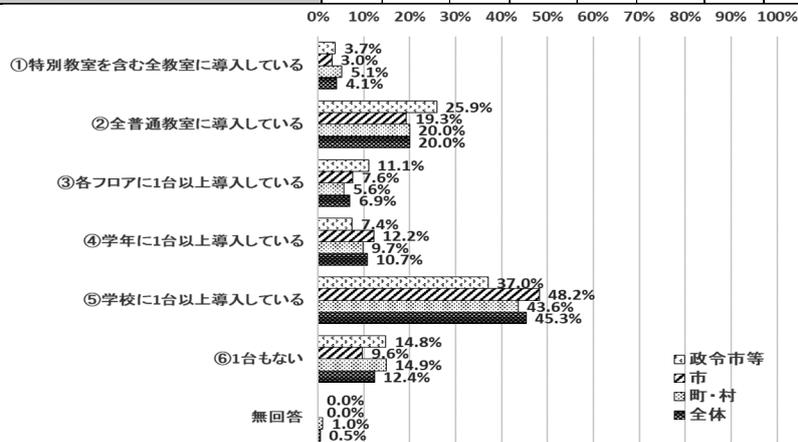
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している					1	0.5%	1	0.2%
②全普通教室に導入している			1	0.5%	2	1.0%	3	0.7%
③各フロアに1台以上導入している			2	1.0%	1	0.5%	3	0.7%
④学年に1台以上導入している			1	0.5%	2	1.0%	3	0.7%
⑤学校に1台以上導入している	19	70.4%	148	75.1%	144	73.8%	311	74.2%
⑥1台もない	8	29.6%	45	22.8%	43	22.1%	96	22.9%
無回答						1.0%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※小学校と同様に教室へのカラープリンタの整備はほとんど進んでいない。普通教室での ICT 活用をより進めるために、整備されることが望ましい。

1-2-06(3) 中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況(コンピュータ教室以外)について伺います。(3)実物投影機

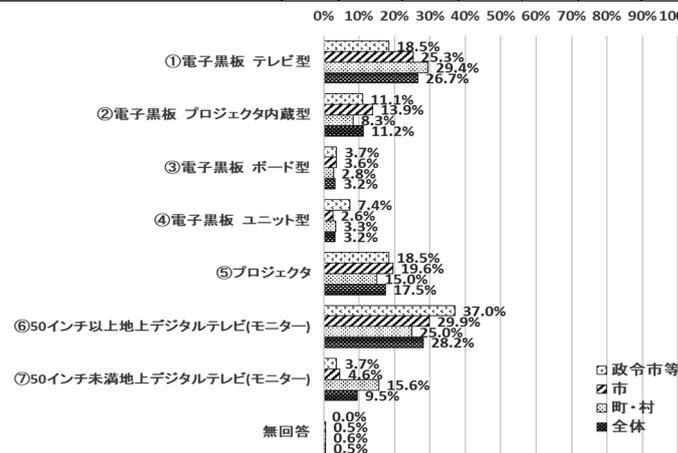
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	1	3.7%	6	3.0%	10	5.1%	17	4.1%
②全普通教室に導入している	7	25.9%	38	19.3%	39	20.0%	84	20.0%
③各フロアに1台以上導入している	3	11.1%	15	7.6%	11	5.6%	29	6.9%
④学年に1台以上導入している	2	7.4%	24	12.2%	19	9.7%	45	10.7%
⑤学校に1台以上導入している	10	37.0%	95	48.2%	85	43.6%	190	45.3%
⑥1台もない	4	14.8%	19	9.6%	29	14.9%	52	12.4%
無回答					2	1.0%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると全体で24.1%となり、小学校の29.1%と同様に早急な整備が望まれる。

1-2-07 1-2-06(1)で①～⑤を選んだ方に、大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

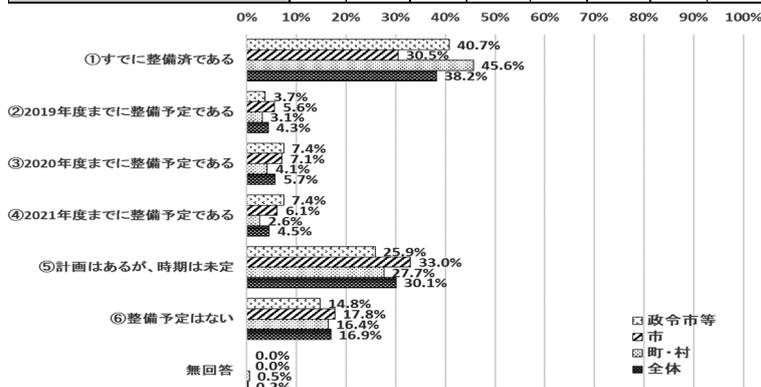
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板 テレビ型	5	18.5%	49	25.3%	53	29.4%	107	26.7%
②電子黒板 プロジェクタ内蔵型	3	11.1%	27	13.9%	15	8.3%	45	11.2%
③電子黒板 ボード型	1	3.7%	7	3.6%	5	2.8%	13	3.2%
④電子黒板 ユニット型	2	7.4%	5	2.6%	6	3.3%	13	3.2%
⑤プロジェクタ	5	18.5%	38	19.6%	27	15.0%	70	17.5%
⑥50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)	10	37.0%	58	29.9%	45	25.0%	113	28.2%
⑦50インチ未満地上デジタルテレビ(モニター)	1	3.7%	9	4.6%	28	15.6%	38	9.5%
無回答					1	0.6%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	194	100.0%	180	100.0%	401	100.0%



※「⑥50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)」が全体で28.2%と最も多く、次いで「①電子黒板 テレビ型」が26.7%となり、「⑦50インチ以上地上デジタルテレビ(モニター)」を含めるとテレビ型の大型提示装置が64.4%となり多いことが分かる。2009年度のスクールリニューアル事業時の機器が使われていることが想定される。

1-2-08 大型提示装置の導入・リプレースの予定を伺います。普通教室への整備をいつまでに予定していますか。

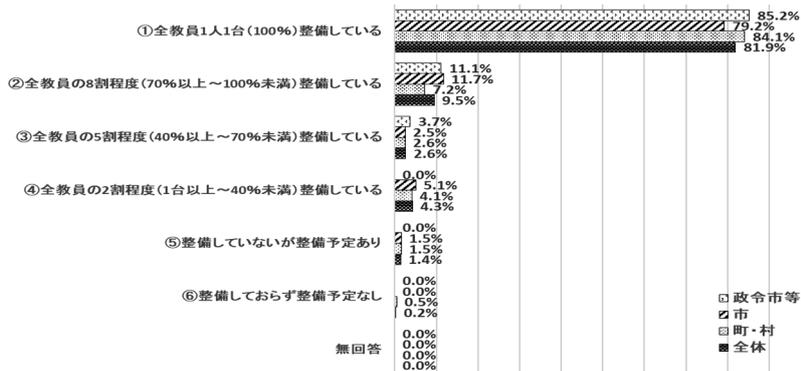
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでに整備済である	11	40.7%	60	30.5%	89	45.6%	160	38.2%
②2019年度までに整備予定である	1	3.7%	11	5.6%	6	3.1%	18	4.3%
③2020年度までに整備予定である	2	7.4%	14	7.1%	8	4.1%	24	5.7%
④2021年度までに整備予定である	2	7.4%	12	6.1%	5	2.6%	19	4.5%
⑤計画はあるが、時期は未定	7	25.9%	65	33.0%	54	27.7%	126	30.1%
⑥整備予定はない	4	14.8%	35	17.8%	32	16.4%	71	16.9%
無回答					1	0.5%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※小学校と同様の傾向で「⑤計画はあるが、時期は未定」が30.1%もあり、「⑥整備予定はない」も16.9%ある。整備済の自治体との格差が生じており、懸念される。

1-2-09 小学校の教員用コンピュータの整備状況について伺います。

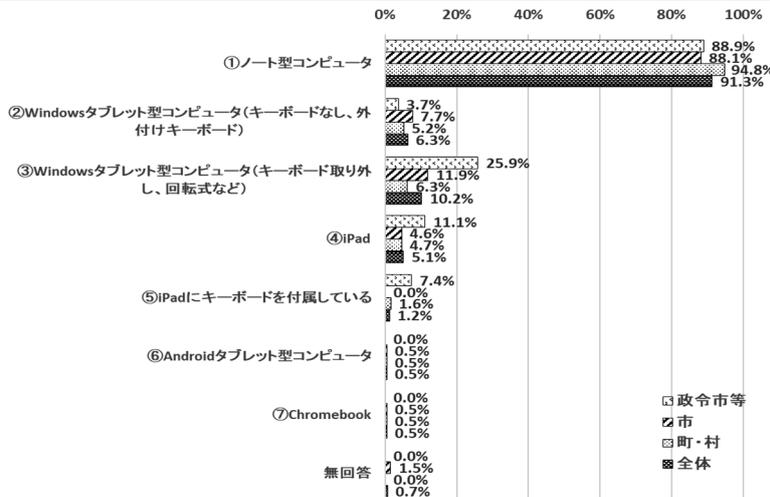
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台(100%)整備している	23	85.2%	156	79.2%	164	84.1%	343	81.9%
②全教員の8割程度(70%以上～100%未満)整備している	3	11.1%	23	11.7%	14	7.2%	40	9.5%
③全教員の5割程度(40%以上～70%未満)整備している	1	3.7%	5	2.5%	5	2.6%	11	2.6%
④全教員の2割程度(1台以上～40%未満)整備している			10	5.1%	8	4.1%	18	4.3%
⑤整備していないが整備予定あり			3	1.5%	3	1.5%	6	1.4%
⑥整備しておらず整備予定なし					1	0.5%	1	0.2%
無回答								
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※整備は進んでいることが分かる。しかし1人1台になっていない自治体もまだ多く、未整備の自治体もあることから一層の啓蒙が必要である。

1-2-10 1-2-09 について、①②③④と回答された方に、コンピュータの種類について伺います。(いくつでも)

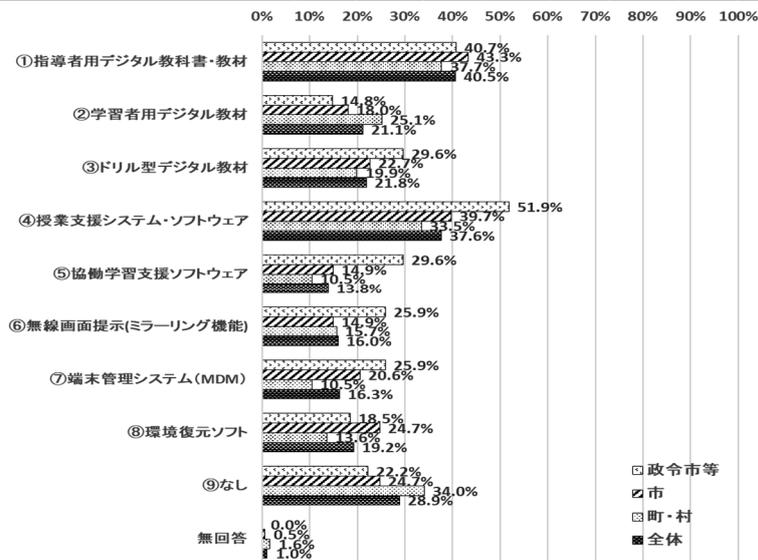
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ノート型コンピュータ	24	88.9%	171	88.1%	181	94.8%	376	91.3%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	1	3.7%	15	7.7%	10	5.2%	26	6.3%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	7	25.9%	23	11.9%	12	6.3%	42	10.2%
④iPad	3	11.1%	9	4.6%	9	4.7%	21	5.1%
⑤iPadにキーボードを付属している	2	7.4%			3	1.6%	5	1.2%
⑥Androidタブレット型コンピュータ			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
⑦Chromebook			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
無回答			3	1.5%			3	0.7%
回答数合計	37	137.0%	223	114.9%	217	113.6%	477	115.8%
回答者数(母数)	27		194		191		412	



※全体では「①ノート型コンピュータ」が91.3%とほとんどであるが、一方で政令市では「③Windows タブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」も25.9%あり、普及が進みつつあると想定される。

1-2-11 1-2-09 について、①②③④と回答された方に、教員用コンピュータの整備にあたり、導入しているもの（ソフトウェアやシステムなど）について伺います。（いくつでも）

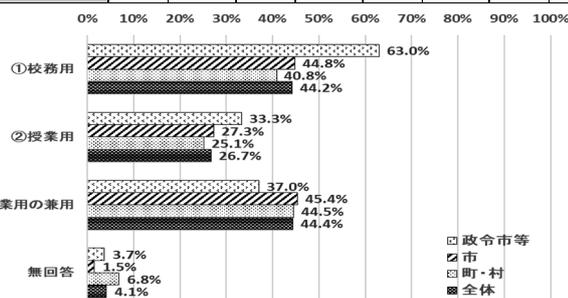
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	11	40.7%	84	43.3%	72	37.7%	167	40.5%
②学習者用デジタル教材	4	14.8%	35	18.0%	48	25.1%	87	21.1%
③ドリル型デジタル教材	8	29.6%	44	22.7%	38	19.9%	90	21.8%
④授業支援システム・ソフトウェア	14	51.9%	77	39.7%	64	33.5%	155	37.6%
⑤協働学習支援ソフトウェア	8	29.6%	29	14.9%	20	10.5%	57	13.8%
⑥無線画面提示(ミラーリング機能)	7	25.9%	29	14.9%	30	15.7%	66	16.0%
⑦端末管理システム(MDM)	7	25.9%	40	20.6%	20	10.5%	67	16.3%
⑧環境復元ソフト	5	18.5%	48	24.7%	26	13.6%	79	19.2%
⑨なし	6	22.2%	48	24.7%	65	34.0%	119	28.9%
無回答			1	0.5%	3	1.6%	4	1.0%
回答数合計	70	259.3%	435	224.2%	386	202.1%	891	216.3%
回答者数(母数)	27		194		191		412	



※「①指導者用デジタル教科書・教材」が全体で40.5%、次いで「④授業支援システム・ソフトウェア」が37.6%となっており、普及していることが伺える。

1-2-12 1-2-09 について、①②③④と回答された方に、教育委員会として認めている用途について伺います。（いくつでも）

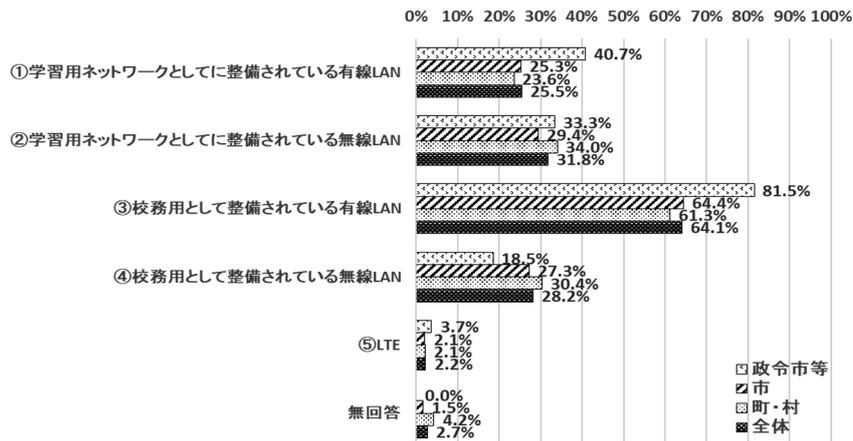
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①校務用	17	63.0%	87	44.8%	78	40.8%	182	44.2%
②授業用	9	33.3%	53	27.3%	48	25.1%	110	26.7%
③校務用、授業用の兼用	10	37.0%	88	45.4%	85	44.5%	183	44.4%
無回答	1	3.7%	3	1.5%	13	6.8%	17	4.1%
回答数合計	37	137.0%	231	119.1%	224	117.3%	492	119.4%
回答者数(母数)	27		194		191		412	



※「③校務用、授業用の兼用」が全体で44.4%もあり、兼用が自治体規模に関わらず多いことが分かる。

1-2-13 1-2-09 について、①②③④と回答された方に伺います。ネットワークとの接続は次のうちどれを使っていますか。(いくつでも)

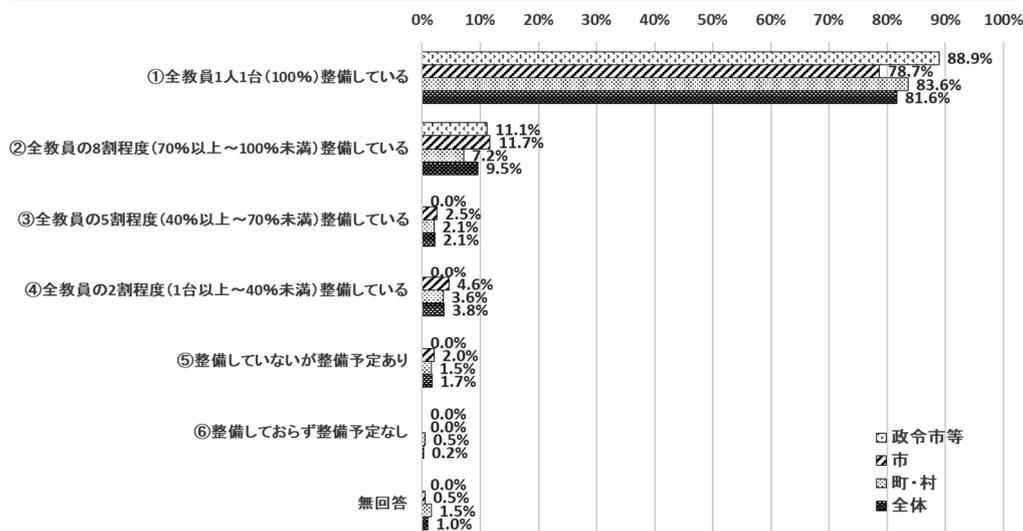
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習用ネットワークとしてに整備されている有線LAN	11	40.7%	49	25.3%	45	23.6%	105	25.5%
②学習用ネットワークとしてに整備されている無線LAN	9	33.3%	57	29.4%	65	34.0%	131	31.8%
③校務用として整備されている有線LAN	22	81.5%	125	64.4%	117	61.3%	264	64.1%
④校務用として整備されている無線LAN	5	18.5%	53	27.3%	58	30.4%	116	28.2%
⑤LTE	1	3.7%	4	2.1%	4	2.1%	9	2.2%
無回答			3	1.5%	8	4.2%	11	2.7%
回答数合計	48	177.8%	291	150.0%	297	155.5%	636	154.4%
回答者数(母数)	27		194		191		412	



※「③校務用として整備されている有線 LAN」が 64.1%と最も多く、特に政令市では 81.5%となっている。

1-2-14 中学校の教員用コンピュータの整備状況について伺います。

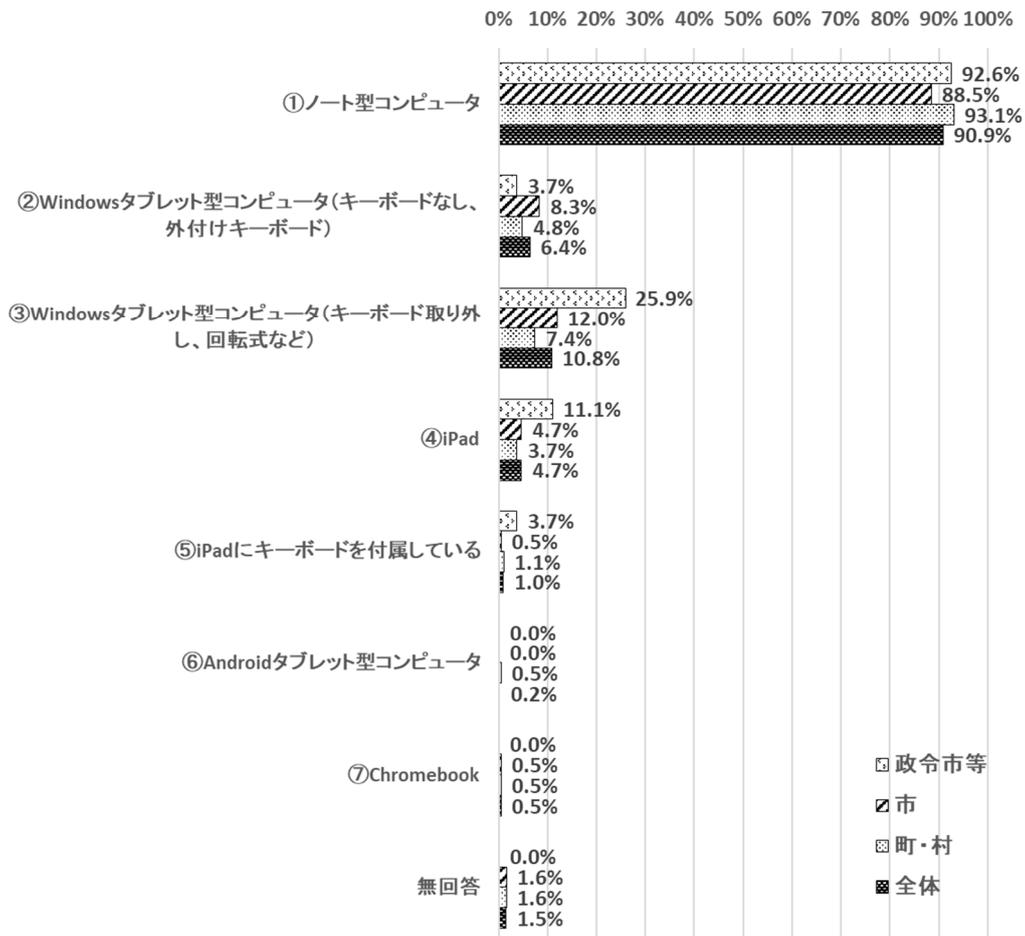
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台(100%)整備している	24	88.9%	155	78.7%	163	83.6%	342	81.6%
②全教員の8割程度(70%以上～100%未満)整備している	3	11.1%	23	11.7%	14	7.2%	40	9.5%
③全教員の5割程度(40%以上～70%未満)整備している			5	2.5%	4	2.1%	9	2.1%
④全教員の2割程度(1台以上～40%未満)整備している			9	4.6%	7	3.6%	16	3.8%
⑤整備していないが整備予定あり			4	2.0%	3	1.5%	7	1.7%
⑥整備しておらず整備予定なし					1	0.5%	1	0.2%
無回答			1	0.5%	3	1.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※小学校とほぼ同様の整備率となっているが、1人1台となっていない自治体もあり、早期に1人1台の達成が望まれる。

1-2-15 1-2-14 について、①②③④と回答された方に、コンピュータの種類について伺います。(いくつかでも)

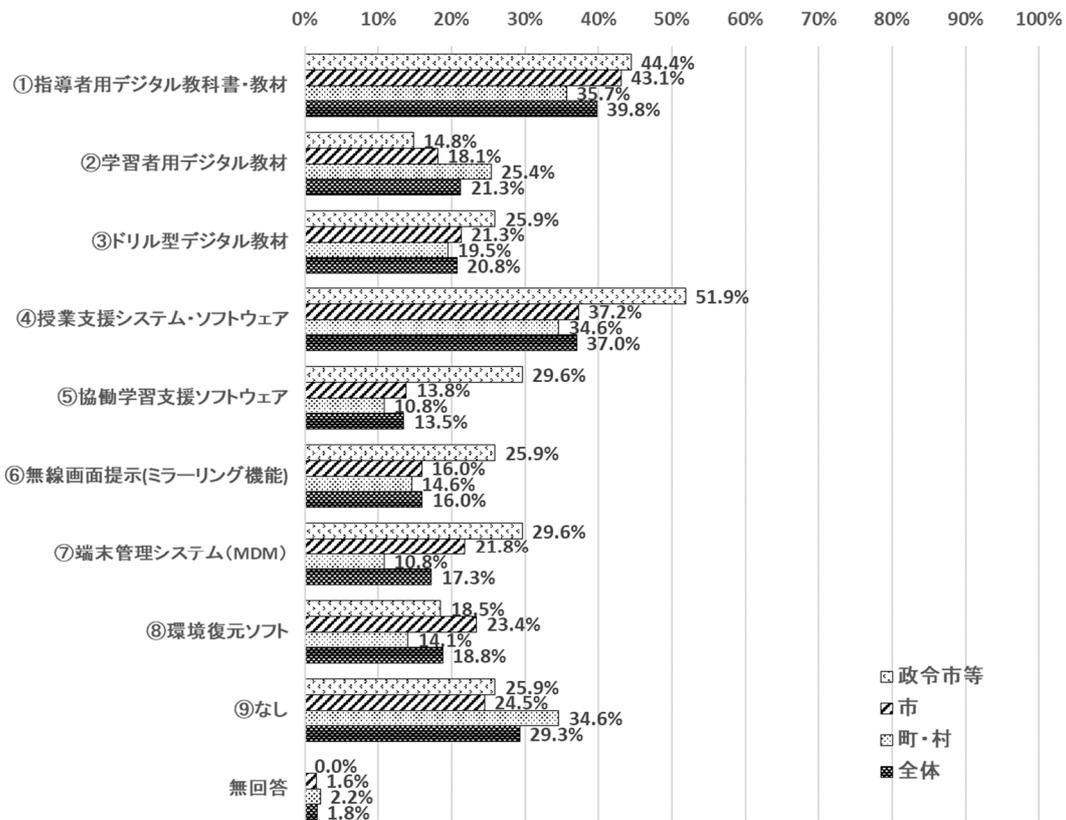
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ノート型コンピュータ	25	92.6%	170	88.5%	175	93.1%	370	90.9%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	1	3.7%	16	8.3%	9	4.8%	26	6.4%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	7	25.9%	23	12.0%	14	7.4%	44	10.8%
④iPad	3	11.1%	9	4.7%	7	3.7%	19	4.7%
⑤iPadにキーボードを付属している	1	3.7%	1	0.5%	2	1.1%	4	1.0%
⑥Androidタブレット型コンピュータ					1	0.5%	1	0.2%
⑦Chromebook			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
無回答			3	1.6%	3	1.6%	6	1.5%
回答数合計	37	137.0%	223	116.1%	212	112.8%	472	116.0%
回答者数(母数)	27		192		188		407	



※ 全体では「①ノート型コンピュータ」が90.9%と最も普及しており小学校と同様だが、政令市の「③Windows タブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」は25.9%もあり、タブレット型も今後の普及が予想される。

1-2-16 1-2-15 について、①②③④⑤と回答された方に、教員用コンピュータの整備にあたり、導入しているもの（ソフトウェアやシステムなど）について伺います。（いくつでも）

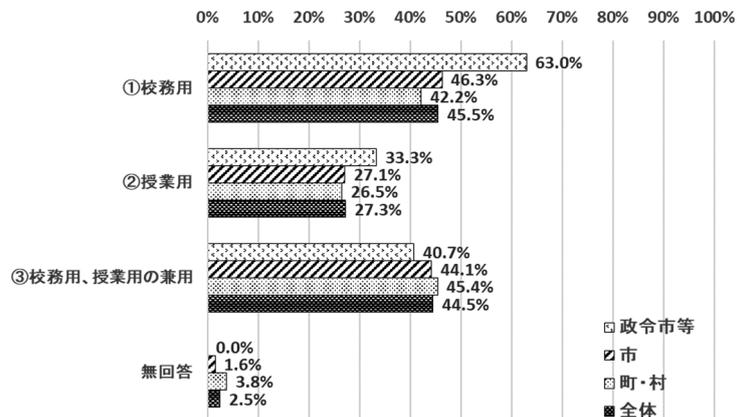
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	12	44.4%	81	43.1%	66	35.7%	159	39.8%
②学習者用デジタル教材	4	14.8%	34	18.1%	47	25.4%	85	21.3%
③ドリル型デジタル教材	7	25.9%	40	21.3%	36	19.5%	83	20.8%
④授業支援システム・ソフトウェア	14	51.9%	70	37.2%	64	34.6%	148	37.0%
⑤協働学習支援ソフトウェア	8	29.6%	26	13.8%	20	10.8%	54	13.5%
⑥無線画面提示(ミラーリング機能)	7	25.9%	30	16.0%	27	14.6%	64	16.0%
⑦端末管理システム(MDM)	8	29.6%	41	21.8%	20	10.8%	69	17.3%
⑧環境復元ソフト	5	18.5%	44	23.4%	26	14.1%	75	18.8%
⑨なし	7	25.9%	46	24.5%	64	34.6%	117	29.3%
無回答			3	1.6%	4	2.2%	7	1.8%
回答数合計	72	266.7%	415	220.7%	374	202.2%	861	215.3%
回答者数(母数)	27		188		185		400	



※「①指導者用デジタル教科書・教材」が全体で39.8%、次いで「④授業支援システム・ソフトウェア」が37.0%となっており、普及していることが伺える。

1-2-17 1-2-15 について、①②③④⑤と回答された方に、教育委員会として認めている用途について伺います。(いくつでも)

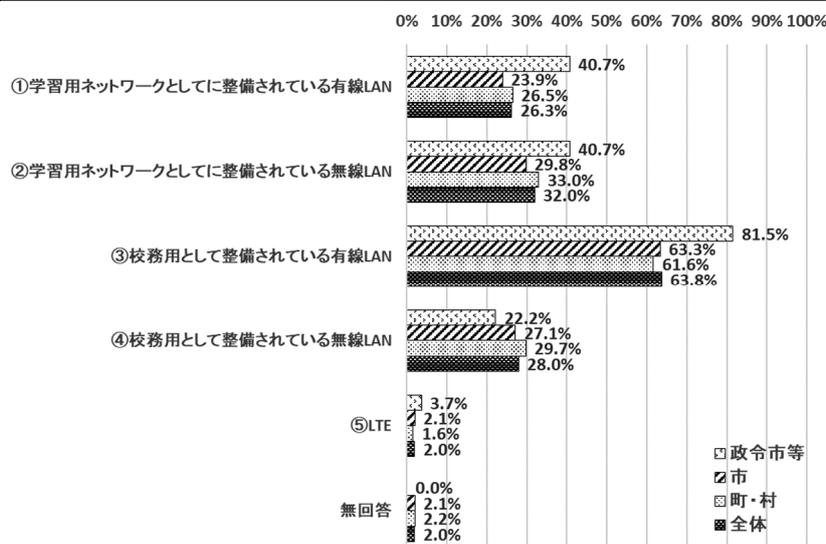
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①校務用	17	63.0%	87	46.3%	78	42.2%	182	45.5%
②授業用	9	33.3%	51	27.1%	49	26.5%	109	27.3%
③校務用、授業用の兼用	11	40.7%	83	44.1%	84	45.4%	178	44.5%
無回答			3	1.6%	7	3.8%	10	2.5%
回答数合計	37	137.0%	224	119.1%	218	117.8%	479	119.8%
回答者数(母数)	27		188		185		400	



※「③校務用、授業用の兼用」が44.5%もあり、兼用が自治体規模に関わらず多いことが分かる。

1-2-18 1-2-15 について、①②③④⑤と回答された方に伺います。ネットワークとの接続は次のうちどれを使っていますか。(いくつでも)

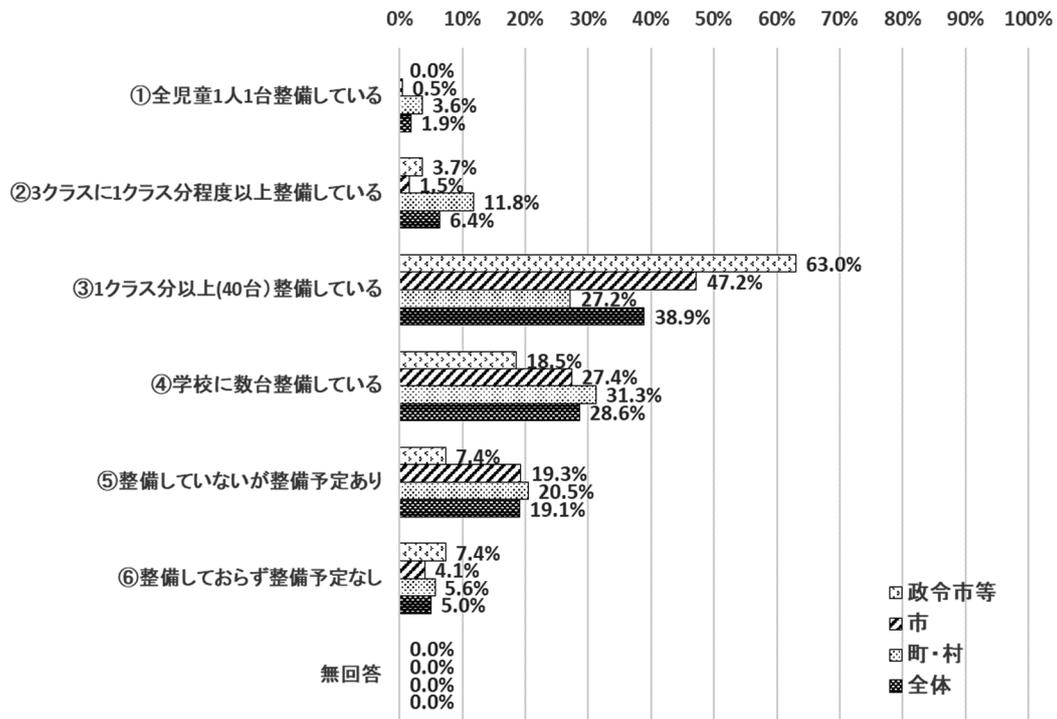
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習用ネットワークとしてに整備されている有線LAN	11	40.7%	45	23.9%	49	26.5%	105	26.3%
②学習用ネットワークとしてに整備されている無線LAN	11	40.7%	56	29.8%	61	33.0%	128	32.0%
③校務用として整備されている有線LAN	22	81.5%	119	63.3%	114	61.6%	255	63.8%
④校務用として整備されている無線LAN	6	22.2%	51	27.1%	55	29.7%	112	28.0%
⑤LTE	1	3.7%	4	2.1%	3	1.6%	8	2.0%
無回答			4	2.1%	4	2.2%	8	2.0%
回答数合計	51	188.9%	279	148.4%	286	154.6%	616	154.0%
回答者数(母数)	27		188		185		400	



※小学校と同様の傾向で、「③校務用として整備されている有線LAN」が63.8%と最も多く、特に政令市では81.5%となっている。

1-2-19 小学校における児童用タブレット型コンピュータの整備状況について伺います。

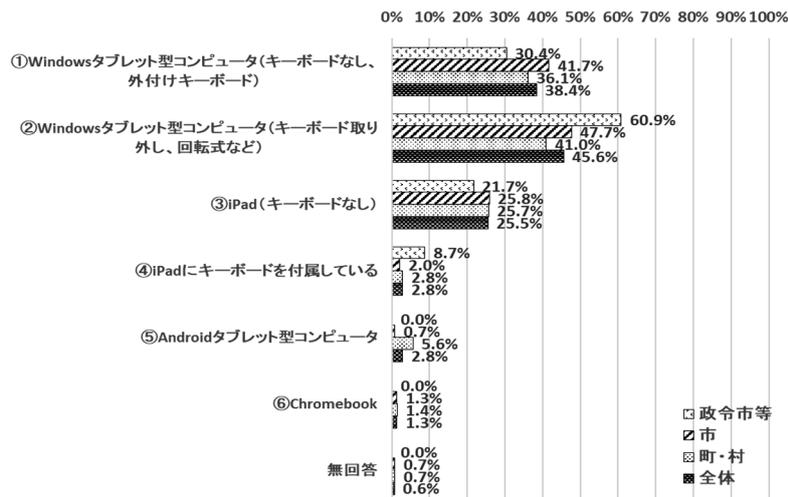
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全児童1人1台整備している			1	0.5%	7	3.6%	8	1.9%
②3クラスに1クラス分程度以上整備している	1	3.7%	3	1.5%	23	11.8%	27	6.4%
③1クラス分以上(40台)整備している	17	63.0%	93	47.2%	53	27.2%	163	38.9%
④学校に数台整備している	5	18.5%	54	27.4%	61	31.3%	120	28.6%
⑤整備していないが整備予定あり	2	7.4%	38	19.3%	40	20.5%	80	19.1%
⑥整備しておらず整備予定なし	2	7.4%	8	4.1%	11	5.6%	21	5.0%
無回答								
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「③1クラス分以上(40台)整備している」が最も多く38.9%あり、文部科学省の指針である「②3クラスに1クラス分程度以上整備している」は6.4%にとどまる。早急な整備が望まれる。

1-2-20 1-2-19 について、①②③④と回答された方に、コンピュータの種類について伺います。(いくつでも)

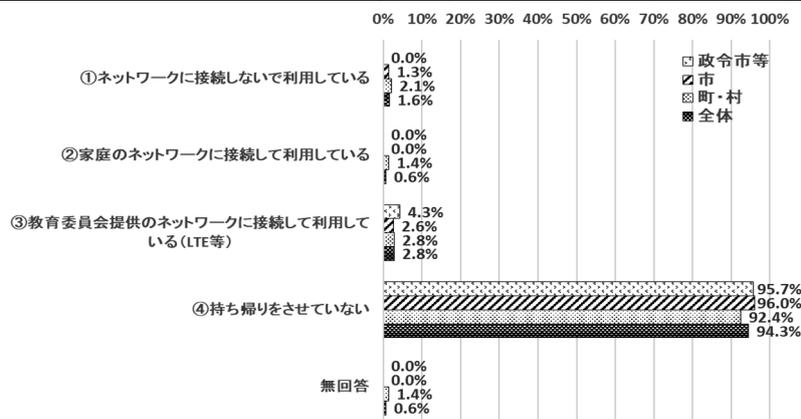
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	7	30.4%	63	41.7%	52	36.1%	122	38.4%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	14	60.9%	72	47.7%	59	41.0%	145	45.6%
③iPad(キーボードなし)	5	21.7%	39	25.8%	37	25.7%	81	25.5%
④iPadにキーボードを付属している	2	8.7%	3	2.0%	4	2.8%	9	2.8%
⑤Androidタブレット型コンピュータ			1	0.7%	8	5.6%	9	2.8%
⑥Chromebook			2	1.3%	2	1.4%	4	1.3%
無回答			1	0.7%	1	0.7%	2	0.6%
回答数合計	28	121.7%	181	119.9%	163	113.2%	372	117.0%
回答者数(母数)	23		151		144		318	



※「②Windows タブレット型コンピュータ (キーボード取り外し、回転式など)」が全体で 45.6%、「①Windows タブレット型コンピュータ (キーボードなし、外付けキーボード)」が 38.4%と Windows タブレット型が多いが、iPad も合計で 28.3%と多く利用されている。

1-2-21 1-2-19 で①②③④と回答された方に、児童用タブレット型コンピュータの持ち帰り利用について伺います。

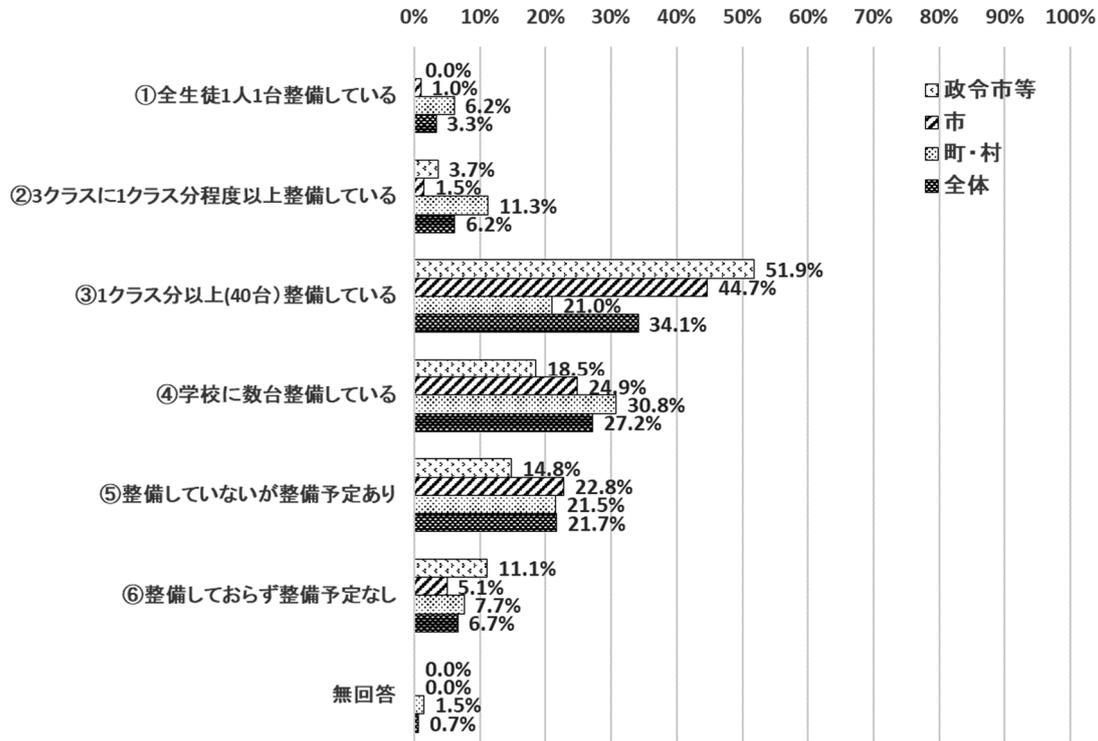
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークに接続しないで利用している			2	1.3%	3	2.1%	5	1.6%
②家庭のネットワークに接続して利用している					2	1.4%	2	0.6%
③教育委員会提供のネットワークに接続して利用している(LTE等)	1	4.3%	4	2.6%	4	2.8%	9	2.8%
④持ち帰りをさせていない	22	95.7%	145	96.0%	133	92.4%	300	94.3%
無回答					2	1.4%	2	0.6%
回答者数(母数)	23	100.0%	151	100.0%	144	100.0%	318	100.0%



※「④持ち帰りをさせていない」が全体で 94.3%であり、持ち帰り利用が進んでいないことが伺える。

1-2-22 中学校における生徒用タブレット型コンピュータの整備状況について伺います。

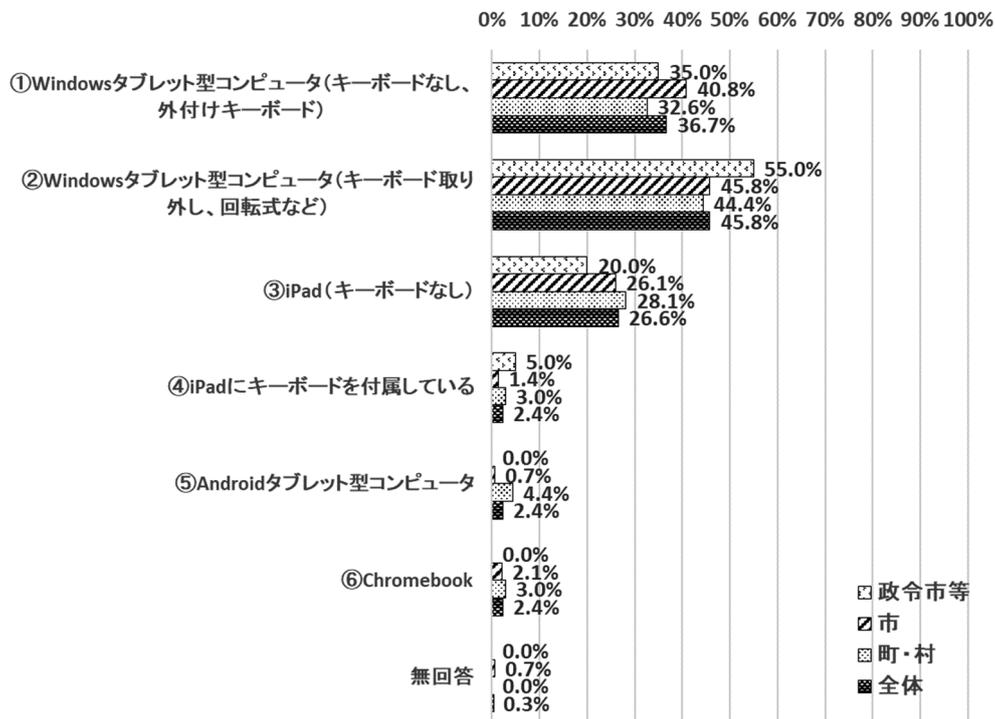
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全生徒1人1台整備している			2	1.0%	12	6.2%	14	3.3%
②3クラスに1クラス分程度以上整備している	1	3.7%	3	1.5%	22	11.3%	26	6.2%
③1クラス分以上(40台)整備している	14	51.9%	88	44.7%	41	21.0%	143	34.1%
④学校に数台整備している	5	18.5%	49	24.9%	60	30.8%	114	27.2%
⑤整備していないが整備予定あり	4	14.8%	45	22.8%	42	21.5%	91	21.7%
⑥整備しておらず整備予定なし	3	11.1%	10	5.1%	15	7.7%	28	6.7%
無回答					3	1.5%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①全児童生徒1人1台整備している」が全体で3.3%、「②3クラスに1クラス分以上整備している」が全体で6.2%と、「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準」からほど遠い。

1-2-23 1-2-22 について、①②③④と回答された方に、コンピュータの種類について伺います。(いくつかでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	7	35.0%	58	40.8%	44	32.6%	109	36.7%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	11	55.0%	65	45.8%	60	44.4%	136	45.8%
③iPad(キーボードなし)	4	20.0%	37	26.1%	38	28.1%	79	26.6%
④iPadにキーボードを付属している	1	5.0%	2	1.4%	4	3.0%	7	2.4%
⑤Androidタブレット型コンピュータ			1	0.7%	6	4.4%	7	2.4%
⑥Chromebook			3	2.1%	4	3.0%	7	2.4%
無回答			1	0.7%			1	0.3%
回答数合計	23	115.0%	167	117.6%	156	115.6%	346	116.5%
回答者数(母数)	20		142		135		297	

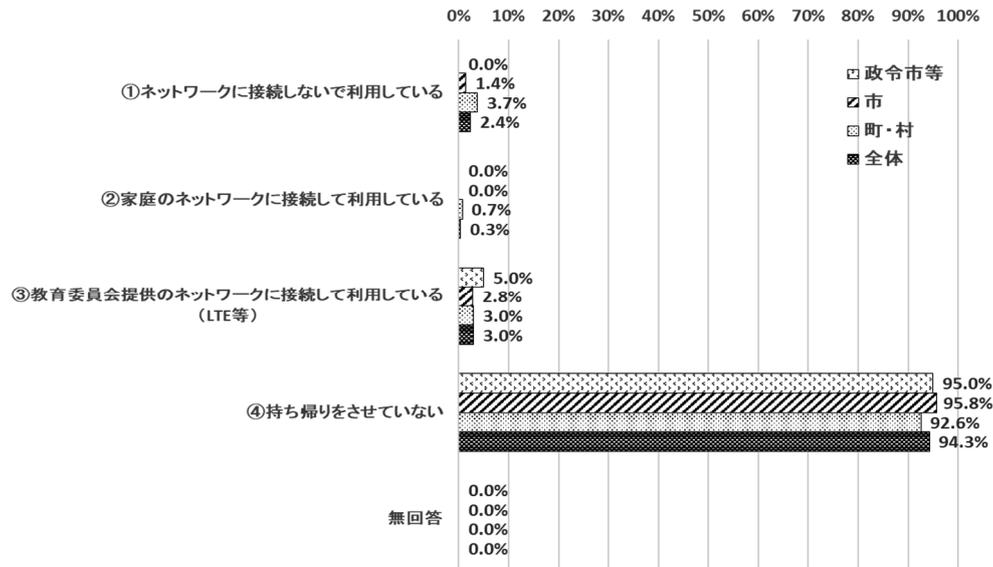


※「①Windows タブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)」

「②Windows タブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)」の Windows OS は合計で 82.5%と多いが、次いで「③iPad(キーボードなし)」 「④iPad にキーボードを付属している」の iOS も合計で 29.0%と多く利用されている。

1-2-24 1-2-22 で①②③④と回答された方に、生徒用タブレット型コンピュータの持ち帰り利用について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークに接続しないで利用している			2	1.4%	5	3.7%	7	2.4%
②家庭のネットワークに接続して利用している					1	0.7%	1	0.3%
③教育委員会提供のネットワークに接続して利用している(LTE等)	1	5.0%	4	2.8%	4	3.0%	9	3.0%
④持ち帰りをさせていない	19	95.0%	136	95.8%	125	92.6%	280	94.3%
無回答								
回答者数(母数)	20	100.0%	142	100.0%	135	100.0%	297	100.0%

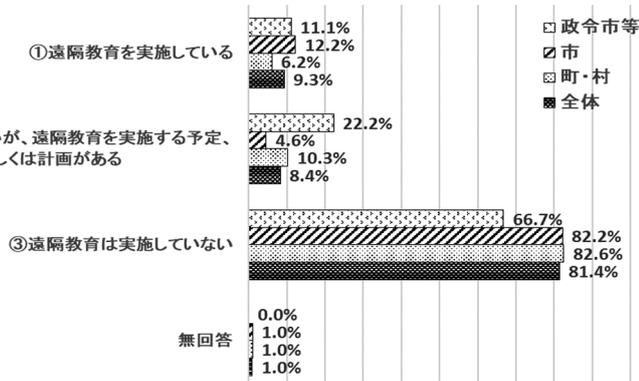


※「④持ち帰りをさせていない」が全体で94.3%となっている。持ち帰り利用が進んでいないことが伺える。

1-2-25 遠隔教育を行っていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①遠隔教育を実施している	3	11.1%	24	12.2%	12	6.2%	39	9.3%
②今はしていないが、遠隔教育を実施する予定、もしくは計画がある	6	22.2%	9	4.6%	20	10.3%	35	8.4%
③遠隔教育は実施していない	18	66.7%	162	82.2%	161	82.6%	341	81.4%
無回答			2	1.0%	2	1.0%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

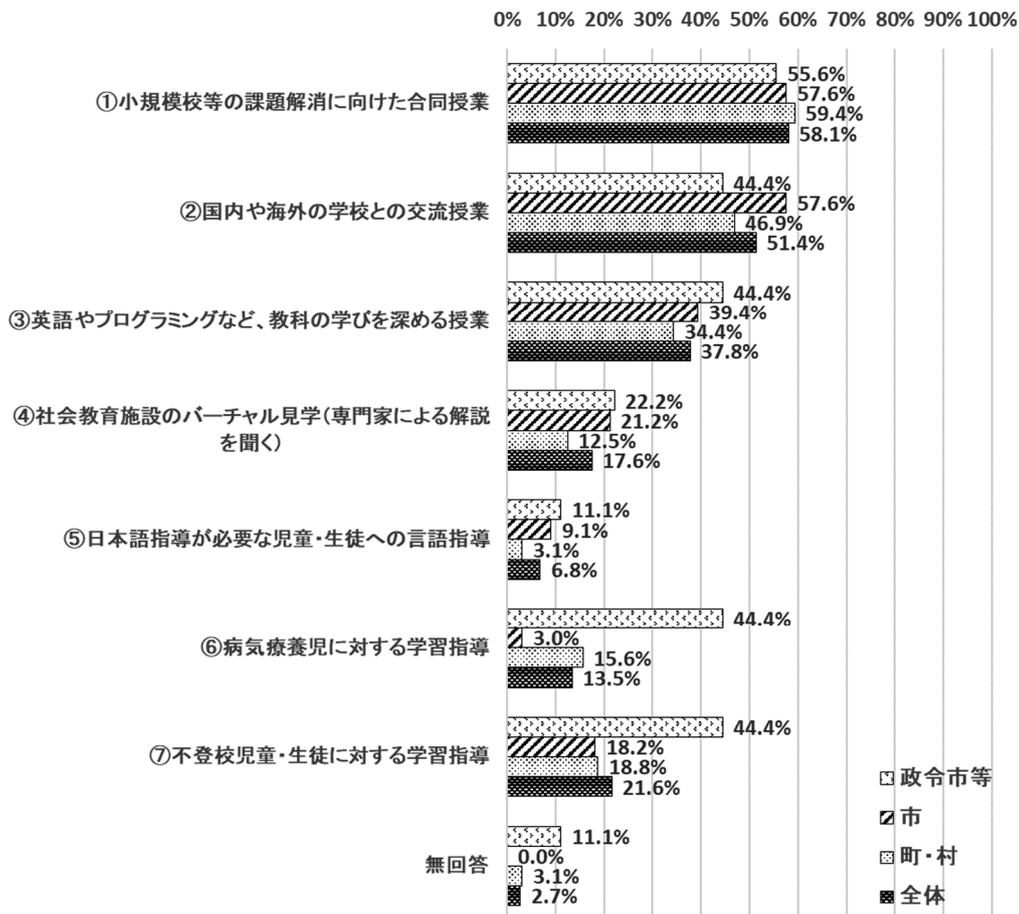
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※「①遠隔教育を実施している」が全体で9.3%であり、「②今はしていないが、遠隔教育を実施する予定、もしくは計画がある」も8.4%とある。今後の増加が期待される。

1-2-26 前問 1-2-25 で①②を選択した方に伺います。どのような遠隔教育を行っていますか。もしくは行う予定ですか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①小規模校等の課題解消に向けた合同授業	5	55.6%	19	57.6%	19	59.4%	43	58.1%
②国内や海外の学校との交流授業	4	44.4%	19	57.6%	15	46.9%	38	51.4%
③英語やプログラミングなど、教科の学びを深める授業	4	44.4%	13	39.4%	11	34.4%	28	37.8%
④社会教育施設のバーチャル見学(専門家による解説を聞く)	2	22.2%	7	21.2%	4	12.5%	13	17.6%
⑤日本語指導が必要な児童・生徒への言語指導	1	11.1%	3	9.1%	1	3.1%	5	6.8%
⑥病気療養児に対する学習指導	4	44.4%	1	3.0%	5	15.6%	10	13.5%
⑦不登校児童・生徒に対する学習指導	4	44.4%	6	18.2%	6	18.8%	16	21.6%
無回答	1	11.1%			1	3.1%	2	2.7%
回答数合計	25	277.8%	68	206.1%	62	193.8%	155	209.5%
回答者数(母数)	9		33		32		74	



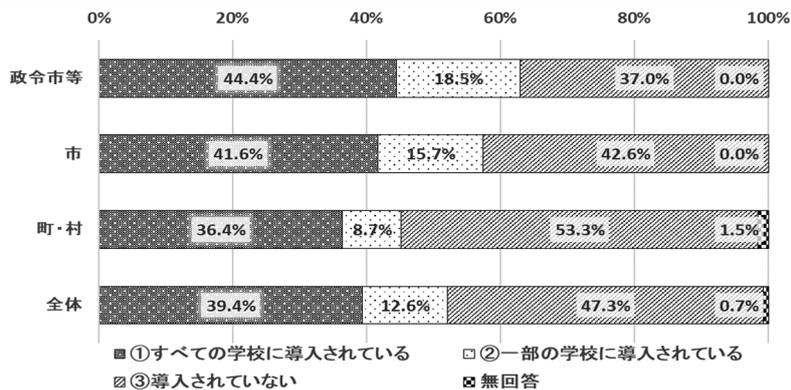
※「①小規模校等の課題解消に向けた合同授業」が58.1%あり、現実的な課題解決への取り組みということが分かる。次いで「②国内や海外の学校との交流授業」も51.4%あり、学校外との交流にICTを使うケースが増えている。政令市等で「⑥病気療養児に対する学習指導」「⑦不登校児童・生徒に対する学習指導」がそれぞれ44.4%あるのは特徴的である。

1-3 ソフトウェアに関する項目

1-3-01 指導者用デジタル教科書の導入について伺います。

1-3-01(1) 指導者用デジタル教科書は小学校に導入されていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている	12	44.4%	82	41.6%	71	36.4%	165	39.4%
②一部の学校に導入されている	5	18.5%	31	15.7%	17	8.7%	53	12.6%
③導入されていない	10	37.0%	84	42.6%	104	53.3%	198	47.3%
無回答					3	1.5%	3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

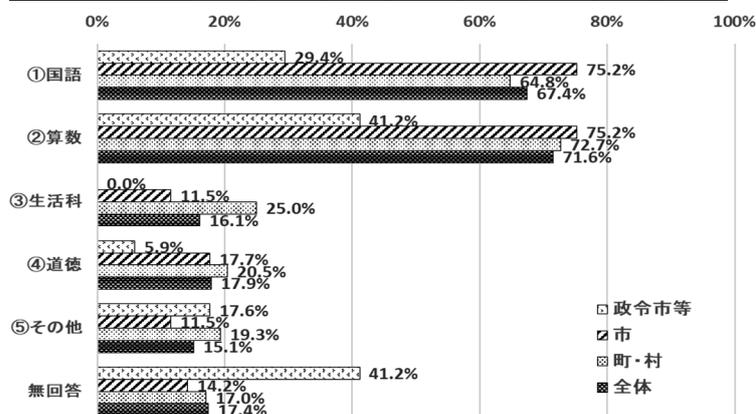


※「①すべての学校に導入されている」「②一部の学校に導入されている」を合わせると、政令市等では62.9%、市では57.3%、町・村では45.1%となっており、自治体規模が小さくなるにつれて導入が遅れている。

1-3-01(2) 前問 1-3-01(1)で選択肢①②（指導者用デジタル教科書が導入されている）と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何ですか。（いくつでも）

1-3-01(21) 1年（いくつでも）

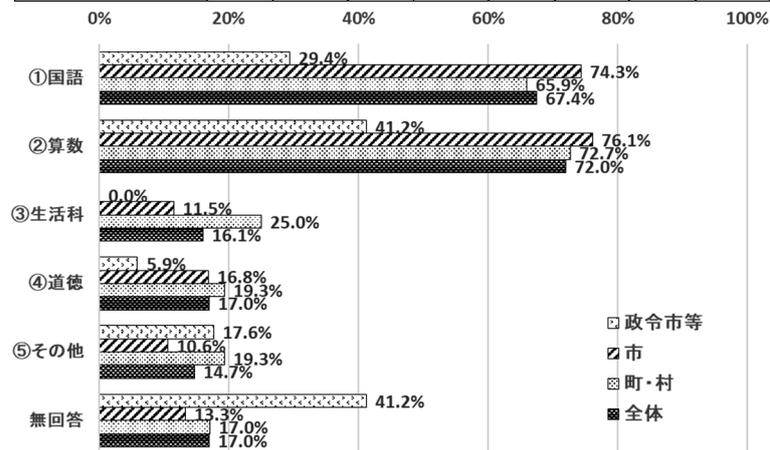
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	85	75.2%	57	64.8%	147	67.4%
②算数	7	41.2%	85	75.2%	64	72.7%	156	71.6%
③生活科			13	11.5%	22	25.0%	35	16.1%
④道徳	1	5.9%	20	17.7%	18	20.5%	39	17.9%
⑤その他	3	17.6%	13	11.5%	17	19.3%	33	15.1%
無回答	7	41.2%	16	14.2%	15	17.0%	38	17.4%
回答数合計	23	135.3%	232	205.3%	193	219.3%	448	205.5%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「②算数」が最も多く、全体で71.6%となっている。次いで「②国語」が全体で67.4%となっている。

## 1-3-01(22) 2年(いくつでも)

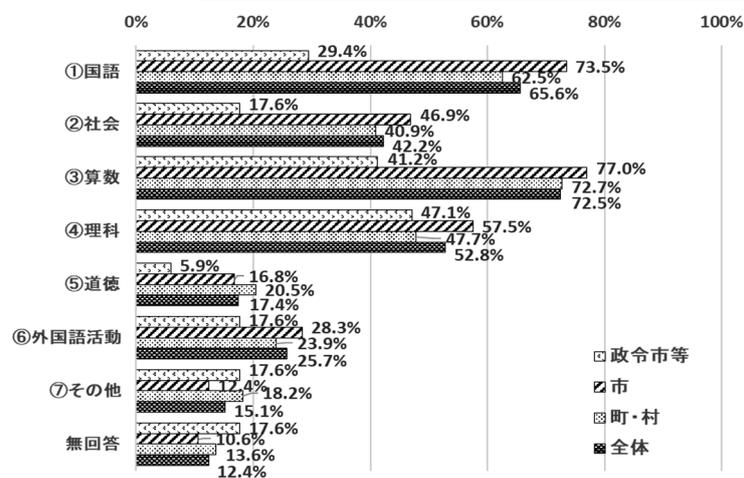
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	84	74.3%	58	65.9%	147	67.4%
②算数	7	41.2%	86	76.1%	64	72.7%	157	72.0%
③生活科			13	11.5%	22	25.0%	35	16.1%
④道徳	1	5.9%	19	16.8%	17	19.3%	37	17.0%
⑤その他	3	17.6%	12	10.6%	17	19.3%	32	14.7%
無回答	7	41.2%	15	13.3%	15	17.0%	37	17.0%
回答数合計	23	135.3%	229	202.7%	193	219.3%	445	204.1%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「②算数」が最も多く、全体で72.0%となっている。次いで「①国語」が全体で67.4%となっている。

## 1-3-01(23) 3年(いくつでも)

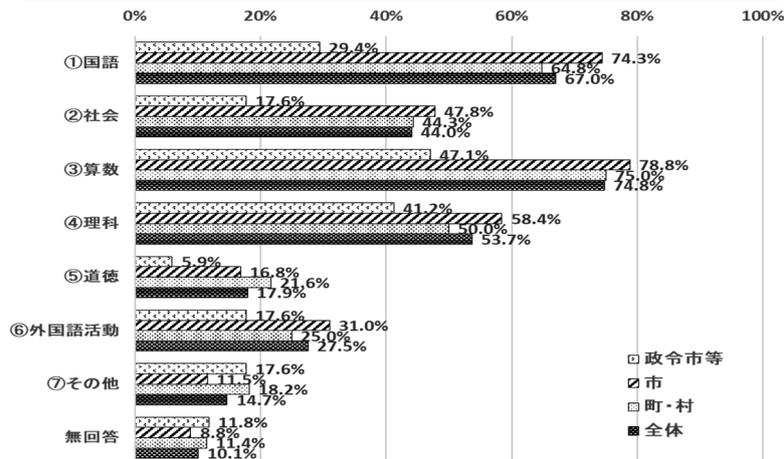
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	83	73.5%	55	62.5%	143	65.6%
②社会	3	17.6%	53	46.9%	36	40.9%	92	42.2%
③算数	7	41.2%	87	77.0%	64	72.7%	158	72.5%
④理科	8	47.1%	65	57.5%	42	47.7%	115	52.8%
⑤道徳	1	5.9%	19	16.8%	18	20.5%	38	17.4%
⑥外国語活動	3	17.6%	32	28.3%	21	23.9%	56	25.7%
⑦その他	3	17.6%	14	12.4%	16	18.2%	33	15.1%
無回答	3	17.6%	12	10.6%	12	13.6%	27	12.4%
回答数合計	33	194.1%	365	323.0%	264	300.0%	662	303.7%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「③算数」が最も多く、全体で72.5%となっている。次いで「①国語」が全体で65.6%、「④理科」が全体で52.8%となっている。

1-3-01(24) 4年(いくつでも)

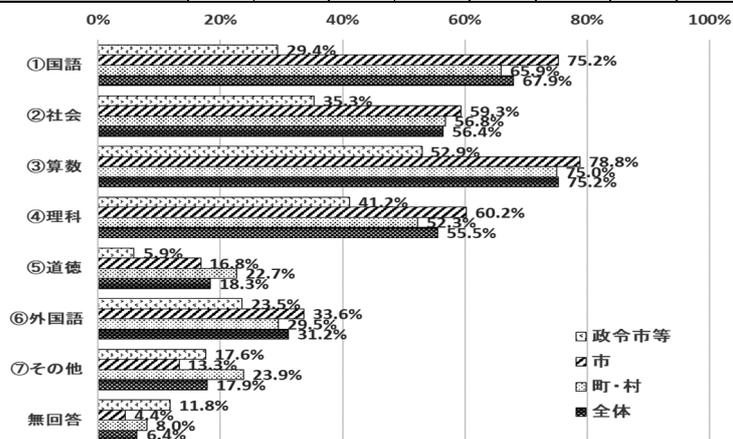
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	84	74.3%	57	64.8%	146	67.0%
②社会	3	17.6%	54	47.8%	39	44.3%	96	44.0%
③算数	8	47.1%	89	78.8%	66	75.0%	163	74.8%
④理科	7	41.2%	66	58.4%	44	50.0%	117	53.7%
⑤道徳	1	5.9%	19	16.8%	19	21.6%	39	17.9%
⑥外国語活動	3	17.6%	35	31.0%	22	25.0%	60	27.5%
⑦その他	3	17.6%	13	11.5%	16	18.2%	32	14.7%
無回答	2	11.8%	10	8.8%	10	11.4%	22	10.1%
回答数合計	32	188.2%	370	327.4%	273	310.2%	675	309.6%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「③算数」が最も多く、全体で74.8%となっている。次いで「②国語」が全体で67.0%、「④理科」が全体で53.7%となっている。

1-3-01(25) 5年(いくつでも)

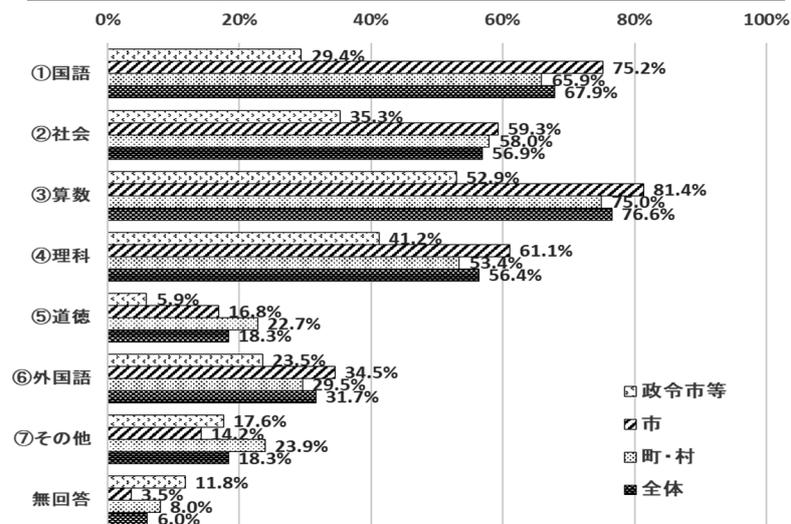
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	85	75.2%	58	65.9%	148	67.9%
②社会	6	35.3%	67	59.3%	50	56.8%	123	56.4%
③算数	9	52.9%	89	78.8%	66	75.0%	164	75.2%
④理科	7	41.2%	68	60.2%	46	52.3%	121	55.5%
⑤道徳	1	5.9%	19	16.8%	20	22.7%	40	18.3%
⑥外国語	4	23.5%	38	33.6%	26	29.5%	68	31.2%
⑦その他	3	17.6%	15	13.3%	21	23.9%	39	17.9%
無回答	2	11.8%	5	4.4%	7	8.0%	14	6.4%
回答数合計	37	217.6%	386	341.6%	294	334.1%	717	328.9%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「③算数」が最も多く、全体で75.2%となっている。次いで「①国語」が全体で67.9%、「②社会」が全体で56.4%、「④理科」が全体で55.5%となっている。

## 1-3-01(26) 6年(いくつでも)

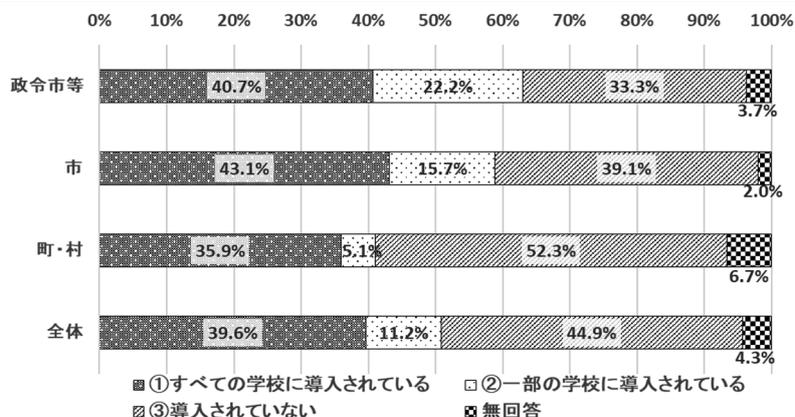
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	85	75.2%	58	65.9%	148	67.9%
②社会	6	35.3%	67	59.3%	51	58.0%	124	56.9%
③算数	9	52.9%	92	81.4%	66	75.0%	167	76.6%
④理科	7	41.2%	69	61.1%	47	53.4%	123	56.4%
⑤道徳	1	5.9%	19	16.8%	20	22.7%	40	18.3%
⑥外国語	4	23.5%	39	34.5%	26	29.5%	69	31.7%
⑦その他	3	17.6%	16	14.2%	21	23.9%	40	18.3%
無回答	2	11.8%	4	3.5%	7	8.0%	13	6.0%
回答数合計	37	217.6%	391	346.0%	296	336.4%	724	332.1%
回答者数(母数)	17		113		88		218	



※「③算数」が最も多く、全体で76.6%となっている。次いで「①国語」が全体で67.9%、「②社会」が全体で56.9%、「④理科」が全体で56.4%となっている。

## 1-3-01(3) 指導者用デジタル教科書は中学校に導入されていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている	11	40.7%	85	43.1%	70	35.9%	166	39.6%
②一部の学校に導入されている	6	22.2%	31	15.7%	10	5.1%	47	11.2%
③導入されていない	9	33.3%	77	39.1%	102	52.3%	188	44.9%
無回答	1	3.7%	4	2.0%	13	6.7%	18	4.3%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

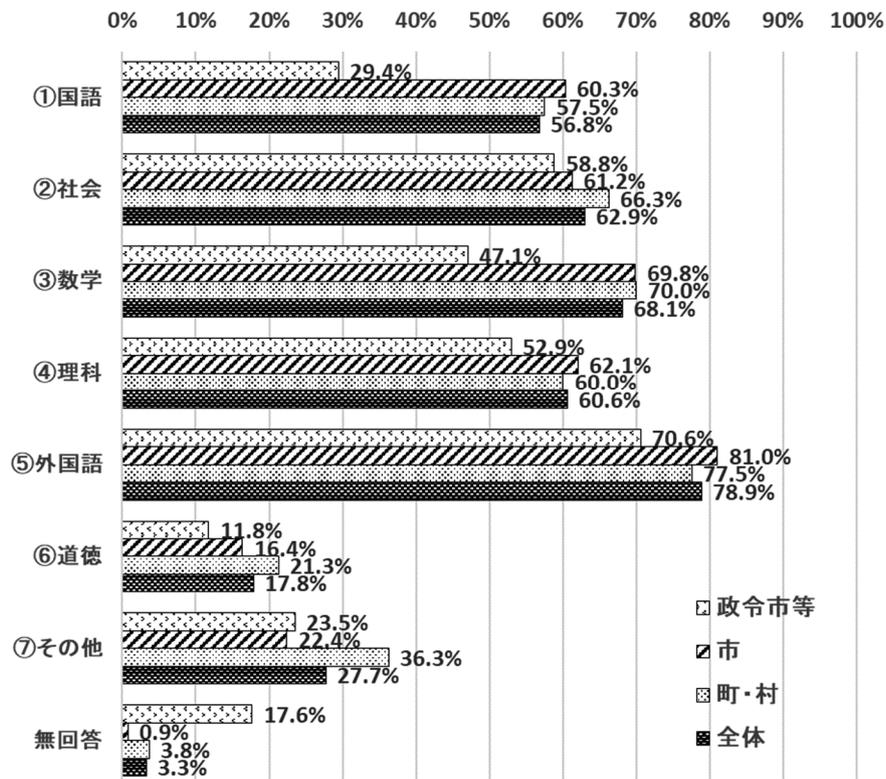


※「①すべての学校に導入されている」「②一部の学校に導入されている」を合わせると、政令市等では62.9%、市では58.8%、町・村では41.0%となっており、自治体規模が小さくなるにつれて導入が遅れている。

1-3-01(4) 前問 1-3-01(3)で選択肢①② (指導者用デジタル教科書が導入されている) と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

1-3-01(41) 1年 (いくつでも)

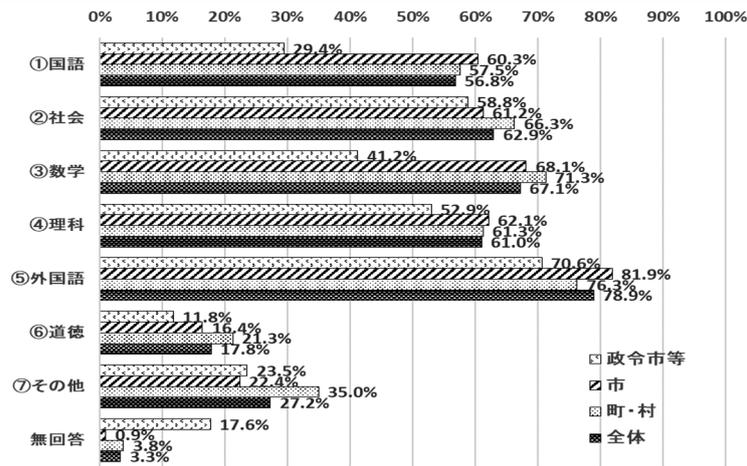
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	70	60.3%	46	57.5%	121	56.8%
②社会	10	58.8%	71	61.2%	53	66.3%	134	62.9%
③数学	8	47.1%	81	69.8%	56	70.0%	145	68.1%
④理科	9	52.9%	72	62.1%	48	60.0%	129	60.6%
⑤外国語	12	70.6%	94	81.0%	62	77.5%	168	78.9%
⑥道徳	2	11.8%	19	16.4%	17	21.3%	38	17.8%
⑦その他	4	23.5%	26	22.4%	29	36.3%	59	27.7%
無回答	3	17.6%	1	0.9%	3	3.8%	7	3.3%
回答数合計	53	311.8%	434	374.1%	314	392.5%	801	376.1%
回答者数(母数)	17		116		80		213	



※「⑤外国語」が最も多く、全体で78.9%となっている。次いで「③数学」が全体で68.1%、「②社会」が全体で62.9%、「④理科」が全体で60.6%となっている。

## 1-3-01(42) 2年(いくつでも)

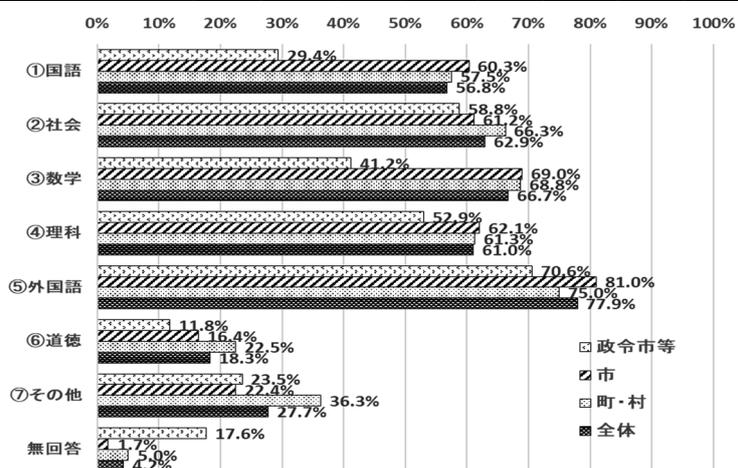
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	70	60.3%	46	57.5%	121	56.8%
②社会	10	58.8%	71	61.2%	53	66.3%	134	62.9%
③数学	7	41.2%	79	68.1%	57	71.3%	143	67.1%
④理科	9	52.9%	72	62.1%	49	61.3%	130	61.0%
⑤外国語	12	70.6%	95	81.9%	61	76.3%	168	78.9%
⑥道德	2	11.8%	19	16.4%	17	21.3%	38	17.8%
⑦その他	4	23.5%	26	22.4%	28	35.0%	58	27.2%
無回答	3	17.6%	1	0.9%	3	3.8%	7	3.3%
回答数合計	52	305.9%	433	373.3%	314	392.5%	799	375.1%
回答者数(母数)	17		116		80		213	



※「⑤外国語」が最も多く、全体で78.9%となっている。次いで「③数学」が全体で67.1%、「②社会」が全体で62.9%、「④理科」が全体で61.0%となっている。

## 1-3-01(43) 3年(いくつでも)

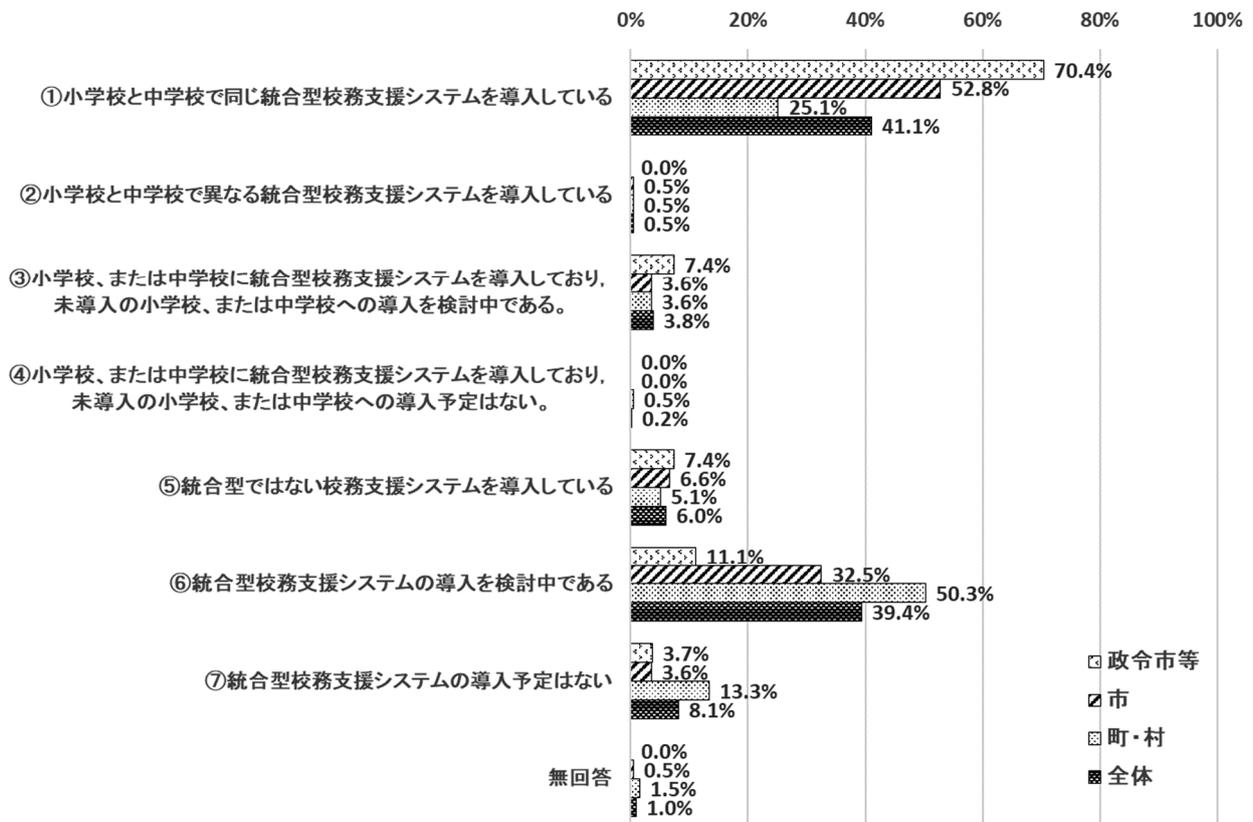
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	5	29.4%	70	60.3%	46	57.5%	121	56.8%
②社会	10	58.8%	71	61.2%	53	66.3%	134	62.9%
③数学	7	41.2%	80	69.0%	55	68.8%	142	66.7%
④理科	9	52.9%	72	62.1%	49	61.3%	130	61.0%
⑤外国語	12	70.6%	94	81.0%	60	75.0%	166	77.9%
⑥道德	2	11.8%	19	16.4%	18	22.5%	39	18.3%
⑦その他	4	23.5%	26	22.4%	29	36.3%	59	27.7%
無回答	3	17.6%	2	1.7%	4	5.0%	9	4.2%
回答数合計	52	305.9%	434	374.1%	314	392.5%	800	375.6%
回答者数(母数)	17		116		80		213	



※「⑤外国語」が最も多く、全体で77.9%となっている。次いで「③数学」が全体で66.7%、「②社会」が全体で62.9%、「④理科」が全体で61.0%となっている。

1-3-02 統合型校務支援システム導入について伺います。

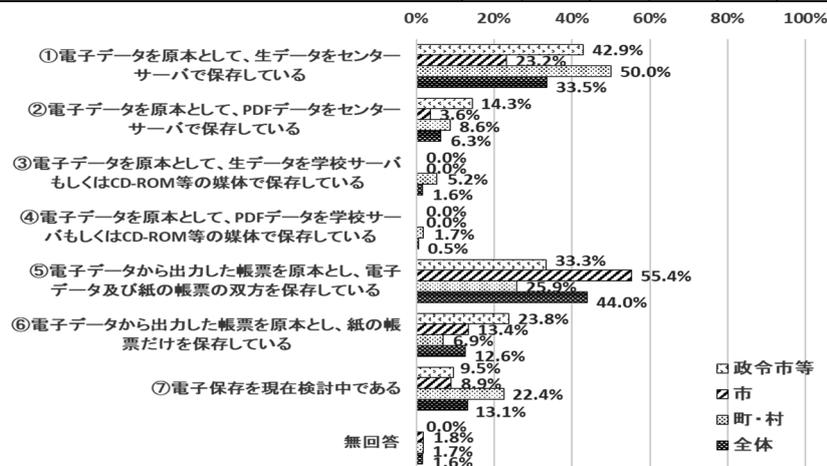
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している	19	70.4%	104	52.8%	49	25.1%	172	41.1%
②小学校と中学校で異なる統合型校務支援システムを導入している			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
③小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入を検討中である。	2	7.4%	7	3.6%	7	3.6%	16	3.8%
④小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入予定はない。					1	0.5%	1	0.2%
⑤統合型ではない校務支援システムを導入している	2	7.4%	13	6.6%	10	5.1%	25	6.0%
⑥統合型校務支援システムの導入を検討中である	3	11.1%	64	32.5%	98	50.3%	165	39.4%
⑦統合型校務支援システムの導入予定はない	1	3.7%	7	3.6%	26	13.3%	34	8.1%
無回答			1	0.5%	3	1.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※自治体規模により大きな差が出ている。「①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している」は、政令市等で70.4%、市で52.8%、町・村で25.1%となっている。「⑥統合型校務支援システムの導入を検討中である」は、政令市等で11.1%、市で32.5%、町・村で50.3%となっており、「⑦統合型校務支援システムの導入予定はない」は、前回調査と比較すると全体で(28.0%→8.1%)と減少している。

1-3-03 前問 1-3-02 で選択肢①②③④（統合型校務支援システムを導入している）と回答された方に伺います。指導要録などを電子保存していますか。（いくつでも）

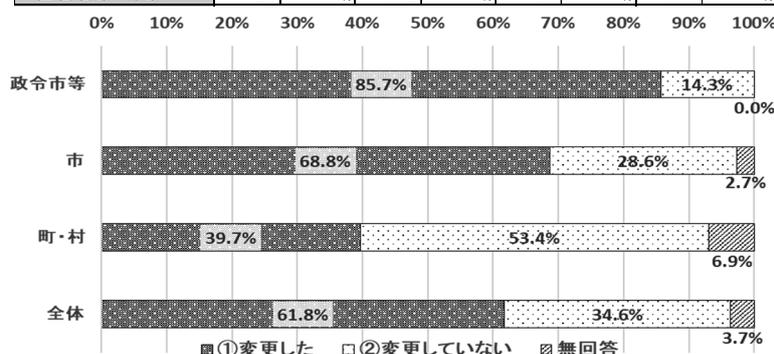
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子データを原本として、生データをセンターサーバで保存している	9	42.9%	26	23.2%	29	50.0%	64	33.5%
②電子データを原本として、PDFデータをセンターサーバで保存している	3	14.3%	4	3.6%	5	8.6%	12	6.3%
③電子データを原本として、生データを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している					3	5.2%	3	1.6%
④電子データを原本として、PDFデータを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している					1	1.7%	1	0.5%
⑤電子データから出力した帳票を原本とし、電子データ及び紙の帳票の双方を保存している	7	33.3%	62	55.4%	15	25.9%	84	44.0%
⑥電子データから出力した帳票を原本とし、紙の帳票だけを保存している	5	23.8%	15	13.4%	4	6.9%	24	12.6%
⑦電子保存を現在検討中である	2	9.5%	10	8.9%	13	22.4%	25	13.1%
無回答			2	1.8%	1	1.7%	3	1.6%
回答数合計	26	123.8%	119	106.3%	71	122.4%	216	113.1%
回答者数(母数)	21		112		58		191	



※前回調査と比較すると、「①②③④電子データを原本としている」自治体（34.4% →41.9%）、「⑤⑥電子データから出力した帳票を原本としている」自治体（61.6% →56.6%）となっており、電子化が進んでいる。

1-3-04 前々問 1-3-02 で選択肢①②③④（統合型校務支援システムを導入している）と回答された方に伺います。統合型校務支援システムを導入するにあたり、これまでの校務のルールを変更しましたか。

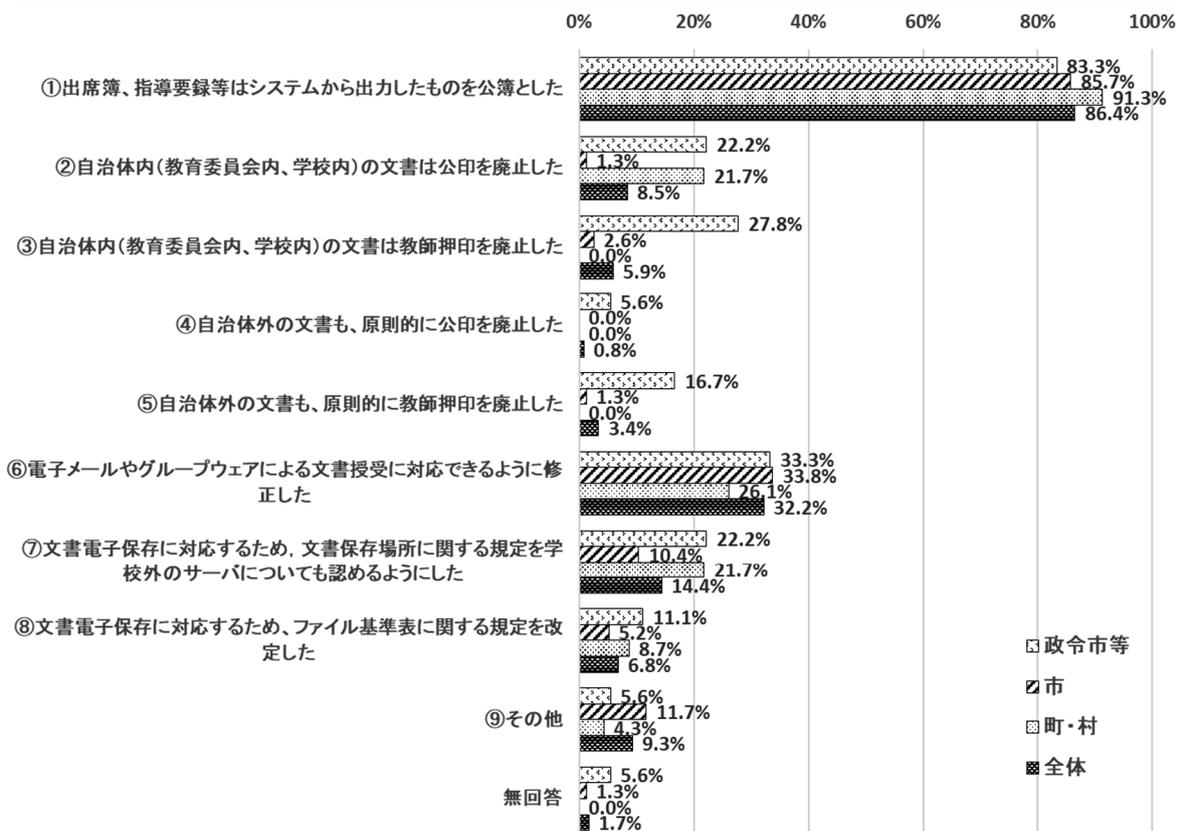
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更した	18	85.7%	77	68.8%	23	39.7%	118	61.8%
②変更していない	3	14.3%	32	28.6%	31	53.4%	66	34.6%
無回答			3	2.7%	4	6.9%	7	3.7%
回答者数(母数)	21	100.0%	112	100.0%	58	100.0%	191	100.0%



※政令市等、市では「①変更した」85.7%が「②変更していない」14.3%より多くなっているが、町・村では「②変更していない」53.4%が「①変更した」39.7%より多くなっている。

1-3-05 前問 1-3-04 で「①変更した」と回答された方に、変更した具体的な内容について伺います。  
(いくつでも)

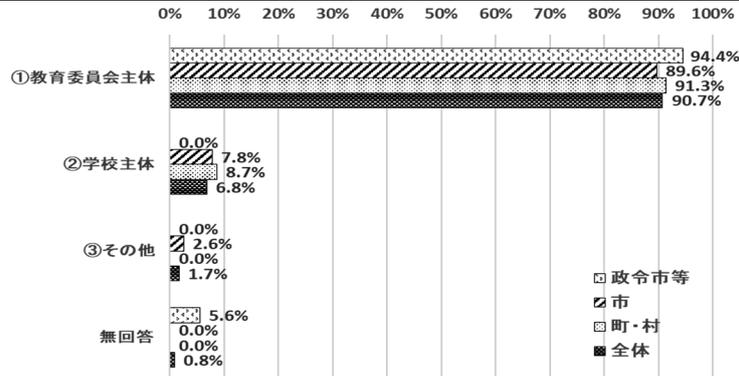
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした	15	83.3%	66	85.7%	21	91.3%	102	86.4%
②自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は公印を廃止した	4	22.2%	1	1.3%	5	21.7%	10	8.5%
③自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は教師押印を廃止した	5	27.8%	2	2.6%			7	5.9%
④自治体外の文書も、原則的に公印を廃止した	1	5.6%					1	0.8%
⑤自治体外の文書も、原則的に教師押印を廃止した	3	16.7%	1	1.3%			4	3.4%
⑥電子メールやグループウェアによる文書授受に対応できるように修正した	6	33.3%	26	33.8%	6	26.1%	38	32.2%
⑦文書電子保存に対応するため、文書保存場所に関する規定を学校外のサーバについても認めるようにした	4	22.2%	8	10.4%	5	21.7%	17	14.4%
⑧文書電子保存に対応するため、ファイル基準表に関する規定を改定した	2	11.1%	4	5.2%	2	8.7%	8	6.8%
⑨その他	1	5.6%	9	11.7%	1	4.3%	11	9.3%
無回答	1	5.6%	1	1.3%			2	1.7%
回答数合計	42	233.3%	118	153.2%	40	173.9%	200	169.5%
回答者数(母数)	18		77		23		118	



※「①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした」が、自治体規模に差異なく、全体で86.4%を占めている。

1-3-06 前々問 1-3-04 で「①変更した」と回答された方に伺います。誰が主体としてルールを変更しましたか。

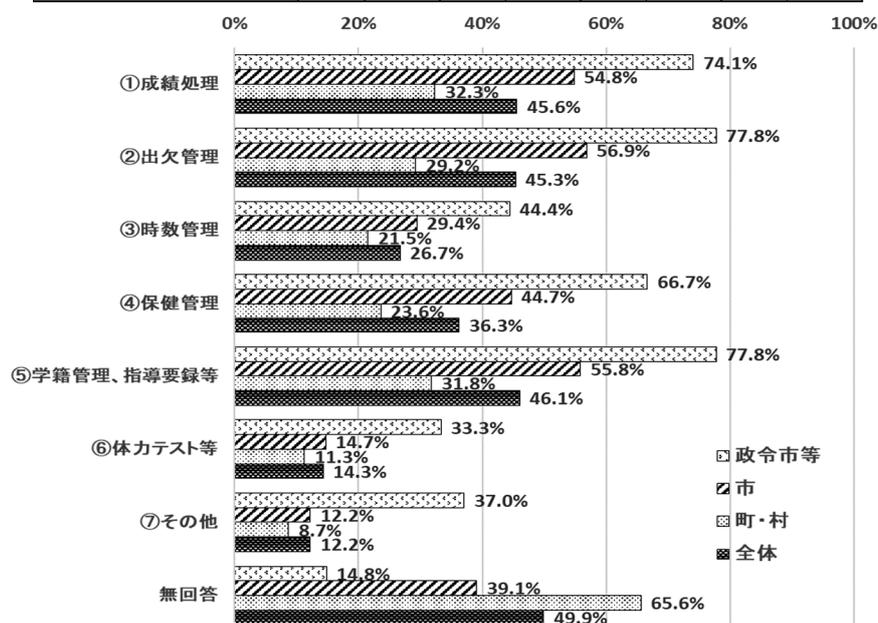
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会主体	17	94.4%	69	89.6%	21	91.3%	107	90.7%
②学校主体			6	7.8%	2	8.7%	8	6.8%
③その他			2	2.6%			2	1.7%
無回答	1	5.6%					1	0.8%
回答者数(母数)	18	100.0%	77	100.0%	23	100.0%	118	100.0%



※「①教育委員会主体」が、自治体規模に差異なく全体で90.7%を占めている。

1-3-07 統合型校務支援システムのどの機能を導入していますか。(いくつでも)

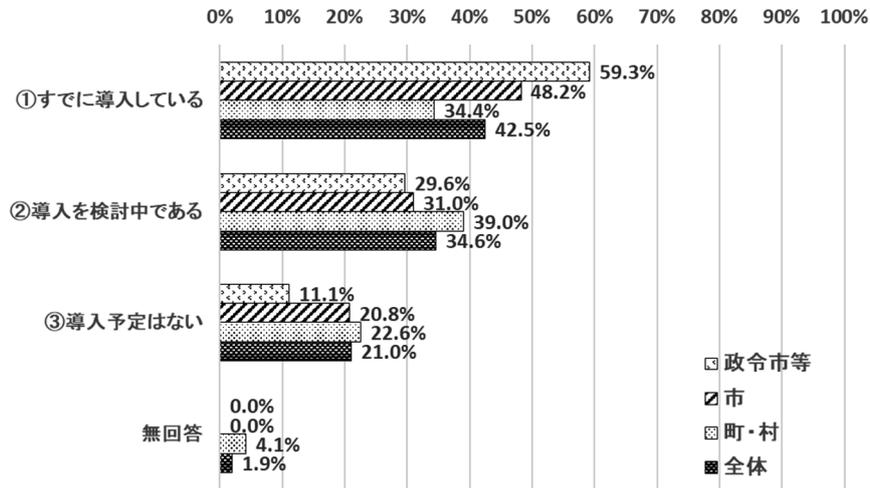
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①成績処理	20	74.1%	108	54.8%	63	32.3%	191	45.6%
②出欠管理	21	77.8%	112	56.9%	57	29.2%	190	45.3%
③時数管理	12	44.4%	58	29.4%	42	21.5%	112	26.7%
④保健管理	18	66.7%	88	44.7%	46	23.6%	152	36.3%
⑤学籍管理、指導要録等	21	77.8%	110	55.8%	62	31.8%	193	46.1%
⑥体カテスト等	9	33.3%	29	14.7%	22	11.3%	60	14.3%
⑦その他	10	37.0%	24	12.2%	17	8.7%	51	12.2%
無回答	4	14.8%	77	39.1%	128	65.6%	209	49.9%
回答数合計	115	425.9%	606	307.6%	437	224.1%	1,158	276.4%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「⑤学籍管理、指導要録等」が最も多く、全体で46.1%となっている。次いで「①成績処理」が全体で45.6%、「②出欠管理」が全体で45.3%となっている。

1-3-08 働き方改革に伴う勤務時間管理システムの導入について伺います。

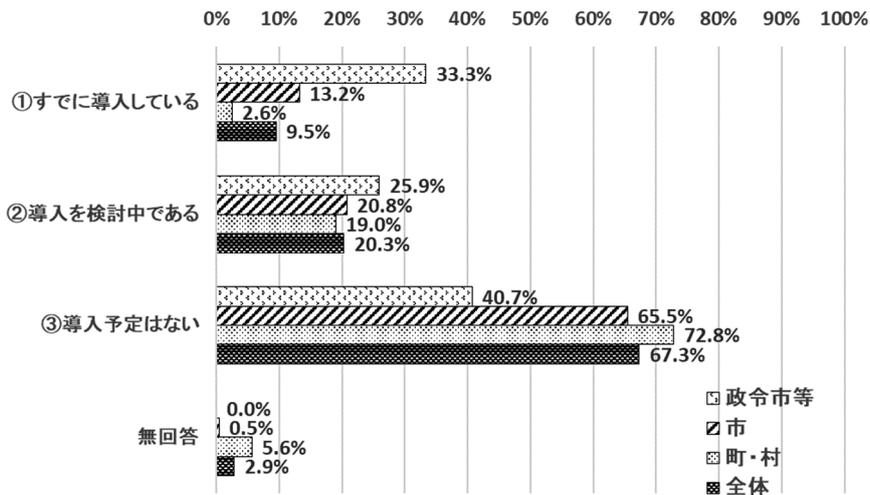
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでに導入している	16	59.3%	95	48.2%	67	34.4%	178	42.5%
②導入を検討中である	8	29.6%	61	31.0%	76	39.0%	145	34.6%
③導入予定はない	3	11.1%	41	20.8%	44	22.6%	88	21.0%
無回答					8	4.1%	8	1.9%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※自治体規模により差異が見られる。「①すでに導入している」が、政令市等では59.3%、市では48.2%、町・村では34.4%となっている。

1-3-09 働き方改革に伴う学校徴収金管理システムの導入について伺います。

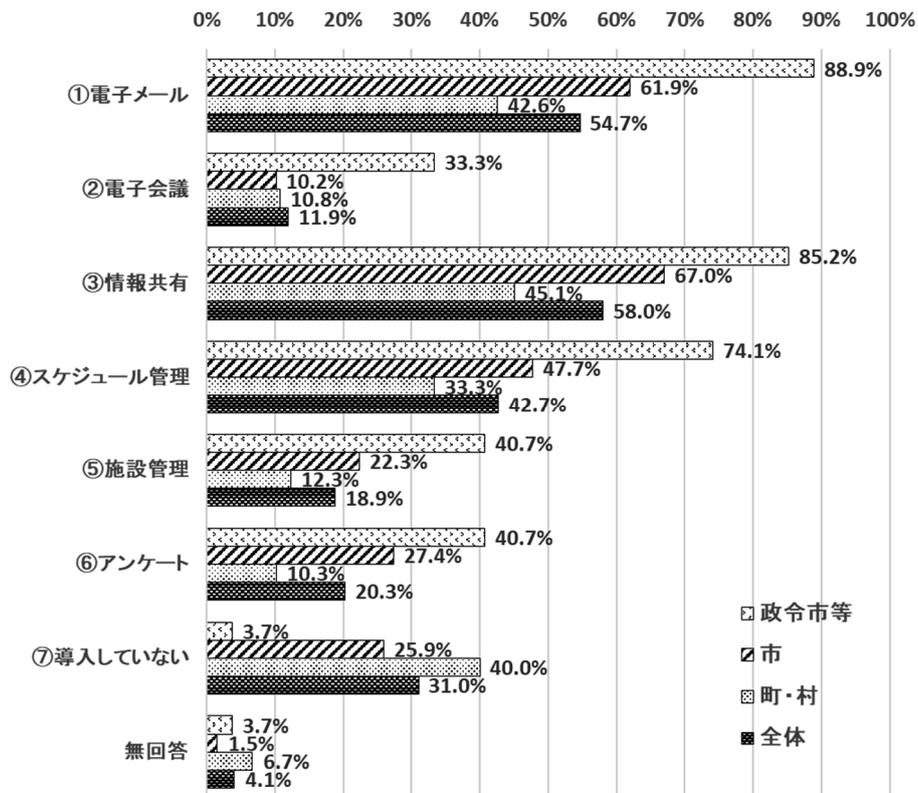
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでに導入している	9	33.3%	26	13.2%	5	2.6%	40	9.5%
②導入を検討中である	7	25.9%	41	20.8%	37	19.0%	85	20.3%
③導入予定はない	11	40.7%	129	65.5%	142	72.8%	282	67.3%
無回答			1	0.5%	11	5.6%	12	2.9%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※自治体規模により差異が見られる。「①すでに導入している」が、政令市等では33.3%、市では13.2%、町・村では2.6%となっている。一方、「③導入予定はない」が、政令市等では40.7%、市では65.5%、町・村では72.8%となっている。

## 1-3-10 グループウェアはどのような目的で利用されていますか。(いくつでも)

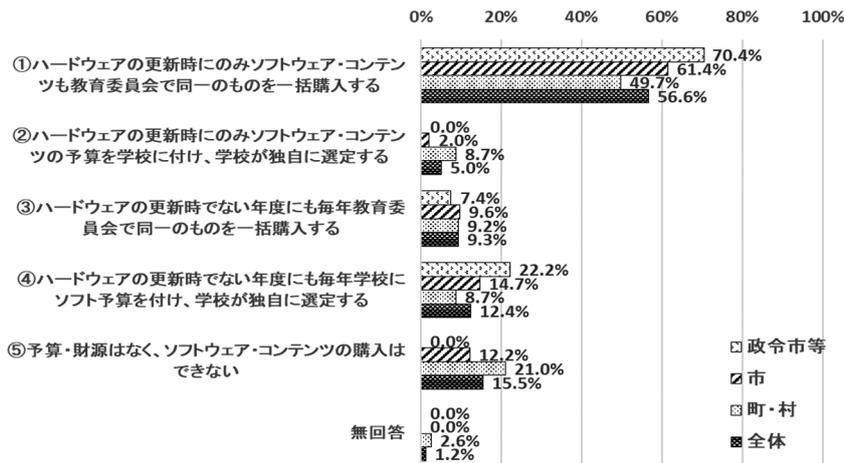
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子メール	24	88.9%	122	61.9%	83	42.6%	229	54.7%
②電子会議	9	33.3%	20	10.2%	21	10.8%	50	11.9%
③情報共有	23	85.2%	132	67.0%	88	45.1%	243	58.0%
④スケジュール管理	20	74.1%	94	47.7%	65	33.3%	179	42.7%
⑤施設管理	11	40.7%	44	22.3%	24	12.3%	79	18.9%
⑥アンケート	11	40.7%	54	27.4%	20	10.3%	85	20.3%
⑦導入していない	1	3.7%	51	25.9%	78	40.0%	130	31.0%
無回答	1	3.7%	3	1.5%	13	6.7%	17	4.1%
回答数合計	100	370.4%	520	264.0%	392	201.0%	1,012	241.5%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※グループウェアを導入している中では、「③情報共有」が最も多く、全体で28.1%となっている。次いで「①電子メール」が全体で26.5%、「④スケジュール管理」が全体で20.7%となっている。

1-3-11 学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算はどのように付けていますか。

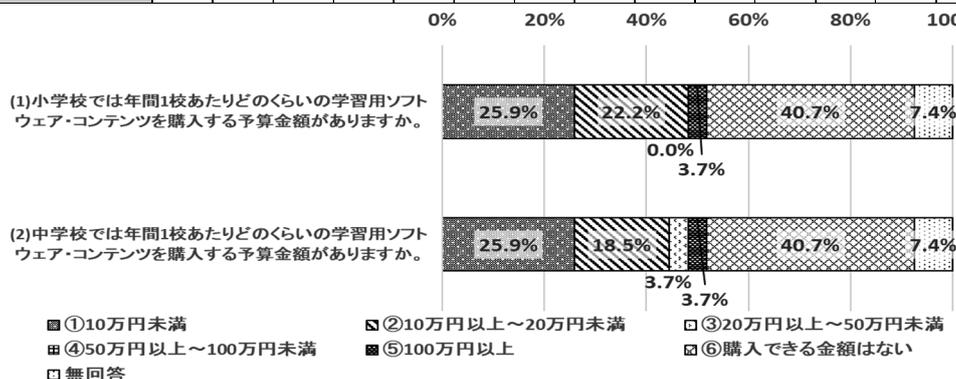
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ハードウェアの更新時にのみソフトウェア・コンテンツも教育委員会で同一のものを一括購入する	19	70.4%	121	61.4%	97	49.7%	237	56.6%
②ハードウェアの更新時にのみソフトウェア・コンテンツの予算を学校に付け、学校が独自に選定する			4	2.0%	17	8.7%	21	5.0%
③ハードウェアの更新時でない年度にも毎年教育委員会で同一のものを一括購入する	2	7.4%	19	9.6%	18	9.2%	39	9.3%
④ハードウェアの更新時でない年度にも毎年学校にソフト予算を付け、学校が独自に選定する	6	22.2%	29	14.7%	17	8.7%	52	12.4%
⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない			24	12.2%	41	21.0%	65	15.5%
無回答					5	2.6%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない」は、政令市等で0.0%、市で12.2%、町・村で21.0%と、自治体規模により差が出ている。「①ハードウェアの更新時にのみソフトウェア・コンテンツも教育委員会で同一のものを一括購入する」と「②ハードウェアの更新時にのみソフトウェア・コンテンツの予算を学校に付け、学校が独自に選定する」を合わせると、政令市等で70.4%、市で63.4%、町・村で58.4%となっている。

1-3-12 ソフトウェア・コンテンツの購入予算について伺います。

政令市等	①10万円未満		②10万円以上～20万円未満		③20万円以上～50万円未満		④50万円以上～100万円未満		⑤100万円以上		⑥購入できる金額はない		無回答		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
(1)小学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	7	25.9%	6	22.2%					1	3.7%	11	40.7%	2	7.4%	27	100.0%
(2)中学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	7	25.9%	5	18.5%	1	3.7%			1	3.7%	11	40.7%	2	7.4%	27	100.0%

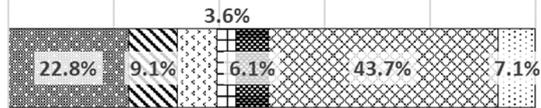


※前回調査と比較すると、「⑥購入できる金額はない」は、小学校・中学校とも大幅に増えている(16.2%→40.7%)。

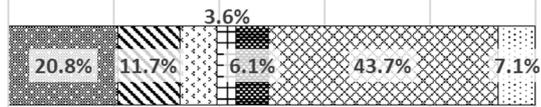
市	①10万円未満		②10万円以上～20万円未満		③20万円以上～50万円未満		④50万円以上～100万円未満		⑤100万円以上		⑥購入できる金額はない		無回答		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
(1)小学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	45	22.8%	18	9.1%	15	7.6%	7	3.6%	12	6.1%	86	43.7%	14	7.1%	197	100.0%
(2)中学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	41	20.8%	23	11.7%	14	7.1%	7	3.6%	12	6.1%	86	43.7%	14	7.1%	197	100.0%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(1)小学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。



(2)中学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。



- ①10万円未満
- ②10万円以上～20万円未満
- ③20万円以上～50万円未満
- ④50万円以上～100万円未満
- ⑤100万円以上
- ⑥購入できる金額はない
- 無回答

※前回調査と比較すると、「⑥購入できる金額はない」は、小学校（46.3%→43.7%）、中学校（46.7%→43.7%）と、ほとんど変化が見られない。

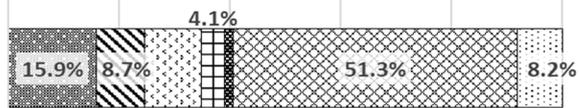
町・村	①10万円未満		②10万円以上～20万円未満		③20万円以上～50万円未満		④50万円以上～100万円未満		⑤100万円以上		⑥購入できる金額はない		無回答		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
(1)小学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	32	16.4%	15	7.7%	18	9.2%	10	5.1%	3	1.5%	102	52.3%	15	7.7%	195	100.0%
(2)中学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。	31	15.9%	17	8.7%	20	10.3%	8	4.1%	3	1.5%	100	51.3%	16	8.2%	195	100.0%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(1)小学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。



(2)中学校では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入する予算金額がありますか。

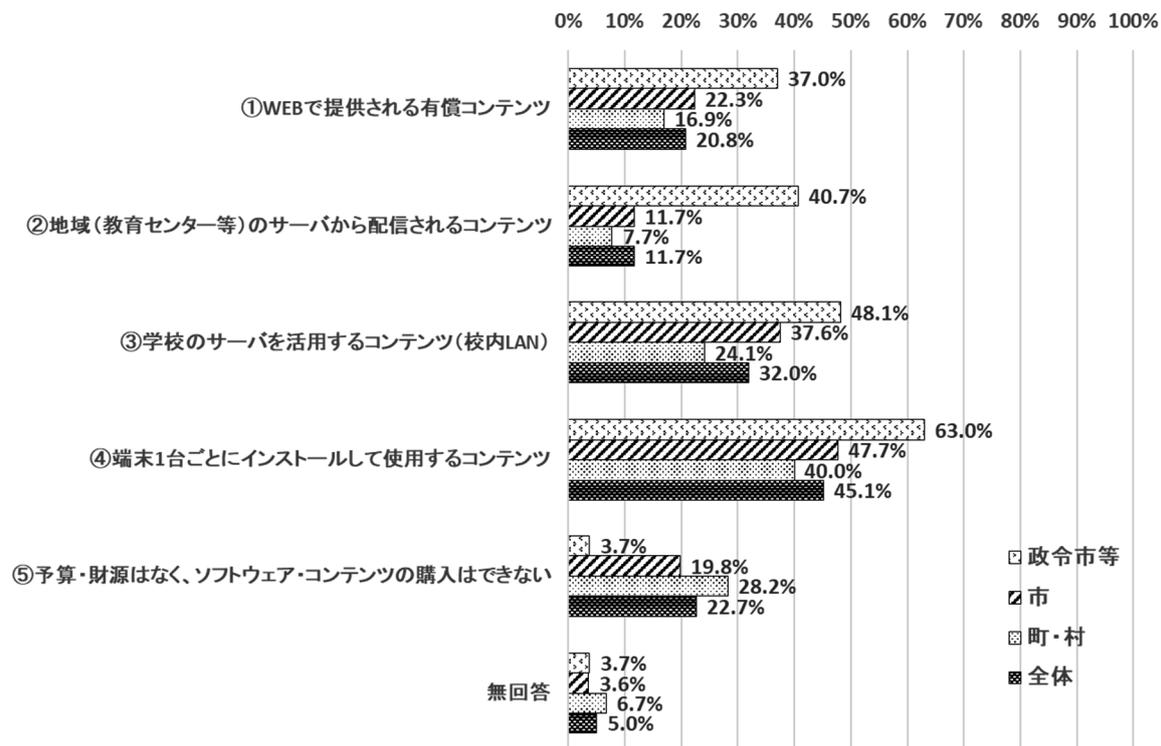


- ①10万円未満
- ②10万円以上～20万円未満
- ③20万円以上～50万円未満
- ④50万円以上～100万円未満
- ⑤100万円以上
- ⑥購入できる金額はない
- 無回答

※前回調査と比較すると、「⑥購入できる金額はない」は、小学校（50.0%→52.3%）、中学校（50.3%→51.3%）と、ほとんど変化が見られない。

1-3-13(1) 小学校が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)

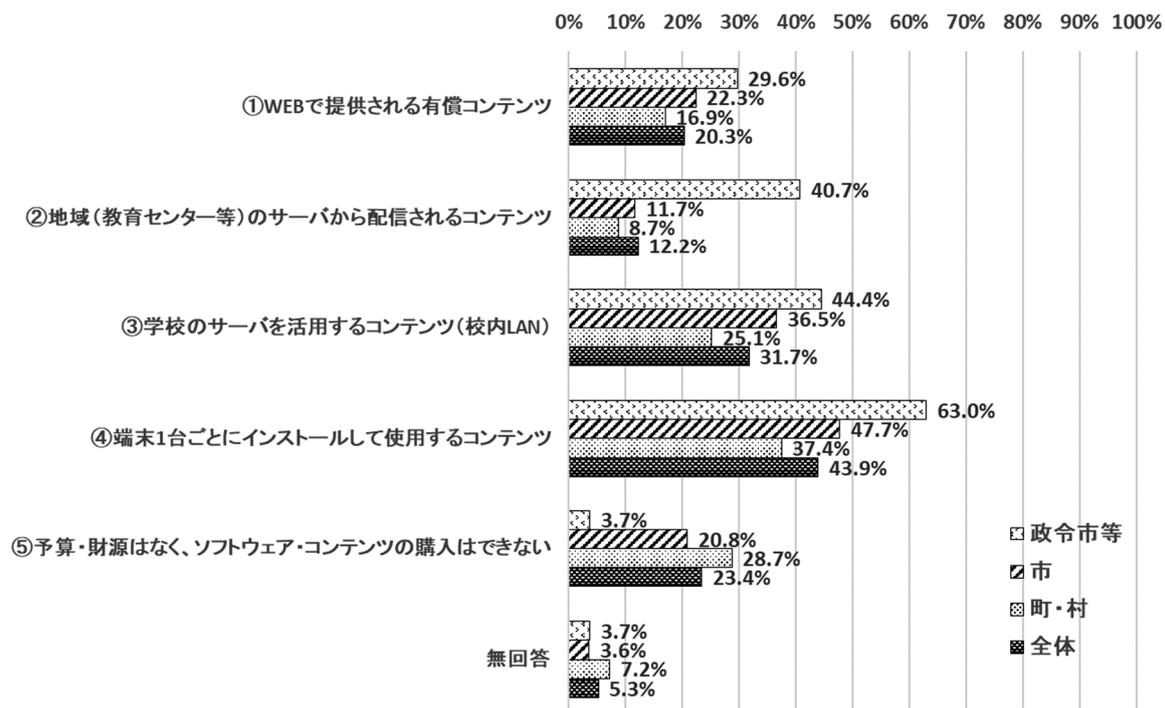
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WEBで提供される有償コンテンツ	10	37.0%	44	22.3%	33	16.9%	87	20.8%
②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ	11	40.7%	23	11.7%	15	7.7%	49	11.7%
③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)	13	48.1%	74	37.6%	47	24.1%	134	32.0%
④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ	17	63.0%	94	47.7%	78	40.0%	189	45.1%
⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない	1	3.7%	39	19.8%	55	28.2%	95	22.7%
無回答	1	3.7%	7	3.6%	13	6.7%	21	5.0%
回答数合計	53	196.3%	281	142.6%	241	123.6%	575	137.2%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ」が最も多く、全体で45.1%となっている。次いで「③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)」が全体で32.0%、「①WEBで提供される有償コンテンツ」が全体で20.8%となっているが、「⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない」が全体で22.7%となっており、現状において多くの学校で充実したコンテンツをそろえることは困難であり、有効なICT活用のための予算措置が望まれる。

1-3-13(2) 中学校が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WEBで提供される有償コンテンツ	8	29.6%	44	22.3%	33	16.9%	85	20.3%
②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ	11	40.7%	23	11.7%	17	8.7%	51	12.2%
③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)	12	44.4%	72	36.5%	49	25.1%	133	31.7%
④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ	17	63.0%	94	47.7%	73	37.4%	184	43.9%
⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない	1	3.7%	41	20.8%	56	28.7%	98	23.4%
無回答	1	3.7%	7	3.6%	14	7.2%	22	5.3%
回答数合計	50	185.2%	281	142.6%	242	124.1%	573	136.8%
回答者数(母数)	27		197		195		419	

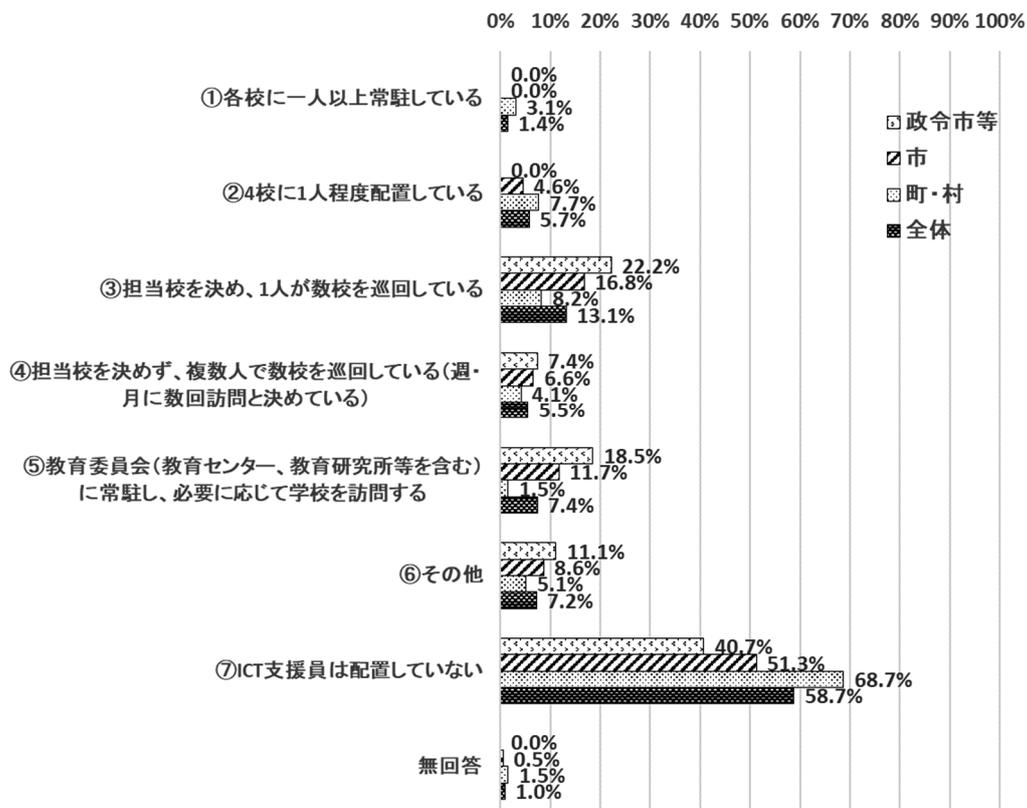


※「④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ」が最も多く、全体で43.9%となっている。次いで「③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)」が全体で31.7%、「①WEBで提供される有償コンテンツ」が全体で20.3%となっているが、「⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない」が全体で23.4%となっており、現状において多くの学校で充実したコンテンツをそろえることは困難であり、有効なICT活用のための予算措置が望まれる。

1-4 保守サポートに関する項目

1-4-01 ICT支援員の配置について伺います。

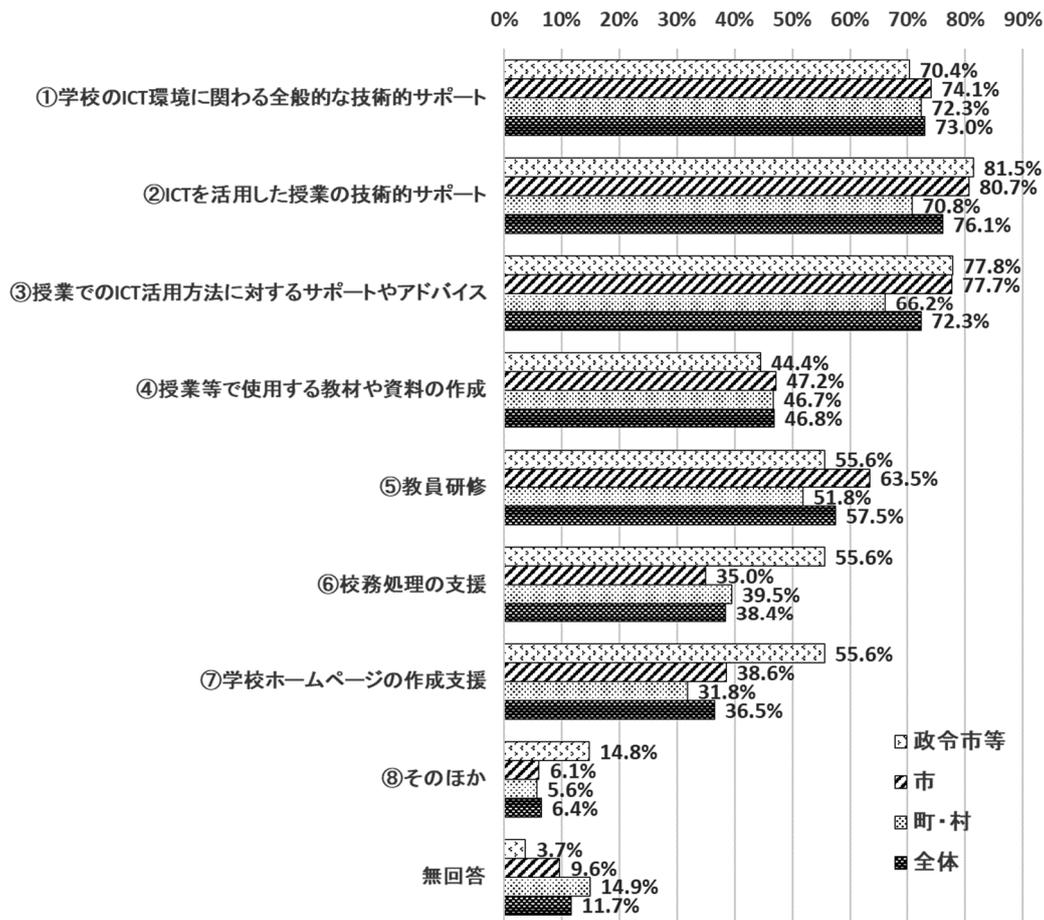
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①各校に一人以上常駐している					6	3.1%	6	1.4%
②4校に1人程度配置している			9	4.6%	15	7.7%	24	5.7%
③担当校を決め、1人が数校を巡回している	6	22.2%	33	16.8%	16	8.2%	55	13.1%
④担当校を決めず、複数人で数校を巡回している(週・月に数回訪問と決めている)	2	7.4%	13	6.6%	8	4.1%	23	5.5%
⑤教育委員会(教育センター、教育研究所等を含む)に常駐し、必要に応じて学校を訪問する	5	18.5%	23	11.7%	3	1.5%	31	7.4%
⑥その他	3	11.1%	17	8.6%	10	5.1%	30	7.2%
⑦ICT支援員は配置していない	11	40.7%	101	51.3%	134	68.7%	246	58.7%
無回答			1	0.5%	3	1.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「⑦ICT支援員は配置していない」が、町・村で68.7%、市で51.3%、政令市等で40.7%となっている。文部科学省が目標としている水準は、「ICT支援員 4校に1人配置」であり、目標に遠く及ばない。早急な対策が求められる。

## 1-4-02 ICT 支援員に期待する業務について伺います。(いくつでも)

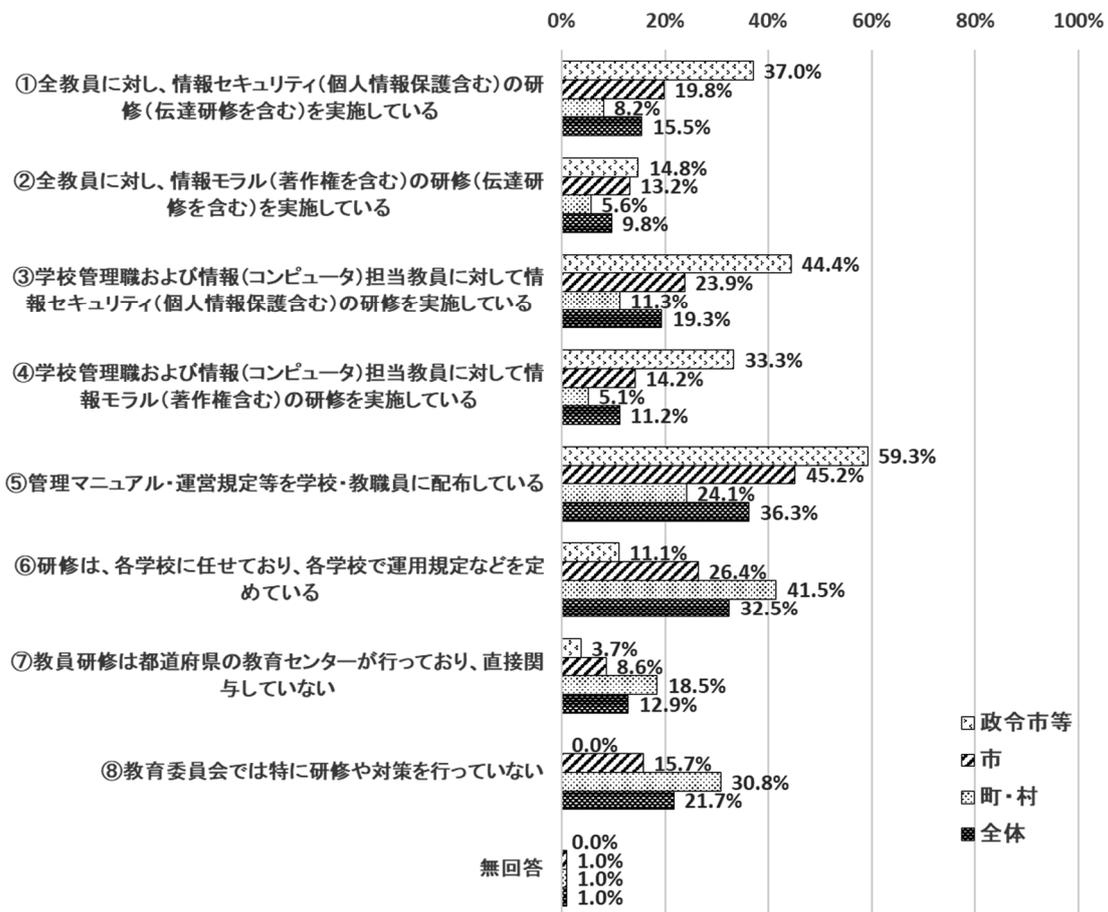
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	19	70.4%	146	74.1%	141	72.3%	306	73.0%
②ICTを活用した授業の技術的サポート	22	81.5%	159	80.7%	138	70.8%	319	76.1%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	21	77.8%	153	77.7%	129	66.2%	303	72.3%
④授業等で使用する教材や資料の作成	12	44.4%	93	47.2%	91	46.7%	196	46.8%
⑤教員研修	15	55.6%	125	63.5%	101	51.8%	241	57.5%
⑥校務処理の支援	15	55.6%	69	35.0%	77	39.5%	161	38.4%
⑦学校ホームページの作成支援	15	55.6%	76	38.6%	62	31.8%	153	36.5%
⑧その他	4	14.8%	12	6.1%	11	5.6%	27	6.4%
無回答	1	3.7%	19	9.6%	29	14.9%	49	11.7%
回答数合計	124	459.3%	852	432.5%	779	399.5%	1,755	418.9%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※全体で「②ICTを活用した授業の技術的サポート」が76.1%、「①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート」が73.0%、「③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス」が72.3%と高くなっている。また、「⑤教員研修」も全体で57.5%、市で63.5%となっている。政令市等では、「⑥校務処理の支援」「⑦学校ホームページの作成支援」がどちらも55.6%と高くなっている。

1-4-03 教育委員会で実施している情報セキュリティや情報モラルの研修について伺います。(いくつでも)

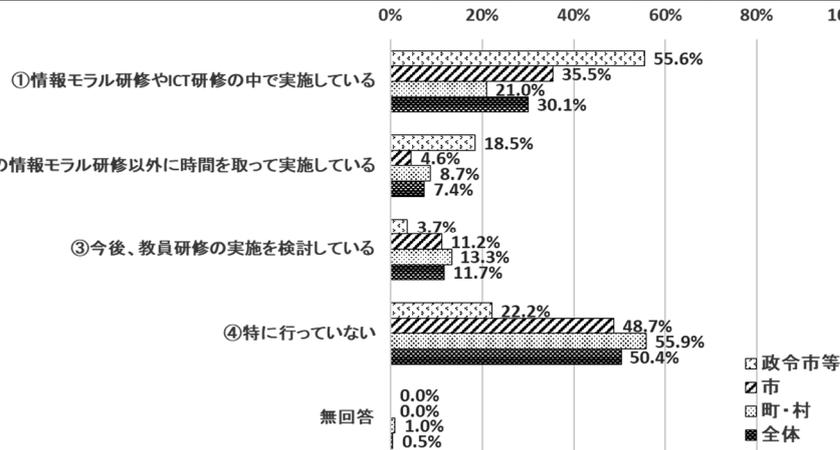
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員に対し、情報セキュリティ(個人情報保護含む)の研修(伝達研修を含む)を実施している	10	37.0%	39	19.8%	16	8.2%	65	15.5%
②全教員に対し、情報モラル(著作権を含む)の研修(伝達研修を含む)を実施している	4	14.8%	26	13.2%	11	5.6%	41	9.8%
③学校管理職および情報(コンピュータ)担当教員に対して情報セキュリティ(個人情報保護含む)の研修を実施している	12	44.4%	47	23.9%	22	11.3%	81	19.3%
④学校管理職および情報(コンピュータ)担当教員に対して情報モラル(著作権含む)の研修を実施している	9	33.3%	28	14.2%	10	5.1%	47	11.2%
⑤管理マニュアル・運営規定等を学校・教職員に配布している	16	59.3%	89	45.2%	47	24.1%	152	36.3%
⑥研修は、各学校に任せており、各学校で運用規定などを定めている	3	11.1%	52	26.4%	81	41.5%	136	32.5%
⑦教員研修は都道府県の教育センターが行っており、直接関与していない	1	3.7%	17	8.6%	36	18.5%	54	12.9%
⑧教育委員会では特に研修や対策を行っていない			31	15.7%	60	30.8%	91	21.7%
無回答			2	1.0%	2	1.0%	4	1.0%
回答数合計	55	203.7%	331	168.0%	285	146.2%	671	160.1%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※政令市等と市では、「⑤管理マニュアル・運営規定等を学校・教職員に配布している」が最も多く59.3%と45.2%となっている。町・村で最も多いのは「⑥研修は、各学校に任せており、各学校で運用規定などを定めている」で41.5%となっており、次いで多いのが「⑧教育委員会では特に研修や対策を行っていない」で30.8%である。自治体規模でかなりの差が出ている。

1-4-04 近年トラブル等が増えているスマートフォン等の携帯端末を使用した SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：Social Networking Service）や無料通話メールアプリ（LINE など）を取り上げた教員研修を実施していますか。

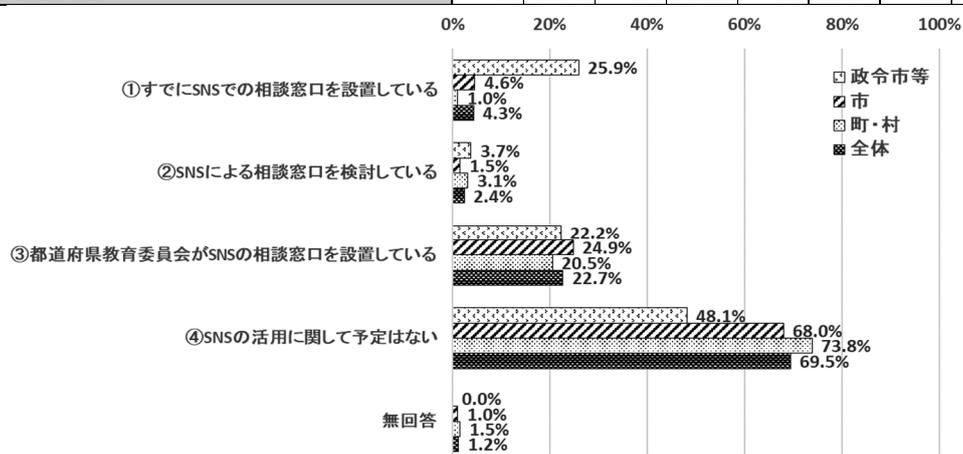
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①情報モラル研修やICT研修の中で実施している	15	55.6%	70	35.5%	41	21.0%	126	30.1%
②通常の情報モラル研修以外に時間を取って実施している	5	18.5%	9	4.6%	17	8.7%	31	7.4%
③今後、教員研修の実施を検討している	1	3.7%	22	11.2%	26	13.3%	49	11.7%
④特に行っていない	6	22.2%	96	48.7%	109	55.9%	211	50.4%
無回答					2	1.0%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※政令市等では、「①情報モラル研修や ICT 研修の中で実施している」「②通常の情報モラル研修以外に時間を取って実施している」を合わせて、74.1%実施されているが、「④特に行っていない」が市では 48.7%、町・村で 55.9%あり、自治体規模で差が出ている。

1-4-05 児童・生徒の学校での様々な悩み事やトラブルの相談窓口として SNS の活用を行っていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでにSNSでの相談窓口を設置している	7	25.9%	9	4.6%	2	1.0%	18	4.3%
②SNSによる相談窓口を検討している	1	3.7%	3	1.5%	6	3.1%	10	2.4%
③都道府県教育委員会がSNSの相談窓口を設置している	6	22.2%	49	24.9%	40	20.5%	95	22.7%
④SNSの活用に関して予定はない	13	48.1%	134	68.0%	144	73.8%	291	69.5%
無回答			2	1.0%	3	1.5%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※政令市等では、「①すでに SNS での相談窓口を設置している」が 25.9%となっている。「③都道府県教育委員会が SNS の相談窓口を設置している」は全体で 22.7%である。

1-5 予算に関する項目

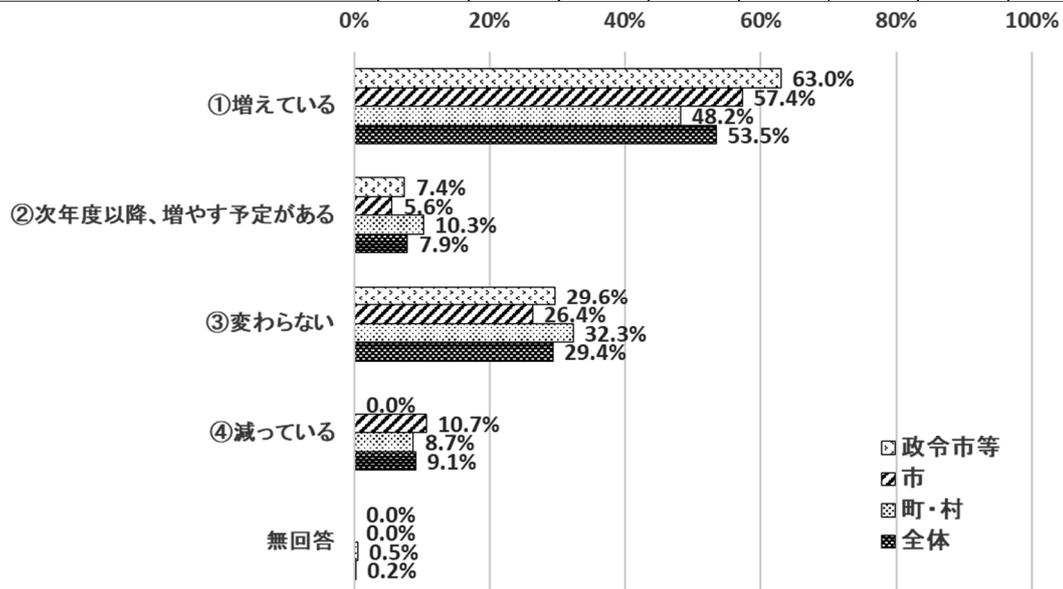
※ご参考資料：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2019」

<https://www.japet.or.jp/>

[https://www.japet.or.jp/jodg7jnli-964/#\\_964](https://www.japet.or.jp/jodg7jnli-964/#_964)

1-5-01 2019年度の教育の情報化における予算枠は、前年度と比較して増えていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①増えている	17	63.0%	113	57.4%	94	48.2%	224	53.5%
②次年度以降、増やす予定がある	2	7.4%	11	5.6%	20	10.3%	33	7.9%
③変わらない	8	29.6%	52	26.4%	63	32.3%	123	29.4%
④減っている			21	10.7%	17	8.7%	38	9.1%
無回答					1	0.5%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

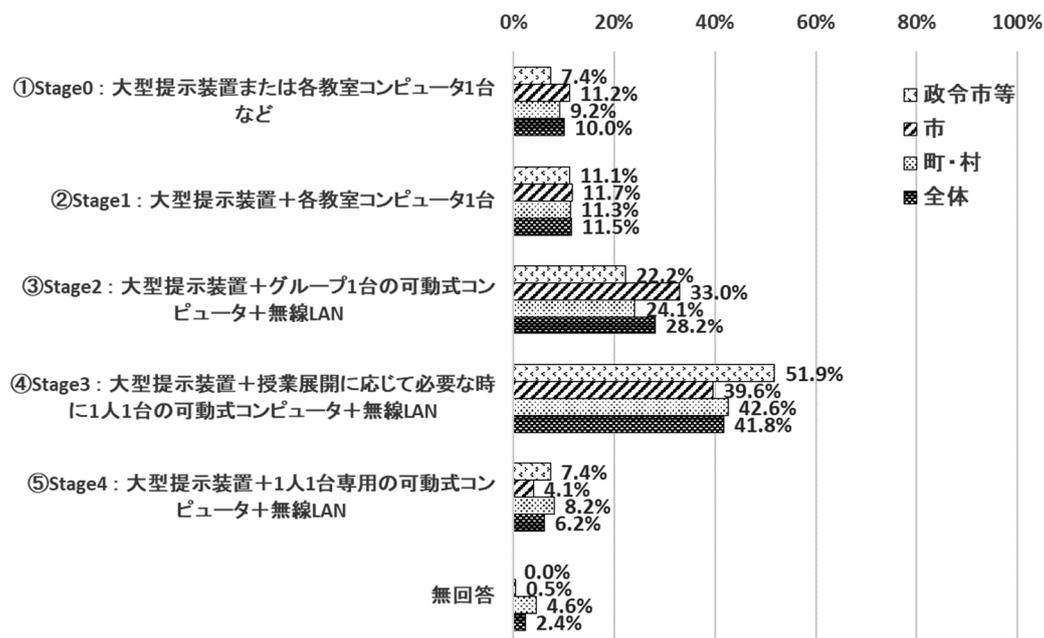


※自治体規模にかかわらず「①増えている」が最も多く、政令市等で（40.5%→63.0%）、全体で（41.2%→53.5%）となっている。

1-5-02 普通教室の ICT 環境整備のステップとして、「早急に Stage3 の環境整備が必要」と言われていますが、現在、予算獲得に向けて目指しているステップは、下記のどのステージですか。

\* 参考：文部科学省「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」配布資料

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Stage0：大型提示装置または各教室コンピュータ1台など	2	7.4%	22	11.2%	18	9.2%	42	10.0%
②Stage1：大型提示装置＋各教室コンピュータ1台	3	11.1%	23	11.7%	22	11.3%	48	11.5%
③Stage2：大型提示装置＋グループ1台の可動式コンピュータ＋無線LAN	6	22.2%	65	33.0%	47	24.1%	118	28.2%
④Stage3：大型提示装置＋授業展開に応じて必要な時に1人1台の可動式コンピュータ＋無線LAN	14	51.9%	78	39.6%	83	42.6%	175	41.8%
⑤Stage4：大型提示装置＋1人1台専用の可動式コンピュータ＋無線LAN	2	7.4%	8	4.1%	16	8.2%	26	6.2%
無回答			1	0.5%	9	4.6%	10	2.4%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※ 「④Stage3：大型提示装置＋授業展開に応じて必要な時に1人1台の可動式コンピュータ＋無線LAN」が最も多く、全体で41.8%であり、政令市等では、51.9%となっている。次いで「③Stage2：大型提示装置＋グループ1台の可動式コンピュータ＋無線LAN」で、全体で28.2%となっている。「①Stage0：大型提示装置または各教室コンピュータ1台など」が全体で10.0%、「②Stage1：大型提示装置＋各教室コンピュータ1台」が全体で11.5%もあるのは問題である。

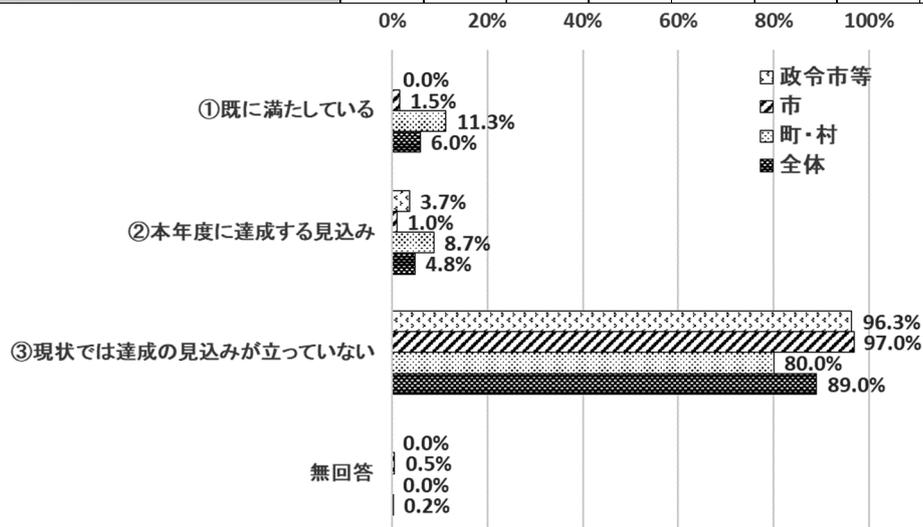
1-5-03 「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準」を既に満たしていますか、または本年度に達成する見込みですか。

●2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準

- ・ 学習者用コンピュータ 3クラスに1クラス分程度整備
- ・ 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師1人1台
- ・ 大型提示装置・実物投影機 100%整備  
各普通教室1台、特別教室用として6台  
(実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
- ・ 超高速インターネット及び無線LAN 100%整備
- ・ 統合型校務支援システム 100%整備
- ・ ICT支援員 4校に1人配置
- ・ 上記のほか、学習用ツール(\*)、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備  
(※) ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通に必要なソフトウェア

\* 参考：日本教育情報化振興会「ICT教育環境整備ハンドブック 2019」29頁

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に満たしている			3	1.5%	22	11.3%	25	6.0%
②本年度に達成する見込み	1	3.7%	2	1.0%	17	8.7%	20	4.8%
③現状では達成の見込みが立っていない	26	96.3%	191	97.0%	156	80.0%	373	89.0%
無回答			1	0.5%			1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

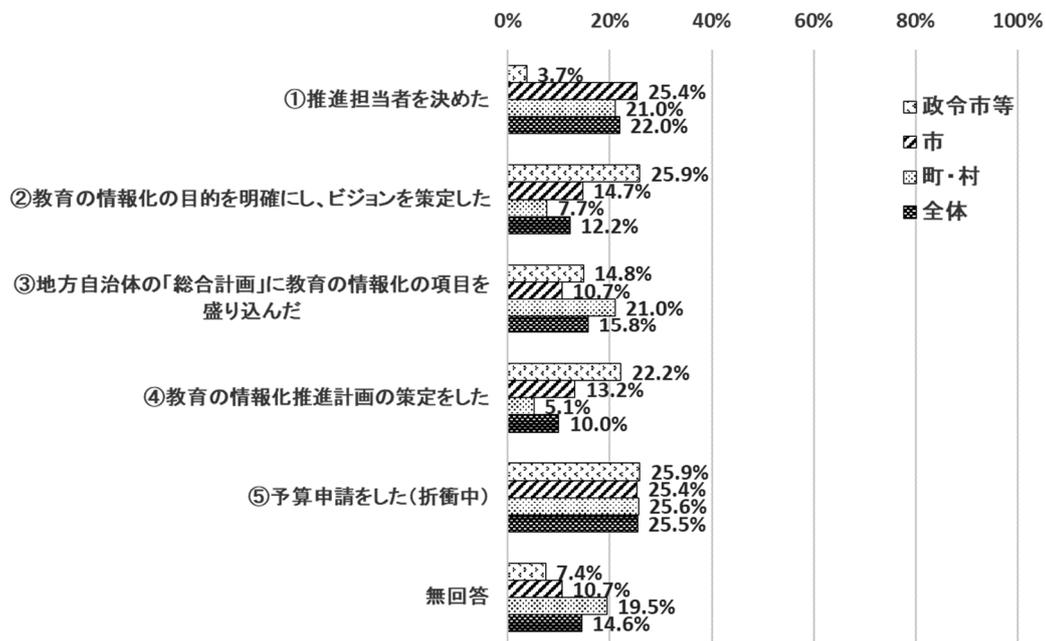


※「③現状では達成の見込みが立っていない」が全体で89.0%であり、政令市等や市ではほぼすべてがこの状態である。早急に効果的な対策が望まれる。

1-5-04 ICT 環境整備のための予算獲得に向けた中期的な計画の中で、下記の 5 段階のプロセスの内、現在の状況はどの段階ですか。

\* 参考：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2019」39 から 41 頁

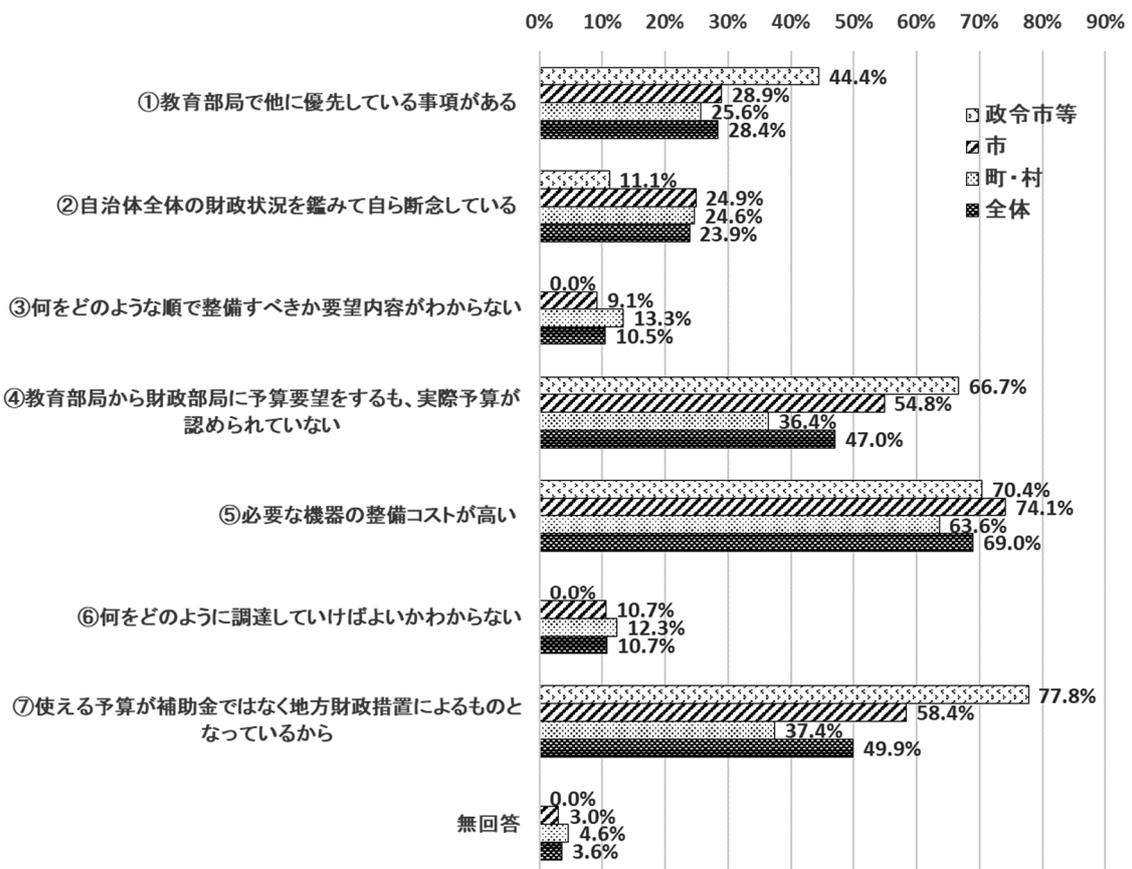
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
① 推進担当者を決めた	1	3.7%	50	25.4%	41	21.0%	92	22.0%
② 教育の情報化の目的を明確にし、ビジョンを策定した	7	25.9%	29	14.7%	15	7.7%	51	12.2%
③ 地方自治体の「総合計画」に教育の情報化の項目を盛り込んだ	4	14.8%	21	10.7%	41	21.0%	66	15.8%
④ 教育の情報化推進計画の策定をした	6	22.2%	26	13.2%	10	5.1%	42	10.0%
⑤ 予算申請をした(折衝中)	7	25.9%	50	25.4%	50	25.6%	107	25.5%
無回答	2	7.4%	21	10.7%	38	19.5%	61	14.6%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※ 「⑤ 予算申請をした（折衝中）」が自治体規模で差はなく、全体で 25.5% に留まっている。国の整備目標の達成は非常に厳しい状況である。

1-5-05 ICT 環境整備のための予算獲得が進まない要因は何だと思いますか。(いくつでも)

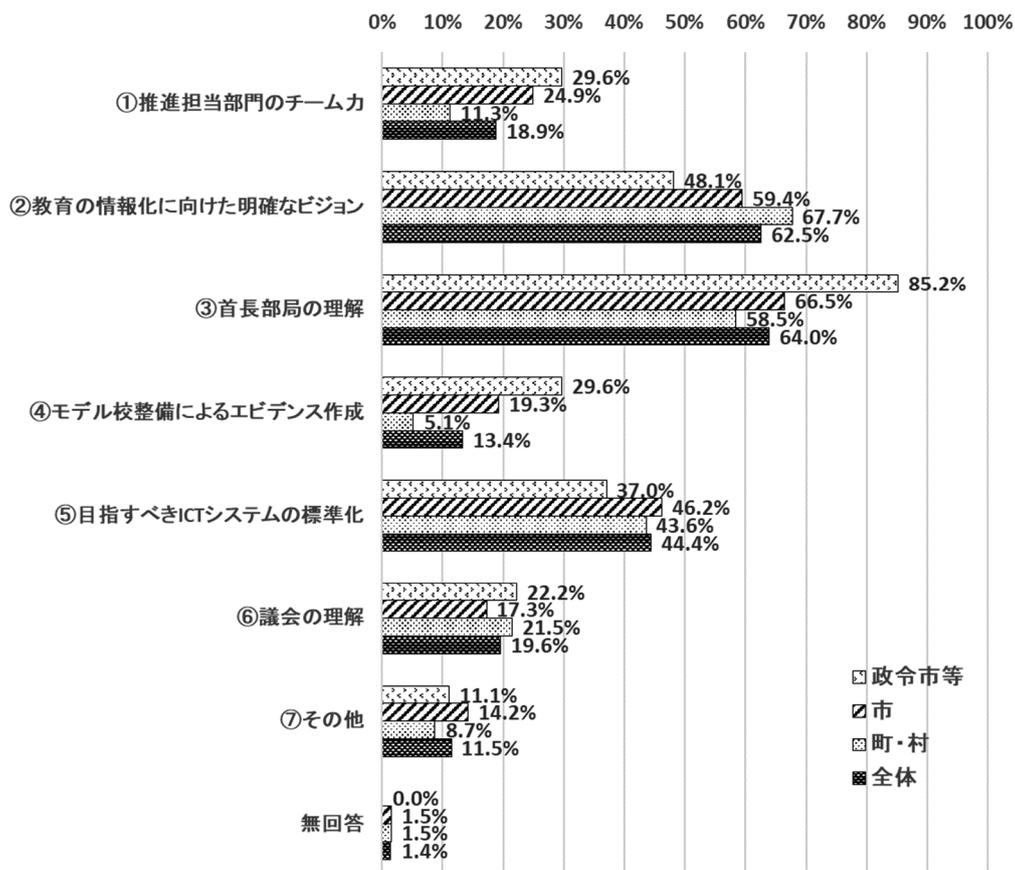
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育部局で他に優先している事項がある	12	44.4%	57	28.9%	50	25.6%	119	28.4%
②自治体全体の財政状況を鑑みて自ら断念している	3	11.1%	49	24.9%	48	24.6%	100	23.9%
③何をどのような順で整備すべきか要望内容がわからない			18	9.1%	26	13.3%	44	10.5%
④教育部局から財政部局に予算要望をするも、実際予算が認められていない	18	66.7%	108	54.8%	71	36.4%	197	47.0%
⑤必要な機器の整備コストが高い	19	70.4%	146	74.1%	124	63.6%	289	69.0%
⑥何をどのように調達していけばよいかわからない			21	10.7%	24	12.3%	45	10.7%
⑦使える予算が補助金ではなく地方財政措置によるものとなっているから	21	77.8%	115	58.4%	73	37.4%	209	49.9%
無回答			6	3.0%	9	4.6%	15	3.6%
回答数合計	73	270.4%	520	264.0%	425	217.9%	1,018	243.0%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「⑤必要な機器の整備コストが高い」が自治体規模にかかわらず多くなっており、全体で69.0%である。これ以外は、自治体規模で差が出ており、政令市等では、「⑦使える予算が補助金ではなく地方財政措置によるものとなっているから」が最も多く77.8%、「④教育部局から財政部局に予算要望をするも、実際予算が認められていない」が66.7%となっており、「①教育部局で他に優先している事項がある」も44.4%あり、課題は山積である。

## 1-5-06 ICT 環境整備のための予算獲得に必要なものは何だと思いますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①推進担当部門のチーム力	8	29.6%	49	24.9%	22	11.3%	79	18.9%
②教育の情報化に向けた明確なビジョン	13	48.1%	117	59.4%	132	67.7%	262	62.5%
③首長部局の理解	23	85.2%	131	66.5%	114	58.5%	268	64.0%
④モデル校整備によるエビデンス作成	8	29.6%	38	19.3%	10	5.1%	56	13.4%
⑤目指すべきICTシステムの標準化	10	37.0%	91	46.2%	85	43.6%	186	44.4%
⑥議会の理解	6	22.2%	34	17.3%	42	21.5%	82	19.6%
⑦その他	3	11.1%	28	14.2%	17	8.7%	48	11.5%
無回答			3	1.5%	3	1.5%	6	1.4%
回答数合計	71	263.0%	491	249.2%	425	217.9%	987	235.6%
回答者数(母数)	27		197		195		419	

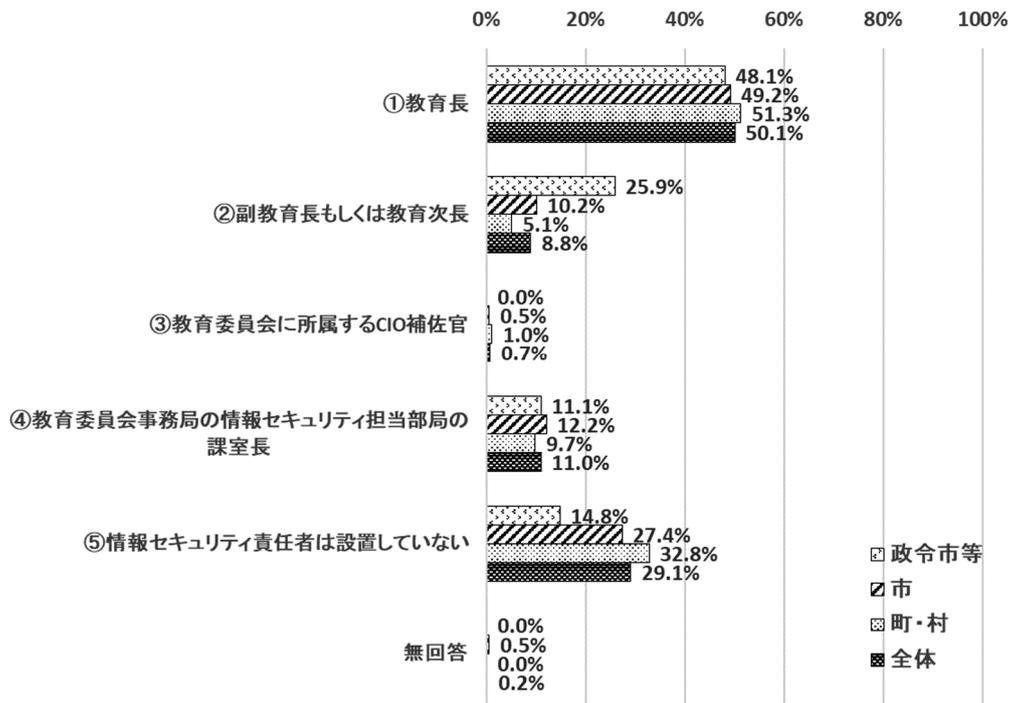


※全体では、「③首長部局の理解」が最も多く 64.0%、次いで「②教育の情報化に向けた明確なビジョン」が 62.5%、「⑤目指すべき ICT システムの標準化」44.4%となっているが、自治体規模によりかなりの差が出ている。

1-6 情報セキュリティに関する項目

1-6-01 教育委員会内の最高情報セキュリティ責任者はどなたですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育長	13	48.1%	97	49.2%	100	51.3%	210	50.1%
②副教育長もしくは教育次長	7	25.9%	20	10.2%	10	5.1%	37	8.8%
③教育委員会に所属するCIO補佐官			1	0.5%	2	1.0%	3	0.7%
④教育委員会事務局の情報セキュリティ担当部局の課室長	3	11.1%	24	12.2%	19	9.7%	46	11.0%
⑤情報セキュリティ責任者は設置していない	4	14.8%	54	27.4%	64	32.8%	122	29.1%
無回答			1	0.5%			1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

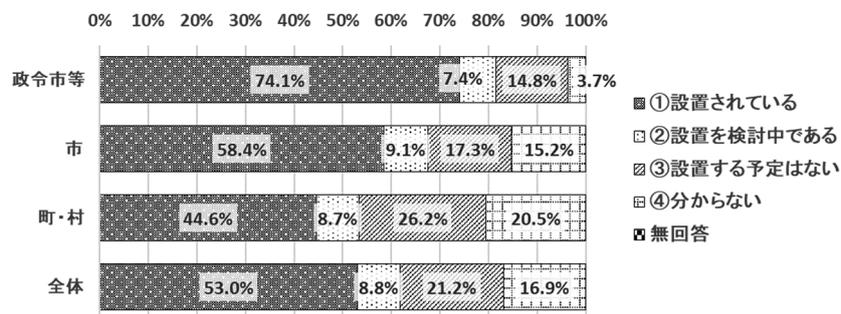


※「①教育長」が最も多く、全体で 50.1%となっている。「⑤情報セキュリティ責任者は設置していない」は全体で 29.1%となっており、組織体制の確立に課題があると言える。

1-6-02 自治体内に情報セキュリティ委員会※（もしくは同等の役割を持つ組織）は設置されていますか。

※情報セキュリティ委員会：情報セキュリティに関する重要事項を決定する機関。構成員は、CISO、CIO、統括教育情報セキュリティ責任者、教育情報セキュリティ責任者、教育情報セキュリティ管理者、教育情報システム管理者等が想定される。

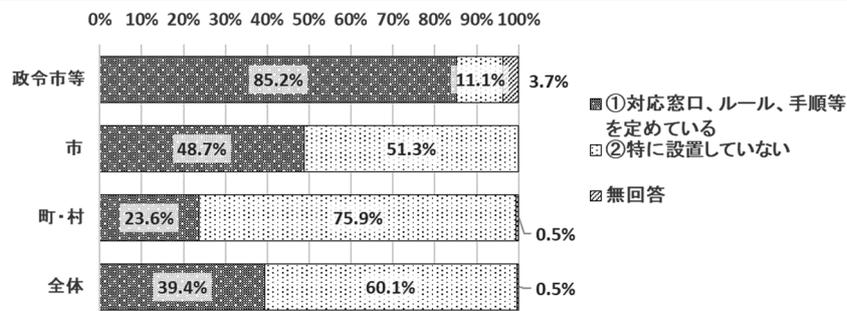
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設置されている	20	74.1%	115	58.4%	87	44.6%	222	53.0%
②設置を検討中である	2	7.4%	18	9.1%	17	8.7%	37	8.8%
③設置する予定はない	4	14.8%	34	17.3%	51	26.2%	89	21.2%
④分からない	1	3.7%	30	15.2%	40	20.5%	71	16.9%
無回答								
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①設置されている」が最も多く、全体で53.0%となっている。自治体規模によって差があり、規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ委員会等を設置している傾向が見られる。「④分からない」は市で15.2%、町・村で20.5%となっており、実態を把握していない自治体も一定数見られる。

1-6-03 セキュリティ事故に備えて、教育委員会事務局内に統一的な窓口を設置し、報告ルール、対応手順等を定めていますか。

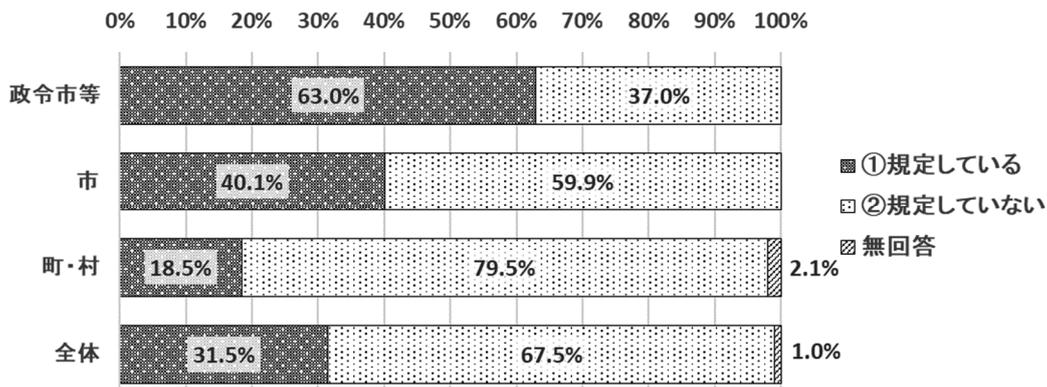
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①対応窓口、ルール、手順等を定めている	23	85.2%	96	48.7%	46	23.6%	165	39.4%
②特に設置していない	3	11.1%	101	51.3%	148	75.9%	252	60.1%
無回答	1	3.7%			1	0.5%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①対応窓口、ルール、手順等を定めている」は全体で39.4%となっている。自治体規模によって顕著な差があり、規模の大きな自治体ほど対応窓口等を定めている傾向が見られる。特に「②特に設置していない」は市では51.3%、町・村では75.9%、全体で60.1%と早急な対応が求められる。

1-6-04 セキュリティポリシーの中で、文部科学省のセキュリティガイドラインに準じた情報資産の分類を行うよう規定していますか。

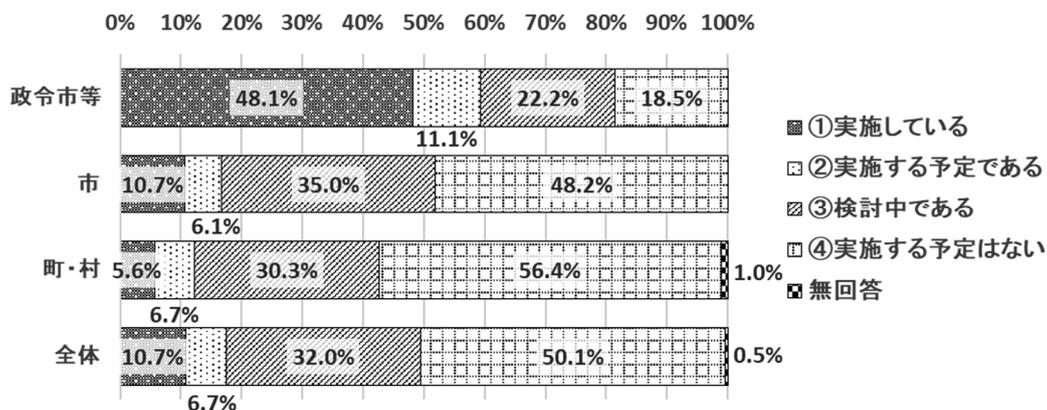
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①規定している	17	63.0%	79	40.1%	36	18.5%	132	31.5%
②規定していない	10	37.0%	118	59.9%	155	79.5%	283	67.5%
無回答					4	2.1%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①規定している」は政令市等で63.0%、市で40.1%、町・村で18.5%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-05 情報セキュリティ対策状況について、監査は毎年実施していますか。

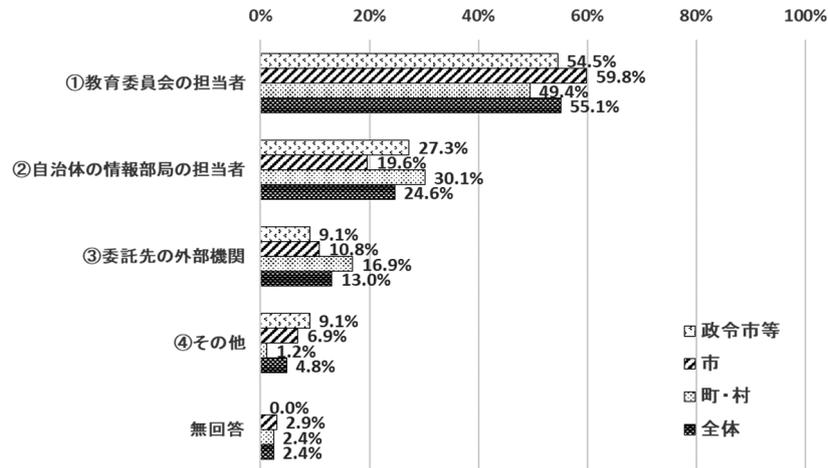
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①実施している	13	48.1%	21	10.7%	11	5.6%	45	10.7%
②実施する予定である	3	11.1%	12	6.1%	13	6.7%	28	6.7%
③検討中である	6	22.2%	69	35.0%	59	30.3%	134	32.0%
④実施する予定はない	5	18.5%	95	48.2%	110	56.4%	210	50.1%
無回答					2	1.0%	2	0.5%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①実施している」は政令市等で48.1%、市で10.7%、町・村で5.6%となっており、政令市等とその他市町村とで顕著な差がある。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-06 前問で①②③を選択した方に伺います。情報セキュリティ監査は、どなたが実施しますか。

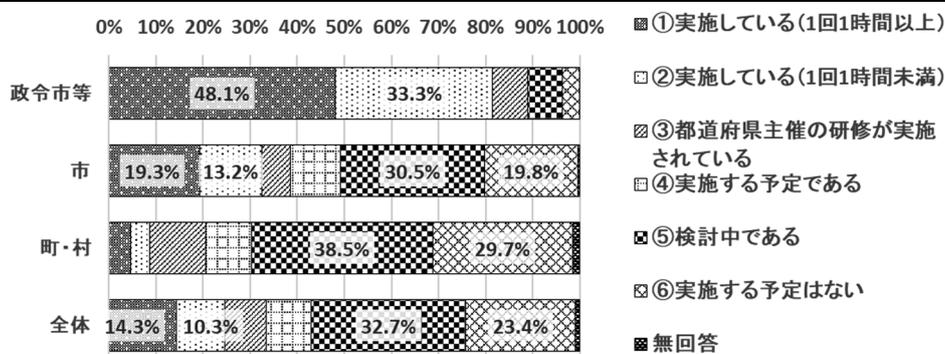
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会の担当者	12	54.5%	61	59.8%	41	49.4%	114	55.1%
②自治体の情報部局の担当者	6	27.3%	20	19.6%	25	30.1%	51	24.6%
③委託先の外部機関	2	9.1%	11	10.8%	14	16.9%	27	13.0%
④その他	2	9.1%	7	6.9%	1	1.2%	10	4.8%
無回答			3	2.9%	2	2.4%	5	2.4%
回答者数(母数)	22	100.0%	102	100.0%	83	100.0%	207	100.0%



※「①教育委員会の担当者」が最も多く、全体で55.1%となっている。「③委託先の外部機関」は全体で13.0%となっている。特に規模の小さな自治体では、外部へ委託することで人材や知識の不足を補う狙いがあると考えられる。

1-6-07 情報セキュリティ研修は、定期的実施していますか。

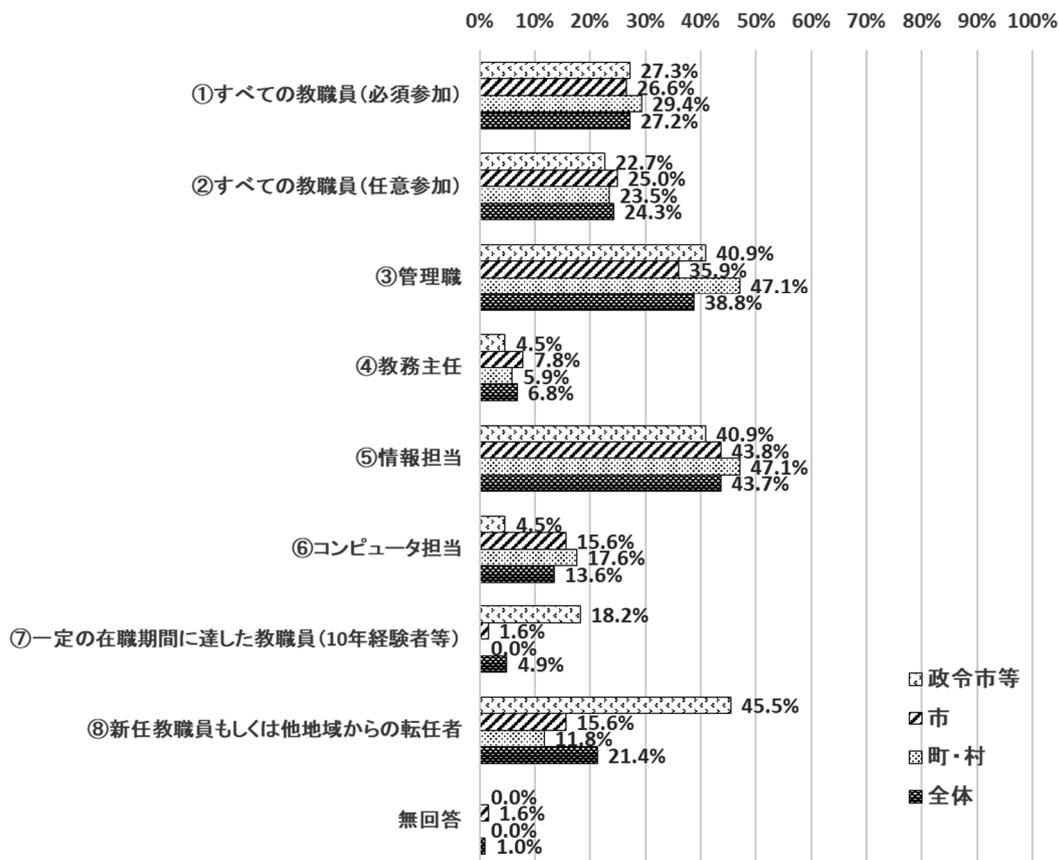
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①実施している(1回1時間以上)	13	48.1%	38	19.3%	9	4.6%	60	14.3%
②実施している(1回1時間未満)	9	33.3%	26	13.2%	8	4.1%	43	10.3%
③都道府県主催の研修が実施されている	2	7.4%	12	6.1%	23	11.8%	37	8.8%
④実施する予定である			21	10.7%	19	9.7%	40	9.5%
⑤検討中である	2	7.4%	60	30.5%	75	38.5%	137	32.7%
⑥実施する予定はない	1	3.7%	39	19.8%	58	29.7%	98	23.4%
無回答			1	0.5%	3	1.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※政令市等では「①実施している(1回1時間以上)」「②実施している(1回1時間未満)」が多い一方で、市と町・村では「⑤検討中である」「⑥実施する予定はない」が多い。自治体規模によって顕著な差があり、規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ研修を定期的実施している傾向が見られる。

1-6-08 前問で①②を選択した方に伺います。実施している情報セキュリティ研修の対象者はどなたですか。(いくつでも)

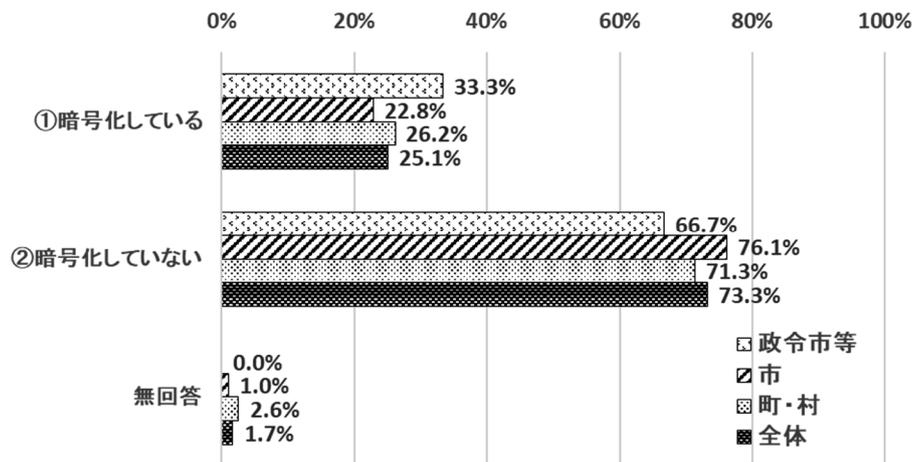
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教職員(必須参加)	6	27.3%	17	26.6%	5	29.4%	28	27.2%
②すべての教職員(任意参加)	5	22.7%	16	25.0%	4	23.5%	25	24.3%
③管理職	9	40.9%	23	35.9%	8	47.1%	40	38.8%
④教務主任	1	4.5%	5	7.8%	1	5.9%	7	6.8%
⑤情報担当	9	40.9%	28	43.8%	8	47.1%	45	43.7%
⑥コンピュータ担当	1	4.5%	10	15.6%	3	17.6%	14	13.6%
⑦一定の在職期間に達した教職員(10年経験者等)	4	18.2%	1	1.6%			5	4.9%
⑧新任教職員もしくは他地域からの転任者	10	45.5%	10	15.6%	2	11.8%	22	21.4%
無回答			1	1.6%			1	1.0%
回答数合計	45	204.5%	111	173.4%	31	182.4%	187	181.6%
回答者数(母数)	22		64		17		103	



※「⑤情報担当」が最も多く、全体で43.7%となっている。次いで「③管理職」が全体で38.8%となっている。「⑧新任教職員もしくは他地域からの転任者」は政令市等で45.5%、市で15.6%、町・村で11.8%となっており、政令市等とその他市、町・村とで顕著な差がある。

1-6-09 サーバに保存される学習用データのうち機微な個人情報を含むデータを暗号化していますか。

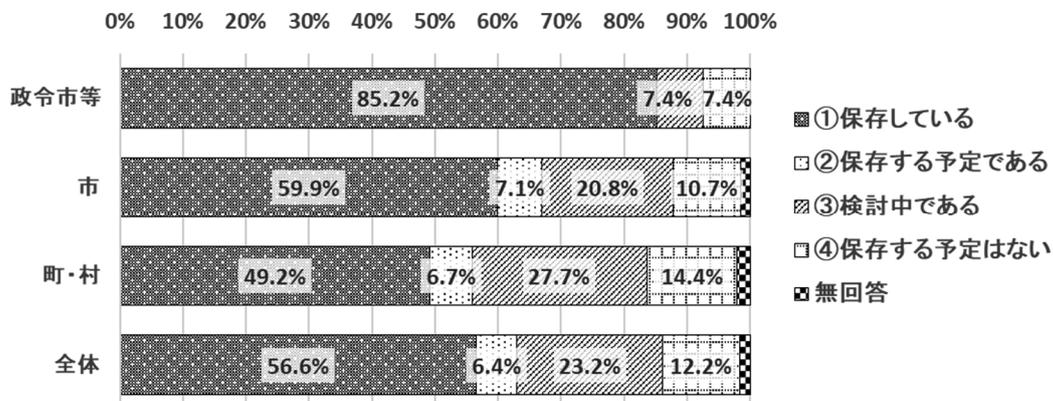
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①暗号化している	9	33.3%	45	22.8%	51	26.2%	105	25.1%
②暗号化していない	18	66.7%	150	76.1%	139	71.3%	307	73.3%
無回答			2	1.0%	5	2.6%	7	1.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①暗号化している」が全体で25.1%となっている。機微な個人情報を含む学習用データの暗号化が進んでいるとは言えない。

1-6-10 校務系情報のログ（アクセスログ、システム稼動ログ、障害時のシステム出力ログ）は6か月以上保存していますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保存している	23	85.2%	118	59.9%	96	49.2%	237	56.6%
②保存する予定である			14	7.1%	13	6.7%	27	6.4%
③検討中である	2	7.4%	41	20.8%	54	27.7%	97	23.2%
④保存する予定はない	2	7.4%	21	10.7%	28	14.4%	51	12.2%
無回答			3	1.5%	4	2.1%	7	1.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



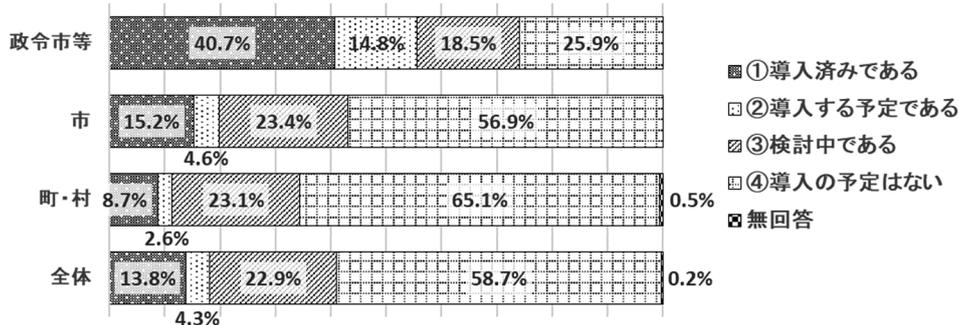
※「①保存している」が政令市等で85.2%、市で59.9%、町・村で49.2%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。規模の大きな自治体ほど、校務系情報のログを6か月以上保存している傾向が見られる。

1-6-12 教職員が学校内のシステムを利用する際の仕組みとして、二要素認証（多要素認証）は導入していますか。

※二要素認証：ID/パスワードに加えて、物理認証や生体認証を併用する個人認証方式のこと。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入済みである	11	40.7%	30	15.2%	17	8.7%	58	13.8%
②導入する予定である	4	14.8%	9	4.6%	5	2.6%	18	4.3%
③検討中である	5	18.5%	46	23.4%	45	23.1%	96	22.9%
④導入の予定はない	7	25.9%	112	56.9%	127	65.1%	246	58.7%
無回答					1	0.5%	1	0.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

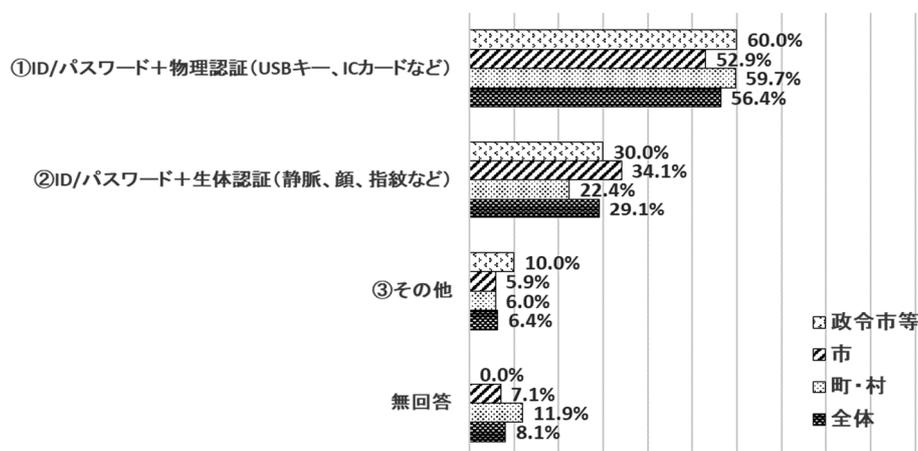


※「①導入済みである」は政令市等で40.7%、市で15.2%、町・村で8.7%となっており、政令市等とその他市町村とで顕著な差がある。

1-6-13 前問で①②③を選択した方に伺います。導入済みまたは導入予定の二要素認証（多要素認証）の仕組みについて、当てはまるものを選んでください。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード+物理認証(USBキー、ICカードなど)	12	60.0%	45	52.9%	40	59.7%	97	56.4%
②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)	6	30.0%	29	34.1%	15	22.4%	50	29.1%
③その他	2	10.0%	5	5.9%	4	6.0%	11	6.4%
無回答			6	7.1%	8	11.9%	14	8.1%
回答者数(母数)	20	100.0%	85	100.0%	67	100.0%	172	100.0%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

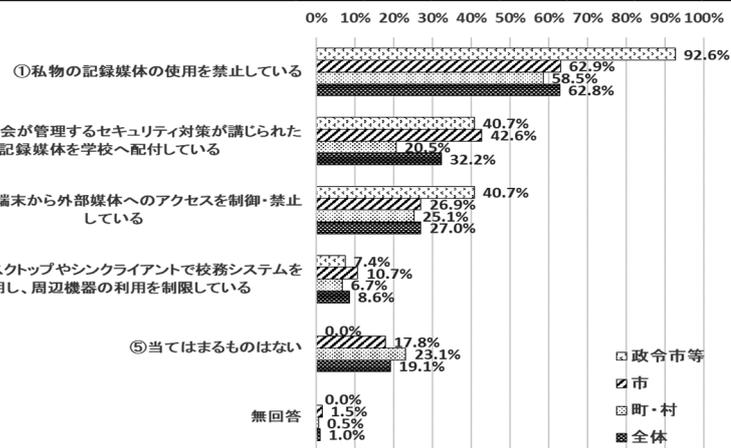


※「①ID/パスワード+物理認証（USBキー、ICカードなど）」が全体で56.4%となっている。

「②ID/パスワード+生体認証（静脈、顔、指紋など）」が全体で29.1%となっている。

1-6-14 教職員が情報を外部に持ち出すために利用する USB メモリ等の電磁的記録媒体については、どのようなセキュリティ対策が講じられていますか。(いくつかでも)

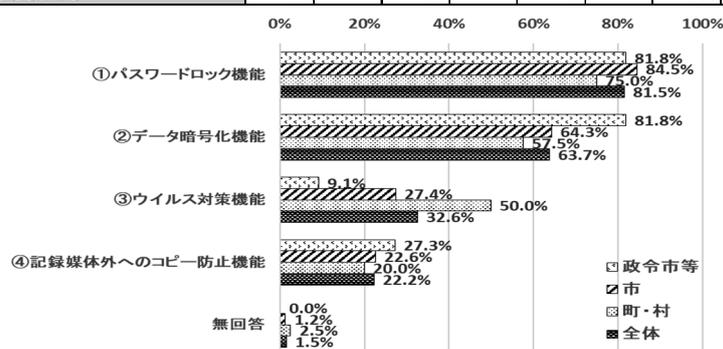
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①私物の記録媒体の使用を禁止している	25	92.6%	124	62.9%	114	58.5%	263	62.8%
②教育委員会が管理するセキュリティ対策が講じられた記録媒体を学校へ配付している	11	40.7%	84	42.6%	40	20.5%	135	32.2%
③校務用端末から外部媒体へのアクセスを制御・禁止している	11	40.7%	53	26.9%	49	25.1%	113	27.0%
④仮想デスクトップやシンクライアントで校務システムを利用し、周辺機器の利用を制限している	2	7.4%	21	10.7%	13	6.7%	36	8.6%
⑤当てはまるものはない			35	17.8%	45	23.1%	80	19.1%
無回答			3	1.5%	1	0.5%	4	1.0%
回答数合計	49	181.5%	320	162.4%	262	134.4%	631	150.6%
回答者数(母数)	27		197		195		419	



※「①私物の記録媒体の使用を禁止している」が政令市等で92.6%、市で62.9%、町・村で58.5%となっており、政令市等とその他市、町・村とで顕著な差がある。「②教育委員会が管理するセキュリティ対策が講じられた記録媒体を学校へ配付している」が全体で32.2%、「③校務用端末から外部媒体へのアクセスを制御・禁止している」が全体で27.0%となっている。

1-6-15 前問で②を選択した方に伺います。教職員が利用する USB メモリ等の電磁的記録媒体には、どのような機能が搭載されていますか。(いくつかでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①パスワードロック機能	9	81.8%	71	84.5%	30	75.0%	110	81.5%
②データ暗号化機能	9	81.8%	54	64.3%	23	57.5%	86	63.7%
③ウイルス対策機能	1	9.1%	23	27.4%	20	50.0%	44	32.6%
④記録媒体外へのコピー防止機能	3	27.3%	19	22.6%	8	20.0%	30	22.2%
無回答			1	1.2%	1	2.5%	2	1.5%
回答数合計	22	200.0%	168	200.0%	82	205.0%	272	201.5%
回答者数(母数)	11		84		40		135	



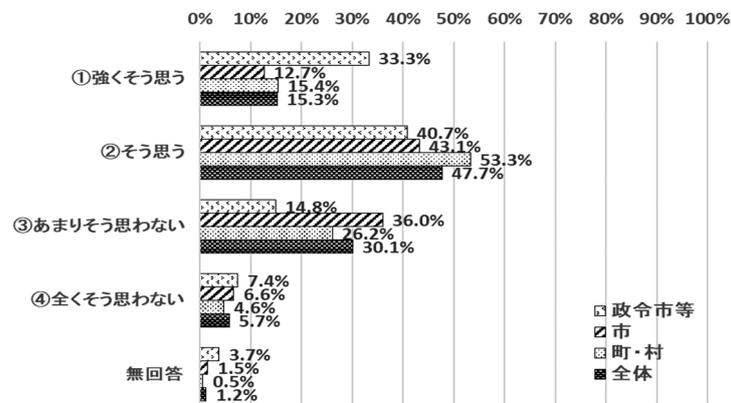
※「①パスワードロック機能」が最も多く、全体で81.5%となっている。次いで「②データ暗号化機能」が全体で63.7%となっている。

1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

1-7-01 教育の情報化に向けて次の質問項目についてどう思われますか。 それぞれの質問項目別にお答えください。

1-7-01(1) 児童・生徒1人1台の可搬型コンピュータを整備すべきである

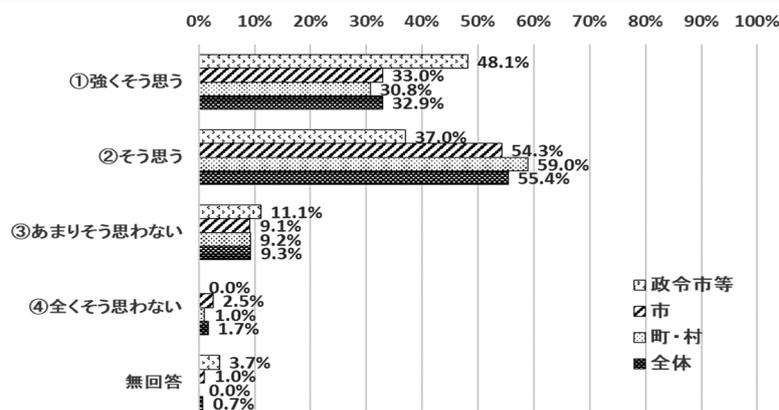
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	9	33.3%	25	12.7%	30	15.4%	64	15.3%
②そう思う	11	40.7%	85	43.1%	104	53.3%	200	47.7%
③あまりそう思わない	4	14.8%	71	36.0%	51	26.2%	126	30.1%
④全くそう思わない	2	7.4%	13	6.6%	9	4.6%	24	5.7%
無回答	1	3.7%	3	1.5%	1	0.5%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせると、政令市等で74.0%、市で55.8%、町・村で68.7%となっており、児童・生徒1人1台コンピュータの整備は望まれている。政令市等は「①強く思う」が33.3%であり、望まれている中でも自治体規模で温度差がある。

1-7-01(2) 授業で必要な時に1人1台、3クラスに1クラス分の情報端末の整備が必要である

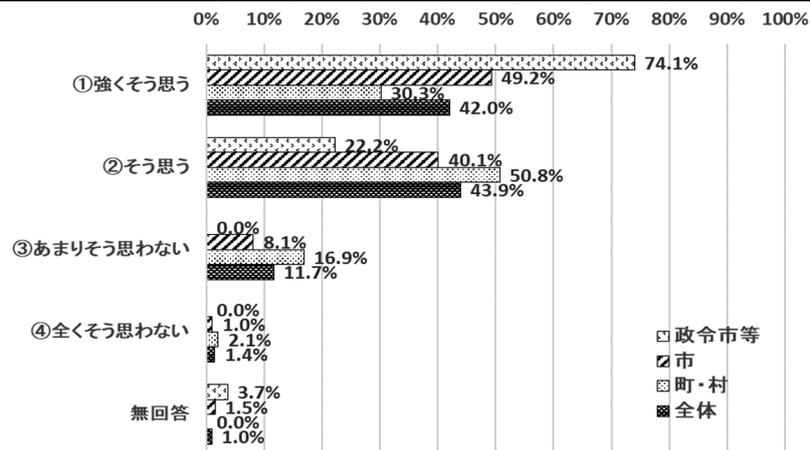
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	13	48.1%	65	33.0%	60	30.8%	138	32.9%
②そう思う	10	37.0%	107	54.3%	115	59.0%	232	55.4%
③あまりそう思わない	3	11.1%	18	9.1%	18	9.2%	39	9.3%
④全くそう思わない			5	2.5%	2	1.0%	7	1.7%
無回答	1	3.7%	2	1.0%			3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※ 国の整備指針で示されている数値であるが、全体で「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて11.0%もあり、何らかの対策が必要である。

1-7-01(3) すべての教室に、大型提示装置（プロジェクタ、電子黒板、インタラクティブホワイトボード、電子情報ボード）を設置すべきである

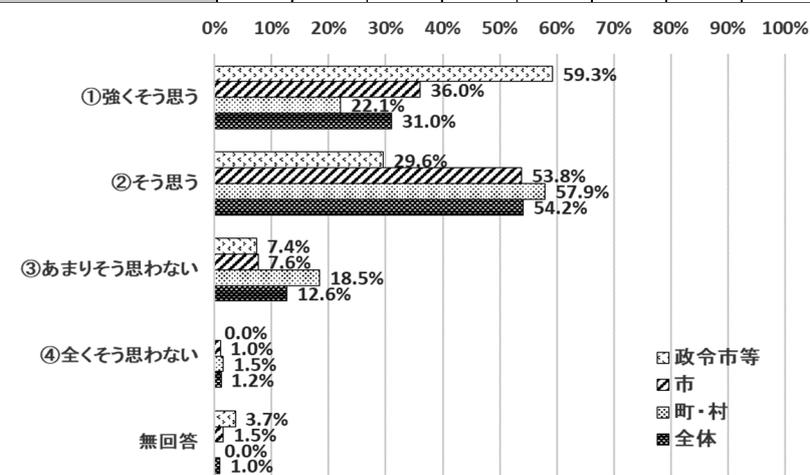
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	20	74.1%	97	49.2%	59	30.3%	176	42.0%
②そう思う	6	22.2%	79	40.1%	99	50.8%	184	43.9%
③あまりそう思わない			16	8.1%	33	16.9%	49	11.7%
④全くそう思わない			2	1.0%	4	2.1%	6	1.4%
無回答	1	3.7%	3	1.5%			4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で85.9%と整備が望まれている。「①強くそう思う」は、政令市等で74.1%、市で49.2%、町・村で30.3%となっており、自治体規模で温度差が激しい。

1-7-01(4) 指導者用デジタル教科書・教材の整備を進めるべきである

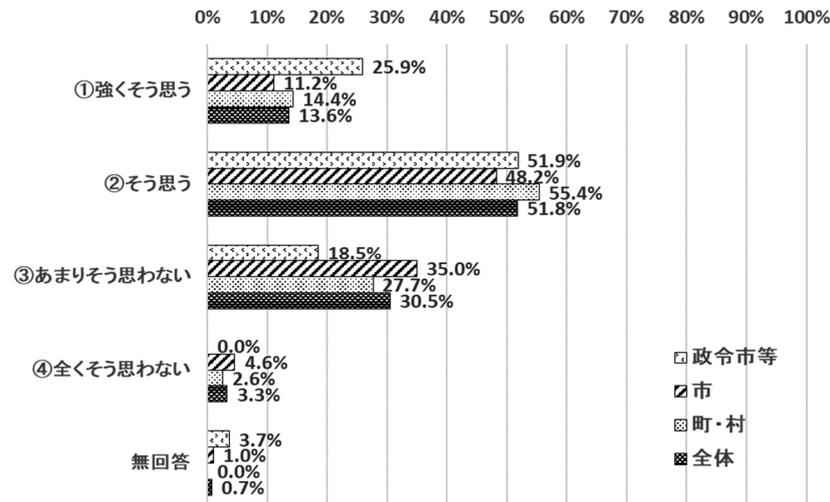
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	16	59.3%	71	36.0%	43	22.1%	130	31.0%
②そう思う	8	29.6%	106	53.8%	113	57.9%	227	54.2%
③あまりそう思わない	2	7.4%	15	7.6%	36	18.5%	53	12.6%
④全くそう思わない			2	1.0%	3	1.5%	5	1.2%
無回答	1	3.7%	3	1.5%			4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で85.2%と指導者用デジタル教科書・教材の整備は望まれている。「①強くそう思う」は、政令市等は59.3%、市は36.0%、町・村は22.1%とかなりの温度差がある。

1-7-01(5) 学習者用デジタル教科書が必要である

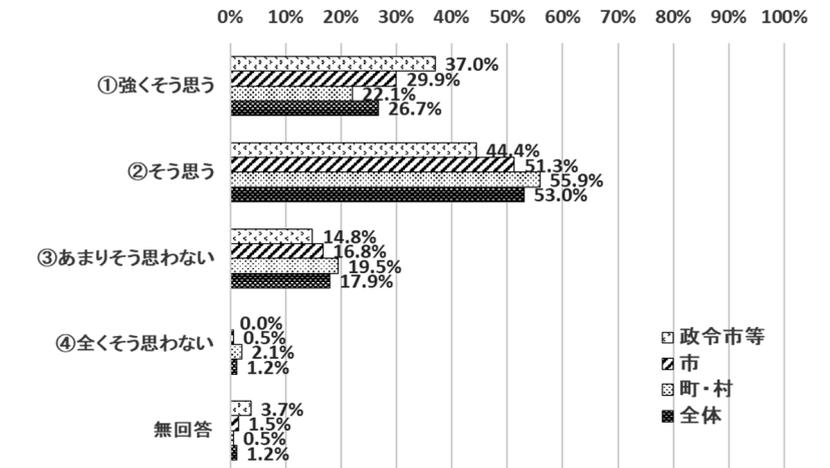
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	7	25.9%	22	11.2%	28	14.4%	57	13.6%
②そう思う	14	51.9%	95	48.2%	108	55.4%	217	51.8%
③あまりそう思わない	5	18.5%	69	35.0%	54	27.7%	128	30.5%
④全くそう思わない			9	4.6%	5	2.6%	14	3.3%
無回答	1	3.7%	2	1.0%			3	0.7%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で65.4%が必要だと回答している。中でも政令市等は、「①強くそう思う」が25.9%と高くなっている。

1-7-01(7) 授業や補習・進学指導のために、教材コンテンツやデジタル教材、プリント教材、教員の自作教材等を広く地域内で共有できるクラウドを活用すべきである（教育クラウド化）

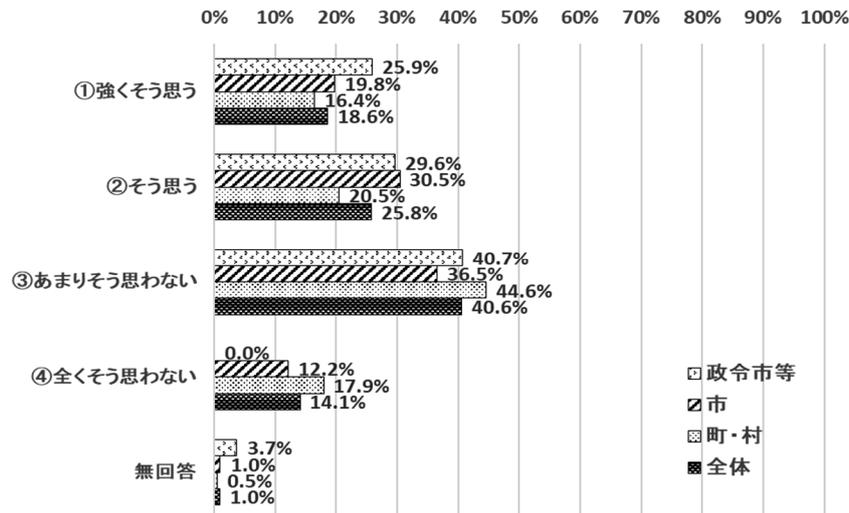
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	10	37.0%	59	29.9%	43	22.1%	112	26.7%
②そう思う	12	44.4%	101	51.3%	109	55.9%	222	53.0%
③あまりそう思わない	4	14.8%	33	16.8%	38	19.5%	75	17.9%
④全くそう思わない			1	0.5%	4	2.1%	5	1.2%
無回答	1	3.7%	3	1.5%	1	0.5%	5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で79.7%が必要としている。教材の共有、流通が必要とされている。

## 1-7-01(9) セキュリティも確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである

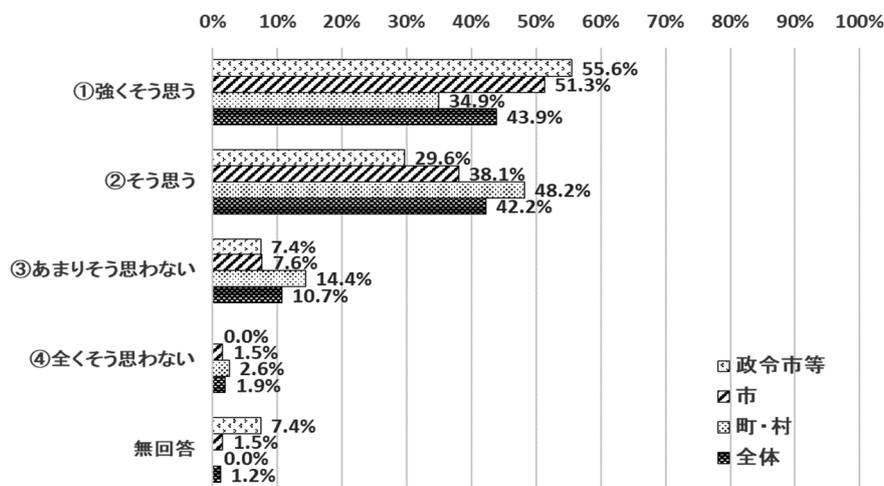
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	7	25.9%	39	19.8%	32	16.4%	78	18.6%
②そう思う	8	29.6%	60	30.5%	40	20.5%	108	25.8%
③あまりそう思わない	11	40.7%	72	36.5%	87	44.6%	170	40.6%
④全くそう思わない			24	12.2%	35	17.9%	59	14.1%
無回答	1	3.7%	2	1.0%	1	0.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※セキュリティポリシーの問題もあり意見が分かれている。政令市等では、「①強くそう思う」が25.9%、「③あまりそう思わない」が40.7%となっている。

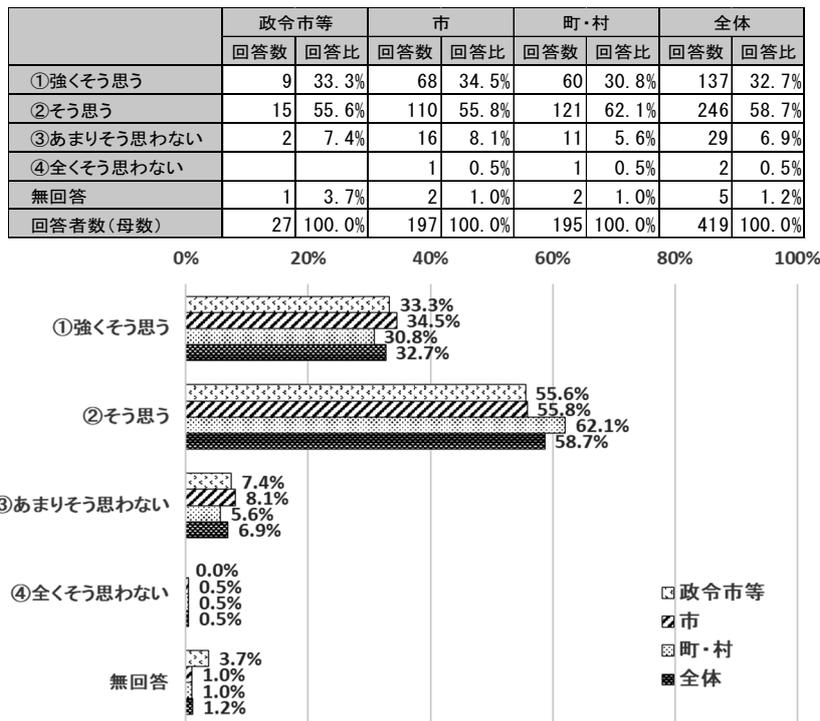
## 1-7-01(10) 授業でのICT活用、校務支援システムの導入などで、ICT支援員は必要である

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	15	55.6%	101	51.3%	68	34.9%	184	43.9%
②そう思う	8	29.6%	75	38.1%	94	48.2%	177	42.2%
③あまりそう思わない	2	7.4%	15	7.6%	28	14.4%	45	10.7%
④全くそう思わない			3	1.5%	5	2.6%	8	1.9%
無回答	2	7.4%	3	1.5%			5	1.2%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



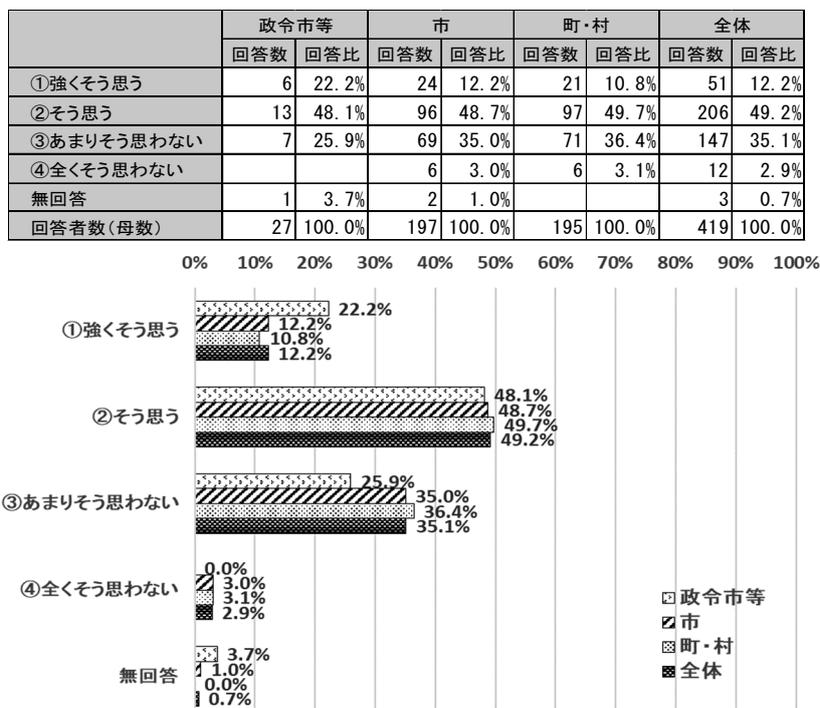
※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で86.1%となり、ICT支援員は必要とされている。しかしながら実際には配置されていないところが多い(1-4-1)ので、早急な対策が必要である。

1-7-01(11) 教育の情報化推進やセキュリティ強化にあたって、教育委員会と首長部局の情報政策部門との連携を強める必要がある



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で91.4%となり、教育委員会と首長部局の情報政策部門との連携の必要性は高まっている。しかしながら、1-1-02(1)であるように、人的交流はまだまだ少なく課題である。

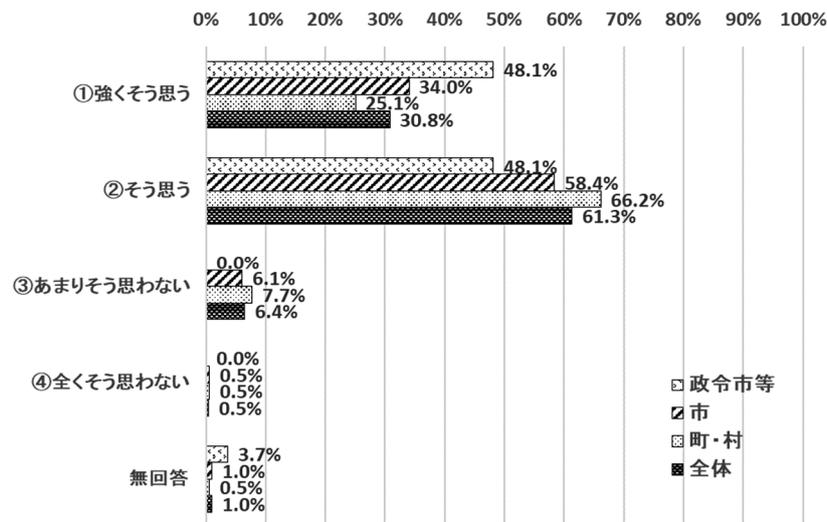
1-7-01(12) 貧困対策の一環として、学校のICT環境を活用した学習支援は必要だと考える



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせると、全体で61.4%となっている。政令市等では、「①強くそう思う」が22.2%もあり、「②そう思う」を合わせて70.3%と必要と考えているところが多い。

1-7-01(13) 特別支援教育の充実を図るために、様々な障害に対応したデジタル教材やICT機器の整備を進めるべきである

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	13	48.1%	67	34.0%	49	25.1%	129	30.8%
②そう思う	13	48.1%	115	58.4%	129	66.2%	257	61.3%
③あまりそう思わない			12	6.1%	15	7.7%	27	6.4%
④全くそう思わない			1	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
無回答	1	3.7%	2	1.0%	1	0.5%	4	1.0%
回答者数(母数)	27	100.0%	197	100.0%	195	100.0%	419	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせると、全体で92.1%となっており、強く望まれている。特に政令市等では、「①強く思う」が48.1%と高くなっている。

## 第Ⅲ部 学校編

学校編は、全国の公立小中学校に対して調査を行い、得られた結果を集計し掲載したものである。

調査内容は、以下のカテゴリに分けて掲載されている。

- 2-0 プロフィール
- 2-1 ネットワーク及び ICT 環境に関する項目
- 2-2 ハードウェアに関する項目
- 2-3 ソフトウェアに関する項目
- 2-4 保守・サポートに関する項目
- 2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

学校編では、さらに「3」として、先進地域・一般地域の分類で集計し、特に注目すべき点があった設問についてのみ掲載している。

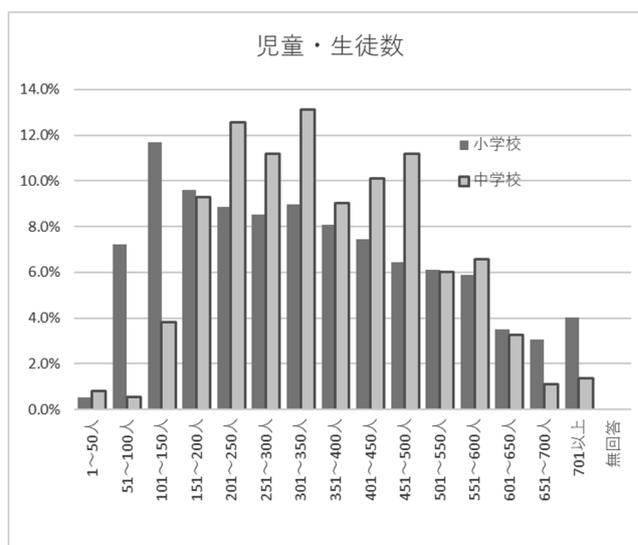
## 2 全体的傾向（小中学校別の集計）

### 2-0 回答者プロフィール

学校を対象とする調査は、小学校 3,676 校、中学校 1,568 校の合計 5,244 校を対象として選び、そのうち小学校 915 校、中学校 366 校から回答が得られた。以下に、今回の調査にこれらの学校のプロフィールとして、児童・生徒数、学級数、教員数、学校内の総コンピュータ台数の 4 つの観点から、回答をいただいた学校数の分布を掲載する。

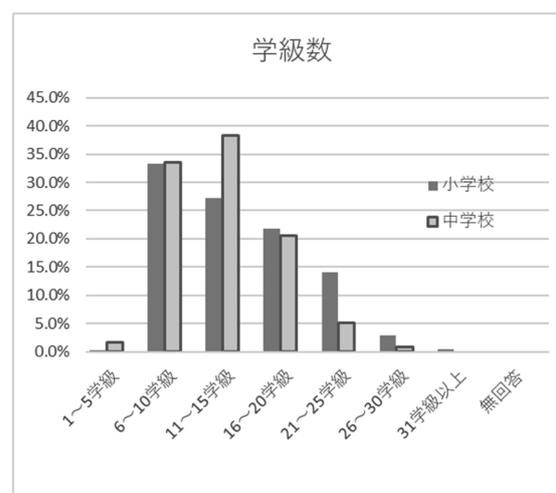
#### 児童・生徒数別学校数分布

児童・生徒数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～50人	5	0.5%	3	0.8%	8	0.6%
51～100人	66	7.2%	2	0.5%	68	5.3%
101～150人	107	11.7%	14	3.8%	121	9.4%
151～200人	88	9.6%	34	9.3%	122	9.5%
201～250人	81	8.9%	46	12.6%	127	9.9%
251～300人	78	8.5%	41	11.2%	119	9.3%
301～350人	82	9.0%	48	13.1%	130	10.1%
351～400人	74	8.1%	33	9.0%	107	8.4%
401～450人	68	7.4%	37	10.1%	105	8.2%
451～500人	59	6.4%	41	11.2%	100	7.8%
501～550人	56	6.1%	22	6.0%	78	6.1%
551～600人	54	5.9%	24	6.6%	78	6.1%
601～650人	32	3.5%	12	3.3%	44	3.4%
651～700人	28	3.1%	4	1.1%	32	2.5%
701以上	37	4.0%	5	1.4%	42	3.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



#### 学級数別学校数分布

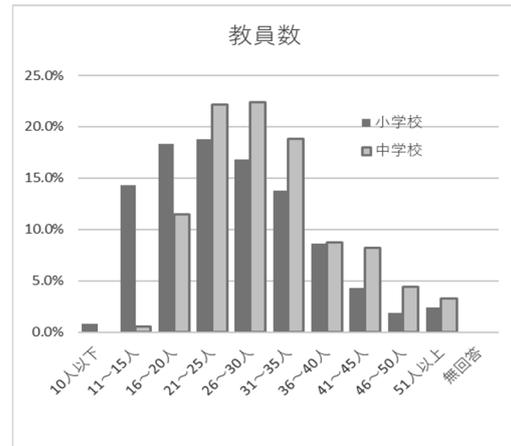
学級数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～5学級	3	0.3%	6	1.6%	9	0.7%
6～10学級	304	33.2%	123	33.6%	427	33.3%
11～15学級	249	27.2%	140	38.3%	389	30.4%
16～20学級	199	21.7%	75	20.5%	274	21.4%
21～25学級	129	14.1%	19	5.2%	148	11.6%
26～30学級	27	3.0%	3	0.8%	30	2.3%
31学級以上	4	0.4%	0	0.0%	4	0.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



(学校編)

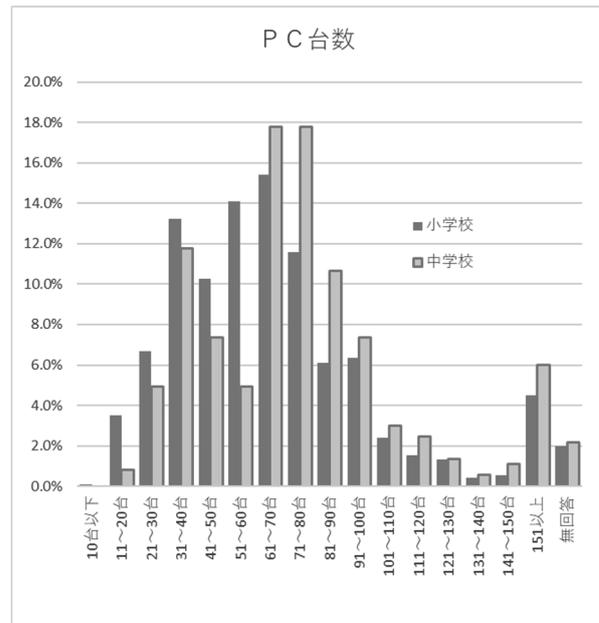
教員数別学校数分布

教員数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
10人以下	7	0.8%	0	0.0%	7	0.5%
11~15人	131	14.3%	2	0.5%	133	10.4%
16~20人	168	18.4%	42	11.5%	210	16.4%
21~25人	172	18.8%	81	22.1%	253	19.8%
26~30人	154	16.8%	82	22.4%	236	18.4%
31~35人	126	13.8%	69	18.9%	195	15.2%
36~40人	79	8.6%	32	8.7%	111	8.7%
41~45人	39	4.3%	30	8.2%	69	5.4%
46~50人	17	1.9%	16	4.4%	33	2.6%
51人以上	22	2.4%	12	3.3%	34	2.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



学校内の総コンピュータ台数別の学校数分布

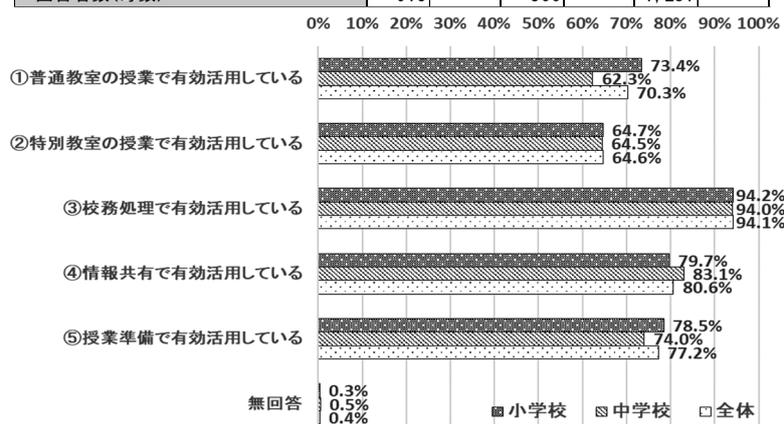
PC台数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
10台以下	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
11~20台	32	3.5%	3	0.8%	35	2.7%
21~30台	61	6.7%	18	4.9%	79	6.2%
31~40台	121	13.2%	43	11.7%	164	12.8%
41~50台	94	10.3%	27	7.4%	121	9.4%
51~60台	129	14.1%	18	4.9%	147	11.5%
61~70台	141	15.4%	65	17.8%	206	16.1%
71~80台	106	11.6%	65	17.8%	171	13.3%
81~90台	56	6.1%	39	10.7%	95	7.4%
91~100台	58	6.3%	27	7.4%	85	6.6%
101~110台	22	2.4%	11	3.0%	33	2.6%
111~120台	14	1.5%	9	2.5%	23	1.8%
121~130台	12	1.3%	5	1.4%	17	1.3%
131~140台	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
141~150台	5	0.5%	4	1.1%	9	0.7%
151以上	41	4.5%	22	6.0%	63	4.9%
無回答	18	2.0%	8	2.2%	26	2.0%
合計	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



## 2-1 ネットワーク及びICT環境整備に関する項目

## 2-1-01 校内LANは授業や校務処理で有効に活用していますか。(いくつでも)

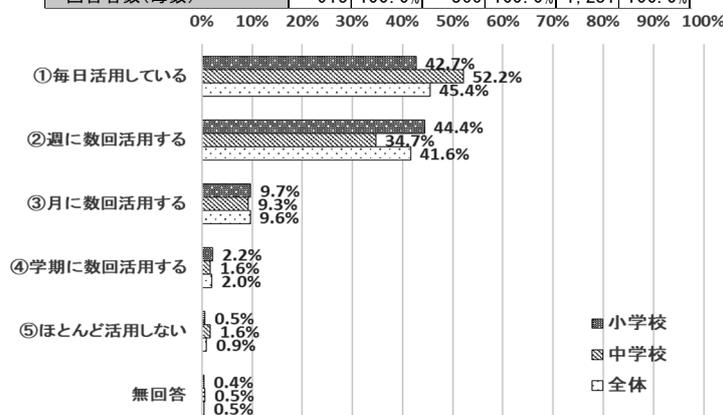
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①普通教室の授業で有効活用している	672	73.4%	228	62.3%	900	70.3%
②特別教室の授業で有効活用している	592	64.7%	236	64.5%	828	64.6%
③校務処理で有効活用している	862	94.2%	344	94.0%	1,206	94.1%
④情報共有で有効活用している	729	79.7%	304	83.1%	1,033	80.6%
⑤授業準備で有効活用している	718	78.5%	271	74.0%	989	77.2%
無回答	3	0.3%	2	0.5%	5	0.4%
回答数合計	3,576	390.8%	1,385	378.4%	4,961	387.3%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※小中学校で大きな差はなく、「③校務処理で有効活用している」が全体で94.1%となっている。次いで「④情報共有で有効活用している」が全体で80.6%、「⑤授業準備で有効活用している」が77.2%となっている。校内LANは概ね有効活用されている。

## 2-1-02 インターネットを通じて、授業準備のために外部の情報を活用していますか。

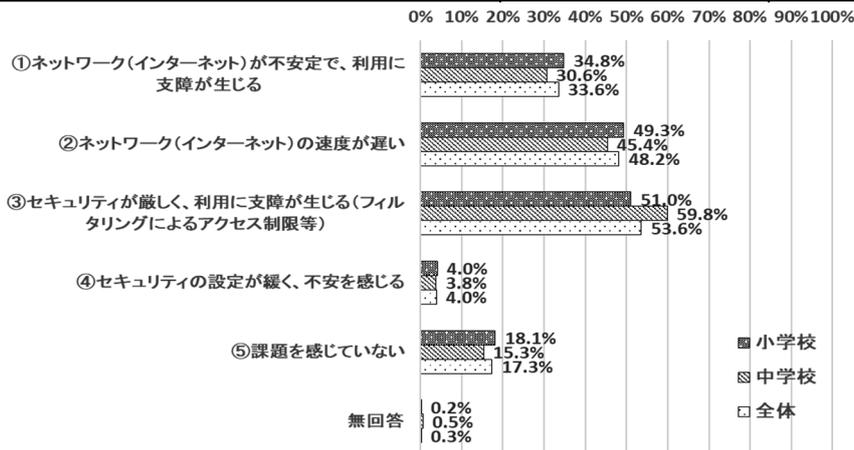
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①毎日活用している	391	42.7%	191	52.2%	582	45.4%
②週に数回活用する	406	44.4%	127	34.7%	533	41.6%
③月に数回活用する	89	9.7%	34	9.3%	123	9.6%
④学期に数回活用する	20	2.2%	6	1.6%	26	2.0%
⑤ほとんど活用しない	5	0.5%	6	1.6%	11	0.9%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①毎日活用している」が中学校で52.2%、小学校で42.7%となっている。「②週に数回利用する」は全体で41.6%となっており、授業準備にインターネットの活用は進んでいると思われる。

2-1-03 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	318	34.8%	112	30.6%	430	33.6%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	451	49.3%	166	45.4%	617	48.2%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	467	51.0%	219	59.8%	686	53.6%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	37	4.0%	14	3.8%	51	4.0%
⑤課題を感じていない	166	18.1%	56	15.3%	222	17.3%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答数合計	1,441	157.5%	569	155.5%	2,010	156.9%
回答者数(母数)	915		366		1,281	

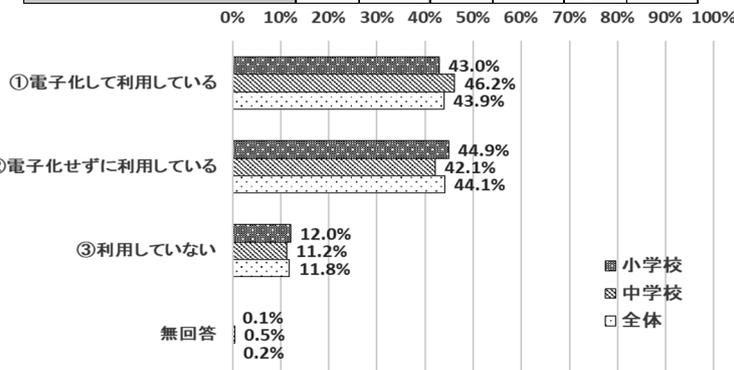


※「③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)」が、全体で(51.8%→53.6%)と最も多く、次いで「②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い」が、(42.7%→48.2%)と続き、前回調査と傾向としては同じである。

2-1-04 以下の学習記録のうち、電子化して利用しているもの、もしくは電子化せずに利用しているものはどれですか。

2-1-04(1) 問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答

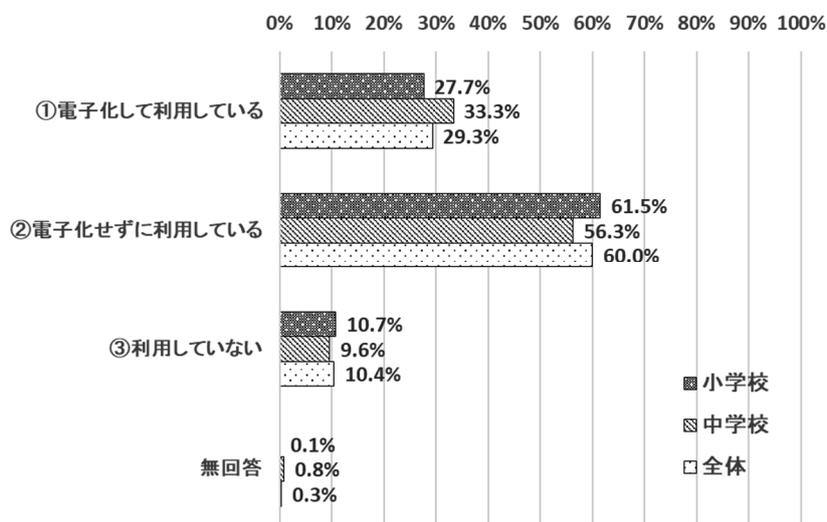
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	393	43.0%	169	46.2%	562	43.9%
②電子化せずに利用している	411	44.9%	154	42.1%	565	44.1%
③利用していない	110	12.0%	41	11.2%	151	11.8%
無回答	1	0.1%	2	0.5%	3	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※小中学校で差はなく、全体で「①電子化して利用している」が43.9%、「②電子化せずに利用している」が44.1%となっている。コンピュータ1人1台環境が進めば、電子化しての利用がより増えるものと思われる。

## 2-1-04(2) 児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物

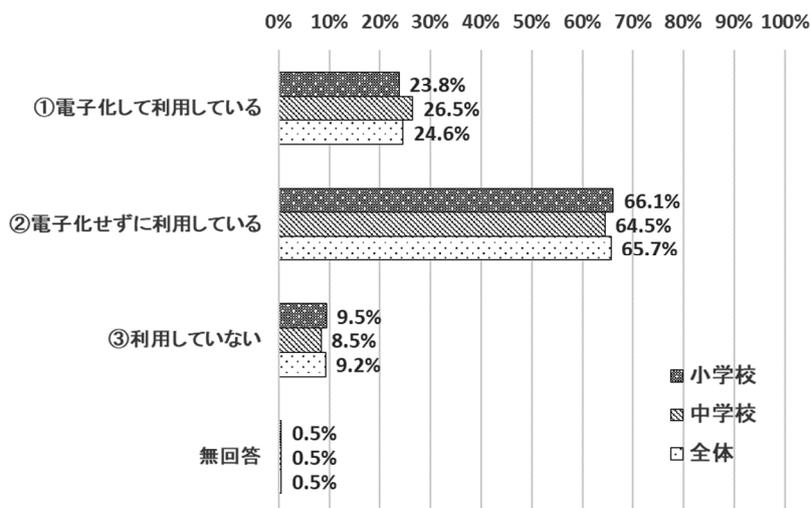
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	253	27.7%	122	33.3%	375	29.3%
②電子化せずに利用している	563	61.5%	206	56.3%	769	60.0%
③利用していない	98	10.7%	35	9.6%	133	10.4%
無回答	1	0.1%	3	0.8%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で60.0%となっており、学習成果物の電子化はまだあまり進んでいないが、コンピュータ1人1台環境が整えば、電子化が進むものと考えられる。

## 2-1-04(3) ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録

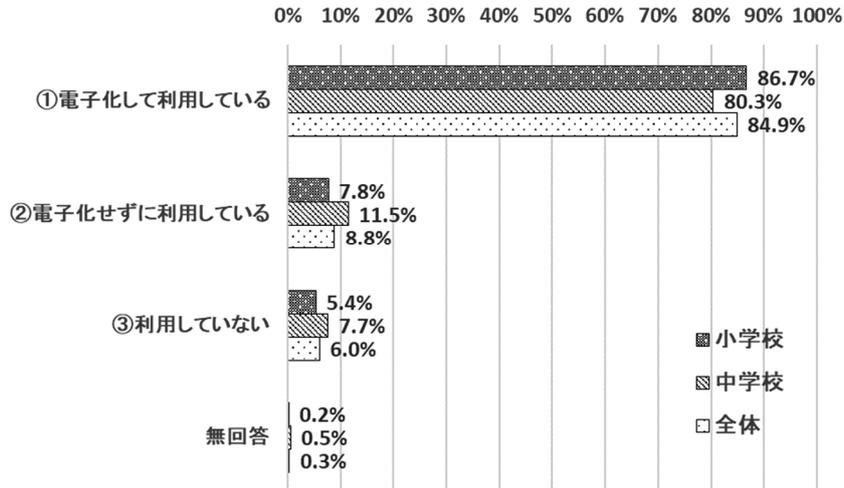
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	218	23.8%	97	26.5%	315	24.6%
②電子化せずに利用している	605	66.1%	236	64.5%	841	65.7%
③利用していない	87	9.5%	31	8.5%	118	9.2%
無回答	5	0.5%	2	0.5%	7	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で65.7%となっている。コンピュータ1人1台環境が整えば、電子化しての利用が進むものと考えられる。

2-1-04(4) 児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画

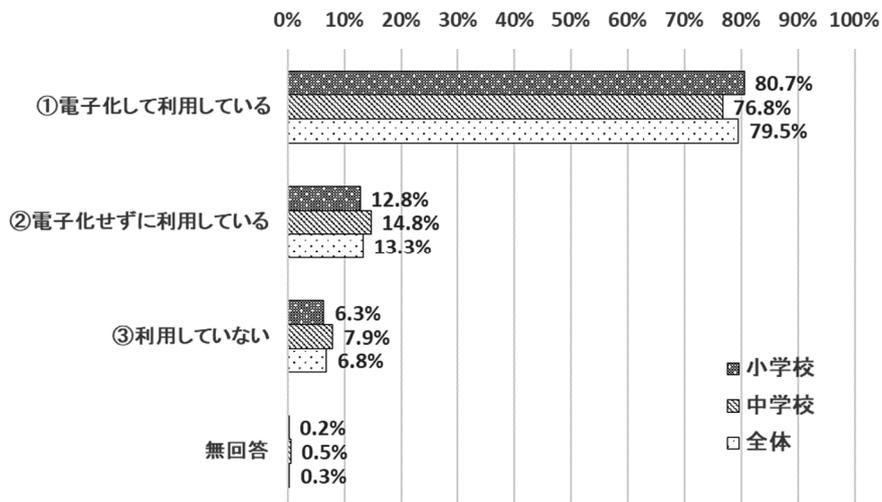
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	793	86.7%	294	80.3%	1,087	84.9%
②電子化せずに利用している	71	7.8%	42	11.5%	113	8.8%
③利用していない	49	5.4%	28	7.7%	77	6.0%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①電子化して利用している」が全体で84.9%であり、学習の様子を撮影した画像や動画の電子化は進んでいる。

2-1-04(5) 児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画

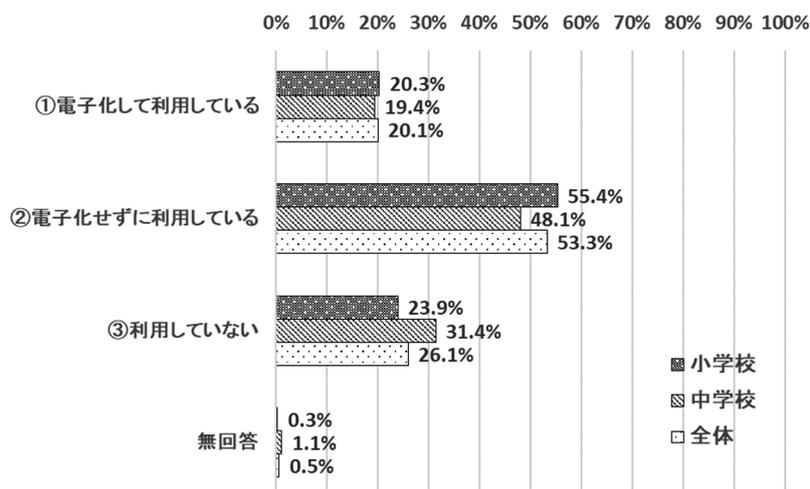
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	738	80.7%	281	76.8%	1,019	79.5%
②電子化せずに利用している	117	12.8%	54	14.8%	171	13.3%
③利用していない	58	6.3%	29	7.9%	87	6.8%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①電子化して利用している」が全体で79.5%であり、学習の様子を撮影した画像や動画と同様に電子化は進んでいる。

## 2-1-04(6) 児童・生徒の対話や会話の記録

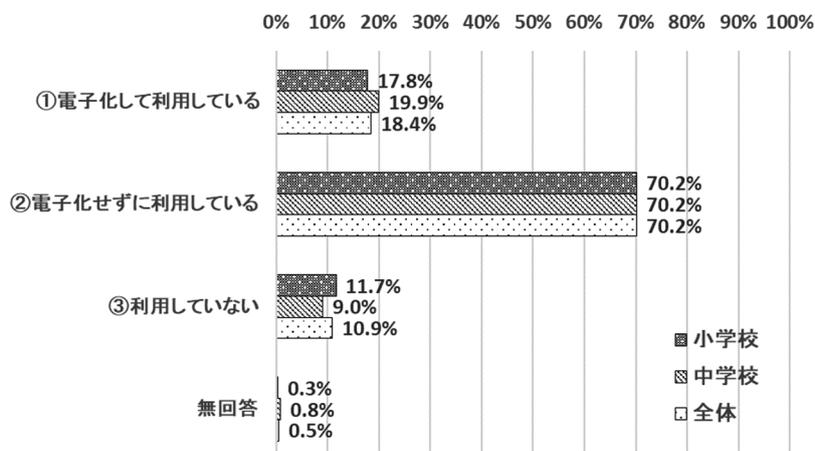
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	186	20.3%	71	19.4%	257	20.1%
②電子化せずに利用している	507	55.4%	176	48.1%	683	53.3%
③利用していない	219	23.9%	115	31.4%	334	26.1%
無回答	3	0.3%	4	1.1%	7	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」は全体で 53.3%、「①電子化して利用している」が全体で 20.1%となっている。

## 2-1-04(7) 自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録

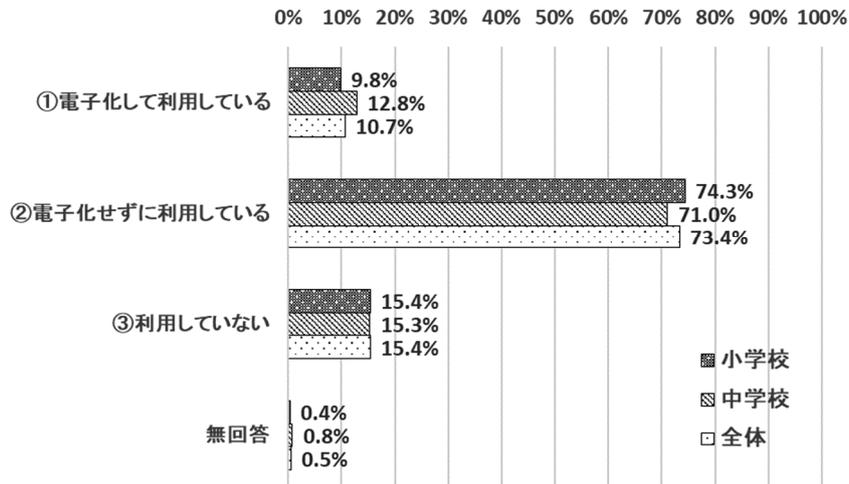
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	163	17.8%	73	19.9%	236	18.4%
②電子化せずに利用している	642	70.2%	257	70.2%	899	70.2%
③利用していない	107	11.7%	33	9.0%	140	10.9%
無回答	3	0.3%	3	0.8%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で 70.2%となっている。「①電子化して利用している」は全体で 18.4%であるが、コンピュータ 1 人 1 台環境が進めば、電子化が進むものと考えられる。

2-1-04(8) 相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録

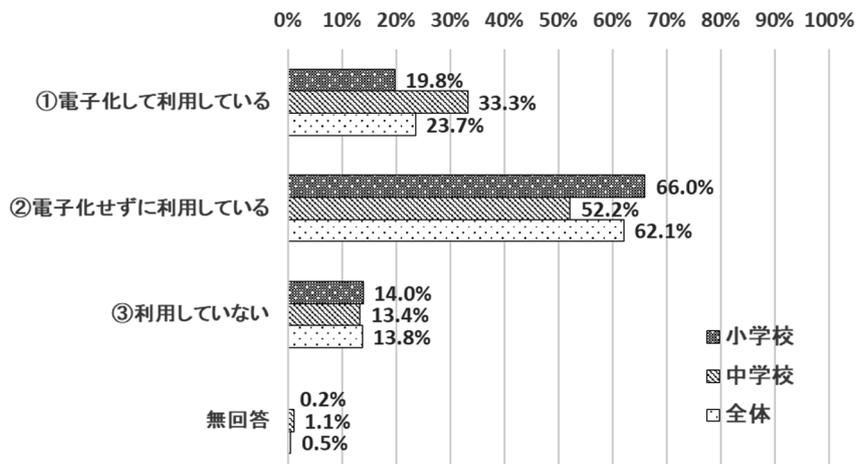
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	90	9.8%	47	12.8%	137	10.7%
②電子化せずに利用している	680	74.3%	260	71.0%	940	73.4%
③利用していない	141	15.4%	56	15.3%	197	15.4%
無回答	4	0.4%	3	0.8%	7	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で73.4%であり、電子化はまだ進んでいない。

2-1-04(9) 教師や保護者からのコメント等の記録

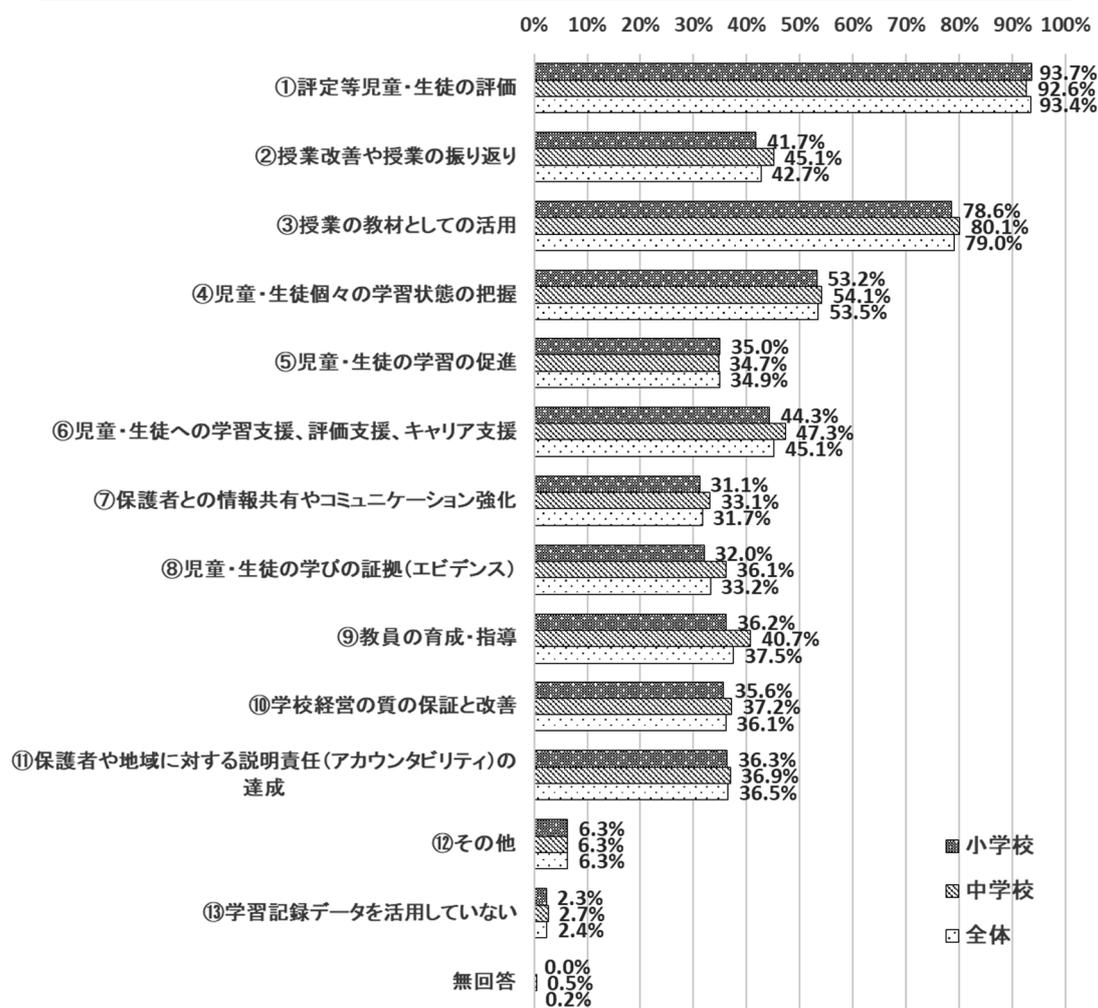
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	181	19.8%	122	33.3%	303	23.7%
②電子化せずに利用している	604	66.0%	191	52.2%	795	62.1%
③利用していない	128	14.0%	49	13.4%	177	13.8%
無回答	2	0.2%	4	1.1%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②電子化せずに利用している」は小学校で66.0%、中学校で52.2%となっており、「①電子化して利用している」は小学校で19.8%であるが、中学校では33.3%となっており、小学校と中学校で差が出ている。

2-1-05 既に利用している電子化された学習記録の活用について、あてはまるものをすべて選択してください。

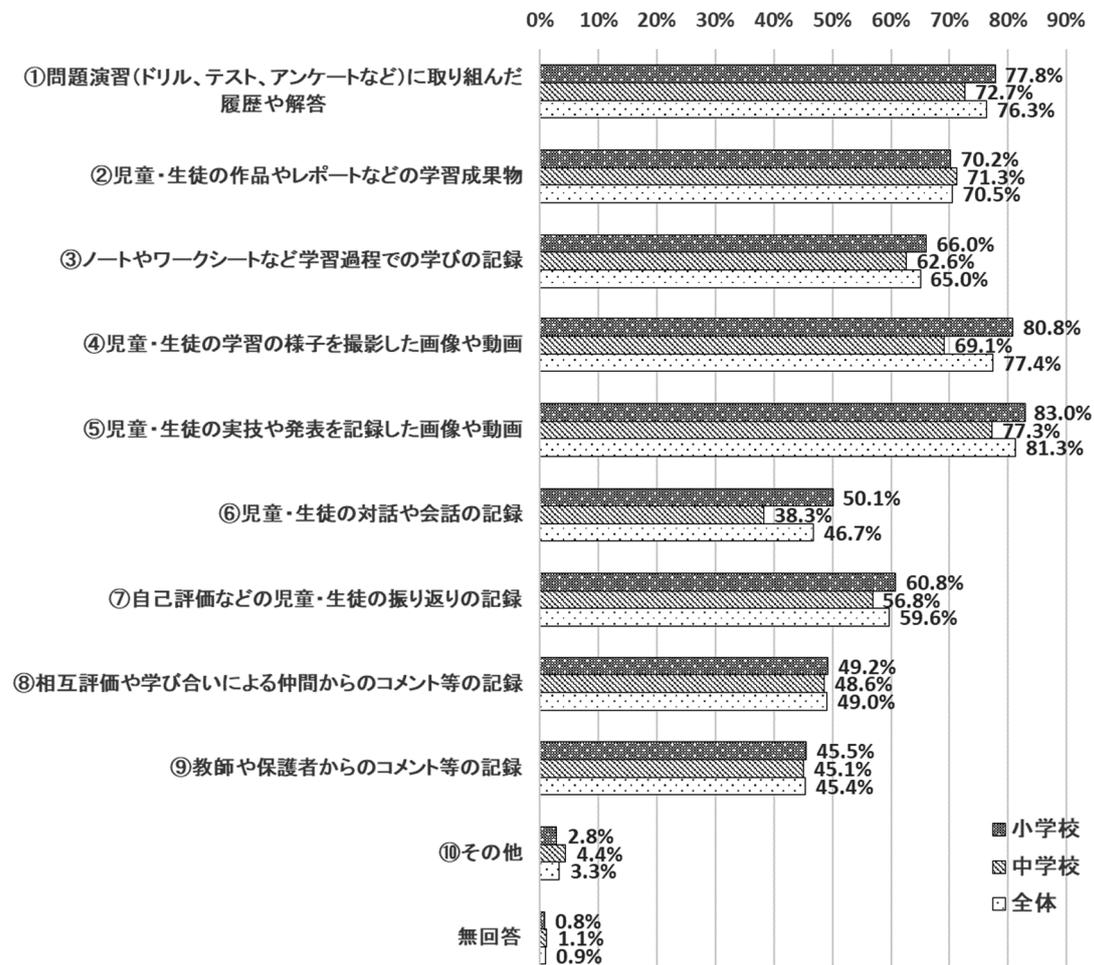
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①評定等児童・生徒の評価	857	93.7%	339	92.6%	1,196	93.4%
②授業改善や授業の振り返り	382	41.7%	165	45.1%	547	42.7%
③授業の教材としての活用	719	78.6%	293	80.1%	1,012	79.0%
④児童・生徒個々の学習状態の把握	487	53.2%	198	54.1%	685	53.5%
⑤児童・生徒の学習の促進	320	35.0%	127	34.7%	447	34.9%
⑥児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	405	44.3%	173	47.3%	578	45.1%
⑦保護者との情報共有やコミュニケーション強化	285	31.1%	121	33.1%	406	31.7%
⑧児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	293	32.0%	132	36.1%	425	33.2%
⑨教員の育成・指導	331	36.2%	149	40.7%	480	37.5%
⑩学校経営の質の保証と改善	326	35.6%	136	37.2%	462	36.1%
⑪保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	332	36.3%	135	36.9%	467	36.5%
⑫その他	58	6.3%	23	6.3%	81	6.3%
⑬学習記録データを活用していない	21	2.3%	10	2.7%	31	2.4%
無回答			2	0.5%	2	0.2%
回答数合計	4,816	526.3%	2,003	547.3%	6,819	532.3%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※「①評定等児童・生徒の評価」が最も多く、全体で93.4%、次いで「③授業の教材としての活用」が79.0%、「④児童・生徒個々の学習状態の把握」が53.5%となっており、小学校と中学校でほとんど差はない。

2-1-06 電子化されることで有効だとお考えになる子供たちの学習記録について、あてはまるものをすべて選択してください。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答	712	77.8%	266	72.7%	978	76.3%
②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物	642	70.2%	261	71.3%	903	70.5%
③ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録	604	66.0%	229	62.6%	833	65.0%
④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画	739	80.8%	253	69.1%	992	77.4%
⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画	759	83.0%	283	77.3%	1,042	81.3%
⑥児童・生徒の対話や会話の記録	458	50.1%	140	38.3%	598	46.7%
⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録	556	60.8%	208	56.8%	764	59.6%
⑧相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録	450	49.2%	178	48.6%	628	49.0%
⑨教師や保護者からのコメント等の記録	416	45.5%	165	45.1%	581	45.4%
⑩その他	26	2.8%	16	4.4%	42	3.3%
無回答	7	0.8%	4	1.1%	11	0.9%
回答数合計	5,369	586.8%	2,003	547.3%	7,372	575.5%
回答者数(母数)	915		366		1,281	

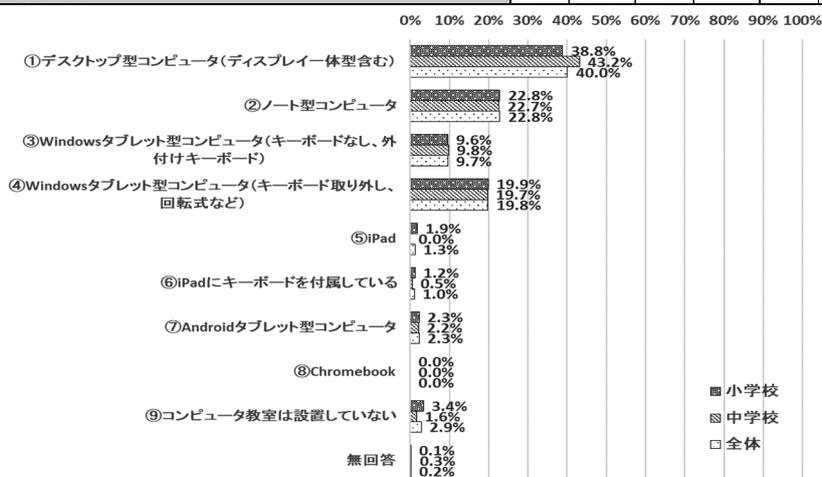


※「①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答」「②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物」「④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画」「⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画」の4つが全体で70%を超えており電子化の効果が期待されている。

## 2-2 ハードウェアに関する項目

## 2-2-01 コンピュータ教室に設置しているコンピュータのタイプについて伺います。

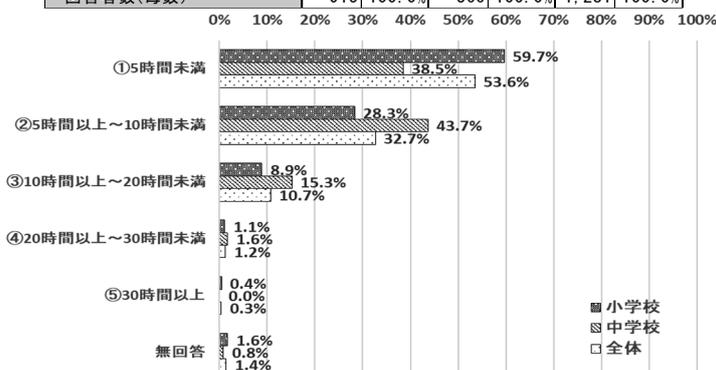
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デスクトップ型コンピュータ(ディスプレイ一体型含む)	355	38.8%	158	43.2%	513	40.0%
②ノート型コンピュータ	209	22.8%	83	22.7%	292	22.8%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	88	9.6%	36	9.8%	124	9.7%
④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	182	19.9%	72	19.7%	254	19.8%
⑤iPad	17	1.9%			17	1.3%
⑥iPadにキーボードを付属している	11	1.2%	2	0.5%	13	1.0%
⑦Androidタブレット型コンピュータ	21	2.3%	8	2.2%	29	2.3%
⑧Chromebook						
⑨コンピュータ教室は設置していない	31	3.4%	6	1.6%	37	2.9%
無回答	1	0.1%	1	0.3%	2	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①デスクトップ型コンピュータ(ディスプレイ一体型含む)」が全体で40.0%と依然として高いが、それ以外が56.9% (⑨コンピュータ教室は設置していないを除く) となっており、より多いことがわかる。持ち運びタイプが増えていると想定される。

## 2-2-02 コンピュータ教室は週に何時間使用していますか。

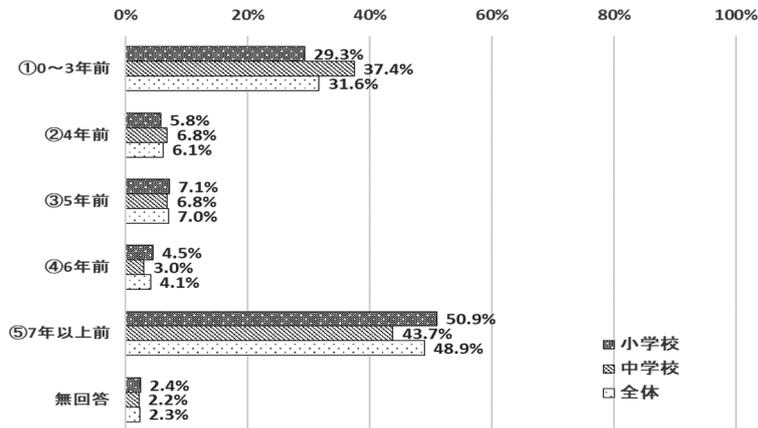
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①5時間未満	546	59.7%	141	38.5%	687	53.6%
②5時間以上～10時間未満	259	28.3%	160	43.7%	419	32.7%
③10時間以上～20時間未満	81	8.9%	56	15.3%	137	10.7%
④20時間以上～30時間未満	10	1.1%	6	1.6%	16	1.2%
⑤30時間以上	4	0.4%			4	0.3%
無回答	15	1.6%	3	0.8%	18	1.4%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①5時間未満」が全体で53.6%とコンピュータ教室の利用時間が少ない。タブレット型コンピュータなどの導入により、普通教室でのコンピュータの利用が増加していると想定される。

2-2-03 コンピュータ教室のコンピュータはいつ導入されましたか。

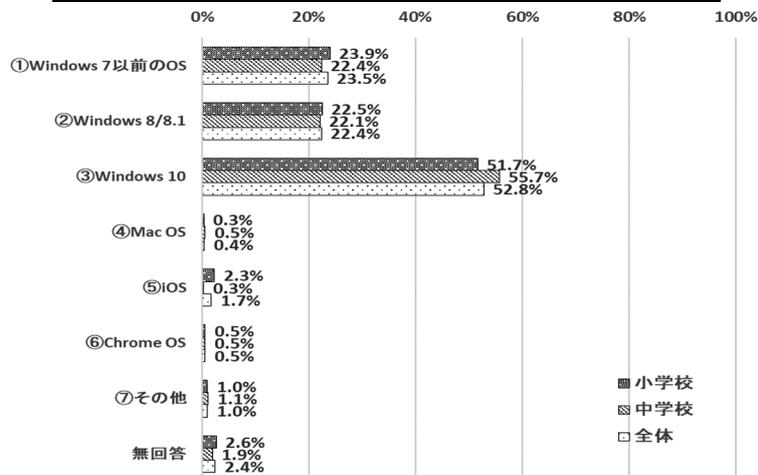
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①0～3年前	268	29.3%	137	37.4%	405	31.6%
②4年前	53	5.8%	25	6.8%	78	6.1%
③5年前	65	7.1%	25	6.8%	90	7.0%
④6年前	41	4.5%	11	3.0%	52	4.1%
⑤7年以上前	466	50.9%	160	43.7%	626	48.9%
無回答	22	2.4%	8	2.2%	30	2.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「⑤7年以上前」が全体で48.9%とコンピュータの入れ替えが行われていない。早期のコンピュータの入れ替えが望まれる。

2-2-04 コンピュータ教室で児童・生徒が主に使っているコンピュータのOSは何ですか。(いくつでも)

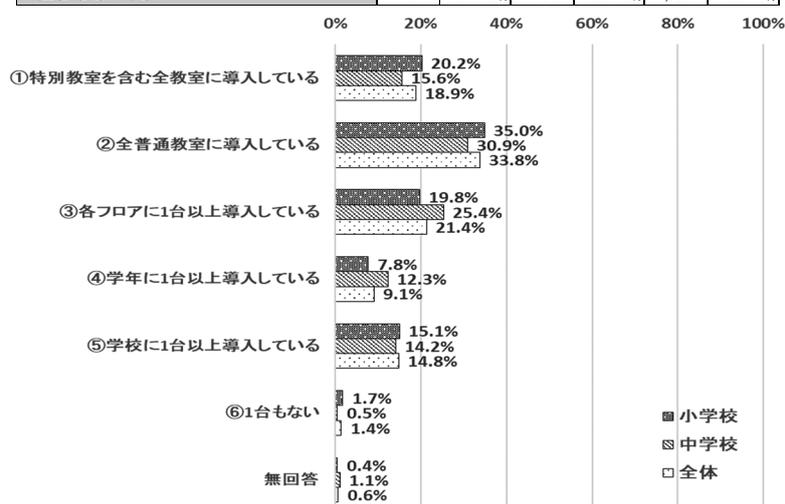
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windows 7以前のOS	219	23.9%	82	22.4%	301	23.5%
②Windows 8/8.1	206	22.5%	81	22.1%	287	22.4%
③Windows 10	473	51.7%	204	55.7%	677	52.8%
④Mac OS	3	0.3%	2	0.5%	5	0.4%
⑤iOS	21	2.3%	1	0.3%	22	1.7%
⑥Chrome OS	5	0.5%	2	0.5%	7	0.5%
⑦その他	9	1.0%	4	1.1%	13	1.0%
無回答	24	2.6%	7	1.9%	31	2.4%
回答数合計	960	104.9%	383	104.6%	1,343	104.8%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※「③Windows 10」が52.8%、「②Windows 8/8.1」「①Windows 7以前のOS」を合わせたWindows OSの利用率が全体で98.7%と依然して高い。「①Windows 7以前のOS」については早期の入れ替えが望まれる。

## 2-2-05(1) 次の ICT 機器の整備状況について伺います。(1)大型提示装置

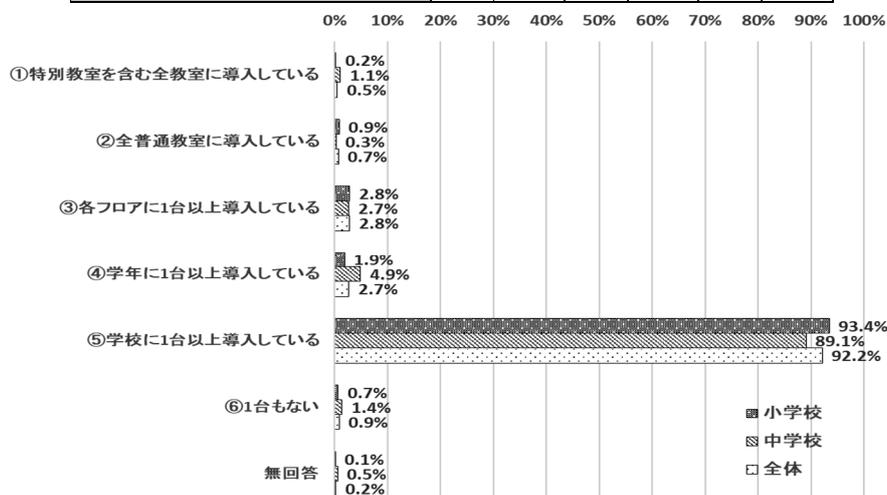
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	185	20.2%	57	15.6%	242	18.9%
②全普通教室に導入している	320	35.0%	113	30.9%	433	33.8%
③各フロアに1台以上導入している	181	19.8%	93	25.4%	274	21.4%
④学年に1台以上導入している	71	7.8%	45	12.3%	116	9.1%
⑤学校に1台以上導入している	138	15.1%	52	14.2%	190	14.8%
⑥1台もない	16	1.7%	2	0.5%	18	1.4%
無回答	4	0.4%	4	1.1%	8	0.6%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると、52.7%であり、残りの半分の学校では導入が進んでいない。さらなる整備が望まれる。

## 2-2-05(2) 次の ICT 機器の整備状況について伺います。(2)カラープリンタ

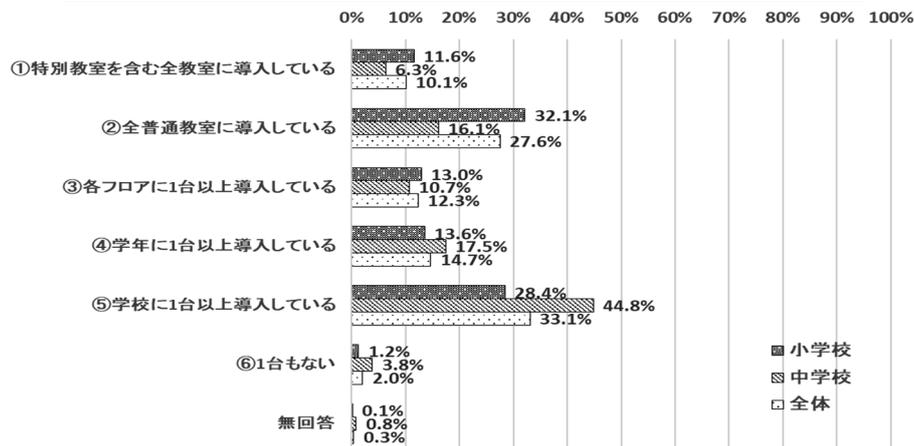
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	2	0.2%	4	1.1%	6	0.5%
②全普通教室に導入している	8	0.9%	1	0.3%	9	0.7%
③各フロアに1台以上導入している	26	2.8%	10	2.7%	36	2.8%
④学年に1台以上導入している	17	1.9%	18	4.9%	35	2.7%
⑤学校に1台以上導入している	855	93.4%	326	89.1%	1,181	92.2%
⑥1台もない	6	0.7%	5	1.4%	11	0.9%
無回答	1	0.1%	2	0.5%	3	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※教室へのカラープリンタの導入が進んでいない。普通教室での ICT 活用が進んでいることを考えると、早期の整備が望ましい。

2-2-05(3) 次の ICT 機器の整備状況について伺います。(3)実物投影機

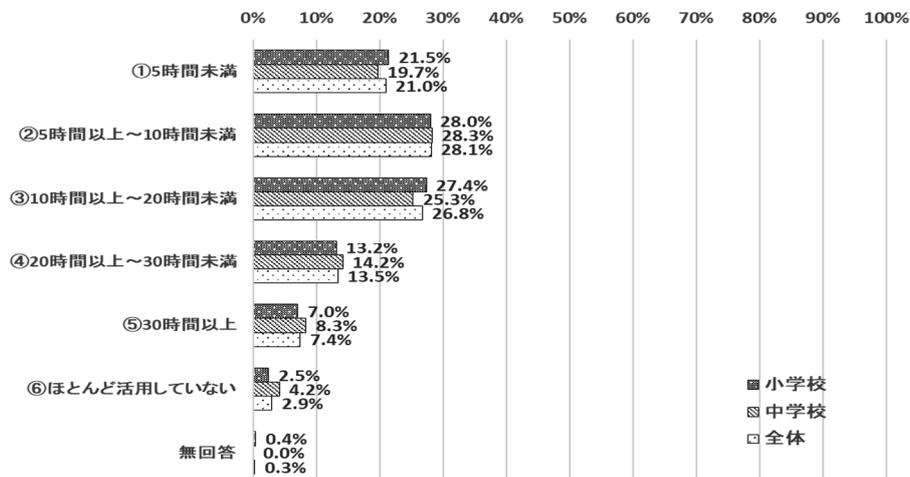
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	106	11.6%	23	6.3%	129	10.1%
②全普通教室に導入している	294	32.1%	59	16.1%	353	27.6%
③各フロアに1台以上導入している	119	13.0%	39	10.7%	158	12.3%
④学年に1台以上導入している	124	13.6%	64	17.5%	188	14.7%
⑤学校に1台以上導入している	260	28.4%	164	44.8%	424	33.1%
⑥1台もない	11	1.2%	14	3.8%	25	2.0%
無回答	1	0.1%	3	0.8%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて、小学校では 43.7%、中学校では 22.4%と大きな差が生じている。小学校にのみ整備指針に記載されていることによると推察されるが、一層の整備が望まれる。

2-2-06 2-2-05(1)の大型提示装置の活用について、伺います。週に何時間活用していますか。

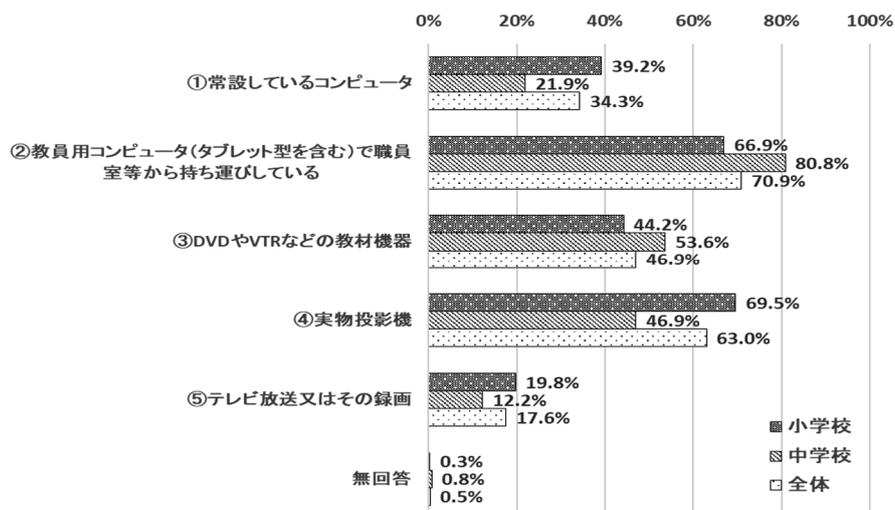
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①5時間未満	192	21.5%	71	19.7%	263	21.0%
②5時間以上～10時間未満	251	28.0%	102	28.3%	353	28.1%
③10時間以上～20時間未満	245	27.4%	91	25.3%	336	26.8%
④20時間以上～30時間未満	118	13.2%	51	14.2%	169	13.5%
⑤30時間以上	63	7.0%	30	8.3%	93	7.4%
⑥ほとんど活用していない	22	2.5%	15	4.2%	37	2.9%
無回答	4	0.4%			4	0.3%
回答者数(母数)	895	100.0%	360	100.0%	1,255	100.0%



※「③10時間以上～20時間未満」「④20時間以上～30時間未満」「⑤30時間以上」を合わせると、47.7%が週に10時間以上活用している。整備が進めば、更なる活用が期待される。

2-2-07 2-2-05(1)で答えた大型提示装置のうち、普通教室で接続する機器は、次のうちどれですか。(いくつかつでも)

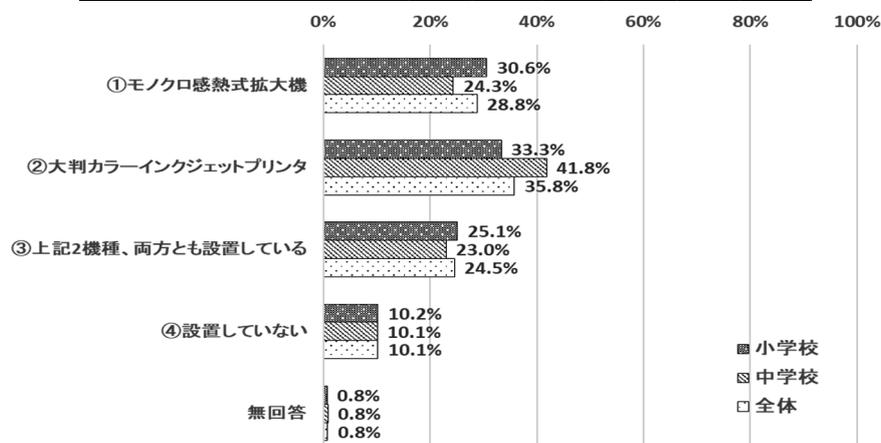
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①常設しているコンピュータ	351	39.2%	79	21.9%	430	34.3%
②教員用コンピュータ(タブレット型を含む)で職員室等から持ち運びしている	599	66.9%	291	80.8%	890	70.9%
③DVDやVTRなどの教材機器	396	44.2%	193	53.6%	589	46.9%
④実物投影機	622	69.5%	169	46.9%	791	63.0%
⑤テレビ放送又はその録画	177	19.8%	44	12.2%	221	17.6%
無回答	3	0.3%	3	0.8%	6	0.5%
回答数合計	2,148	240.0%	779	216.4%	2,927	233.2%
回答者数(母数)	895		360		1,255	



※「②教員用コンピュータ(タブレット型を含む)で職員室等から持ち運びしている」が70.9%、「④実物投影機」が63.0%と高くなっている。

2-2-08 学校に設置されている大判プリンタの種類について、伺います。

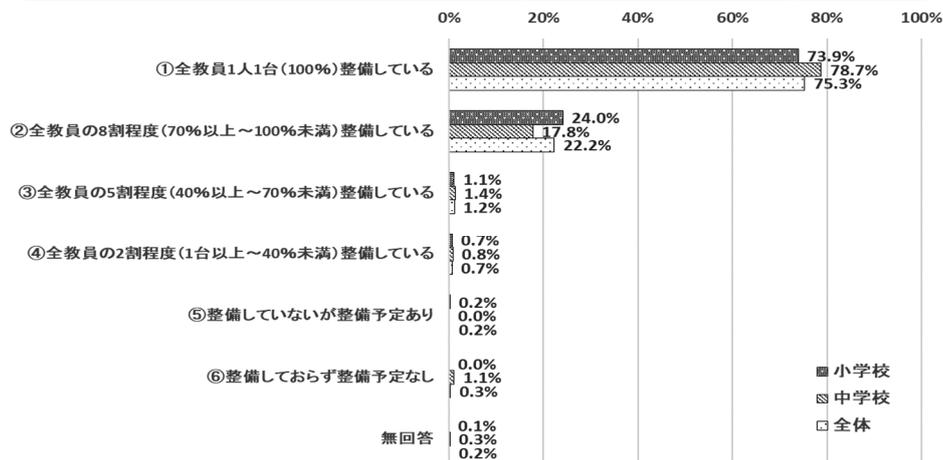
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①モノクロ感熱式拡大機	280	30.6%	89	24.3%	369	28.8%
②大判カラーインクジェットプリンタ	305	33.3%	153	41.8%	458	35.8%
③上記2機種、両方とも設置している	230	25.1%	84	23.0%	314	24.5%
④設置していない	93	10.2%	37	10.1%	130	10.1%
無回答	7	0.8%	3	0.8%	10	0.8%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「②大判カラーインクジェットプリンタ」が全体で35.8%と一定の割合を占めており、教材のカラー化に伴い、モノクロから移行していると考えられる。

## 2-2-09 教員用コンピュータの整備状況について伺います。

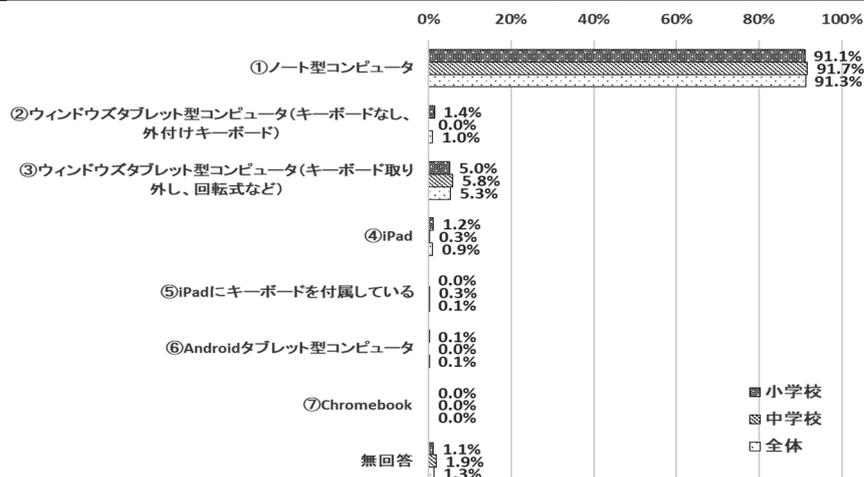
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台(100%)整備している	676	73.9%	288	78.7%	964	75.3%
②全教員の8割程度(70%以上～100%未満)整備している	220	24.0%	65	17.8%	285	22.2%
③全教員の5割程度(40%以上～70%未満)整備している	10	1.1%	5	1.4%	15	1.2%
④全教員の2割程度(1台以上～40%未満)整備している	6	0.7%	3	0.8%	9	0.7%
⑤整備していないが整備予定あり	2	0.2%			2	0.2%
⑥整備しておらず整備予定なし			4	1.1%	4	0.3%
無回答	1	0.1%	1	0.3%	2	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①全教員1人1台(100%)整備している」が全体で75.3%あり、1人1台の環境が整いつつあるが、そうでない学校も24.6%あり早期の整備が望まれる。

## 2-2-10 2-2-09で①②③④と回答された方に、教員用コンピュータの種類について、伺います。(主な整備機器について1種類)

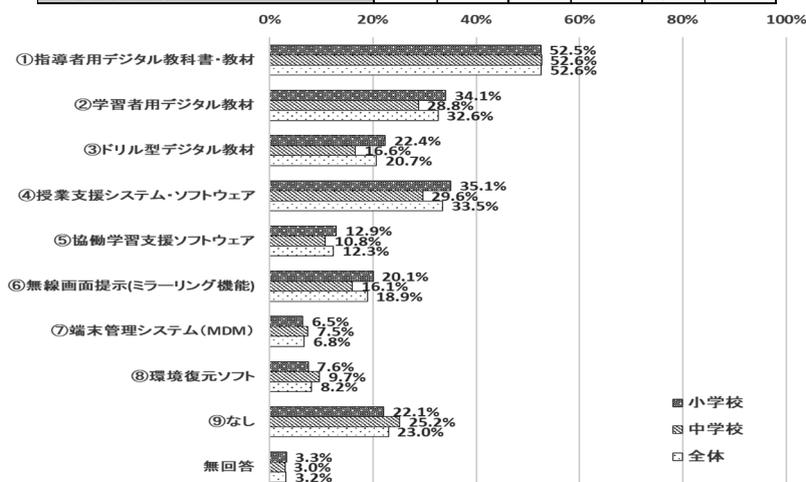
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ノート型コンピュータ	831	91.1%	331	91.7%	1,162	91.3%
②ウィンドウズタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	13	1.4%			13	1.0%
③ウィンドウズタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	46	5.0%	21	5.8%	67	5.3%
④iPad	11	1.2%	1	0.3%	12	0.9%
⑤iPadにキーボードを付属している			1	0.3%	1	0.1%
⑥Androidタブレット型コンピュータ	1	0.1%			1	0.1%
⑦Chromebook						
無回答	10	1.1%	7	1.9%	17	1.3%
回答者数(母数)	912	100.0%	361	100.0%	1,273	100.0%



※「①ノート型コンピュータ」が全体で91.3%導入されており、その他は少ない。

2-2-11 2-2-09 で①②③④と回答された方に伺います。教員用タブレット型コンピュータの整備にあたり、活用しているもの（ソフト、システム）についてお聞かせください。（いくつでも）

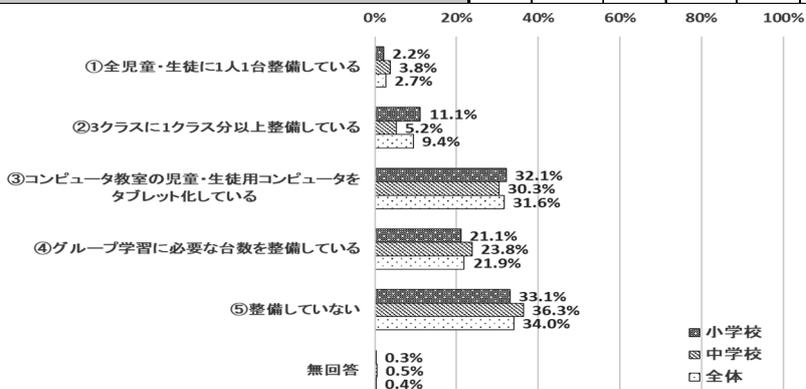
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	479	52.5%	190	52.6%	669	52.6%
②学習者用デジタル教材	311	34.1%	104	28.8%	415	32.6%
③ドリル型デジタル教材	204	22.4%	60	16.6%	264	20.7%
④授業支援システム・ソフトウェア	320	35.1%	107	29.6%	427	33.5%
⑤協働学習支援ソフトウェア	118	12.9%	39	10.8%	157	12.3%
⑥無線画面提示(ミラーリング機能)	183	20.1%	58	16.1%	241	18.9%
⑦端末管理システム(MDM)	59	6.5%	27	7.5%	86	6.8%
⑧環境復元ソフト	69	7.6%	35	9.7%	104	8.2%
⑨なし	202	22.1%	91	25.2%	293	23.0%
無回答	30	3.3%	11	3.0%	41	3.2%
回答数合計	1,975	216.6%	722	200.0%	2,697	211.9%
回答者数(母数)	912		361		1,273	



※「①指導者用デジタル教科書・教材」が全体で52.6%と多く、次いで「④授業支援システム・ソフトウェア」が33.5%となっている。

2-2-12 児童・生徒用タブレット型コンピュータの整備状況について伺います。

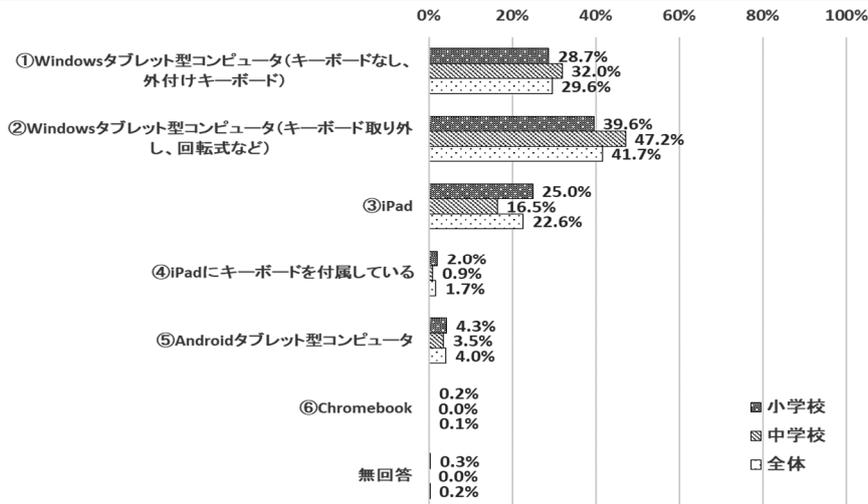
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全児童・生徒に1人1台整備している	20	2.2%	14	3.8%	34	2.7%
②3クラスに1クラス分以上整備している	102	11.1%	19	5.2%	121	9.4%
③コンピュータ教室の児童・生徒用コンピュータをタブレット化している	294	32.1%	111	30.3%	405	31.6%
④グループ学習に必要な台数を整備している	193	21.1%	87	23.8%	280	21.9%
⑤整備していない	303	33.1%	133	36.3%	436	34.0%
無回答	3	0.3%	2	0.5%	5	0.4%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※文部科学省が掲げる水準である「②3クラスに1クラス分以上整備している」と、「①全児童・生徒に1人1台整備している」を合わせて12.1%にとどまる。「③コンピュータ教室の児童・生徒用コンピュータをタブレット化している」が31.6%と最も多く、早急な整備が望まれる。

2-2-13 2-2-12 で①②③④と回答された方に、児童・生徒用タブレット型コンピュータの種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

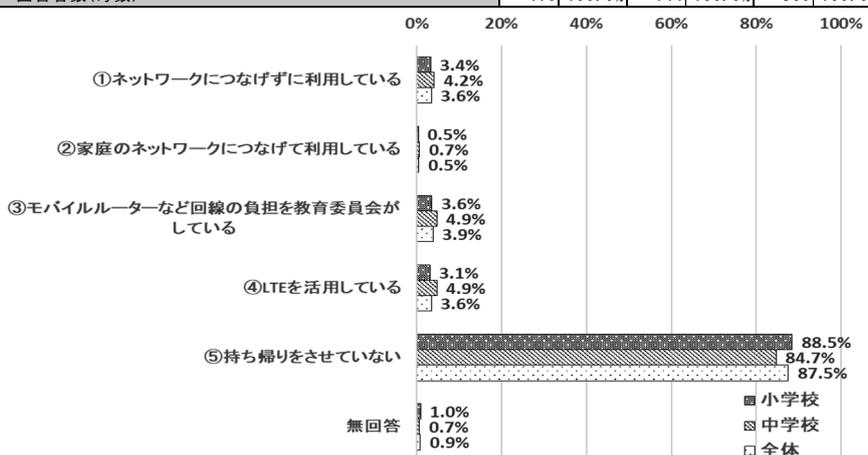
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	175	28.7%	74	32.0%	249	29.6%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	241	39.6%	109	47.2%	350	41.7%
③iPad	152	25.0%	38	16.5%	190	22.6%
④iPadにキーボードを付属している	12	2.0%	2	0.9%	14	1.7%
⑤Androidタブレット型コンピュータ	26	4.3%	8	3.5%	34	4.0%
⑥Chromebook	1	0.2%			1	0.1%
無回答	2	0.3%			2	0.2%
回答者数(母数)	609	100.0%	231	100.0%	840	100.0%



※「①Windows タブレット型コンピュータ (キーボードなし、外付けキーボード)」と「② Windows タブレット型コンピュータ (キーボード取り外し、回転式など)」を合わせ、Windows OS が 71.3%と高い。

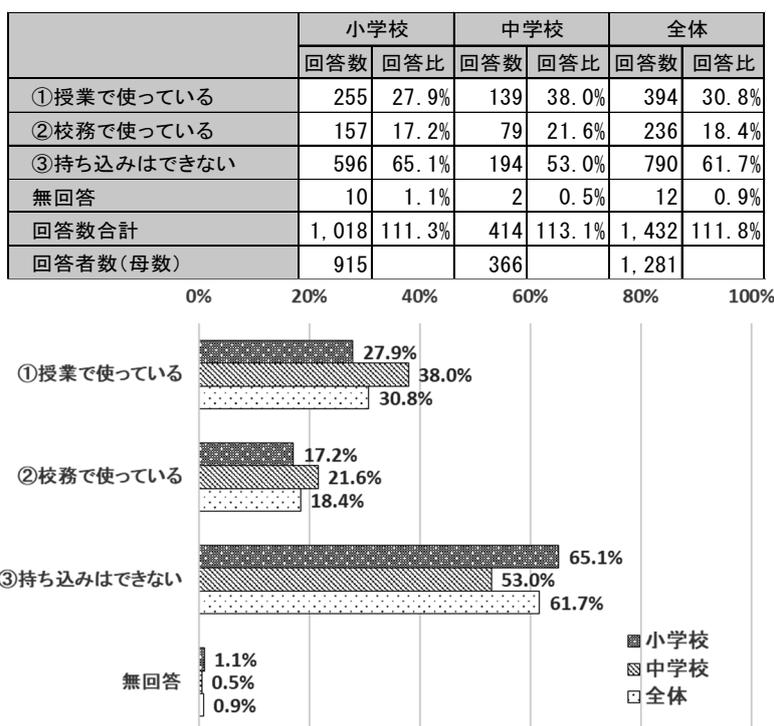
2-2-14 2-2-12 で①②③と回答された方に、児童・生徒用タブレット型コンピュータの持ち帰り利用について伺います。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークにつなげずに利用している	14	3.4%	6	4.2%	20	3.6%
②家庭のネットワークにつなげて利用している	2	0.5%	1	0.7%	3	0.5%
③モバイルルーターなど回線の負担を教育委員会がしている	15	3.6%	7	4.9%	22	3.9%
④LTEを活用している	13	3.1%	7	4.9%	20	3.6%
⑤持ち帰りをさせていない	368	88.5%	122	84.7%	490	87.5%
無回答	4	1.0%	1	0.7%	5	0.9%
回答者数(母数)	416	100.0%	144	100.0%	560	100.0%



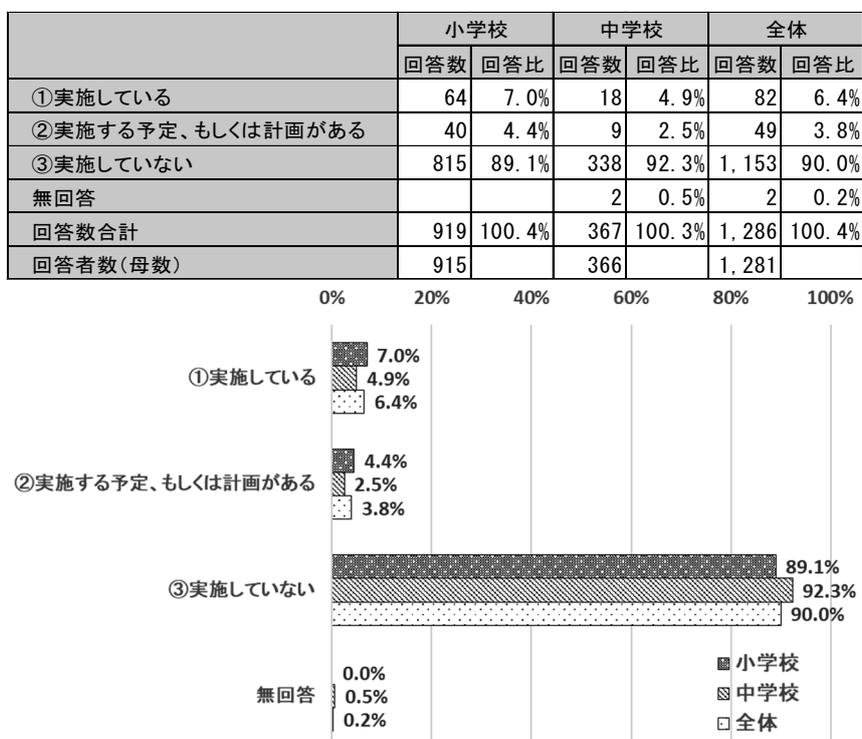
※「⑤持ち帰りをさせていない」が全体で 87.5%あり、持ち帰り利用は少ない。

2-2-15 校内で教員が私物のコンピュータ又はタブレット型コンピュータを使っていますか。(いくつでも)



※「①授業で使っている」が全体で30.8%、「②校務で使っている」が全体で18.4%と一定の割合で私物を使用しており、セキュリティに対する意識変革を求められる。

2-2-16 遠隔システムを使った教育を行っていますか。(いくつでも)



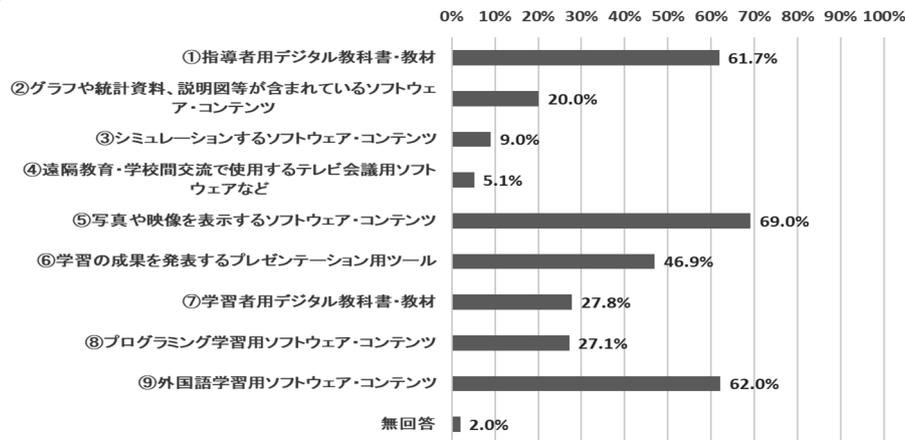
※「③実施していない」が90.0%もあり、多くの学校は遠隔授業を実施していない。今後計画を立てている学校も少ないが、遠隔教育に対する認知や実践の共有がほとんどされていない点からも、一層の普及が必要である。

(学校編)

2-3 ソフトウェアに関する項目

2-3-01 小学校の普通教室ではどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。(いくつかでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	565	61.7%			565	44.1%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	183	20.0%			183	14.3%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	82	9.0%			82	6.4%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	47	5.1%			47	3.7%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	631	69.0%			631	49.3%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	429	46.9%			429	33.5%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	254	27.8%			254	19.8%
⑧プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	248	27.1%			248	19.4%
⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	567	62.0%			567	44.3%
無回答	18	2.0%	366	100.0%	384	30.0%
回答数合計	3,024	330.5%	366	100.0%	3,390	264.6%
回答者数(母数)	915		366		1,281	

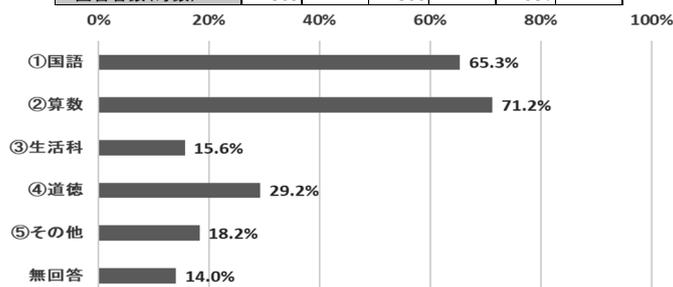


※「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が最も多く、69.0%となっている。次いで「⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ」が62.0%、「①指導者用デジタル教科書・教材」が61.7%となっている。

2-3-02 前問「2-3-01」で「①」と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何ですか。(いくつかでも)

2-3-02(1) 1年(いくつかでも)

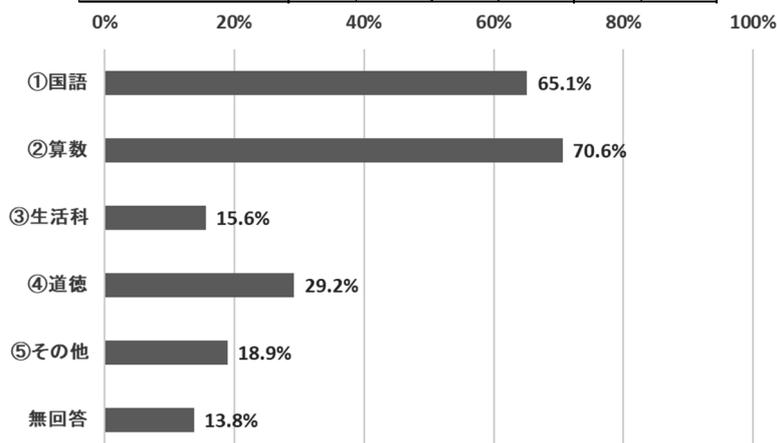
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	369	65.3%			369	39.6%
②算数	402	71.2%			402	43.2%
③生活科	88	15.6%			88	9.5%
④道徳	165	29.2%			165	17.7%
⑤その他	103	18.2%			103	11.1%
無回答	79	14.0%	366	100.0%	445	47.8%
回答数合計	1,206	213.5%	366	100.0%	1,572	168.9%
回答者数(母数)	565		366		931	



※「②算数」が最も多く、71.2%となっている。次いで「①国語」が65.3%となっている。

## 2-3-02(2) 2年 (いくつでも)

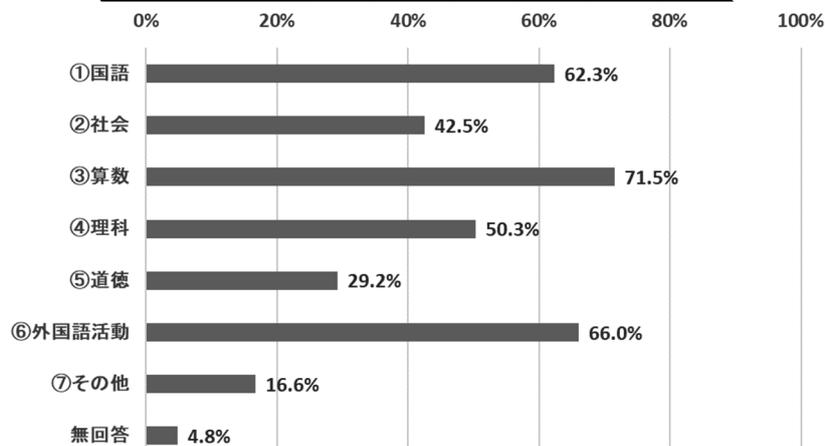
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	368	65.1%			368	39.5%
②算数	399	70.6%			399	42.9%
③生活科	88	15.6%			88	9.5%
④道徳	165	29.2%			165	17.7%
⑤その他	107	18.9%			107	11.5%
無回答	78	13.8%	366	100.0%	444	47.7%
回答数合計	1,205	213.3%	366	100.0%	1,571	168.7%
回答者数(母数)	565		366		931	



※「②算数」が最も多く、70.6%となっている。次いで「①国語」が65.1%となっている。

## 2-3-02(3) 3年 (いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	352	62.3%			352	37.8%
②社会	240	42.5%			240	25.8%
③算数	404	71.5%			404	43.4%
④理科	284	50.3%			284	30.5%
⑤道徳	165	29.2%			165	17.7%
⑥外国語活動	373	66.0%			373	40.1%
⑦その他	94	16.6%			94	10.1%
無回答	27	4.8%	366	100.0%	393	42.2%
回答数合計	1,939	343.2%	366	100.0%	2,305	247.6%
回答者数(母数)	565		366		931	

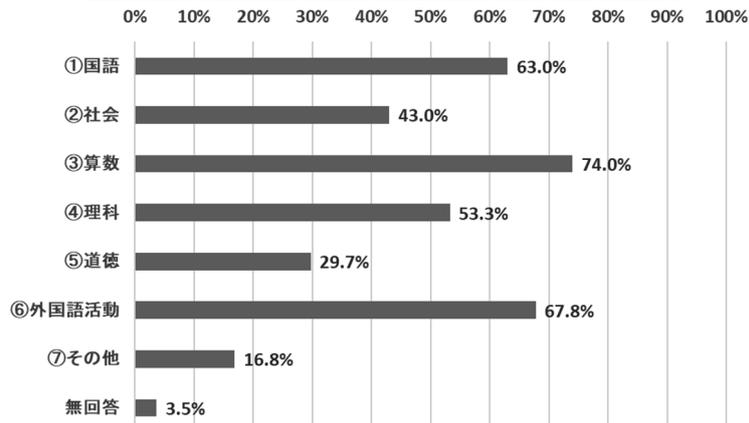


※「③算数」が最も多く、71.5%となっている。次いで「⑥外国語活動」が66.0%、「①国語」が62.3%となっている。

(学校編)

2-3-02(4) 4年 (いくつでも)

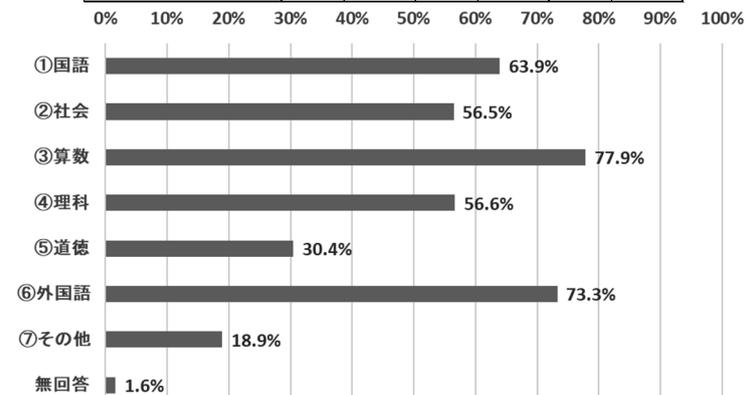
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	356	63.0%			356	38.2%
②社会	243	43.0%			243	26.1%
③算数	418	74.0%			418	44.9%
④理科	301	53.3%			301	32.3%
⑤道徳	168	29.7%			168	18.0%
⑥外国語活動	383	67.8%			383	41.1%
⑦その他	95	16.8%			95	10.2%
無回答	20	3.5%	366	100.0%	386	41.5%
回答数合計	1,984	351.2%	366	100.0%	2,350	252.4%
回答者数(母数)	565		366		931	



※「③算数」が最も多く、74.0%となっている。次いで「⑥外国語活動」が67.8%、「①国語」が63.0%となっている。

2-3-02(5) 5年 (いくつでも)

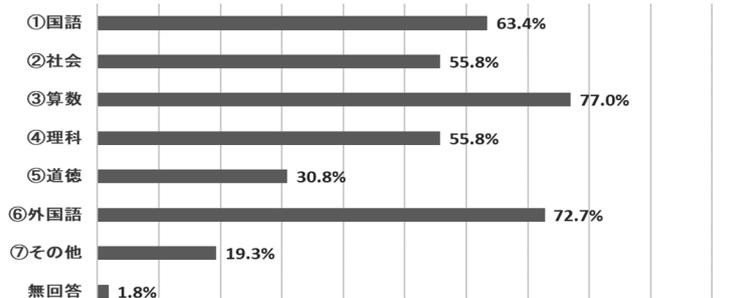
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	361	63.9%			361	38.8%
②社会	319	56.5%			319	34.3%
③算数	440	77.9%			440	47.3%
④理科	320	56.6%			320	34.4%
⑤道徳	172	30.4%			172	18.5%
⑥外国語	414	73.3%			414	44.5%
⑦その他	107	18.9%			107	11.5%
無回答	9	1.6%	366	100.0%	375	40.3%
回答数合計	2,142	379.1%	366	100.0%	2,508	269.4%
回答者数(母数)	565		366		931	



※「③算数」が最も多く、77.9%となっている。次いで「⑥外国語」が73.3%、「①国語」が63.9%となっている。

## 2-3-02(6) 6年(いくつでも)

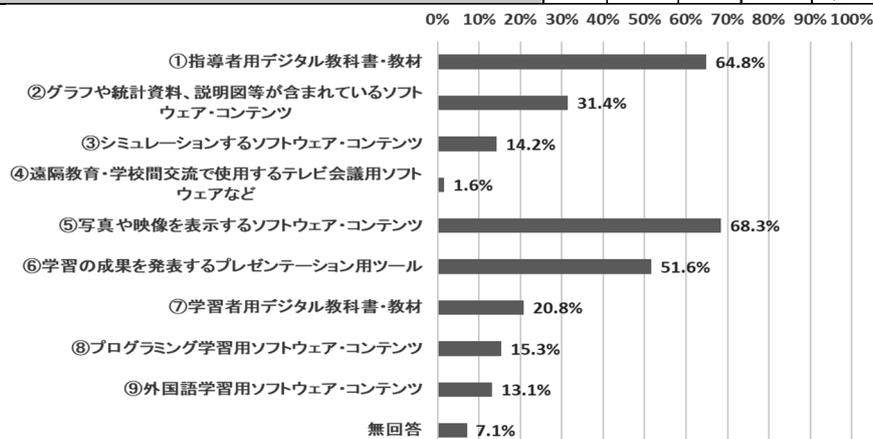
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	358	63.4%			358	38.5%
②社会	315	55.8%			315	33.8%
③算数	435	77.0%			435	46.7%
④理科	315	55.8%			315	33.8%
⑤道徳	174	30.8%			174	18.7%
⑥外国語	411	72.7%			411	44.1%
⑦その他	109	19.3%			109	11.7%
無回答	10	1.8%	366	100.0%	376	40.4%
回答数合計	2,127	376.5%	366	100.0%	2,493	267.8%
回答者数(母数)	565		366		931	



※「③算数」が最も多く、77.0%となっている。次いで「⑥外国語」が72.7%、「①国語」が63.4%となっている。

## 2-3-03 中学校の普通教室ではどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材			237	64.8%	237	18.5%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ			115	31.4%	115	9.0%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ			52	14.2%	52	4.1%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど			6	1.6%	6	0.5%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ			250	68.3%	250	19.5%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール			189	51.6%	189	14.8%
⑦学習者用デジタル教科書・教材			76	20.8%	76	5.9%
⑧プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ			56	15.3%	56	4.4%
⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ			48	13.1%	48	3.7%
無回答	915	100.0%	26	7.1%	941	73.5%
回答数合計	915	100.0%	1,055	288.3%	1,970	153.8%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



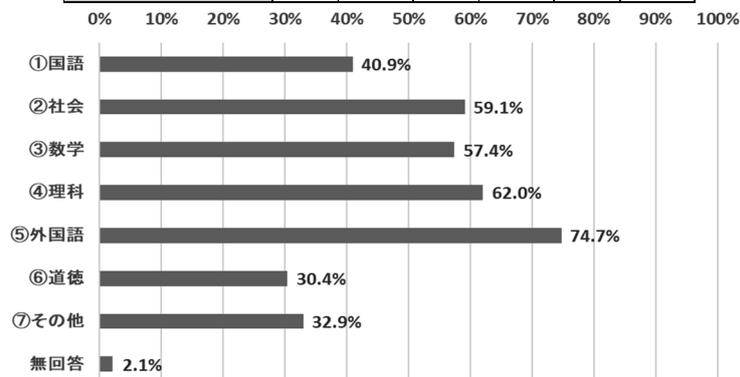
※「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が最も多く、68.3%となっている。次いで「①指導者用デジタル教科書・教材」が64.8%、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が51.6%となっている。

(学校編)

2-3-04 前問「2-3-03」で「①」と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

2-3-04(1) 1年(いくつでも)

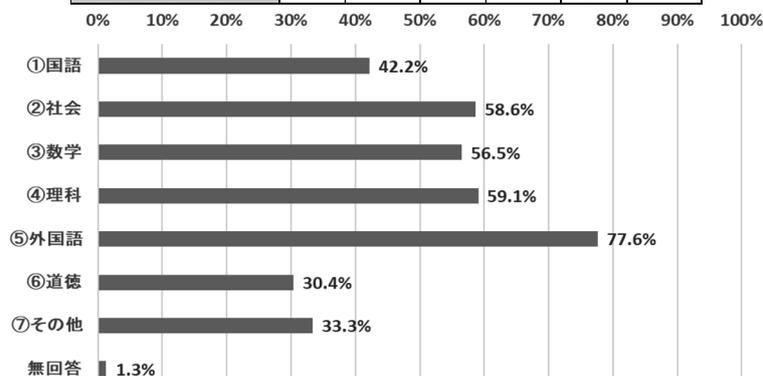
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			97	40.9%	97	8.4%
②社会			140	59.1%	140	12.2%
③数学			136	57.4%	136	11.8%
④理科			147	62.0%	147	12.8%
⑤外国語			177	74.7%	177	15.4%
⑥道徳			72	30.4%	72	6.3%
⑦その他			78	32.9%	78	6.8%
無回答	915	100.0%	5	2.1%	920	79.9%
回答数合計	915	100.0%	852	359.5%	1,767	153.4%
回答者数(母数)	915		237		1,152	



※「⑤外国語」が最も多く、74.7%となっている。次いで「④理科」が62.0%、「②社会」が59.1%、「③数学」が57.4%となっている。

2-3-04(2) 2年(いくつでも)

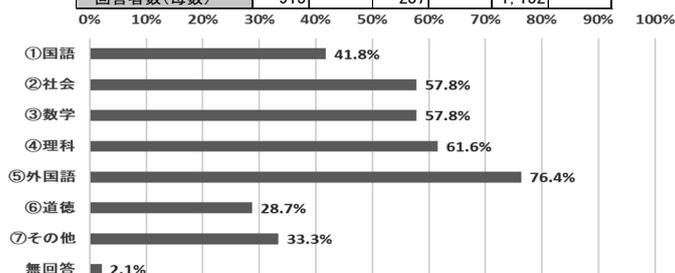
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			100	42.2%	100	8.7%
②社会			139	58.6%	139	12.1%
③数学			134	56.5%	134	11.6%
④理科			140	59.1%	140	12.2%
⑤外国語			184	77.6%	184	16.0%
⑥道徳			72	30.4%	72	6.3%
⑦その他			79	33.3%	79	6.9%
無回答	915	100.0%	3	1.3%	918	79.7%
回答数合計	915	100.0%	851	359.1%	1,766	153.3%
回答者数(母数)	915		237		1,152	



※「⑤外国語」が最も多く、77.6%となっている。次いで「④理科」が59.1%、「②社会」が58.6%、「③数学」が56.5%となっている。

## 2-3-04(3) 3年(いくつでも)

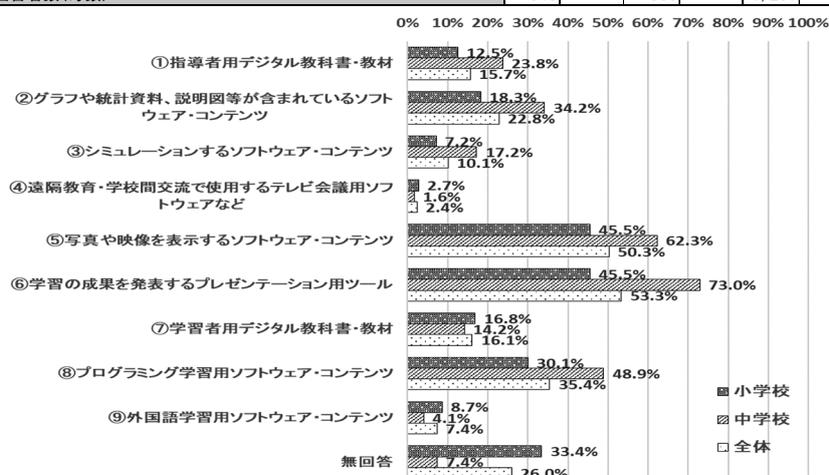
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			99	41.8%	99	8.6%
②社会			137	57.8%	137	11.9%
③数学			137	57.8%	137	11.9%
④理科			146	61.6%	146	12.7%
⑤外国語			181	76.4%	181	15.7%
⑥道徳			68	28.7%	68	5.9%
⑦その他			79	33.3%	79	6.9%
無回答	915	100.0%	5	2.1%	920	79.9%
回答数合計	915	100.0%	852	359.5%	1,767	153.4%
回答者数(母数)	915		237		1,152	



※「⑤外国語」が最も多く、76.4%となっている。次いで「④理科」が61.6%、「②社会」、「③数学」が57.8%となっている。1～3年とも、小学校に比べて「①国語」の導入が少なくなっている。

## 2-3-05 コンピュータ教室ではどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	114	12.5%	87	23.8%	201	15.7%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	167	18.3%	125	34.2%	292	22.8%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	66	7.2%	63	17.2%	129	10.1%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	25	2.7%	6	1.6%	31	2.4%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	416	45.5%	228	62.3%	644	50.3%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	416	45.5%	267	73.0%	683	53.3%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	154	16.8%	52	14.2%	206	16.1%
⑧プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	275	30.1%	179	48.9%	454	35.4%
⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	80	8.7%	15	4.1%	95	7.4%
無回答	306	33.4%	27	7.4%	333	26.0%
回答数合計	2,019	220.7%	1,049	286.6%	3,068	239.5%
回答者数(母数)	915		366		1,281	

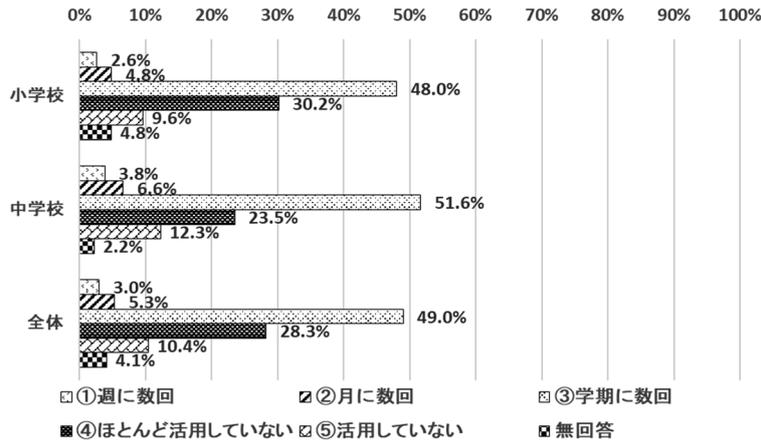


※小学校では、「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が最も多く、45.5%となっている。中学校では、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が最も多く、73.0%となっており、次いで「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が62.3%となっている。

2-3-06 学習用ソフトウェア・コンテンツをどのように活用していますか。

2-3-06(1) 児童・生徒の情報モラルを向上させるための活用

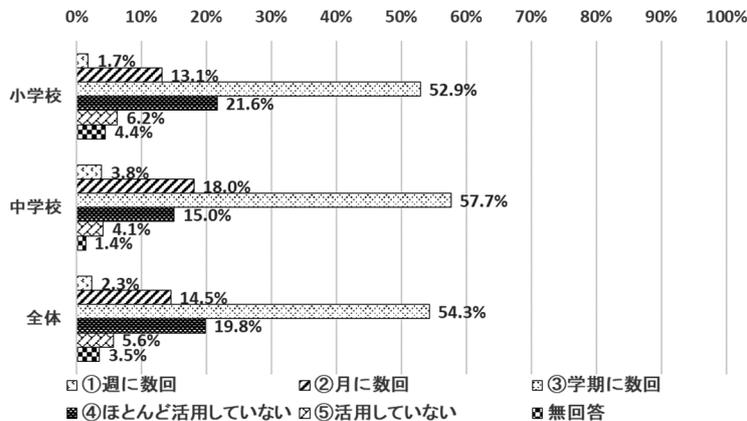
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	24	2.6%	14	3.8%	38	3.0%
②月に数回	44	4.8%	24	6.6%	68	5.3%
③学期に数回	439	48.0%	189	51.6%	628	49.0%
④ほとんど活用していない	276	30.2%	86	23.5%	362	28.3%
⑤活用していない	88	9.6%	45	12.3%	133	10.4%
無回答	44	4.8%	8	2.2%	52	4.1%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「③学期に数回」が最も多く、小学校で48.0%、中学校で51.6%と半数近くを占めている。「④ほとんど活用していない」も多く、小学校で30.2%、中学校で23.5%となっている。

2-3-06(2) 児童・生徒の発表（プレゼンテーション）能力を向上させるための活用

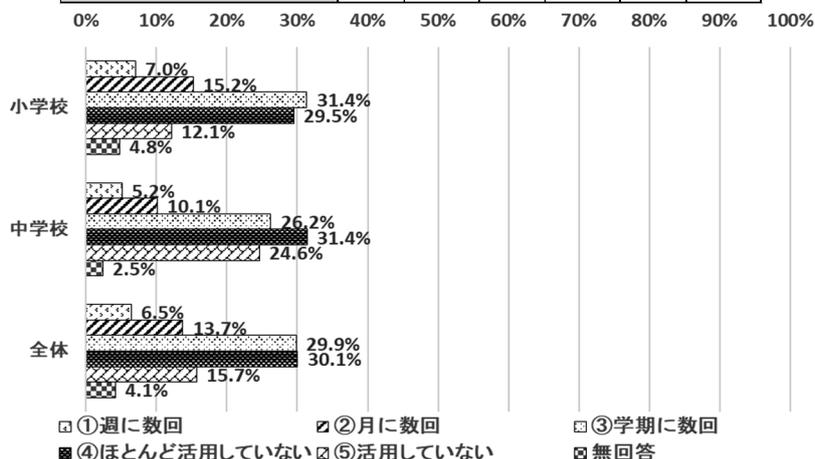
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	16	1.7%	14	3.8%	30	2.3%
②月に数回	120	13.1%	66	18.0%	186	14.5%
③学期に数回	484	52.9%	211	57.7%	695	54.3%
④ほとんど活用していない	198	21.6%	55	15.0%	253	19.8%
⑤活用していない	57	6.2%	15	4.1%	72	5.6%
無回答	40	4.4%	5	1.4%	45	3.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「③学期に数回」が最も多く、小学校で52.9%、中学校で57.7%と半数以上を占めている。次いで小学校では「④ほとんど活用していない」が21.6%、中学校では「②月に数回」が18.0%となっている。

## 2-3-06(3) 計算能力など、児童・生徒の基礎学力を向上させるための活用

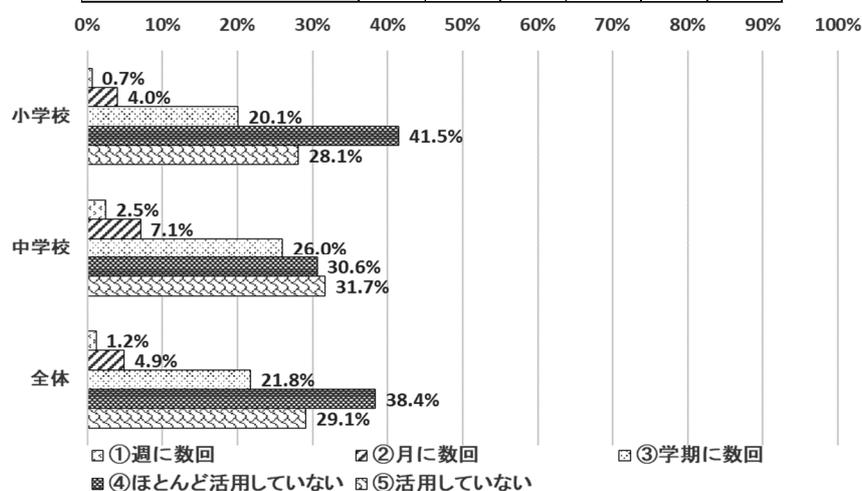
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	64	7.0%	19	5.2%	83	6.5%
②月に数回	139	15.2%	37	10.1%	176	13.7%
③学期に数回	287	31.4%	96	26.2%	383	29.9%
④ほとんど活用していない	270	29.5%	115	31.4%	385	30.1%
⑤活用していない	111	12.1%	90	24.6%	201	15.7%
無回答	44	4.8%	9	2.5%	53	4.1%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※小学校の方が利用頻度は高いものの、「④ほとんど活用していない」「⑤活用していない」を合わせると、小学校で41.6%、中学校で56.0%となっている。

## 2-3-06(4) アニメーションなど、教科に特化した作品を制作するための活用

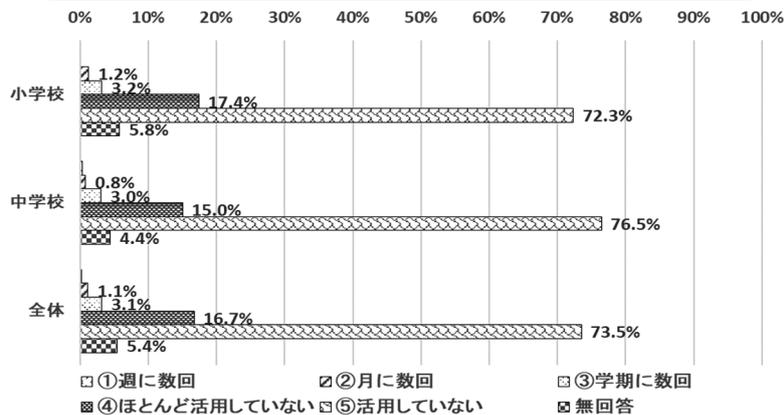
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	6	0.7%	9	2.5%	15	1.2%
②月に数回	37	4.0%	26	7.1%	63	4.9%
③学期に数回	184	20.1%	95	26.0%	279	21.8%
④ほとんど活用していない	380	41.5%	112	30.6%	492	38.4%
⑤活用していない	257	28.1%	116	31.7%	373	29.1%
無回答	51	5.6%	8	2.2%	59	4.6%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「④ほとんど活用していない」「⑤活用していない」を合わせると、小学校で69.6%、中学校で62.3%となっている。活用している中では、小学校、中学校とも、「③学期に数回」が20.1%と26.0%と多くを占めている。

2-3-06(5) 遠隔教育のための活用

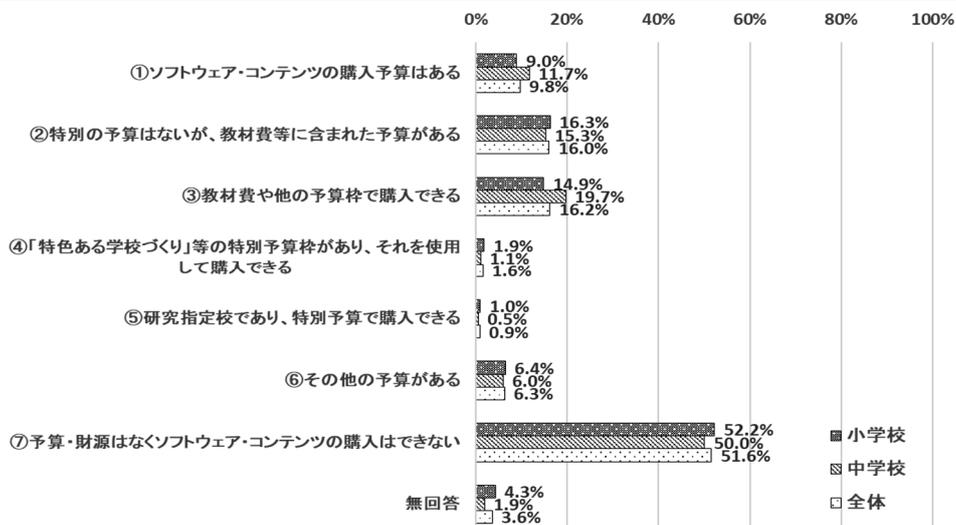
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	1	0.1%	1	0.3%	2	0.2%
②月に数回	11	1.2%	3	0.8%	14	1.1%
③学期に数回	29	3.2%	11	3.0%	40	3.1%
④ほとんど活用していない	159	17.4%	55	15.0%	214	16.7%
⑤活用していない	662	72.3%	280	76.5%	942	73.5%
無回答	53	5.8%	16	4.4%	69	5.4%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「⑤活用していない」が、小学校で72.3%、中学校で76.5%と大半を占めているが、「①週に数回」「②月に数回」「③学期に数回」を合わせると、全体で4.4%が活用している。

2-3-07 今年度の学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算はありますか。(いくつでも)

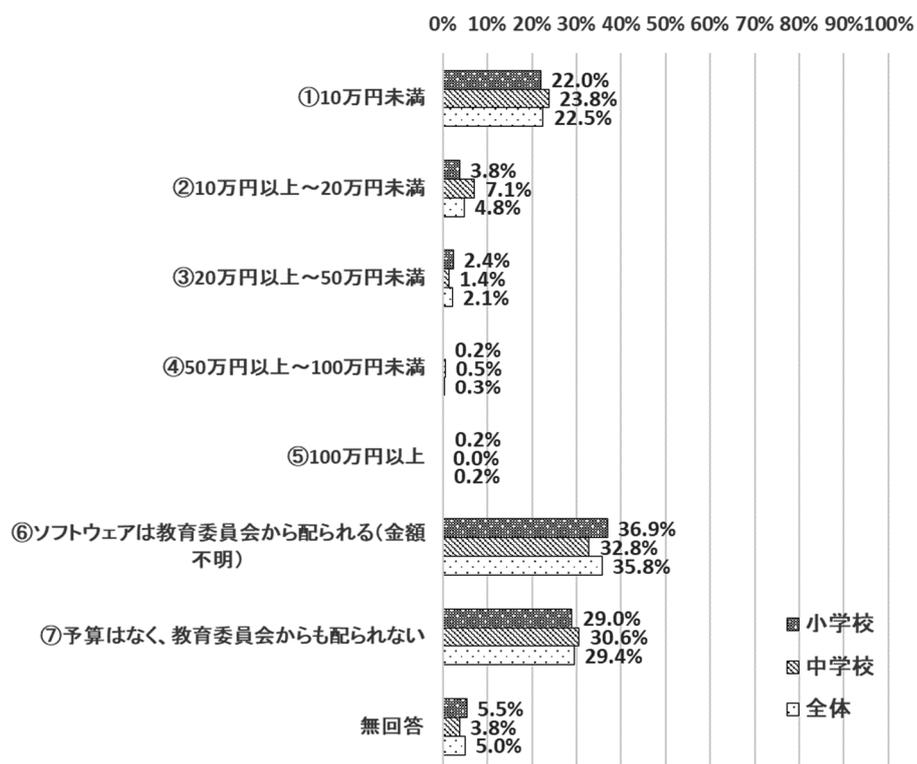
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ソフトウェア・コンテンツの購入予算はある	82	9.0%	43	11.7%	125	9.8%
②特別の予算はないが、教材費等に含まれた予算がある	149	16.3%	56	15.3%	205	16.0%
③教材費や他の予算枠で購入できる	136	14.9%	72	19.7%	208	16.2%
④「特色ある学校づくり」等の特別予算枠があり、それを使用して購入できる	17	1.9%	4	1.1%	21	1.6%
⑤研究指定校であり、特別予算で購入できる	9	1.0%	2	0.5%	11	0.9%
⑥その他の予算がある	59	6.4%	22	6.0%	81	6.3%
⑦予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない	478	52.2%	183	50.0%	661	51.6%
無回答	39	4.3%	7	1.9%	46	3.6%
回答数合計	969	105.9%	389	106.3%	1,358	106.0%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※「⑦予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない」が、小学校で52.2%、中学校で50.0%と半数を占めており、予算・財源の一層の配布措置が望まれる。

## 2-3-08 今年度の学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算は総額でいくらですか。

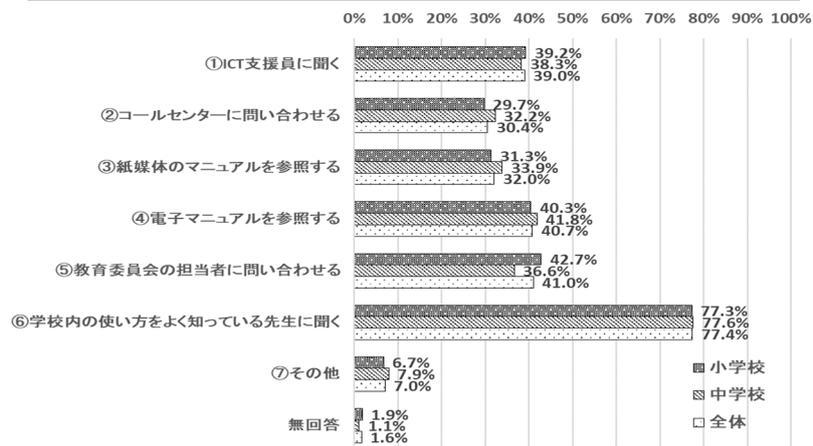
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①10万円未満	201	22.0%	87	23.8%	288	22.5%
②10万円以上～20万円未満	35	3.8%	26	7.1%	61	4.8%
③20万円以上～50万円未満	22	2.4%	5	1.4%	27	2.1%
④50万円以上～100万円未満	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
⑤100万円以上	2	0.2%			2	0.2%
⑥ソフトウェアは教育委員会から配られる(金額不明)	338	36.9%	120	32.8%	458	35.8%
⑦予算はなく、教育委員会からも配られない	265	29.0%	112	30.6%	377	29.4%
無回答	50	5.5%	14	3.8%	64	5.0%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※前回調査で最も多かった「⑦予算はなく、教育委員会からも配られない」が、全体で29.4%と、前回の26.4%から微増している(小学校27.6%→29.0%、中学校24.1%→30.6%)。学校予算は、10万円未満がほとんどであり、教育委員会からの予算配布が望まれる。

2-3-10 ソフトウェアを利用する際、使い方などが分からないときは、どのようにして解決していますか。(いくつかでも)

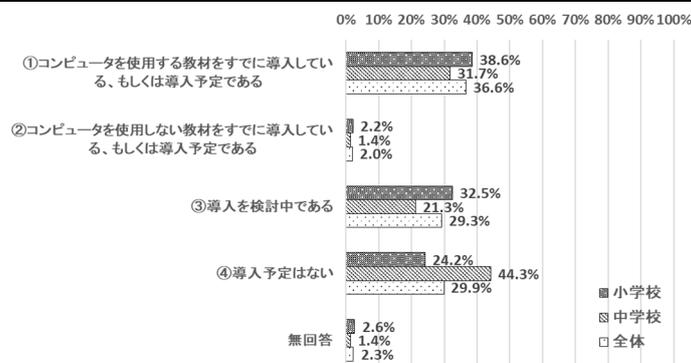
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT支援員に聞く	359	39.2%	140	38.3%	499	39.0%
②コールセンターに問い合わせる	272	29.7%	118	32.2%	390	30.4%
③紙媒体のマニュアルを参照する	286	31.3%	124	33.9%	410	32.0%
④電子マニュアルを参照する	369	40.3%	153	41.8%	522	40.7%
⑤教育委員会の担当者に問い合わせる	391	42.7%	134	36.6%	525	41.0%
⑥学校内の使い方をよく知っている先生に聞く	707	77.3%	284	77.6%	991	77.4%
⑦その他	61	6.7%	29	7.9%	90	7.0%
無回答	17	1.9%	4	1.1%	21	1.6%
回答数合計	2,462	269.1%	986	269.4%	3,448	269.2%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※「⑥学校内の使い方をよく知っている先生に聞く」が最も多く、全体で77.4%となっている。次いで「⑤教育委員会の担当者に問い合わせる」が全体で41.0%、「④電子マニュアルを参照する」が全体で40.7%となっているが、学校内の使い方をよく知っている先生の負担が大きくなっているため、ICT支援員の充実が望まれる。

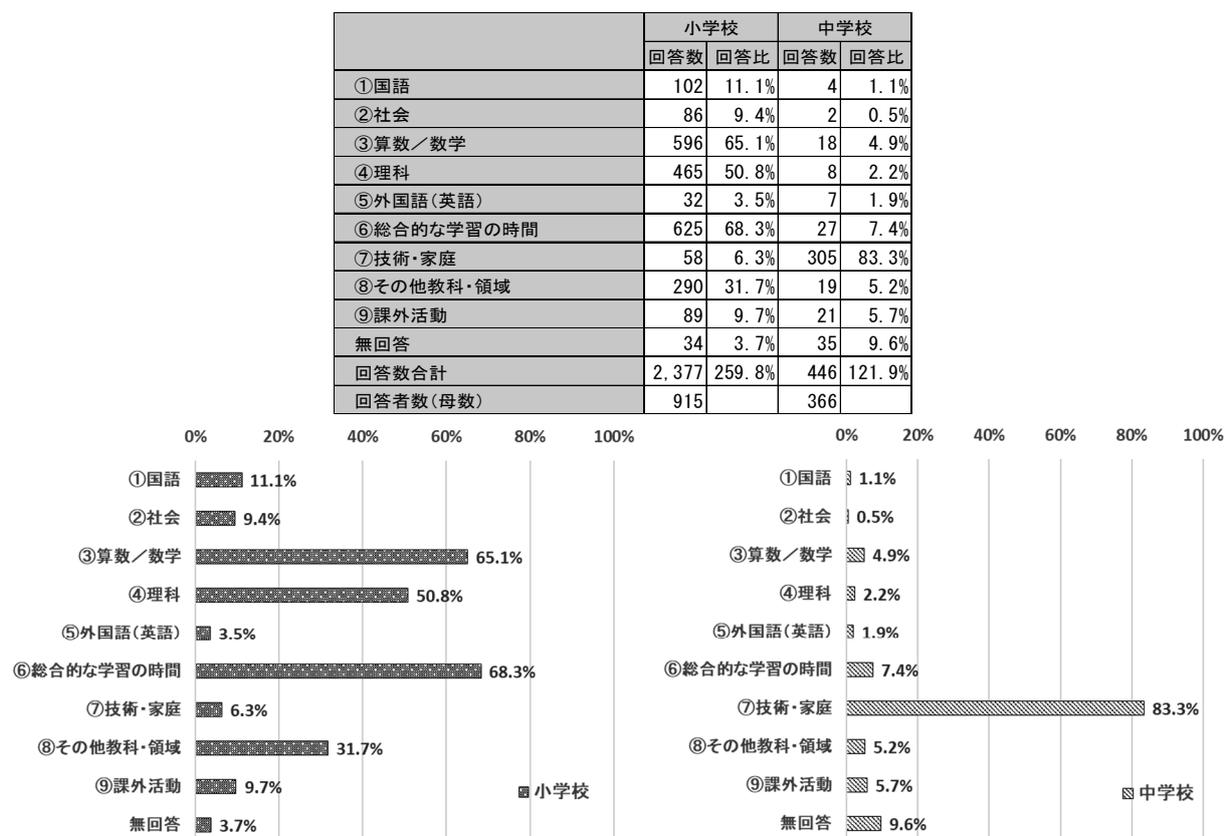
2-3-11 プログラミング教育への取り組みにともない、ソフトウェア・コンテンツを導入しますか。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①コンピュータを使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	353	38.6%	116	31.7%	469	36.6%
②コンピュータを使用しない教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	20	2.2%	5	1.4%	25	2.0%
③導入を検討中である	297	32.5%	78	21.3%	375	29.3%
④導入予定はない	221	24.2%	162	44.3%	383	29.9%
無回答	24	2.6%	5	1.4%	29	2.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



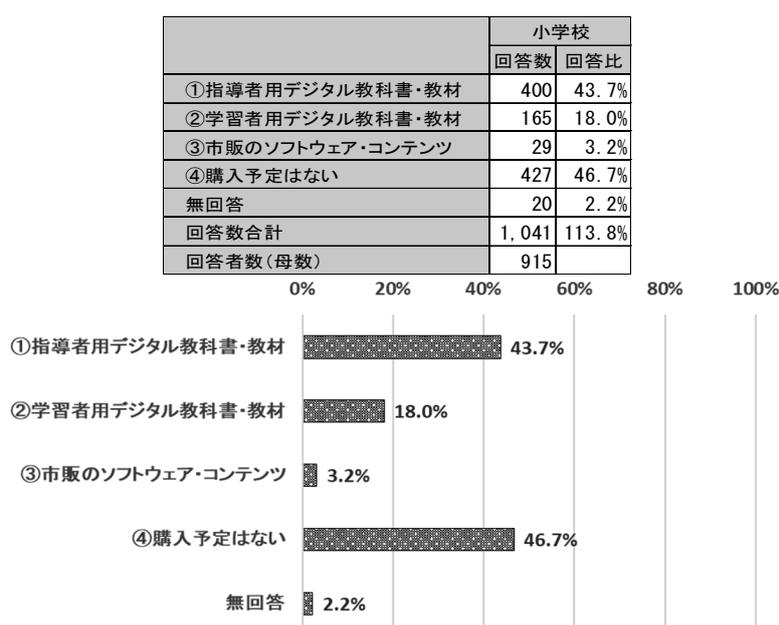
※「①コンピュータを使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である」が全体で36.6%（小学校38.6%、中学校31.7%）となっており、「③導入を検討中である」が全体で29.3%（小学校32.5%、中学校21.3%）となっている。

2-3-12 プログラミング教育はどの教科の時間内で取り組んでいますか。もしくは取り組む予定ですか。  
(いくつでも)



※小学校では「⑥総合的な学習の時間」が最も多く、68.3%となっており、次いで「③算数／数学」が65.1%となっている。中学校では「⑦技術・家庭」が最も多く、83.3%となっている。

2-3-13 小学校での英語の教科化にともない、どのようなソフトウェア・コンテンツを購入しますか。小学校の方だけお答えください。(いくつでも)

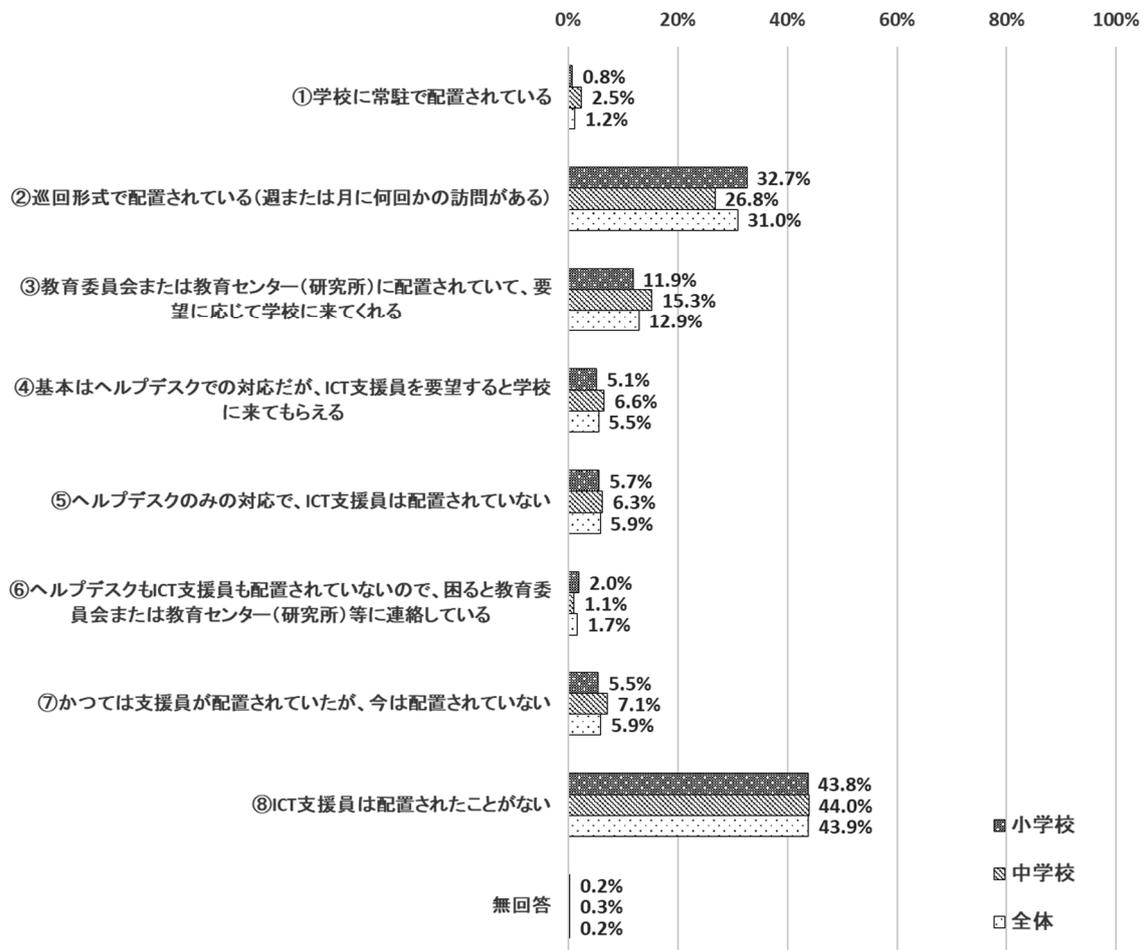


※「①指導者用デジタル教科書・教材」が43.7%、「②学習者用デジタル教科書・教材」が18.0%となっている。

## 2-4 保守サポートに関する項目

## 2-4-01 ICT 支援員は配置されていますか。(いくつでも)

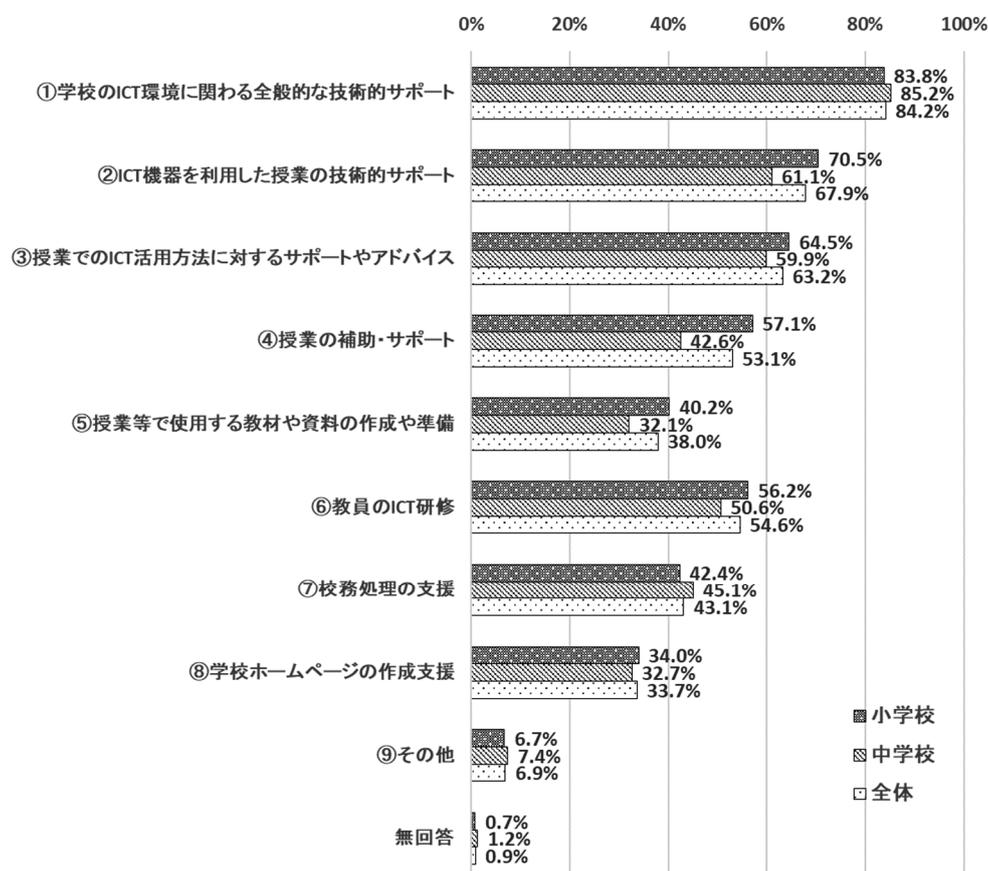
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	7	0.8%	9	2.5%	16	1.2%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	299	32.7%	98	26.8%	397	31.0%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	109	11.9%	56	15.3%	165	12.9%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	47	5.1%	24	6.6%	71	5.5%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	52	5.7%	23	6.3%	75	5.9%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、困ると教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	18	2.0%	4	1.1%	22	1.7%
⑦かつては支援員が配置されていたが、今は配置されていない	50	5.5%	26	7.1%	76	5.9%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	401	43.8%	161	44.0%	562	43.9%
無回答	2	0.2%	1	0.3%	3	0.2%
回答数合計	985	107.7%	402	109.8%	1,387	108.3%
回答者数(母数)	915		366		1,281	



※「⑧ICT 支援員は配置されたことがない」が全体で 43.9%もあり、国の目標としている水準の「ICT 支援員 4 校に 1 人配置」とはかけ離れており、早急な改善が望まれる。配置されている中では「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」が最も多く、全体で 31.0%となっている。

2-4-02 前問「2-4-01」で選択肢①～④と回答された方に伺います。ICT支援員にどのような作業を依頼していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	352	83.8%	138	85.2%	490	84.2%
②ICT機器を利用した授業の技術的サポート	296	70.5%	99	61.1%	395	67.9%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	271	64.5%	97	59.9%	368	63.2%
④授業の補助・サポート	240	57.1%	69	42.6%	309	53.1%
⑤授業等で使用する教材や資料の作成や準備	169	40.2%	52	32.1%	221	38.0%
⑥教員のICT研修	236	56.2%	82	50.6%	318	54.6%
⑦校務処理の支援	178	42.4%	73	45.1%	251	43.1%
⑧学校ホームページの作成支援	143	34.0%	53	32.7%	196	33.7%
⑨その他	28	6.7%	12	7.4%	40	6.9%
無回答	3	0.7%	2	1.2%	5	0.9%
回答数合計	1,916	456.2%	677	417.9%	2,593	445.5%
回答者数(母数)	420		162		582	



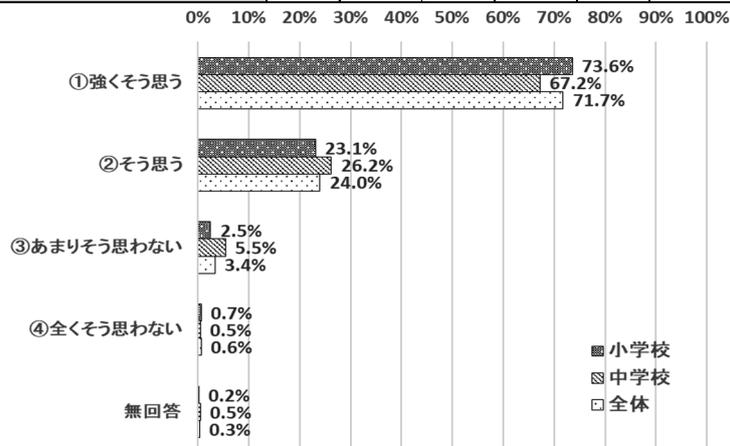
※「①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート」が最も多く全体で84.2%、次いで「②ICT機器を利用した授業の技術的サポート」が67.9%、「③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス」が63.2%となっている。「⑥教員のICT研修」は全体で54.6%、「⑧学校ホームページの作成支援」は33.7%とICT支援員の仕事は多岐にわたっている。

2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

2-5-01 授業での ICT 活用の推進について感じていることは何ですか。

2-5-01(1) 普通教室に大型提示装置などの教材提示装置を整備すべきである。

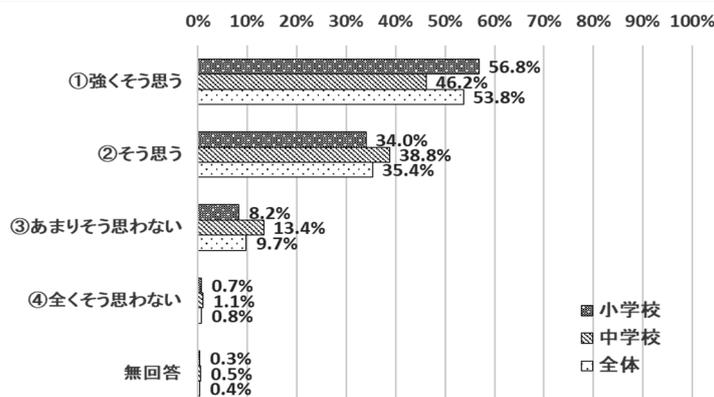
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	673	73.6%	246	67.2%	919	71.7%
②そう思う	211	23.1%	96	26.2%	307	24.0%
③あまりそう思わない	23	2.5%	20	5.5%	43	3.4%
④全くそう思わない	6	0.7%	2	0.5%	8	0.6%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強く思う」「そう思う」を合わせると、全体で95.7%である。特に、「①強く思う」が全体で71.7%もあり、普通教室への大型提示装置の整備は強く必要とされている。

2-5-01(2) 教科教育用ソフトウェアやデジタル教材の購入費用を増額（購入ソフトウェアを充実させる）すべきである。

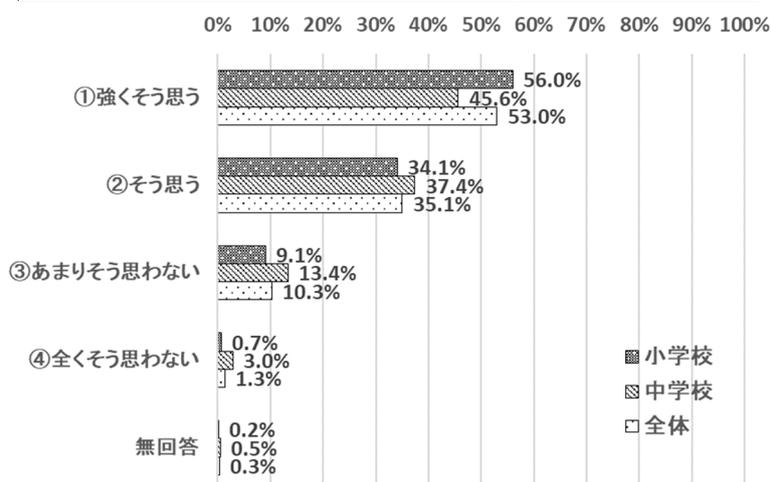
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	520	56.8%	169	46.2%	689	53.8%
②そう思う	311	34.0%	142	38.8%	453	35.4%
③あまりそう思わない	75	8.2%	49	13.4%	124	9.7%
④全くそう思わない	6	0.7%	4	1.1%	10	0.8%
無回答	3	0.3%	2	0.5%	5	0.4%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強く思う」「そう思う」を合わせると、全体で89.2%であり、購入ソフトウェアの充実が望まれている。

## 2-5-01(3) 学校に ICT 支援員を配置すべきである。

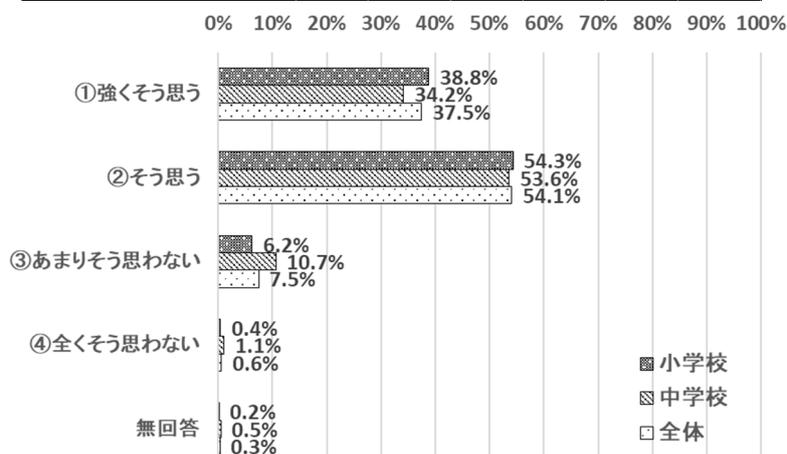
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	512	56.0%	167	45.6%	679	53.0%
②そう思う	312	34.1%	137	37.4%	449	35.1%
③あまりそう思わない	83	9.1%	49	13.4%	132	10.3%
④全くそう思わない	6	0.7%	11	3.0%	17	1.3%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で88.1%であり、ICT支援員の配置は望まれている。

## 2-5-01(4) 教員の ICT 活用研修を充実すべきである。

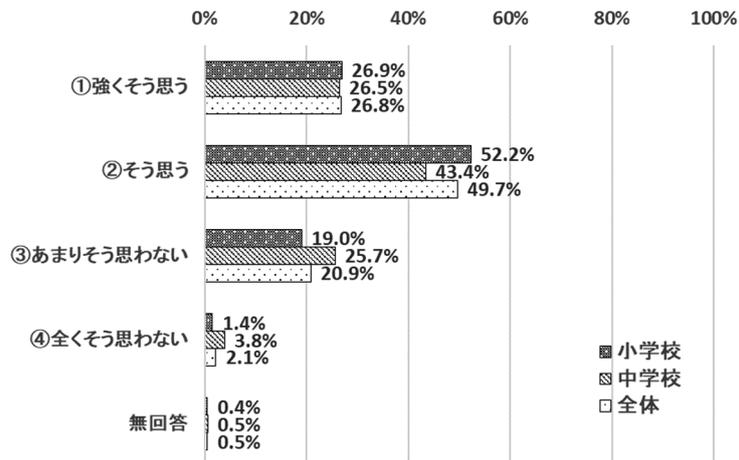
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	355	38.8%	125	34.2%	480	37.5%
②そう思う	497	54.3%	196	53.6%	693	54.1%
③あまりそう思わない	57	6.2%	39	10.7%	96	7.5%
④全くそう思わない	4	0.4%	4	1.1%	8	0.6%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で91.6%であり、教員研修の必要性がよくわかる。

2-5-01(5) 学校の管理職向けの ICT 活用研修を充実すべきである。

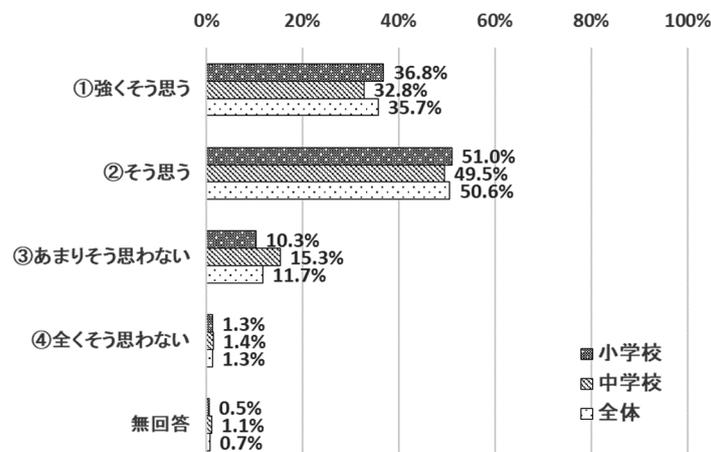
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	246	26.9%	97	26.5%	343	26.8%
②そう思う	478	52.2%	159	43.4%	637	49.7%
③あまりそう思わない	174	19.0%	94	25.7%	268	20.9%
④全くそう思わない	13	1.4%	14	3.8%	27	2.1%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で 76.5%である。管理職向けの ICT 研修も必要とされている。

2-5-01(6) 大学の教員養成において ICT 活用科目は充実すべきである。

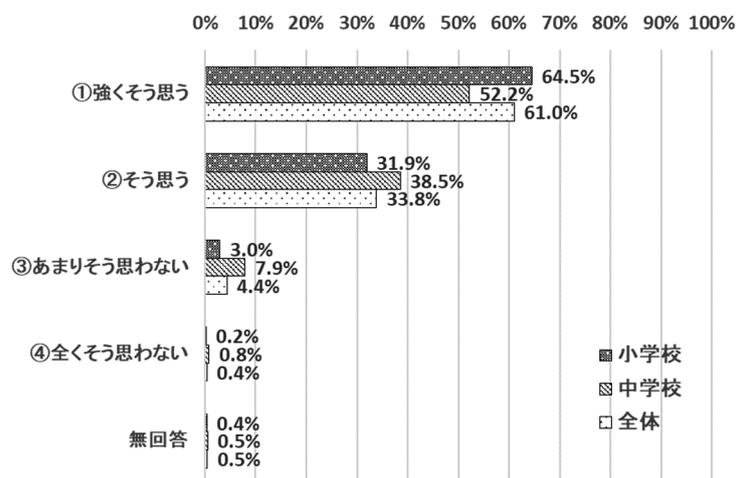
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	337	36.8%	120	32.8%	457	35.7%
②そう思う	467	51.0%	181	49.5%	648	50.6%
③あまりそう思わない	94	10.3%	56	15.3%	150	11.7%
④全くそう思わない	12	1.3%	5	1.4%	17	1.3%
無回答	5	0.5%	4	1.1%	9	0.7%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で 86.3%である。大学の教員養成課程での ICT 活用科目の充実が望まれている。

## 2-5-01(7) 指導者用デジタル教科書・教材の整備を進めるべきである。

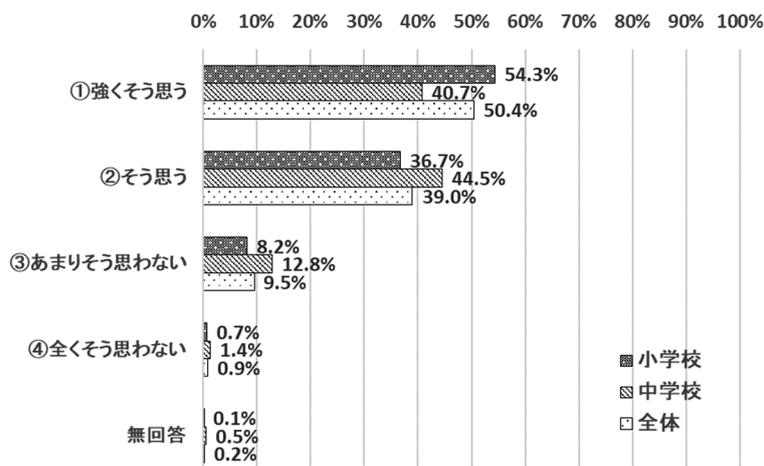
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	590	64.5%	191	52.2%	781	61.0%
②そう思う	292	31.9%	141	38.5%	433	33.8%
③あまりそう思わない	27	3.0%	29	7.9%	56	4.4%
④全くそう思わない	2	0.2%	3	0.8%	5	0.4%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で94.8%もあり、指導者用デジタル教科書・教材の整備は強く望まれている。

## 2-5-01(8) 学習者用デジタル教科書の整備を進めるべきである。

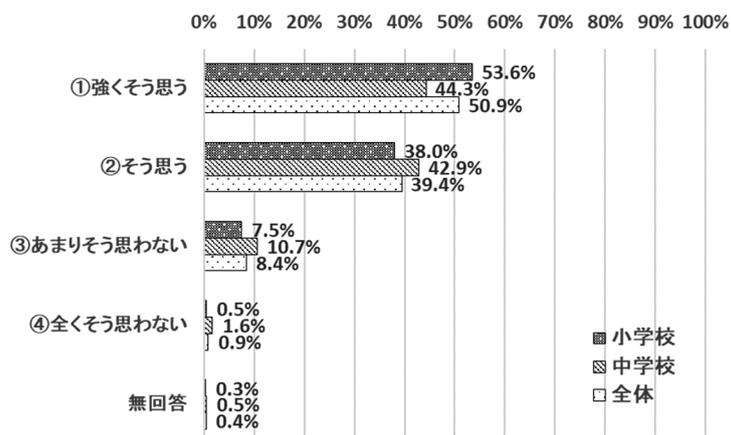
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	497	54.3%	149	40.7%	646	50.4%
②そう思う	336	36.7%	163	44.5%	499	39.0%
③あまりそう思わない	75	8.2%	47	12.8%	122	9.5%
④全くそう思わない	6	0.7%	5	1.4%	11	0.9%
無回答	1	0.1%	2	0.5%	3	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で89.4%である。指導者用だけではなく、学習者用デジタル教科書も必要とされている。

2-5-01(10) 授業や補習・進学指導のために、教材コンテンツやデジタル教材、プリント教材、教員の自作教材等を広く地域内で共有できるクラウドを構築すべきである。(教育クラウド化)

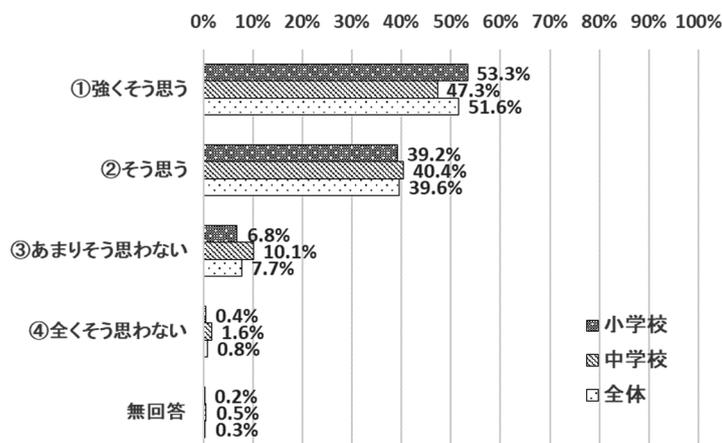
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	490	53.6%	162	44.3%	652	50.9%
②そう思う	348	38.0%	157	42.9%	505	39.4%
③あまりそう思わない	69	7.5%	39	10.7%	108	8.4%
④全くそう思わない	5	0.5%	6	1.6%	11	0.9%
無回答	3	0.3%	2	0.5%	5	0.4%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強く思う」「そう思う」を合わせると、全体で90.3%であり、教材の共有や流通が可能な教育クラウドの構築が望まれている。

2-5-01(11) 統合型校務支援システムの導入を推進すべきである。

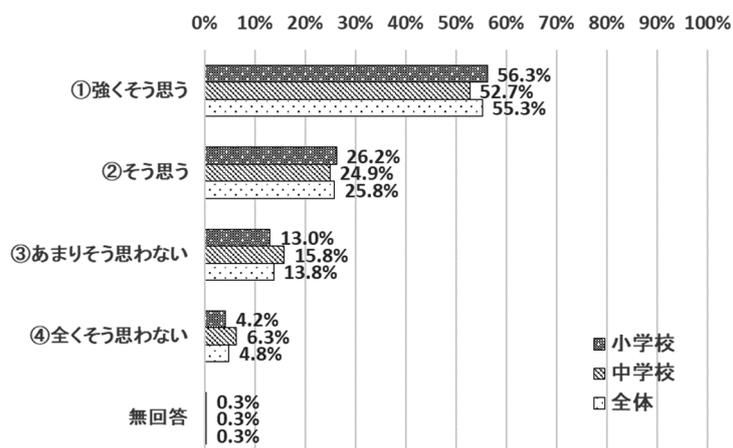
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	488	53.3%	173	47.3%	661	51.6%
②そう思う	359	39.2%	148	40.4%	507	39.6%
③あまりそう思わない	62	6.8%	37	10.1%	99	7.7%
④全くそう思わない	4	0.4%	6	1.6%	10	0.8%
無回答	2	0.2%	2	0.5%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※全体で「①強く思う」「そう思う」を合わせると、全体で91.2%であり、統合型校務支援システムが必要とされている。

2-5-01(12) セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理を可能とすべきである。

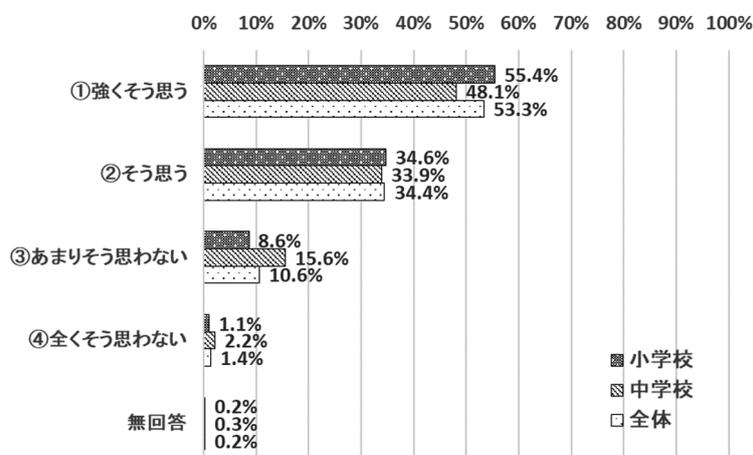
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	515	56.3%	193	52.7%	708	55.3%
②そう思う	240	26.2%	91	24.9%	331	25.8%
③あまりそう思わない	119	13.0%	58	15.8%	177	13.8%
④全くそう思わない	38	4.2%	23	6.3%	61	4.8%
無回答	3	0.3%	1	0.3%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で81.1%あり、学校外での校務処理は望まれている。

2-5-01(13) 授業で必要な時に活用できる児童・生徒1人1台のコンピュータを整備すべきである。

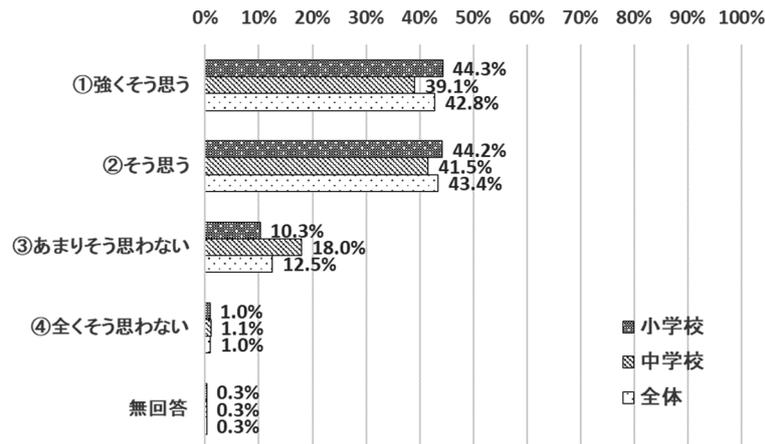
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	507	55.4%	176	48.1%	683	53.3%
②そう思う	317	34.6%	124	33.9%	441	34.4%
③あまりそう思わない	79	8.6%	57	15.6%	136	10.6%
④全くそう思わない	10	1.1%	8	2.2%	18	1.4%
無回答	2	0.2%	1	0.3%	3	0.2%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で87.7%であり、児童・生徒1人1台のコンピュータ整備が望まれている。

2-5-01(14) 整備が進んでいるタブレット型コンピュータを活用して、学力向上のための個別学習を進めるべきである。

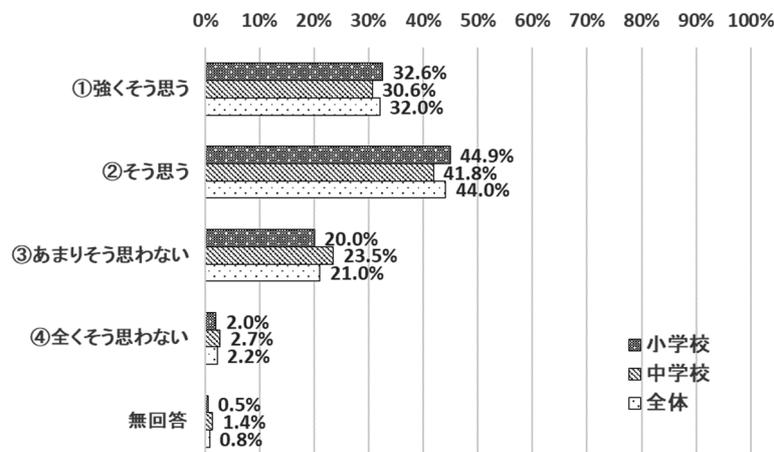
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	405	44.3%	143	39.1%	548	42.8%
②そう思う	404	44.2%	152	41.5%	556	43.4%
③あまりそう思わない	94	10.3%	66	18.0%	160	12.5%
④全くそう思わない	9	1.0%	4	1.1%	13	1.0%
無回答	3	0.3%	1	0.3%	4	0.3%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で86.2%であり、タブレット型コンピュータで個別学習を進めることは必要だとされている。

2-5-01(15) 貧困対策の一環として、学校のICT環境を活用した学習支援を行うべきである。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	298	32.6%	112	30.6%	410	32.0%
②そう思う	411	44.9%	153	41.8%	564	44.0%
③あまりそう思わない	183	20.0%	86	23.5%	269	21.0%
④全くそう思わない	18	2.0%	10	2.7%	28	2.2%
無回答	5	0.5%	5	1.4%	10	0.8%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%

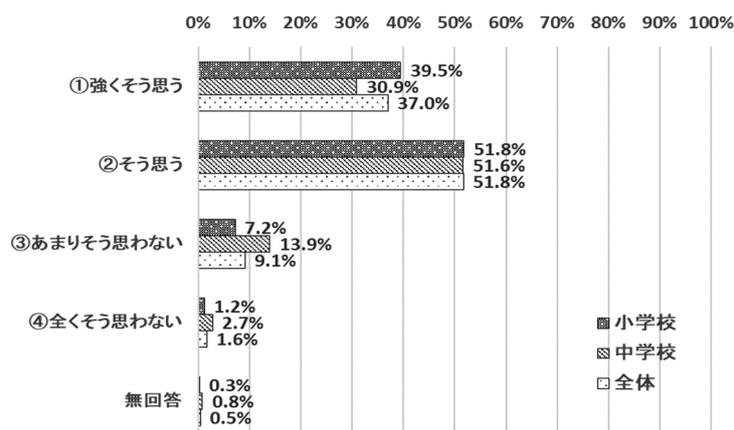


※「①強くそう思う」「そう思う」を合わせると、全体で76.0%である。

## 2-5-02 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

## 2-5-02(1) デジタル教材や動画を授業に取り入れる時間が増えた

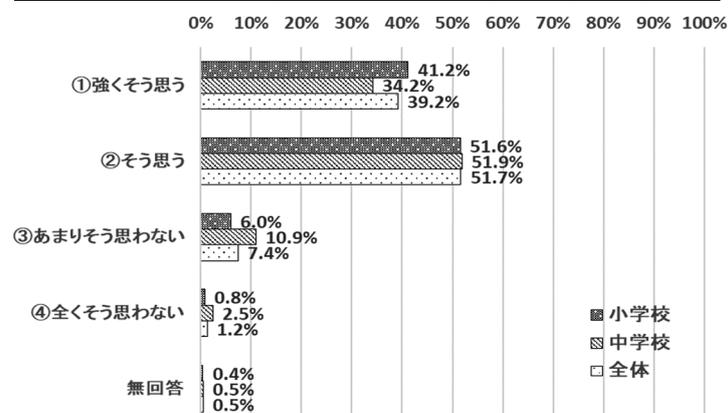
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	361	39.5%	113	30.9%	474	37.0%
②そう思う	474	51.8%	189	51.6%	663	51.8%
③あまりそう思わない	66	7.2%	51	13.9%	117	9.1%
④全くそう思わない	11	1.2%	10	2.7%	21	1.6%
無回答	3	0.3%	3	0.8%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」は、小学校が（34.1%→39.5%）、中学校が（22.1%→30.9%）となっており、授業でのデジタル教材や動画の活用が進んでいることが伺える。

## 2-5-02(2) 電子黒板やプロジェクタ等の大型提示装置、デジタル教材の導入で、よりわかる授業を実施できるようになった。

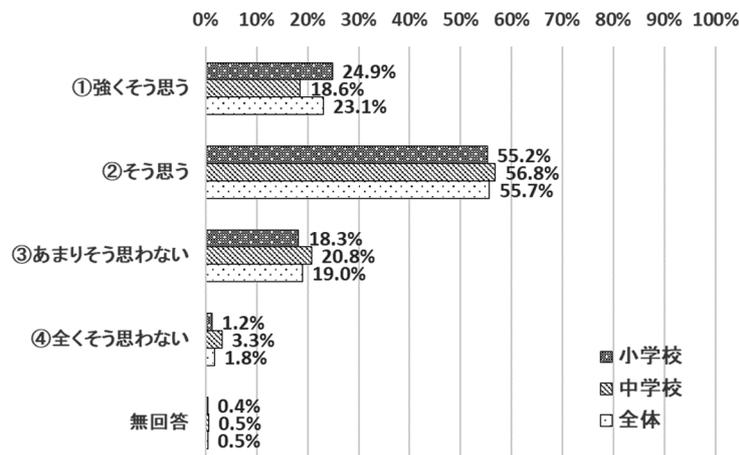
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	377	41.2%	125	34.2%	502	39.2%
②そう思う	472	51.6%	190	51.9%	662	51.7%
③あまりそう思わない	55	6.0%	40	10.9%	95	7.4%
④全くそう思わない	7	0.8%	9	2.5%	16	1.2%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強くそう思う」は、小学校が（30.3%→41.2%）、中学校が（18.7%→34.2%）と大幅に増加している。大型提示装置、デジタル教材の活用で、より分かる授業の実践が進んでいることが伺える。

## 2-5-02(3) 教員の意識が変わり、積極的に ICT 機器を使うようになった

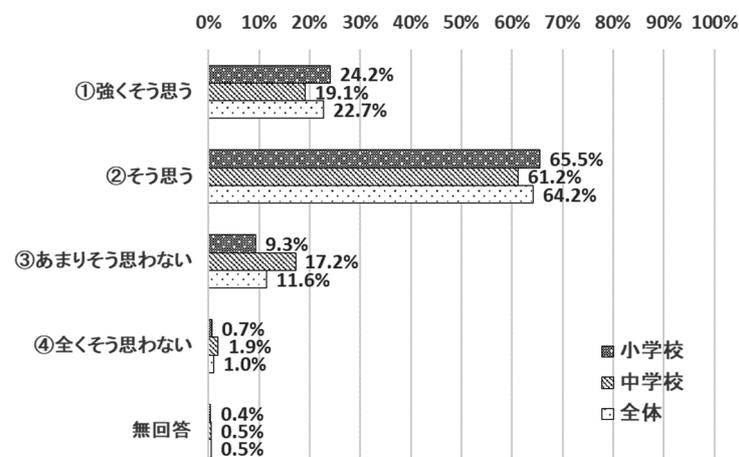
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	228	24.9%	68	18.6%	296	23.1%
②そう思う	505	55.2%	208	56.8%	713	55.7%
③あまりそう思わない	167	18.3%	76	20.8%	243	19.0%
④全くそう思わない	11	1.2%	12	3.3%	23	1.8%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強く思う」は、小学校が（16.9%→24.9%）、中学校が（10.8%→18.6%）とかなり増えている。積極的に ICT 機器を活用する教員が増えていることが伺える。

## 2-5-02(4) 児童・生徒が積極的に授業や学習活動に参加するようになった

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	221	24.2%	70	19.1%	291	22.7%
②そう思う	599	65.5%	224	61.2%	823	64.2%
③あまりそう思わない	85	9.3%	63	17.2%	148	11.6%
④全くそう思わない	6	0.7%	7	1.9%	13	1.0%
無回答	4	0.4%	2	0.5%	6	0.5%
回答者数(母数)	915	100.0%	366	100.0%	1,281	100.0%



※「①強く思う」は、小学校が（15.8%→24.2%）、中学校が（9.0%→19.1%）と大幅に増えており、ICT 機器の活用が、児童・生徒の学習活動に良い影響を与えているものと考えられる。

### 3 先進地域／一般地域別の集計比較

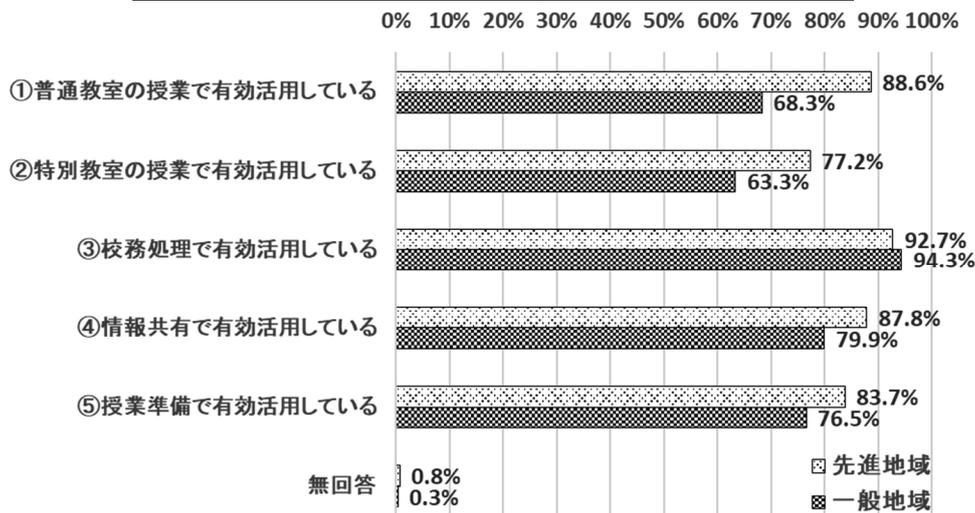
本章は、学校に対して行った調査について、「先進地域」と「一般地域」とに分けて比較対照したものを掲載する。ここで「先進地域」という分類に属する学校は、地域全体で児童・生徒に対して1人1台の環境をほぼ実現していると言われている自治体の学校を指す。これに対して、「一般地域」はその他の自治体に属する学校を指す。先進地域としては、17の自治体を選び437の小中学校に協力を依頼し、123校の小中学校から回答を得た。その結果を、他の地域の学校1,158校から得た結果と比較する。

なお、前章において、すでに学校に対する調査の全体的傾向を小学校・中学校・全体のデータを掲載しているため、ここでは先進地域の学校と一般地域の学校との間で顕著な差が出ている設問についてのみ、掲載するものとする。また各設問の項番は、小中学校別の集計解説ページとの照合を容易にするため、前節の項番と同じ番号を使用した。そのため、本節では項番が不連続になっている箇所があることに注意いただきたい。

#### 3-1 ネットワーク及びICT環境整備に関する項目

##### 3-1-01 校内LANは授業や校務処理で有効に活用していますか。(いくつでも)

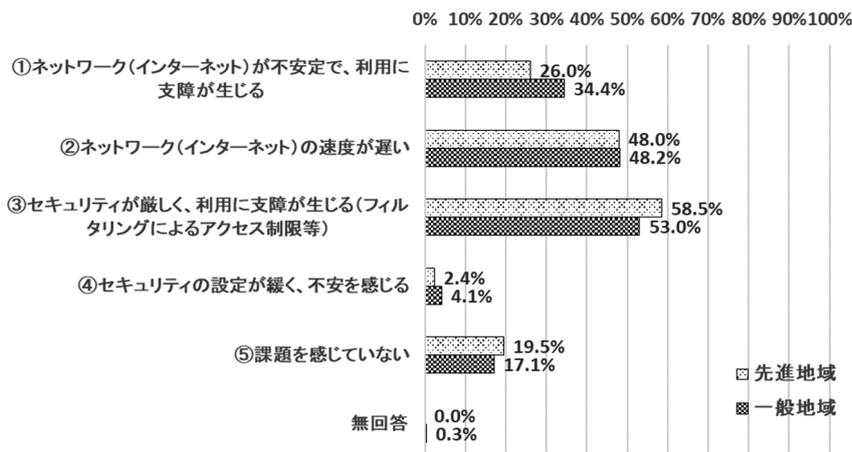
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①普通教室の授業で有効活用している	109	88.6%	791	68.3%
②特別教室の授業で有効活用している	95	77.2%	733	63.3%
③校務処理で有効活用している	114	92.7%	1,092	94.3%
④情報共有で有効活用している	108	87.8%	925	79.9%
⑤授業準備で有効活用している	103	83.7%	886	76.5%
無回答	1	0.8%	4	0.3%
回答数合計	530	430.9%	4,431	382.6%
回答者数(母数)	123		1,158	



※先進地域では、「①普通教室の授業で有効活用している」が88.6%、「②特別教室の授業で有効活用している」が77.2%と授業での活用が進んでいる。

3-1-03 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。(いくつでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	32	26.0%	398	34.4%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	59	48.0%	558	48.2%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	72	58.5%	614	53.0%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	3	2.4%	48	4.1%
⑤課題を感じていない	24	19.5%	198	17.1%
無回答			4	0.3%
回答数合計	190	154.5%	1,820	157.2%
回答者数(母数)	123		1,158	

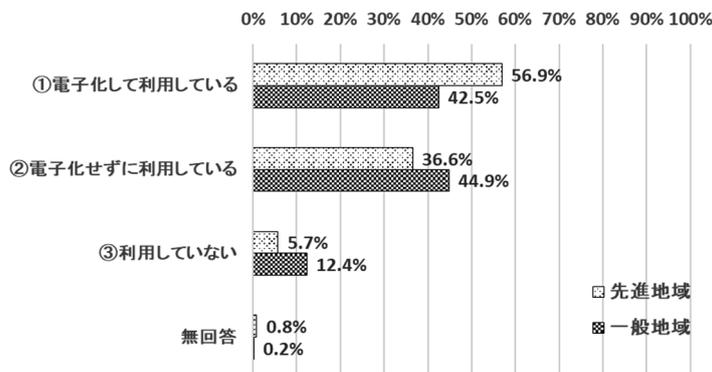


※先進地域と一般地域で大きな差はない。

3-1-04 以下の学習記録のうち、電子化して利用しているもの、もしくは電子化せずに利用しているものはどれですか。

3-1-04(1) 問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答

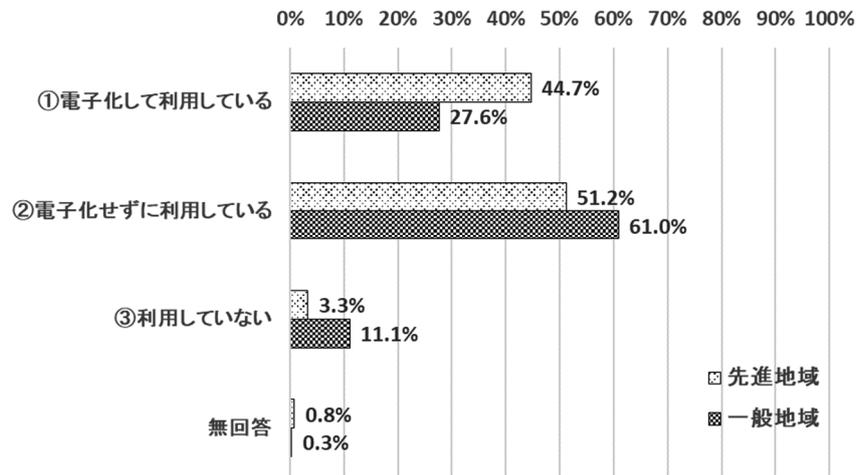
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	70	56.9%	492	42.5%
②電子化せずに利用している	45	36.6%	520	44.9%
③利用していない	7	5.7%	144	12.4%
無回答	1	0.8%	2	0.2%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が56.9%となっており、電子化しての利用が進んでいる。

## 3-1-04(2) 児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物

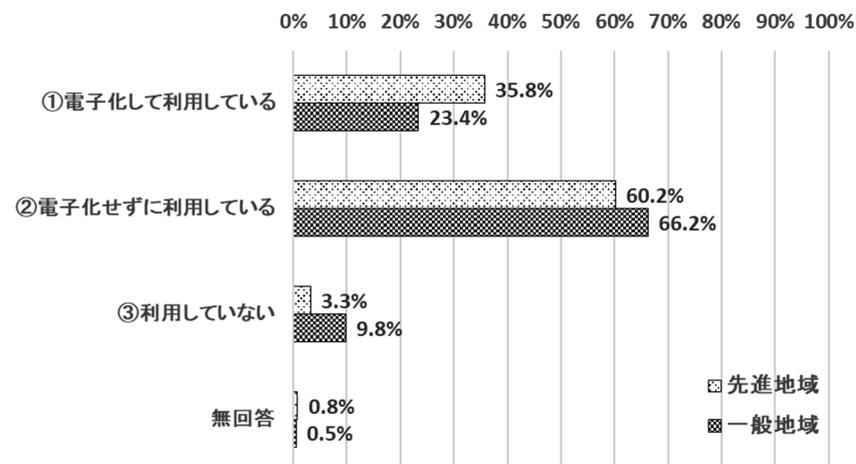
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	55	44.7%	320	27.6%
②電子化せずに利用している	63	51.2%	706	61.0%
③利用していない	4	3.3%	129	11.1%
無回答	1	0.8%	3	0.3%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が44.7%である。まだ5割に達していないが、これから電子化が進むものと考えられる。

## 3-1-04(3) ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録

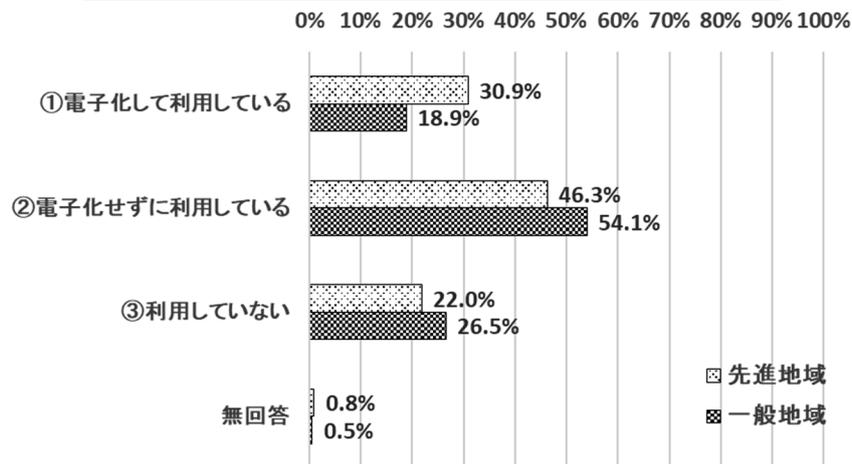
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	44	35.8%	271	23.4%
②電子化せずに利用している	74	60.2%	767	66.2%
③利用していない	4	3.3%	114	9.8%
無回答	1	0.8%	6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域でも「①電子化して利用している」は35.8%であるが、一般地域よりも電子化は進んでいる。

3-1-04(6) 児童・生徒の対話や会話の記録

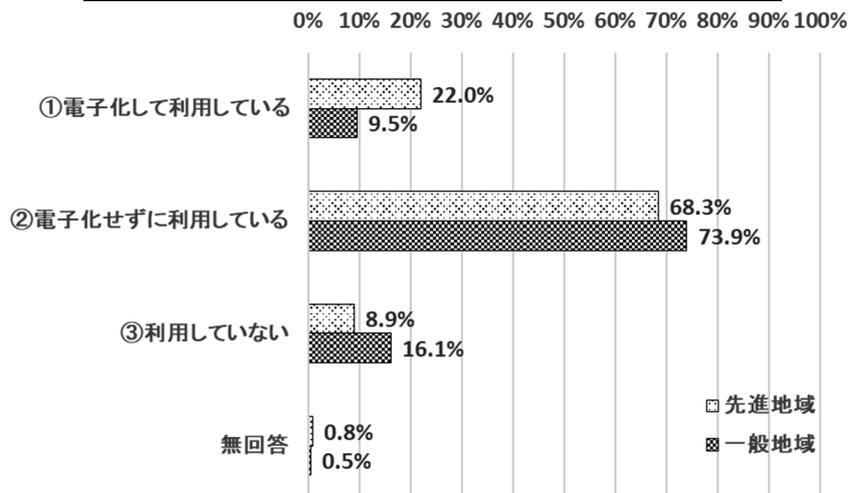
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	38	30.9%	219	18.9%
②電子化せずに利用している	57	46.3%	626	54.1%
③利用していない	27	22.0%	307	26.5%
無回答	1	0.8%	6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が30.9%と一般地域よりも電子化が進んでいる。

3-1-04(8) 相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録

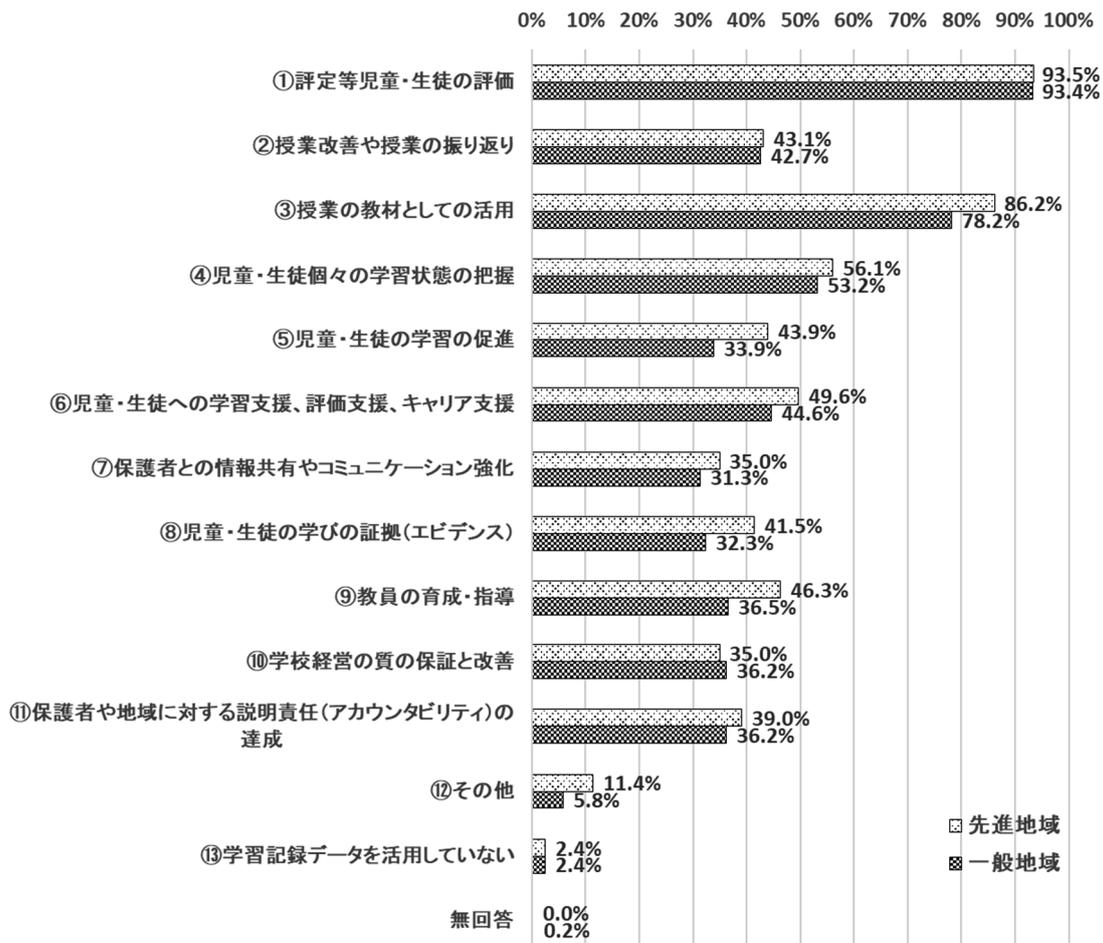
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	27	22.0%	110	9.5%
②電子化せずに利用している	84	68.3%	856	73.9%
③利用していない	11	8.9%	186	16.1%
無回答	1	0.8%	6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が22.0%であり、一般地域より電子化は進んでいる。しかしながら、「相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録」の電子化は全般的に進んでいない。

3-1-05 既に利用している電子化された学習記録の活用について、あてはまるものをすべて選択してください。

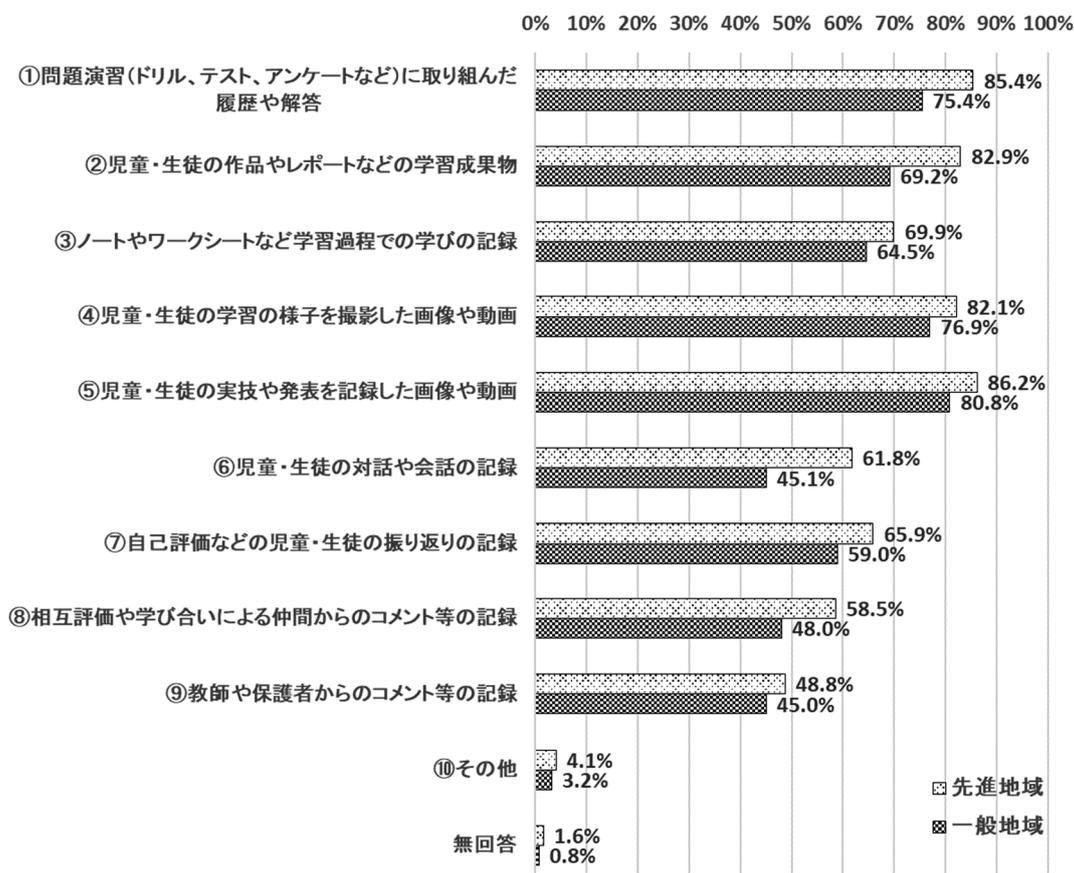
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①評定等児童・生徒の評価	115	93.5%	1,081	93.4%
②授業改善や授業の振り返り	53	43.1%	494	42.7%
③授業の教材としての活用	106	86.2%	906	78.2%
④児童・生徒個々の学習状態の把握	69	56.1%	616	53.2%
⑤児童・生徒の学習の促進	54	43.9%	393	33.9%
⑥児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	61	49.6%	517	44.6%
⑦保護者との情報共有やコミュニケーション強化	43	35.0%	363	31.3%
⑧児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	51	41.5%	374	32.3%
⑨教員の育成・指導	57	46.3%	423	36.5%
⑩学校経営の質の保証と改善	43	35.0%	419	36.2%
⑪保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	48	39.0%	419	36.2%
⑫その他	14	11.4%	67	5.8%
⑬学習記録データを活用していない	3	2.4%	28	2.4%
無回答			2	0.2%
回答数合計	717	582.9%	6,102	526.9%
回答者数(母数)	123		1,158	



※ 先進地域と一般地域で大きな差はない。その中で、「⑤児童・生徒の学習の促進」「⑧児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)」「⑨教員の育成・指導」は、先進地域で活用が進んでいる。

3-1-06 電子化されることで有効だとお考えになる子供たちの学習記録について、あてはまるものをすべて選択してください。

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答	105	85.4%	873	75.4%
②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物	102	82.9%	801	69.2%
③ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録	86	69.9%	747	64.5%
④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画	101	82.1%	891	76.9%
⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画	106	86.2%	936	80.8%
⑥児童・生徒の対話や会話の記録	76	61.8%	522	45.1%
⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録	81	65.9%	683	59.0%
⑧相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録	72	58.5%	556	48.0%
⑨教師や保護者からのコメント等の記録	60	48.8%	521	45.0%
⑩その他	5	4.1%	37	3.2%
無回答	2	1.6%	9	0.8%
回答数合計	796	647.2%	6,576	567.9%
回答者数(母数)	123		1,158	

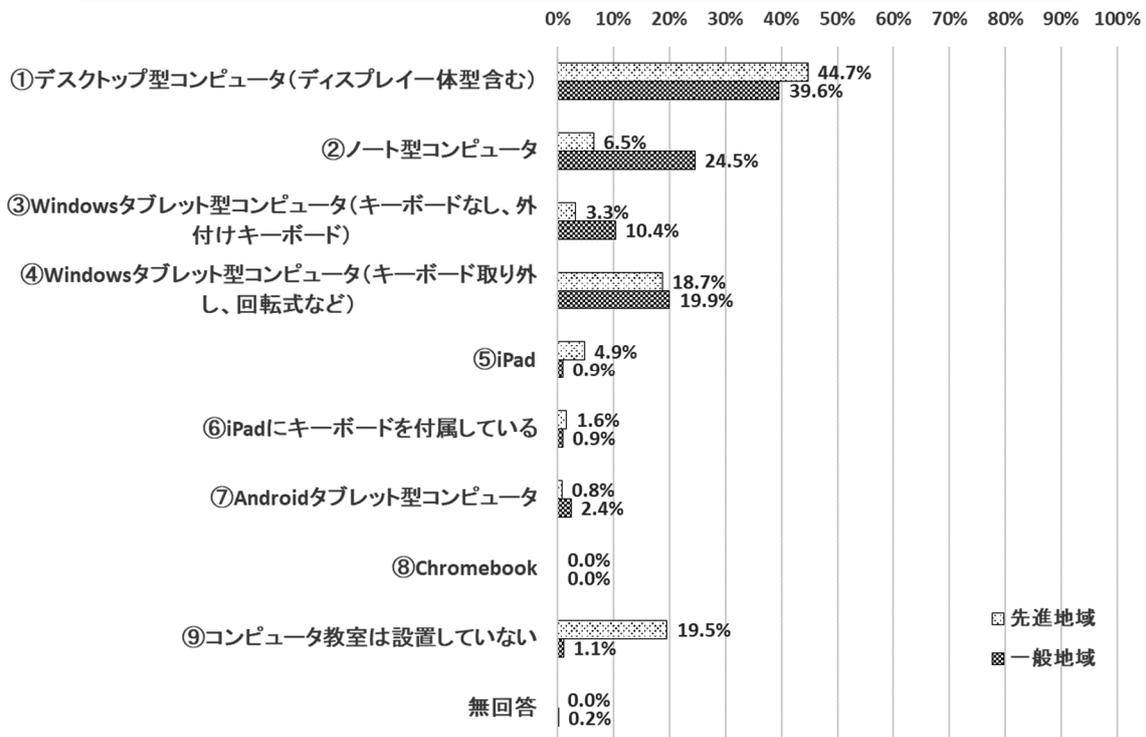


※ 「①問題演習（ドリル、テスト、アンケートなど）に取り組んだ履歴や解答」「②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物」「⑥児童・生徒の対話や会話の記録」に関しては、先進地域の方に有意差が見られる。

## 3-2 ハードウェアに関する項目

## 3-2-01 コンピュータ教室に設置しているコンピュータのタイプについて伺います。

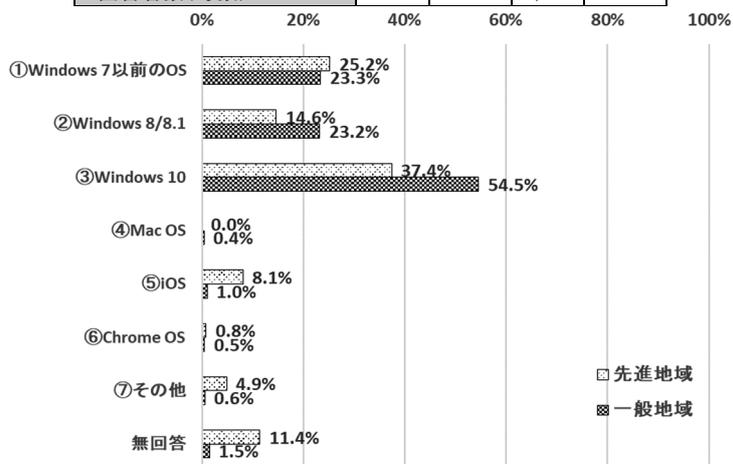
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①デスクトップ型コンピュータ(ディスプレイ体型含む)	55	44.7%	458	39.6%
②ノート型コンピュータ	8	6.5%	284	24.5%
③Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	4	3.3%	120	10.4%
④Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	23	18.7%	231	19.9%
⑤iPad	6	4.9%	11	0.9%
⑥iPadにキーボードを付属している	2	1.6%	11	0.9%
⑦Androidタブレット型コンピュータ	1	0.8%	28	2.4%
⑧Chromebook				
⑨コンピュータ教室は設置していない	24	19.5%	13	1.1%
無回答			2	0.2%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※「②ノート型コンピュータ」は一般地域が24.5%と先進地域6.5%より多くなっている。「⑨コンピュータ教室は設置していない」は先進地域が19.5%と一般地域1.1%より多くなっている。

3-2-04 コンピュータ教室で児童・生徒が主に使っているコンピュータの OS は何ですか。(いくつでも)

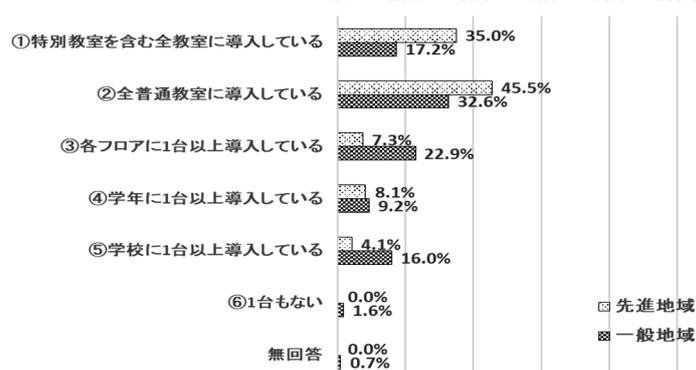
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windows 7以前のOS	31	25.2%	270	23.3%
②Windows 8/8.1	18	14.6%	269	23.2%
③Windows 10	46	37.4%	631	54.5%
④Mac OS			5	0.4%
⑤iOS	10	8.1%	12	1.0%
⑥Chrome OS	1	0.8%	6	0.5%
⑦その他	6	4.9%	7	0.6%
無回答	14	11.4%	17	1.5%
回答数合計	126	102.4%	1,217	105.1%
回答者数(母数)	123		1,158	



※「③Windows 10」は、一般地域の方が54.5%と先進地域37.4%より多くなっている。

3-2-05(1) 次の ICT 機器の整備状況について伺います。(1)大型提示装置

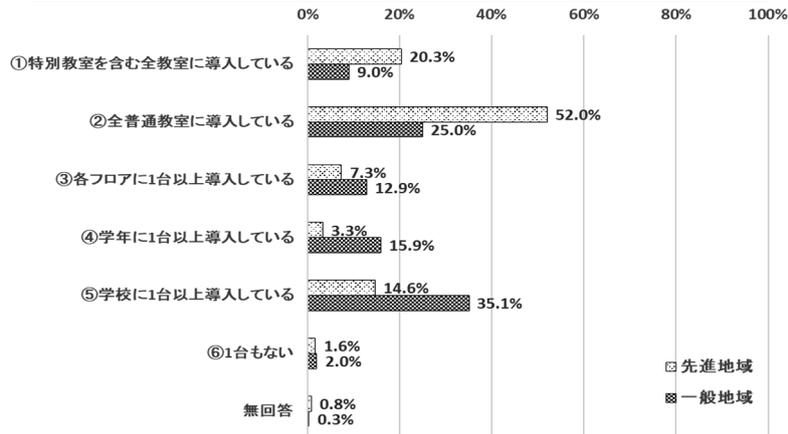
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	43	35.0%	199	17.2%
②全普通教室に導入している	56	45.5%	377	32.6%
③各フロアに1台以上導入している	9	7.3%	265	22.9%
④学年に1台以上導入している	10	8.1%	106	9.2%
⑤学校に1台以上導入している	5	4.1%	185	16.0%
⑥1台もない			18	1.6%
無回答			8	0.7%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると80.5%であり、大型提示装置は整備されている。

## 3-2-05(3) 次の ICT 機器の整備状況について伺います。(3)実物投影機

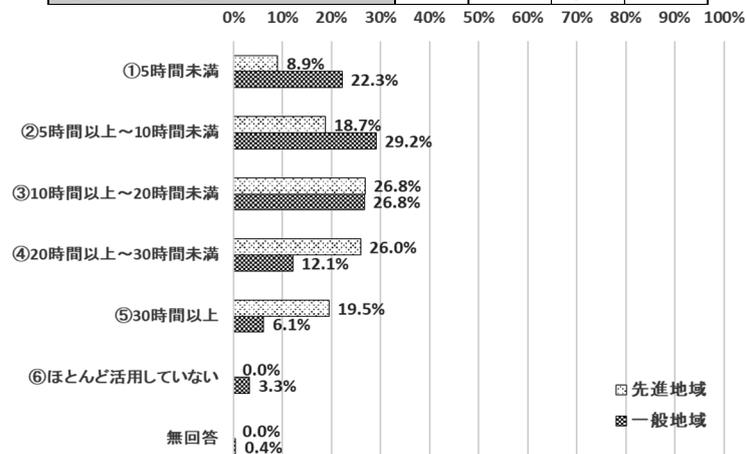
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	25	20.3%	104	9.0%
②全普通教室に導入している	64	52.0%	289	25.0%
③各フロアに1台以上導入している	9	7.3%	149	12.9%
④学年に1台以上導入している	4	3.3%	184	15.9%
⑤学校に1台以上導入している	18	14.6%	406	35.1%
⑥1台もない	2	1.6%	23	2.0%
無回答	1	0.8%	3	0.3%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると 72.3%であり、実物投影機は整備されている。

## 3-2-06 2-2-05(1)の大型提示装置の活用について、伺います。週に何時間活用していますか。

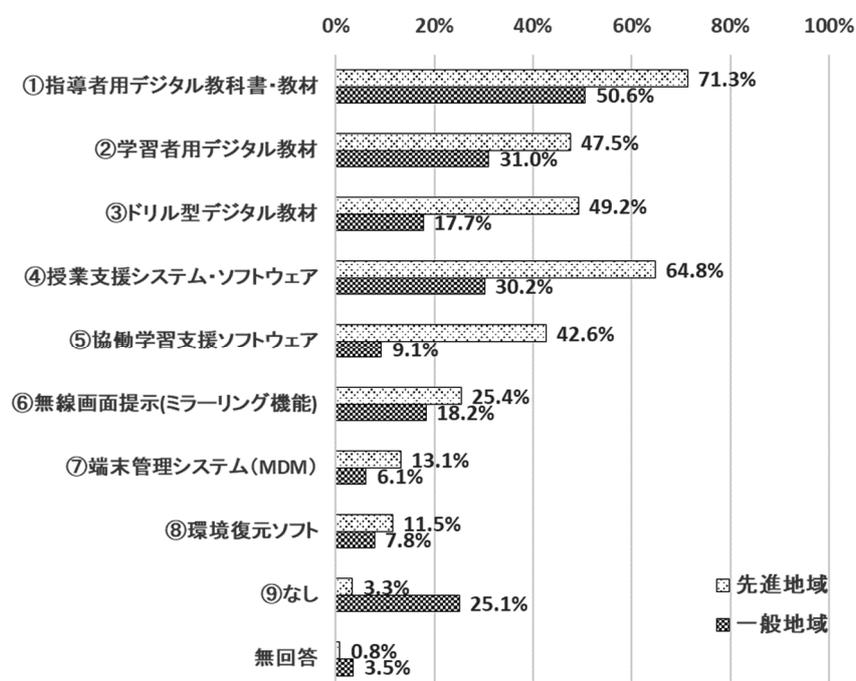
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①5時間未満	11	8.9%	252	22.3%
②5時間以上～10時間未満	23	18.7%	330	29.2%
③10時間以上～20時間未満	33	26.8%	303	26.8%
④20時間以上～30時間未満	32	26.0%	137	12.1%
⑤30時間以上	24	19.5%	69	6.1%
⑥ほとんど活用していない			37	3.3%
無回答			4	0.4%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,132	100.0%



※「④20時間以上～30時間未満」「⑤30時間以上」は先進地域が 45.5%で一般地域 18.1%と多く、活用が進んでいる。

3-2-11 2-2-09 で①②③④と回答された方に伺います。教員用タブレット型コンピュータの整備にあたり、活用しているもの（ソフト、システム）についてお聞かせください。（いくつでも）

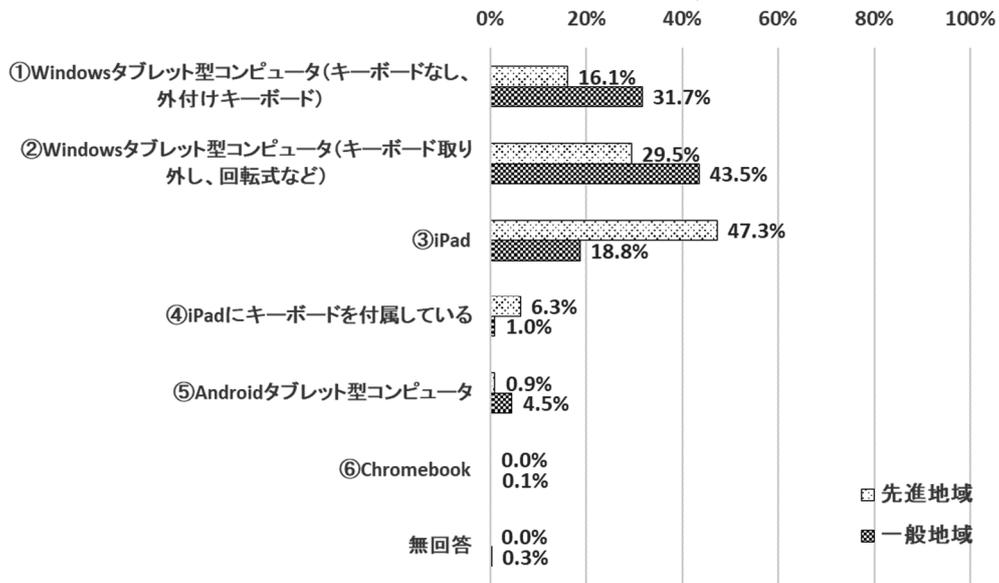
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	87	71.3%	582	50.6%
②学習者用デジタル教材	58	47.5%	357	31.0%
③ドリル型デジタル教材	60	49.2%	204	17.7%
④授業支援システム・ソフトウェア	79	64.8%	348	30.2%
⑤協働学習支援ソフトウェア	52	42.6%	105	9.1%
⑥無線画面提示(ミラーリング機能)	31	25.4%	210	18.2%
⑦端末管理システム(MDM)	16	13.1%	70	6.1%
⑧環境復元ソフト	14	11.5%	90	7.8%
⑨なし	4	3.3%	289	25.1%
無回答	1	0.8%	40	3.5%
回答数合計	402	329.5%	2,295	199.4%
回答者数(母数)	122		1,151	



※先進地域では「①指導者用デジタル教科書・教材」「②学習者用デジタル教材」「③ドリル型デジタル教材」「④授業支援システム・ソフトウェア」「⑤協働学習支援ソフトウェア」が多く活用されている。

3-2-13 2-2-12 で①②③④と回答された方に、児童・生徒用タブレット型コンピュータの種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

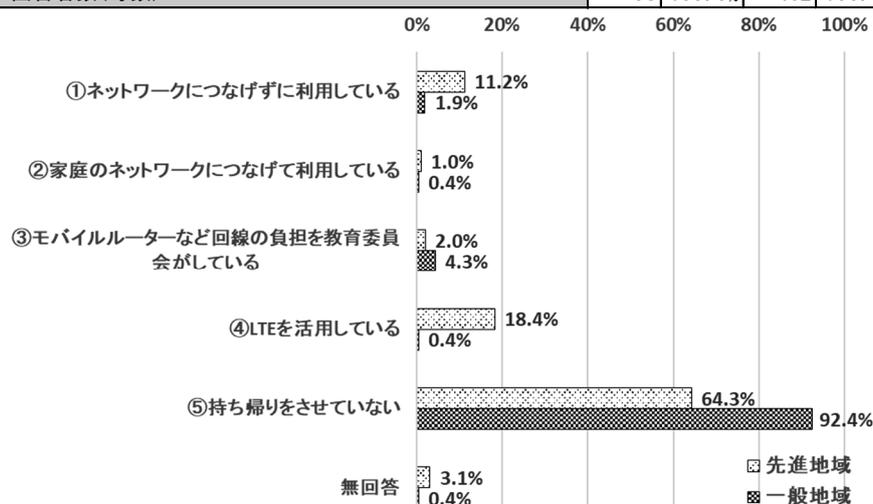
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット型コンピュータ(キーボードなし、外付けキーボード)	18	16.1%	231	31.7%
②Windowsタブレット型コンピュータ(キーボード取り外し、回転式など)	33	29.5%	317	43.5%
③iPad	53	47.3%	137	18.8%
④iPadにキーボードを付属している	7	6.3%	7	1.0%
⑤Androidタブレット型コンピュータ	1	0.9%	33	4.5%
⑥Chromebook			1	0.1%
無回答			2	0.3%
回答者数(母数)	112	100.0%	728	100.0%



※一般地域では「①Windows タブレット型コンピュータ (キーボードなし、外付けキーボード)」「②Windows タブレット型コンピュータ (キーボード取り外し、回転式など)」が多く、先進地域では「③iPad」が多くなっている。

3-2-14 2-2-12 で①②③と回答された方に、児童・生徒用タブレット型コンピュータの持ち帰り利用について伺います。

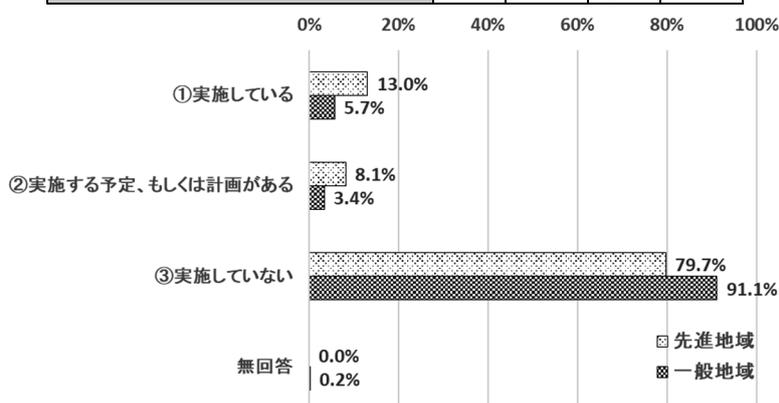
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークにつなげずに利用している	11	11.2%	9	1.9%
②家庭のネットワークにつなげて利用している	1	1.0%	2	0.4%
③モバイルルーターなど回線の負担を教育委員会がしている	2	2.0%	20	4.3%
④LTEを活用している	18	18.4%	2	0.4%
⑤持ち帰りをさせていない	63	64.3%	427	92.4%
無回答	3	3.1%	2	0.4%
回答者数(母数)	98	100.0%	462	100.0%



※「⑤持ち帰りをさせていない」がどちらの地域も最も多いが、先進地域では「①ネットワークにつなげずに利用している」が11.2%、「④LTEを活用している」が18.4%と持ち帰り活用が進み始めている。

3-2-16 遠隔システムを使った教育を行っていますか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①実施している	16	13.0%	66	5.7%
②実施する予定、もしくは計画がある	10	8.1%	39	3.4%
③実施していない	98	79.7%	1,055	91.1%
無回答			2	0.2%
回答数合計	124	100.8%	1,162	100.3%
回答者数(母数)	123		1,158	

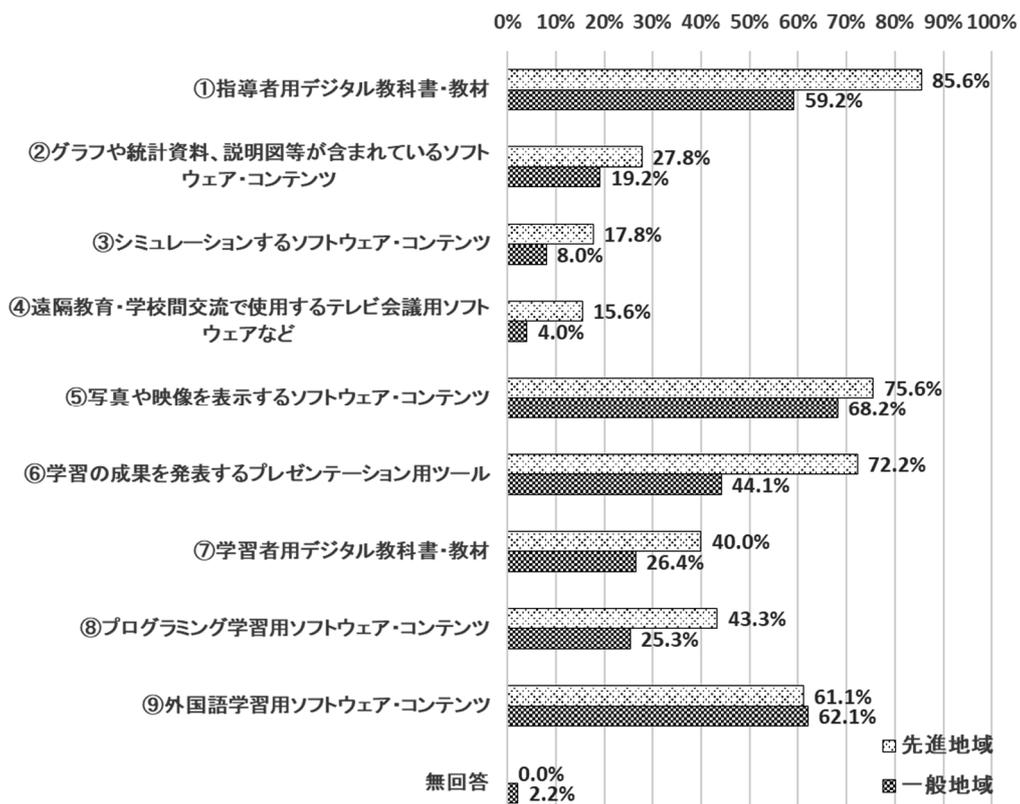


※「①実施している」は先進地域で13.0%、一般地域では5.7%となっている。

## 3-3 ソフトウェアに関する項目

3-3-01 小学校の普通教室ではどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。(いくつかでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	77	85.6%	488	59.2%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	25	27.8%	158	19.2%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	16	17.8%	66	8.0%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	14	15.6%	33	4.0%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	68	75.6%	563	68.2%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	65	72.2%	364	44.1%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	36	40.0%	218	26.4%
⑧プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	39	43.3%	209	25.3%
⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	55	61.1%	512	62.1%
無回答			18	2.2%
回答数合計	395	438.9%	2,629	318.7%
回答者数(母数)	90		825	

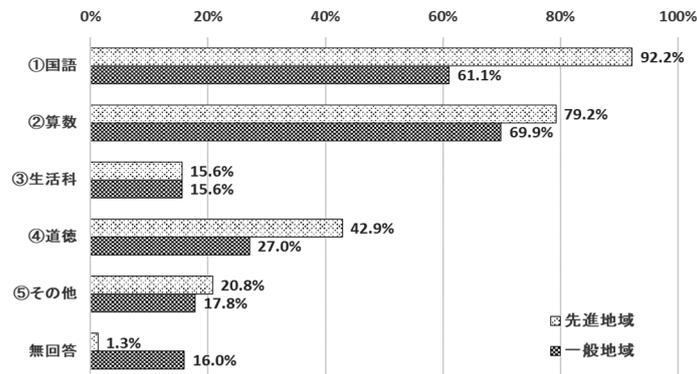


※先進地域では「①指導者用デジタル教科書・教材」が85.6%、「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が75.6%、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が72.2%となっており、先進地域の方が授業での活用が進んでいる。

3-3-02 前問「2-3-01」で「①」と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

3-3-02(1) 1年(いくつでも)

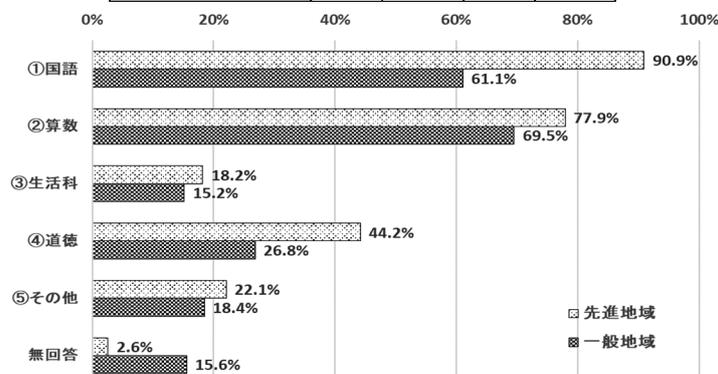
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	71	92.2%	298	61.1%
②算数	61	79.2%	341	69.9%
③生活科	12	15.6%	76	15.6%
④道徳	33	42.9%	132	27.0%
⑤その他	16	20.8%	87	17.8%
無回答	1	1.3%	78	16.0%
回答数合計	194	251.9%	1,012	207.4%
回答者数(母数)	77		488	



※先進地域では「①国語」が92.2%、「②算数」が79.2%となっており、一般地域では「②算数」が69.9%、「①国語」が61.1%となっている。先進地域では「④道徳」が42.9%と高くなっている。

3-3-02(2) 2年(いくつでも)

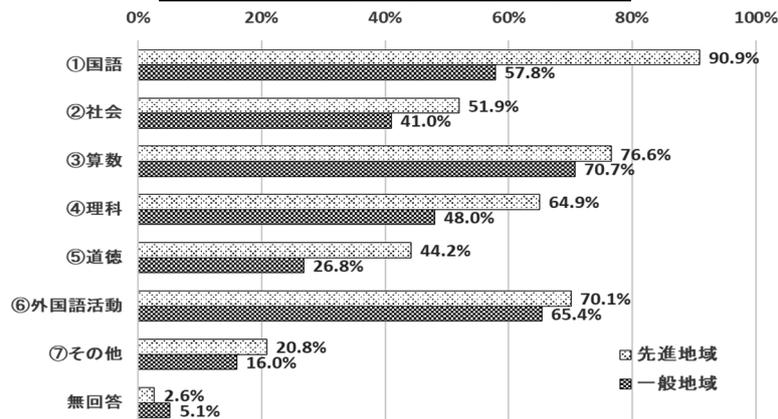
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	70	90.9%	298	61.1%
②算数	60	77.9%	339	69.5%
③生活科	14	18.2%	74	15.2%
④道徳	34	44.2%	131	26.8%
⑤その他	17	22.1%	90	18.4%
無回答	2	2.6%	76	15.6%
回答数合計	197	255.8%	1,008	206.6%
回答者数(母数)	77		488	



※先進地域では「①国語」が90.9%、「②算数」が77.9%となっており、一般地域では「②算数」が69.5%、「①国語」が61.1%となっている。先進地域では「④道徳」が44.2%と高くなっている。

## 3-3-02(3) 3年(いくつかも)

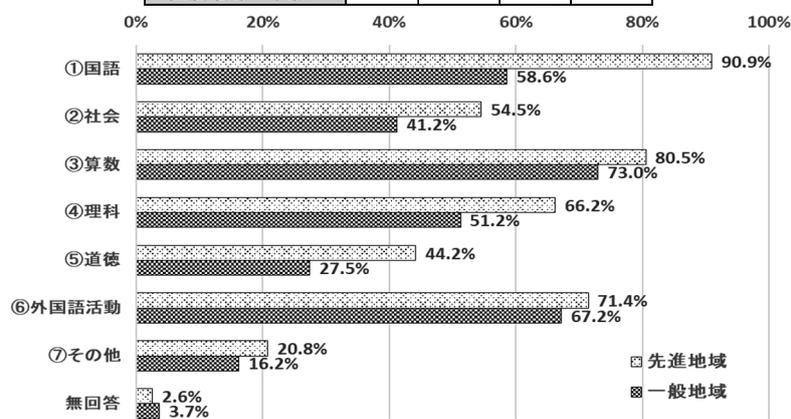
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	70	90.9%	282	57.8%
②社会	40	51.9%	200	41.0%
③算数	59	76.6%	345	70.7%
④理科	50	64.9%	234	48.0%
⑤道徳	34	44.2%	131	26.8%
⑥外国語活動	54	70.1%	319	65.4%
⑦その他	16	20.8%	78	16.0%
無回答	2	2.6%	25	5.1%
回答数合計	325	422.1%	1,614	330.7%
回答者数(母数)	77		488	



※先進地域では「①国語」が90.9%、「③算数」が76.6%、「⑥外国語活動」が70.1%、「④理科」が64.9%と高くなっており、一般地域では「③算数」が70.7%、「⑥外国語活動」が65.4%となっている。

## 3-3-02(4) 4年(いくつかも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	70	90.9%	286	58.6%
②社会	42	54.5%	201	41.2%
③算数	62	80.5%	356	73.0%
④理科	51	66.2%	250	51.2%
⑤道徳	34	44.2%	134	27.5%
⑥外国語活動	55	71.4%	328	67.2%
⑦その他	16	20.8%	79	16.2%
無回答	2	2.6%	18	3.7%
回答数合計	332	431.2%	1,652	338.5%
回答者数(母数)	77		488	

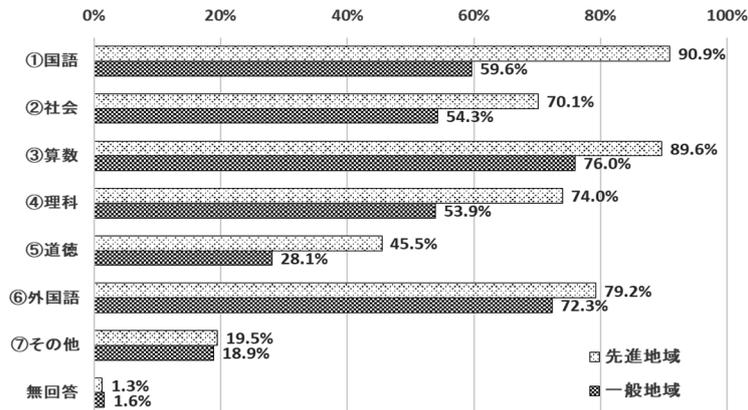


※先進地域では「①国語」が90.9%、「③算数」が80.5%となっており、一般地域では「③算数」が73.0%、「⑥外国語活動」が67.2%となっている。

(学校編～先進地域との比較)

3-3-02(5) 5年(いくつかも)

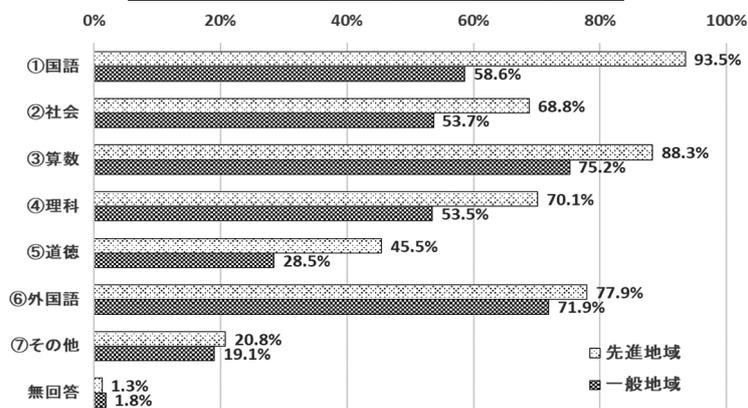
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	70	90.9%	291	59.6%
②社会	54	70.1%	265	54.3%
③算数	69	89.6%	371	76.0%
④理科	57	74.0%	263	53.9%
⑤道徳	35	45.5%	137	28.1%
⑥外国語	61	79.2%	353	72.3%
⑦その他	15	19.5%	92	18.9%
無回答	1	1.3%	8	1.6%
回答数合計	362	470.1%	1,780	364.8%
回答者数(母数)	77		488	



※先進地域では「①国語」が90.9%、「③算数」が89.6%となっており、一般地域では「③算数」が76.0%、「⑥外国語」が72.3%となっている。先進地域では主要教科全てにおいて7割以上導入されている。

3-3-02(6) 6年(いくつかも)

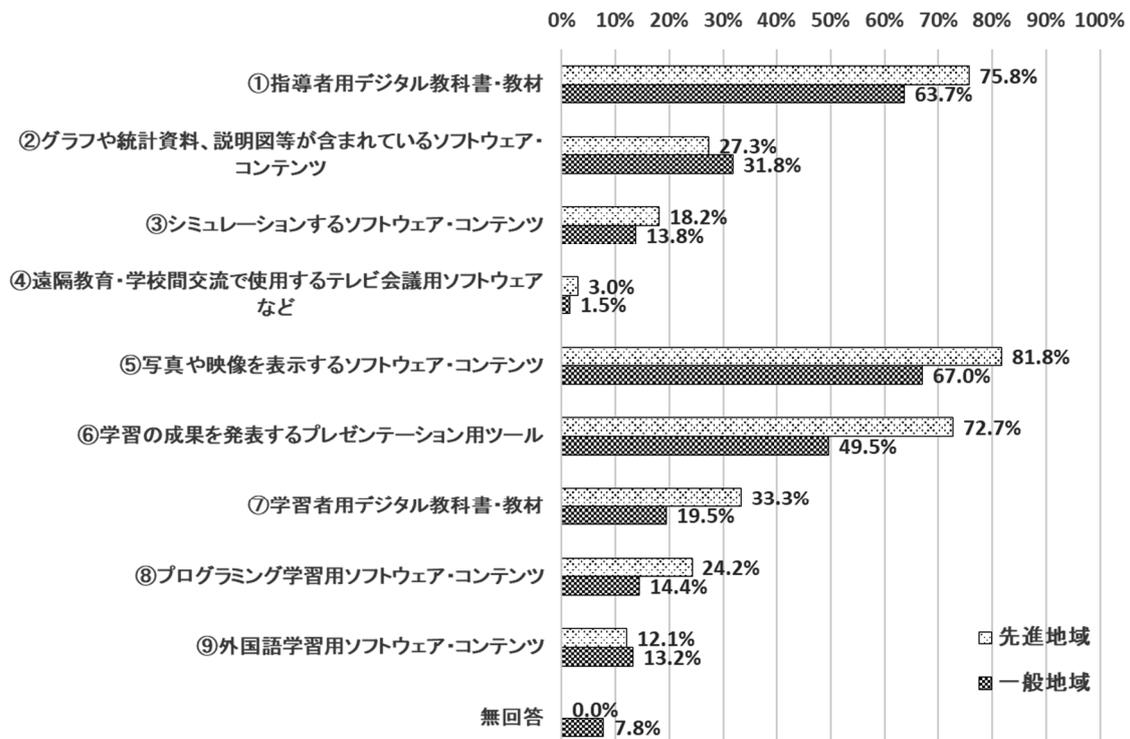
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	72	93.5%	286	58.6%
②社会	53	68.8%	262	53.7%
③算数	68	88.3%	367	75.2%
④理科	54	70.1%	261	53.5%
⑤道徳	35	45.5%	139	28.5%
⑥外国語	60	77.9%	351	71.9%
⑦その他	16	20.8%	93	19.1%
無回答	1	1.3%	9	1.8%
回答数合計	359	466.2%	1,768	362.3%
回答者数(母数)	77		488	



※先進地域では「①国語」が93.5%、「③算数」が88.3%となっており、一般地域では「③算数」が75.2%、「⑥外国語」が71.9%となっている。

## 3-3-03 中学校の普通教室ではどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。(いくつかでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	25	75.8%	212	63.7%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	9	27.3%	106	31.8%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	6	18.2%	46	13.8%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	1	3.0%	5	1.5%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	27	81.8%	223	67.0%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	24	72.7%	165	49.5%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	11	33.3%	65	19.5%
⑧プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	8	24.2%	48	14.4%
⑨外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	4	12.1%	44	13.2%
無回答			26	7.8%
回答数合計	115	348.5%	940	282.3%
回答者数(母数)	33		333	

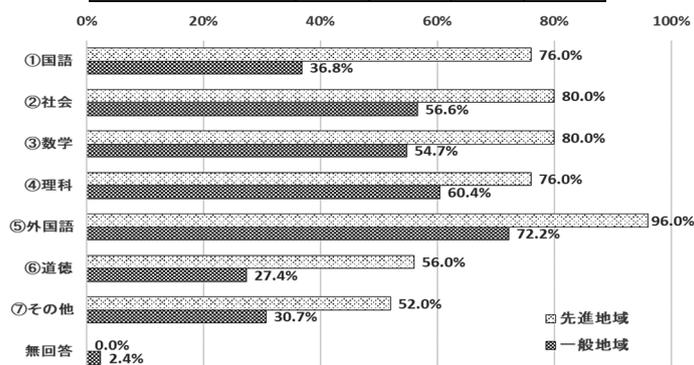


※先進地域では「①指導者用デジタル教科書・教材」「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」がより活用されている。

3-3-04 前問「2-3-03」で「①」と回答された方に伺います。それぞれの学年で導入されている教科は何か。 (いくつでも)

3-3-04(1) 1年 (いくつでも)

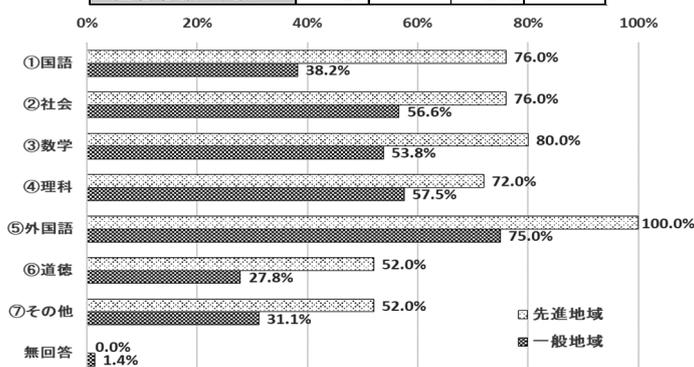
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	19	76.0%	78	36.8%
②社会	20	80.0%	120	56.6%
③数学	20	80.0%	116	54.7%
④理科	19	76.0%	128	60.4%
⑤外国語	24	96.0%	153	72.2%
⑥道徳	14	56.0%	58	27.4%
⑦その他	13	52.0%	65	30.7%
無回答			5	2.4%
回答数合計	129	516.0%	723	341.0%
回答者数(母数)	25		212	



※先進地域では「⑤外国語」が96.0%、「②社会」「③数学」がそれぞれ80.0%となっており、一般地域では「⑤外国語」が72.2%、「④理科」が60.4%となっている。先進地域では主要教科全てで75%以上となっており、デジタル教科書の活用が進んでいる。

3-3-04(2) 2年 (いくつでも)

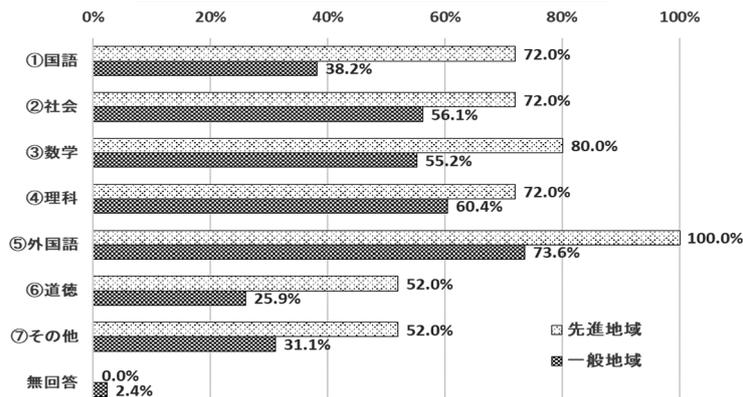
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	19	76.0%	81	38.2%
②社会	19	76.0%	120	56.6%
③数学	20	80.0%	114	53.8%
④理科	18	72.0%	122	57.5%
⑤外国語	25	100.0%	159	75.0%
⑥道徳	13	52.0%	59	27.8%
⑦その他	13	52.0%	66	31.1%
無回答			3	1.4%
回答数合計	127	508.0%	724	341.5%
回答者数(母数)	25		212	



※先進地域では「⑤外国語」が100.0%、「③数学」が80.0%となっており、一般地域では「⑤外国語」が75.0%、「④理科」が57.5%となっている。

## 3-3-04(3) 3年(いくつでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	18	72.0%	81	38.2%
②社会	18	72.0%	119	56.1%
③数学	20	80.0%	117	55.2%
④理科	18	72.0%	128	60.4%
⑤外国語	25	100.0%	156	73.6%
⑥道德	13	52.0%	55	25.9%
⑦その他	13	52.0%	66	31.1%
無回答			5	2.4%
回答数合計	125	500.0%	727	342.9%
回答者数(母数)	25		212	

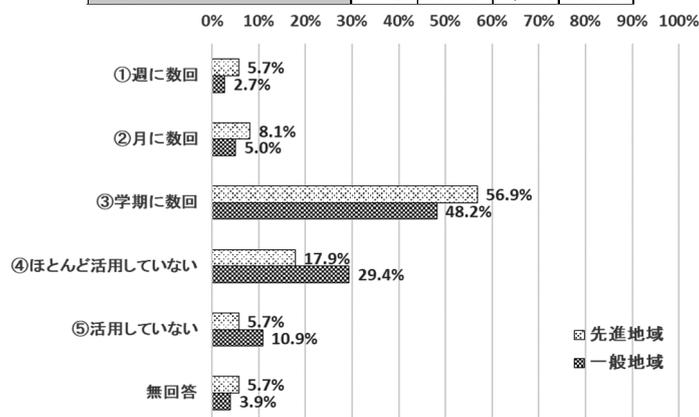


※先進地域では「⑤外国語」が100.0%、「③数学」が80.0%となっており、一般地域では「⑤外国語」が73.6%、「④理科」が60.4%となっている。先進地域では全般的にデジタル教科書の導入・活用が進んでいる。

## 3-3-06 学習用ソフトウェア・コンテンツをどのように活用していますか。

## 3-3-06(1) 児童・生徒の情報モラルを向上させるための活用

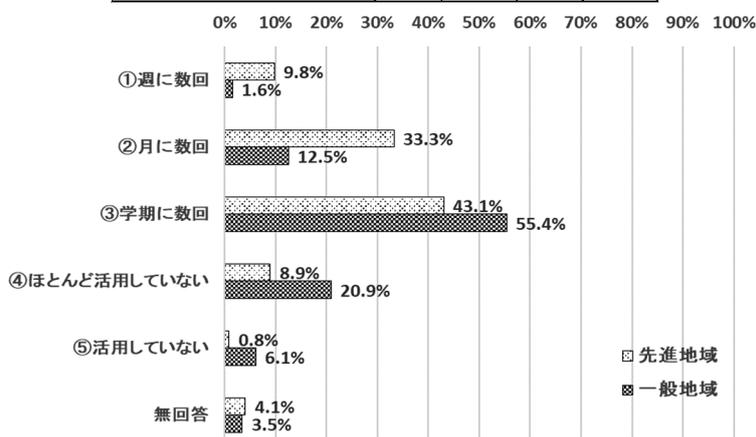
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	7	5.7%	31	2.7%
②月に数回	10	8.1%	58	5.0%
③学期に数回	70	56.9%	558	48.2%
④ほとんど活用していない	22	17.9%	340	29.4%
⑤活用していない	7	5.7%	126	10.9%
無回答	7	5.7%	45	3.9%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※「③学期に数回」が先進地域56.9%、一般地域48.2%と最も多く、次いで、「④ほとんど活用していない」が、先進地域17.9%、一般地域29.4%となっている。

3-3-06(2) 児童・生徒の発表（プレゼンテーション）能力を向上させるための活用

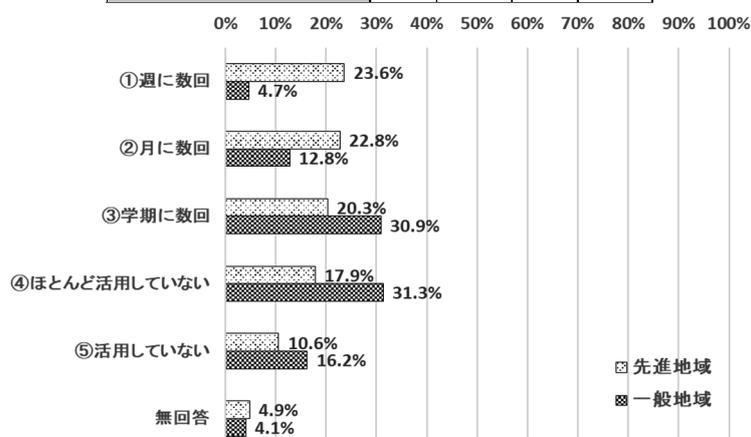
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	12	9.8%	18	1.6%
②月に数回	41	33.3%	145	12.5%
③学期に数回	53	43.1%	642	55.4%
④ほとんど活用していない	11	8.9%	242	20.9%
⑤活用していない	1	0.8%	71	6.1%
無回答	5	4.1%	40	3.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「②月に数回」が33.3%、「①週に数回」が9.8%と、プレゼンテーション能力を活用するための活用が進んでいる。環境に伴い、授業の方法が変化していることが伺える。

3-3-06(3) 計算能力など、児童・生徒の基礎学力を向上させるための活用

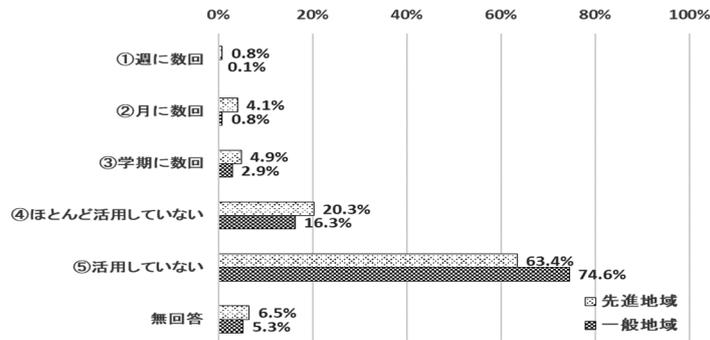
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	29	23.6%	54	4.7%
②月に数回	28	22.8%	148	12.8%
③学期に数回	25	20.3%	358	30.9%
④ほとんど活用していない	22	17.9%	363	31.3%
⑤活用していない	13	10.6%	188	16.2%
無回答	6	4.9%	47	4.1%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※「①週に数回」と「②月に数回」を合わせると、先進地域46.4%、一般地域17.5%と大きな差異が見られる。「④ほとんど活用しない」が、先進地域17.9%、一般地域31.3%となっている。コンピュータ1人1台環境が整うと、ドリルなどのデジタル教材の活用が効果的となり、基礎学力の向上につながる活用が進むものと考えられる。

## 3-3-06(5) 遠隔教育のための活用

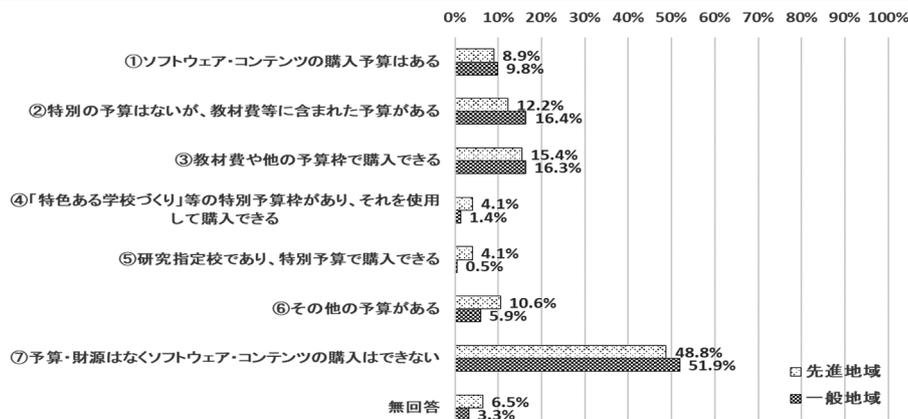
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	1	0.8%	1	0.1%
②月に数回	5	4.1%	9	0.8%
③学期に数回	6	4.9%	34	2.9%
④ほとんど活用していない	25	20.3%	189	16.3%
⑤活用していない	78	63.4%	864	74.6%
無回答	8	6.5%	61	5.3%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※「④ほとんど活用していない」「⑤活用していない」を合わせると、先進地域 83.7%、一般地域 90.9%となっており、まだ活用は進んでいない。しかしながら、先進地域では「①週に数回」「②月に数回」「③学期に数回」を合わせると1割程度あり、広がりつつあると推察される。

## 3-3-07 今年度の学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算はありますか。(いくつでも)

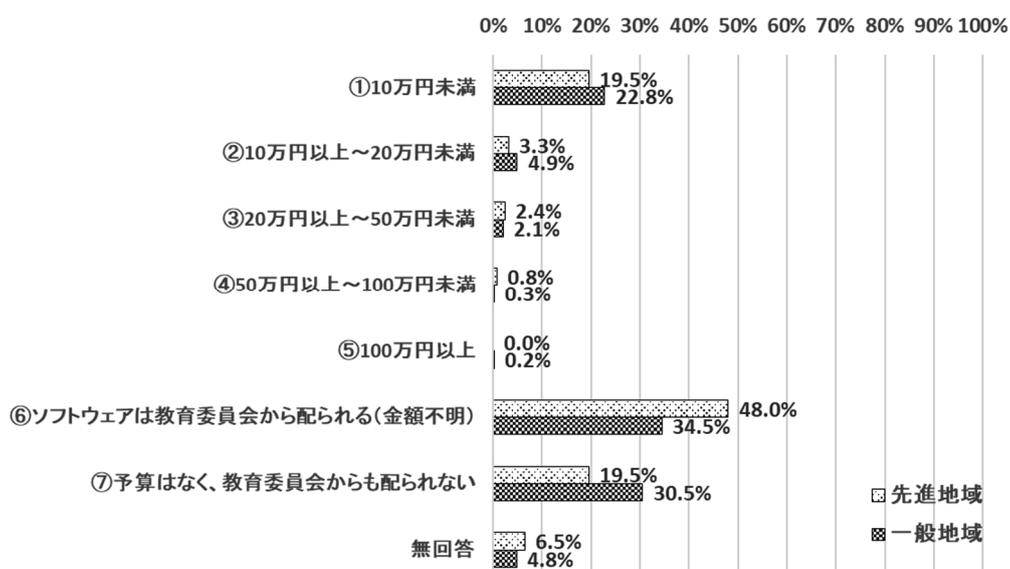
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①ソフトウェア・コンテンツの購入予算はある	11	8.9%	114	9.8%
②特別の予算はないが、教材費等に含まれた予算がある	15	12.2%	190	16.4%
③教材費や他の予算枠で購入できる	19	15.4%	189	16.3%
④「特色ある学校づくり」等の特別予算枠があり、それを使用して購入できる	5	4.1%	16	1.4%
⑤研究指定校であり、特別予算で購入できる	5	4.1%	6	0.5%
⑥その他の予算がある	13	10.6%	68	5.9%
⑦予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない	60	48.8%	601	51.9%
無回答	8	6.5%	38	3.3%
回答数合計	136	110.6%	1,222	105.5%
回答者数(母数)	123		1,158	



※「⑦予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない」が、先進地域 48.8%、一般地域 51.9%と最も多くなっているが、特に先進地域では児童・生徒用タブレット型コンピュータの整備が進んでいるため、さらなる予算措置が望まれる。

3-3-08 今年度の学習用ソフトウェア・コンテンツの購入予算は総額でいくらですか。

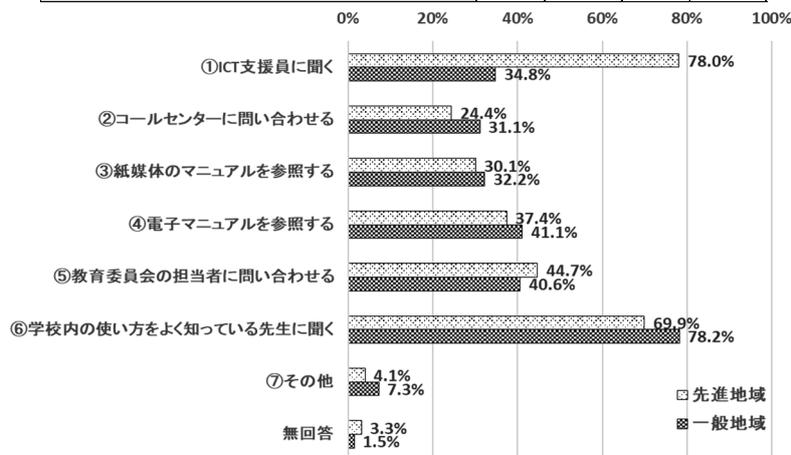
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①10万円未満	24	19.5%	264	22.8%
②10万円以上～20万円未満	4	3.3%	57	4.9%
③20万円以上～50万円未満	3	2.4%	24	2.1%
④50万円以上～100万円未満	1	0.8%	3	0.3%
⑤100万円以上			2	0.2%
⑥ソフトウェアは教育委員会から配られる(金額不明)	59	48.0%	399	34.5%
⑦予算はなく、教育委員会からも配られない	24	19.5%	353	30.5%
無回答	8	6.5%	56	4.8%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では、「⑥ソフトウェアは教育委員会から配られる(金額不明)」が48.0%と最も多くなっている。「⑦予算はなく、教育委員会からも配られない」が、先進地域19.5%、一般地域30.5%となっており、いずれの地域においてもさらなる予算措置が望まれる。

3-3-10 ソフトウェアを利用する際、使い方などが分からないときは、どのようにして解決していますか。(いくつでも)

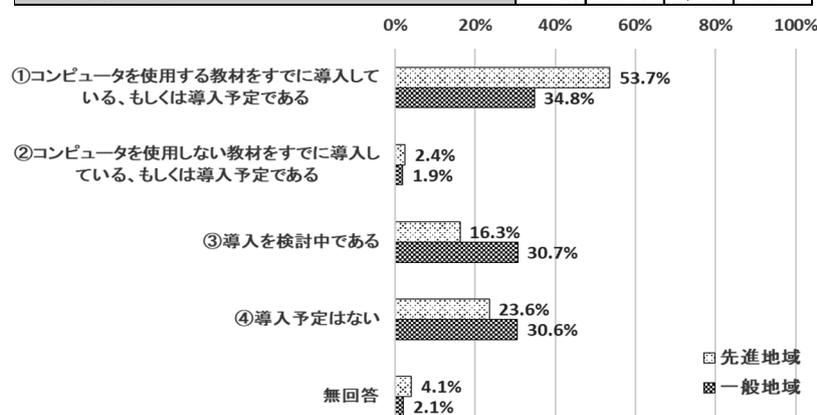
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT支援員に聞く	96	78.0%	403	34.8%
②コールセンターに問い合わせる	30	24.4%	360	31.1%
③紙媒体のマニュアルを参照する	37	30.1%	373	32.2%
④電子マニュアルを参照する	46	37.4%	476	41.1%
⑤教育委員会の担当者に問い合わせる	55	44.7%	470	40.6%
⑥学校内の使い方をよく知っている先生に聞く	86	69.9%	905	78.2%
⑦その他	5	4.1%	85	7.3%
無回答	4	3.3%	17	1.5%
回答数合計	359	291.9%	3,089	266.8%
回答者数(母数)	123		1,158	



※先進地域では「①ICT支援員に聞く」が78.0%、一般地域では「⑥学校内の使い方をよく知っている先生に聞く」が78.2%と差異が見られる。

3-3-11 プログラミング教育への取り組みにともない、ソフトウェア・コンテンツを導入しますか。

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①コンピュータを使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	66	53.7%	403	34.8%
②コンピュータを使用しない教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	3	2.4%	22	1.9%
③導入を検討中である	20	16.3%	355	30.7%
④導入予定はない	29	23.6%	354	30.6%
無回答	5	4.1%	24	2.1%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%

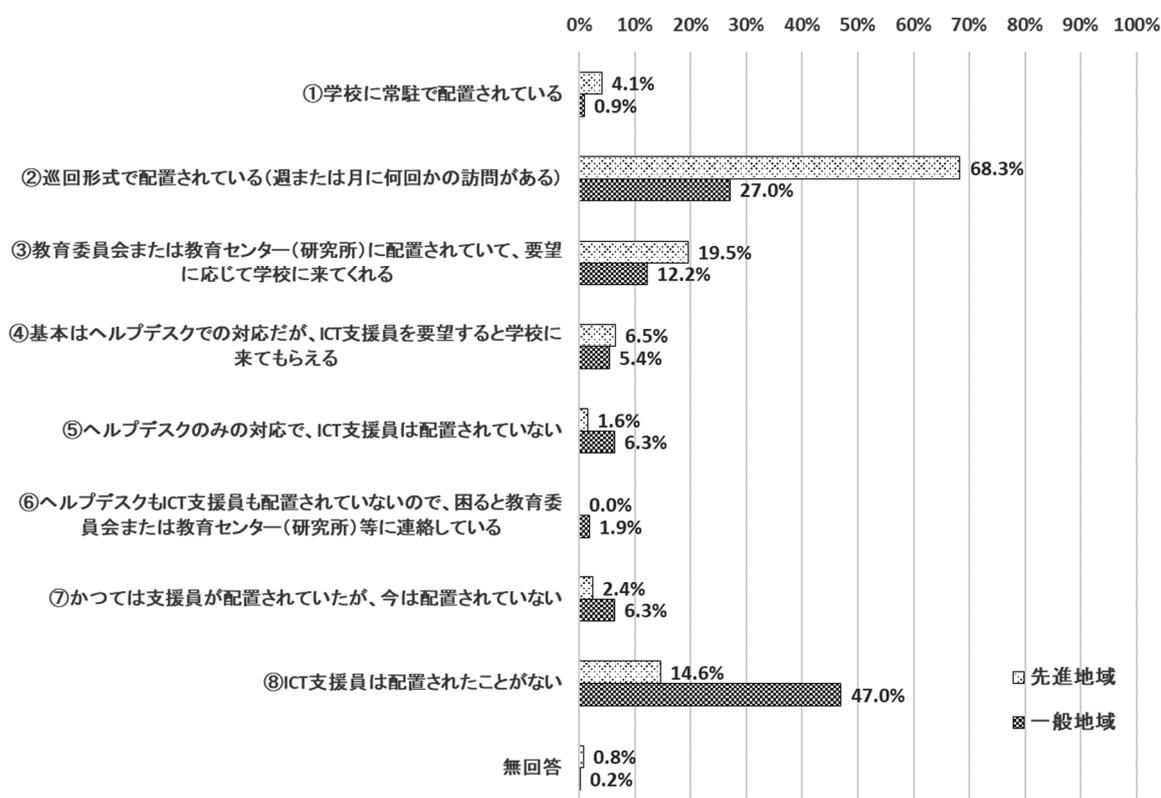


※先進地域では「①コンピュータを使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である」が53.7%となっており、プログラミング教育への取り組みが進んでいる。

3-4 保守サポートに関する項目

3-4-01 ICT 支援員は配置されていますか。(いくつでも)

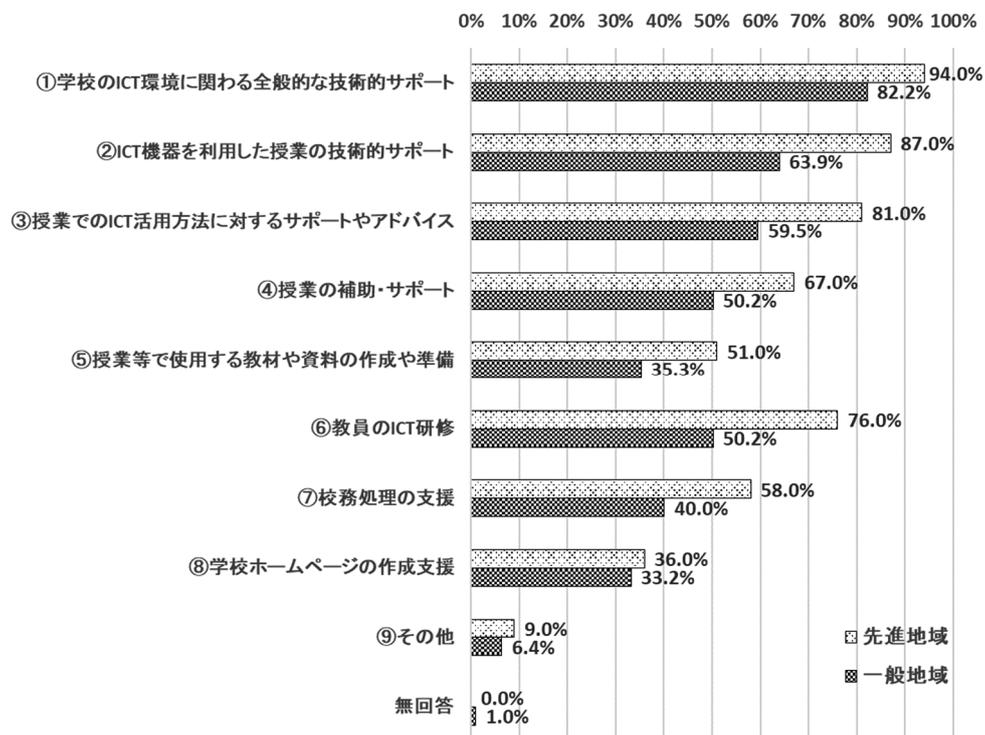
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	5	4.1%	11	0.9%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	84	68.3%	313	27.0%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	24	19.5%	141	12.2%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	8	6.5%	63	5.4%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	2	1.6%	73	6.3%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、困ると教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している			22	1.9%
⑦かつては支援員が配置されていたが、今は配置されていない	3	2.4%	73	6.3%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	18	14.6%	544	47.0%
無回答	1	0.8%	2	0.2%
回答数合計	145	117.9%	1,242	107.3%
回答者数(母数)	123		1,158	



※「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」が先進地域で最も多く、68.3%となっている。先進地域でも、「①学校に常駐で配置されている」は4.1%しかない。

3-4-02 前問「2-4-01」で選択肢①～④と回答された方に伺います。ICT支援員にどのような作業を依頼していますか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	94	94.0%	396	82.2%
②ICT機器を利用した授業の技術的サポート	87	87.0%	308	63.9%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	81	81.0%	287	59.5%
④授業の補助・サポート	67	67.0%	242	50.2%
⑤授業等で使用する教材や資料の作成や準備	51	51.0%	170	35.3%
⑥教員のICT研修	76	76.0%	242	50.2%
⑦校務処理の支援	58	58.0%	193	40.0%
⑧学校ホームページの作成支援	36	36.0%	160	33.2%
⑨その他	9	9.0%	31	6.4%
無回答			5	1.0%
回答数合計	559	559.0%	2,034	422.0%
回答者数(母数)	100		482	

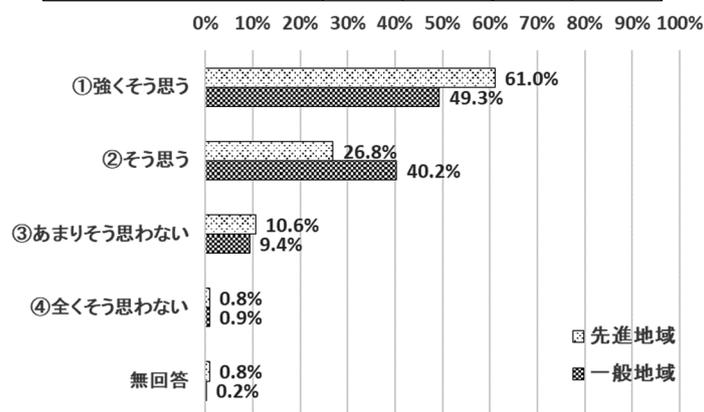


※先進地域では「①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート」が94.0%、「②ICT機器を利用した授業の技術的サポート」が87.0%、「③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス」が81.0%と8割を超えている。「④授業の補助・サポート」が67.0%、「⑥教員のICT研修」が76.0%等と全ての項目で一般地域を上回っており、支援員は欠かせないものとなっている。

3-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

3-5-01(8) 学習者用デジタル教科書の整備を進めるべきである。

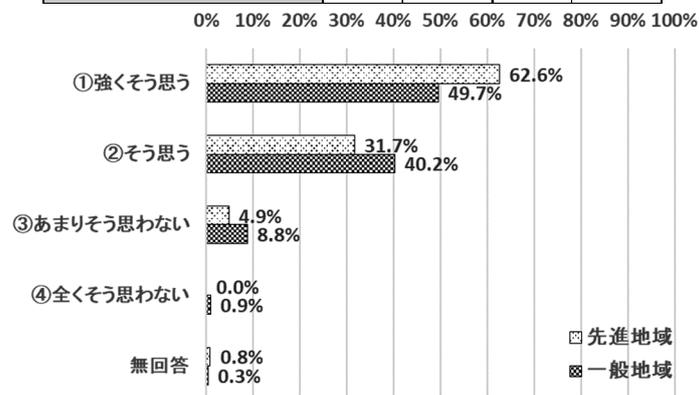
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	75	61.0%	571	49.3%
②そう思う	33	26.8%	466	40.2%
③あまりそう思わない	13	10.6%	109	9.4%
④全くそう思わない	1	0.8%	10	0.9%
無回答	1	0.8%	2	0.2%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※「①強くそう思う」が先進地域は61.0%となっている。コンピュータ1人1台環境が整うと、学習者用デジタル教科書の整備が望まれている。

3-5-01(10) 授業や補習・進学指導のために、教材コンテンツやデジタル教材、プリント教材、教員の自作教材等を広く地域内で共有できるクラウドを構築すべきである。(教育クラウド化)

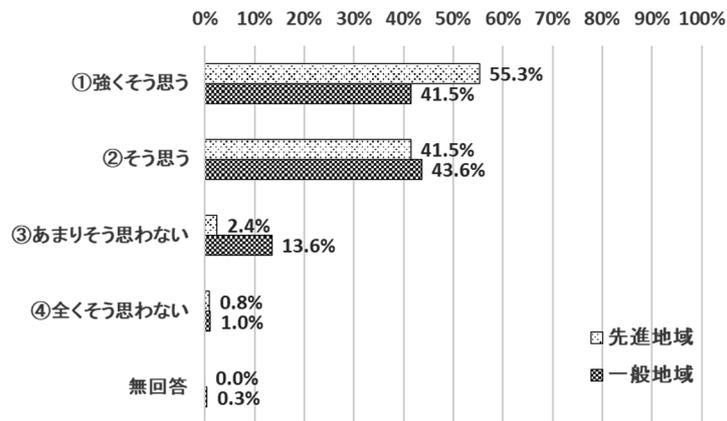
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	77	62.6%	575	49.7%
②そう思う	39	31.7%	466	40.2%
③あまりそう思わない	6	4.9%	102	8.8%
④全くそう思わない			11	0.9%
無回答	1	0.8%	4	0.3%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①強くそう思う」が62.6%となっており、デジタル教材の共有・流通が強く望まれている。

3-5-01(14) 整備が進んでいるタブレット型コンピュータを活用して、学力向上のための個別学習を進めるべきである。

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	68	55.3%	480	41.5%
②そう思う	51	41.5%	505	43.6%
③あまりそう思わない	3	2.4%	157	13.6%
④全くそう思わない	1	0.8%	12	1.0%
無回答			4	0.3%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%

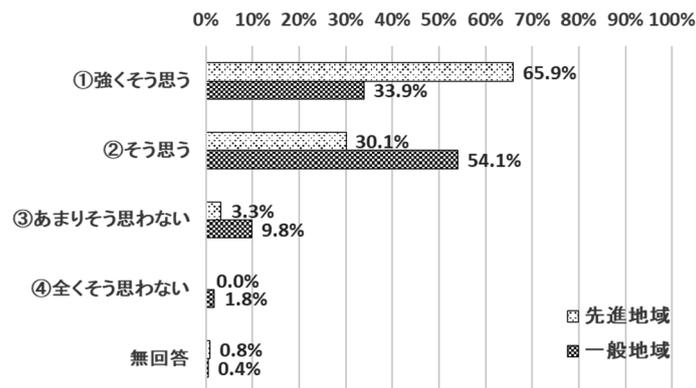


※先進地域では「①強くそう思う」が55.3%、「②そう思う」を合わせると96.8%が、個別学習をすすめるべきと回答している。1人1台環境は、個別学習に適していると読み取れるが、顕著な有意差とまでは言えない。

3-5-02 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

3-5-02(1) デジタル教材や動画を授業に取り入れる時間が増えた

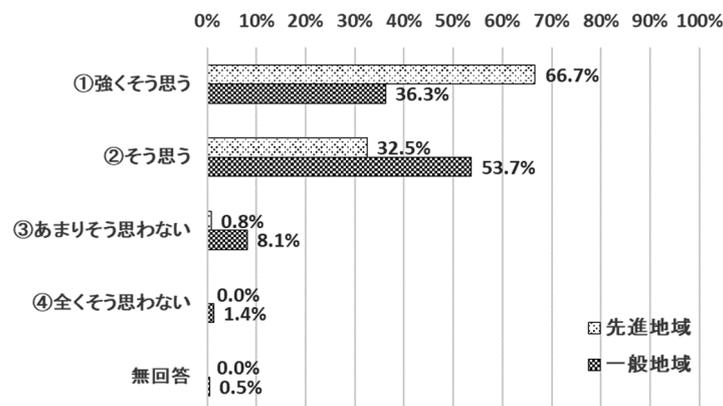
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	81	65.9%	393	33.9%
②そう思う	37	30.1%	626	54.1%
③あまりそう思わない	4	3.3%	113	9.8%
④全くそう思わない			21	1.8%
無回答	1	0.8%	5	0.4%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①強くそう思う」が 65.9%となっており、「②そう思う」と合わせると 96.0%である。環境が整うとそれに応じた授業が展開されていることが伺える。

3-5-02(2) 電子黒板やプロジェクタ等の大型提示装置、デジタル教材の導入で、よりわかる授業を実施できるようになった

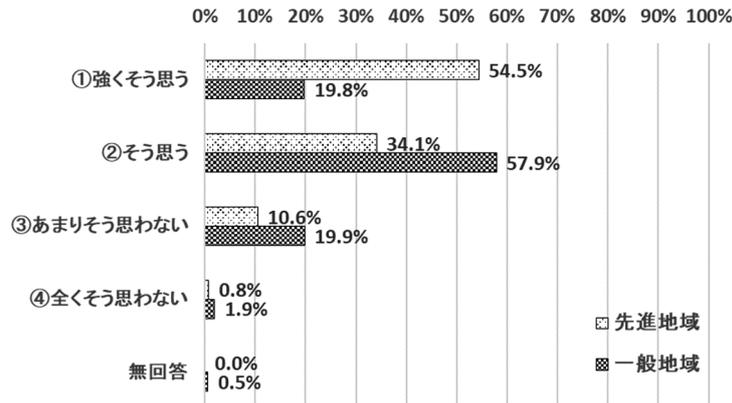
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	82	66.7%	420	36.3%
②そう思う	40	32.5%	622	53.7%
③あまりそう思わない	1	0.8%	94	8.1%
④全くそう思わない			16	1.4%
無回答			6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①強くそう思う」が 66.7%に上っており、「②そう思う」と合わせると 99.2%であり、ほぼすべての学校が、よりわかる授業が実践できるようになったと感じている。

## 3-5-02(3) 教員の意識が変わり、積極的に ICT 機器を使うようになった

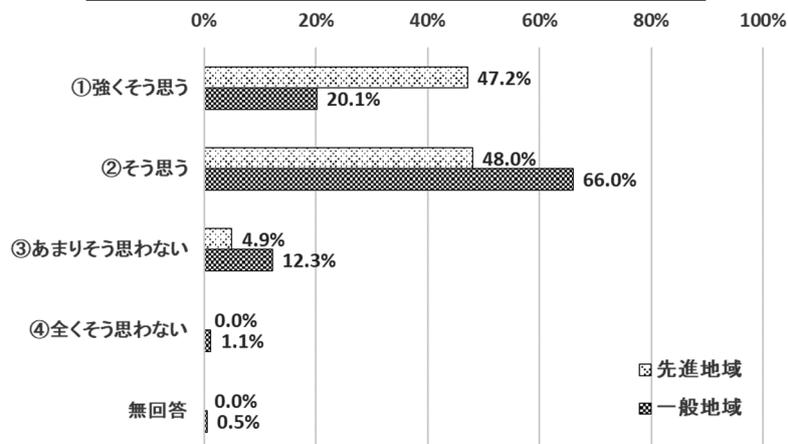
	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	67	54.5%	229	19.8%
②そう思う	42	34.1%	671	57.9%
③あまりそう思わない	13	10.6%	230	19.9%
④全くそう思わない	1	0.8%	22	1.9%
無回答			6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①強くそう思う」が54.5%と半数を超えており、ICT環境の影響が大きいことが分かる。

## 3-5-02(4) 児童・生徒が積極的に授業や学習活動に参加するようになった

	先進地域		一般地域	
	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	58	47.2%	233	20.1%
②そう思う	59	48.0%	764	66.0%
③あまりそう思わない	6	4.9%	142	12.3%
④全くそう思わない			13	1.1%
無回答			6	0.5%
回答者数(母数)	123	100.0%	1,158	100.0%



※先進地域では「①強くそう思う」が47.2%となっており、児童生徒用コンピュータの、ほぼ1人1台環境実現で非常に良い効果が現れている。

## あとがき

本調査は今回で第12回となりました。隔年で実施している調査ですので、20年を超える継続調査活動となっております。この間、膨大な設問に真摯にご回答いただいた教育委員会の方々、学校現場で日々の教育を実践する中、ご回答に貴重なお時間をいただいた教員の皆様に深く感謝申し上げます。特に昨今では、働き方改革が提唱され、外部からの調査やアンケートに対し、回答を控える流れの中で、ご回答いただいた先生方には重ねて御礼申し上げます。そして、この調査報告をまとめるにあたり、ご尽力、ご協力いただいた国内調査部会の JAPET&CEC 会員企業の皆様、事務局の皆様に感謝申し上げます。

この調査活動を始めた時は、「ハードウェア」「ソフトウェア」に関するものだけでしたが、時代の変化とともに「ネットワーク」「保守・サポート」「教育の情報化への意識」等と調査の幅を広げてまいりました。ネットワークも近年は無線 LAN に関する設問が増え、データの保存場所に関しても外部のデータセンターやクラウドの活用が増えています。統合型校務支援システムの導入や、セキュリティに関する設問も追加するなど時代の変化に対応した設問も多く用意しました。新しい設問だけではなく、経年変化を見るために同じ設問を続けているものもあります。様々な角度から教育の情報化の現状の見える化を考えてまいりました。

児童・生徒用コンピュータのほぼ1人1台環境を実現し、充実した ICT 環境の学校様から120校を超えるご回答をいただき、一般的な学校様との比較を行い、環境が変わることで、教員や児童・生徒の意識の変容や、先生の授業の方法、進め方が変わるといことが推測される結果となっております。児童・生徒用コンピュータ1人1台環境であったとしても、教室には大型提示装置、指導者用デジタル教科書が必要であると回答した学校が、一般的な学校より多く、大型提示装置、指導者用デジタル教科書の有用性が示されたと思います。しかしながら、自治体間の格差はまだ大きく、傾向として、大規模自治体と小規模自治体との差が広がっているように感じています。

今後、教育現場では、GIGA スクール構想による環境整備やセキュリティの強化、校務の情報化、クラウド利用等に加え、AI、IoT の活用と、学校を取り巻く環境がめまぐるしく変化していくものと思われます。国内調査部会は、環境の変化に対応しながら、この調査事業を継続、発展させていく所存です。皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

日本教育情報化振興会  
情報化調査委員会 国内調査部会  
部会長 井上義裕

## 情報化調査委員会 国内調査部会メンバー

部会長	井上 義裕	株式会社 JMC
委員	足立 一実	S k y 株式会社
委員	稲富 裕也	エプソン販売株式会社
委員	岩尾 充彦	株式会社ミライト
委員	岩脇 崇	株式会社エルモ社
委員	奥村 靖	株式会社文溪堂
委員	小関 秀夫	スズキ教育ソフト株式会社
委員	高井 尚一郎	株式会社内田洋行
委員	塚原 潤也	株式会社 JMC
委員	西田 理乃	株式会社教育家庭新聞社
委員	西野 健悟	株式会社 JMC
委員	長谷川 隆雄	パナソニック システムソリューションズジャパン株式会社
委員	久松 雅美	光村図書出版株式会社
委員	吉田 隼人	S k y 株式会社
事務局	秋定 望	日本教育情報化振興会
事務局	岩瀬 幹彦	日本教育情報化振興会

## 第 12 回 教育用コンピュータ等に関するアンケート調査 報告書

---

令和 2 年 6 月 1 日発行

編集・発行 一般社団法人 日本教育情報化振興会

〒107-0052

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 8F

電話 03-5575-5365 FAX 03-5575-5366

URL: <https://www.japet.or.jp>

---

禁無断転載

COPYRIGHT © 2020 一般社団法人 日本教育情報化振興会



This page is intentionally left blank



Japan Association for Promotion of Educational Technology

**一般社団法人 日本教育情報化振興会**